

COMPACT BARCODE PRINTER

ラベルパートナー 取扱説明書



^{株式会社} 新盛インダストリーズ

はじめに 7	7
Label Partner for neo-7 ラベル作成ソフトの概要	7
ラベルパートナーの動作環境	7
1.インストール方法 8	3
11インストールの前 <i>に</i> 8	8
12 ラベルパートナーと USB ドライバーのインストール	9
13インストールが正堂かの確認	4
1.4 Adobe Reader のインストール	6
2 ラベルパートナーの記動 17	7
2.1 デスクトップアイコンから起動17	7
2.2 スタートボタンから起動 17	7
2.3 ファイルアイコンから起動17	7
2.4 バックアップデータの読み込み17	7
3. ラベルパートナーの基本事項 18	3
3.1 基本的な画面構成	8
3.2 ラベルの作成から発行までの操作の流れ20	С
4. ラベルの作成 23	3
新規ファイルに標準ラベルを使用する24	4
5. ツールボックス 25	5
5.1 操作の概要	5
5.2 文字項目 T	5

6.11 マーク項目のプロパティ	

111

目次

7.ショートカッ	トメニュー	

6.12 呼出番号項目のプロパティ109

6.13 発行枚数項目のプロパティ.....110

8. メニュー・リボン

3.1 ファイル
3.2 ホーム
3.3 表示
3.4 レイアウト19
3.5 プリセット
3.6 その他データ編集
3.7 通信
3.8 ツール

9. クイックアクセスツールバー

9.1 プログラムアイコン	
9.2 新規作成 🗋	
9.3 開く <u>言</u>	
9.4 上書き保存 🛃	
9.5 元に戻す 🧐	

140

272

5 やり直す 配
7 拡大 🕰
3 縮小 🧟
9送信 冯

10. レイアウトエリア

10.1 レイアウトタブ	278
10.2 レイアウト一覧表示ボタン	279
10.3 ラベル方向マーク	279
10.4 背景グリッド	279
10.5 ルーラバー	280
10.6 項目の移動・サイズ変更2	280
10.7 項目範囲	280
10.8 拡大 / 縮小	280
10.9 印字範囲チェック	280
10.10 レイアウトエリアのショートカットメニュー	280

11. 入力エリア

1.1 入力エリアの行 / 列 / セル281
1.2 項目データの入力
1.3 セルの行幅 / 列幅の変更
1.4 項目データの列の移動
1.5 入力内容のインポート・エクスポート
1.6 入力内容の検索 / 置き換え
1.7 バーコードの CD(チェックデジット)の自動計算
1.8 重複データのチェック

11.9 無効データのチェック	
11.10 入力エリアのショートカットメニュー	
12.項目一覧エリア	285
13.分類表示エリア	287
14. ステータスバー	288
15.値下ラベルの作成	289
15.1 標準の値下レイアウトを追加する	
15.2 ユーザ定義の値下レイアウトを追加する	
16. フリーサイズラベルの作成	301
16.1 標準のフリーサイズラベルから作成する	
16.2 ユーザ定義のフリーサイズラベルを作成する	
17. トレーサビリティラベルの作成	313
17.1 トレーサビリティレイアウトの作成	

はじめに

Label Partner for neo-7 ラベル作成ソフトの概要

Label Partner for neo-7 ラベル作成ソフト(以下、「ラベルパートナー」と表記します)は、neo-7 ラベル プリンター(以下、「本体」と表記します)用ラベル作成ソフトです。

ラベルパートナーを使用し、本体に印字したいデータ(レイアウトされた各項目に入力された印字データ のことで、以下、「プリセットデータ」と表記します。)の登録・編集・削除ができます。

ラベルパートナーで作成したプリセットデータなどを本体に送信したり、本体のプリセットデータなどを パソコンに取り込んだり、ラベルパートナーから直接ラベルをオンライン発行させることもできます。

» なお、本体の取扱方法につきましては、付属 CD-ROM の操作編および別冊の本体編の取扱説明書をお読みください。

ラベルパートナーの動作環境

ラベルパートナーの動作環境は、次のとおりです。 ご使用になる前に、パソコン環境をご確認ください。

- OS: Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8
- ・CPU:32 ビット版・64 ビット版に対応
- ・メモリ: 256MB 以上 (Windows XP)、または 1GB 以上 (Windows Vista、Windows 7、Windows 8)
- ・ハードディスク:200MB 以上
- ・解像度:1024 × 768 以上(画面の色は 16 ビット以上)

1.インストール方法

本章では、ラベルパートナーのインストール手順について説明します。

1.1 インストールの前に

ラベルパートナーをインストールするために、同梱されている以下のものをご準備ください。 以下、2インチモデルの場合について説明します。(3インチモデルの場合も同様です。)

- ・『Label Partner for neo-7 取扱説明書』(本書)
- ・本体
- ・ 付属 CD-ROM
- ・ 通信ケーブル (USB)

インストール前に本書を十分お読みください。

なお、本体の取扱方法については、付属 CD-ROM の操作編、および別冊の本体編の取扱説明書をお読みください。

①注意

ラベルパートナーのインストールを開始する時は、パソコンと本体を通信ケーブル(USB)で接続しない でください。通信ケーブル(USB)の接続は、後の手順で行います。



1.2 ラベルパートナーと USB ドライバーのインストール

ラベルパートナーをインストールする手順を説明します。

- » ラベルパートナーをインストールすると、USB ドライバーも自動的にインストールされます。
- »Windows 各バージョンのインストール画面は、ほぼ同じです。ここでは Windows 7 の画面を使用して説明します。

()注意

インストールには、管理者権限が必要です。

ご使用のパソコンに「管理者」でログインしてからインストールを行ってください。

- 1. 起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- **2.** 付属 CD-ROM を、パソコンの CD/DVD ドライブにセットします。 [インストール for neo-7 Label Partner] 画面が表示されます。

ラベルパートナーをインストールをクリックします。

» ラベルパートナーのインストーラーを起動しますので、パソコンにより時間がかかる場合があります。

🖩 インストール for neo-7 LabelPartner 🛛 🛛 🗙
neo-7 LabelPartner(Ver. 1.21) Shinsei
ご利用にあたりまして
neo−7 Label Partner 取扱説明書
neo-7 2インチモデル 本体操作編
neo-7 3インチモデル 本体操作編
AdobeReaderをインストール
ラベルパートナーをインストール
終了 🚺

» ラベルパートナーの CD をセットした時に、次のような[自動再生]画面が表示された場合は、[guide.exe の 実行]をクリックしてください。

すると、上の[インストール for neo-7 Label Partner] 画面が表示されます。

DVD RW ドライブ (E:) neo- 7
□ ソフトウェアとゲーム に対しては常に次の動作を行う:
メディアからのプログラムのインストール/実行 ―――
guideexe の実行 発行元は指定されていません
全般 のオプション (****)
フォルダーを開いてファイルを表示 -エクスプローラー使用
コントロール パネルで自動再生の詳細を表示します

3. 次の [LabelPartnerForNeo7 用の InstallShield ウィザードへようこそ] 画面が表示されま すので、【次へ】をクリックします。



4. 次の [プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されますので、[イン ストール] をクリックします。

インストールが開始されます。

B LabelPartnerForNeo7 - InstallShield Wizard
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。 インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク リックすると、ウィザードを終了します。
InstallShield < 戻る(B) インフトール(I) キャンセル

インストール中の画面が表示されます。

😸 LabelPartnerForNeo7 - InstallShield Wizard				
LabelPartnerForNeo7 をインストールしています 選択したプログラム機能をインストールしています。				
17	InstallShield ウィザードは、LabelPartnerForNeo7 をインストールしていま す。しばらくお待ちください。 ステータス:			
InstallShield -	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル			

5. 次に [このデバイスソフトウェアをインストールしますか?] 画面が表示されますので、[インストール] をクリックします。

💀 Windows セキュリティ	
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
名前: Shinsei Industries Co., Ltd. ユニバーサル シリアル グ 発行元: Shenzhen Shinsei Electronic Identificati	
 "Shenzhen Shinsei Electronic Identificati"からのソフトウェアを常に信頼する(A) 	インストール(I) インストールしない(N)
④ 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全 る方法	にインスト

6. インストールが終了すると [InstallShield ウィザードを完了しました] 画面が表示されます ので、[完了] をクリックします。



これで、ラベルパートナーと USB ドライバーがインストールされました。



(tin(Y))



いいえ(<u>N</u>)

7. パソコンと本体を通信ケーブル(USB)で接続してください。

» USB – HUB を利用する場合、通信できない可能性があります。



8. 本体の電源スイッチを約1秒長押しして電源をオンにして、[通信] アイコンにタッチして 通信モードにしてください。



自動的にインストールが開始され、パソコンの右下の画面に[デバイスドライバーソフトウェアを インストールしています]と表示されます。

- »パソコンの状況によって、インストール時間が2~3分かかる場合があります。
- »別のUSBポートで通信する場合も、自動的に再インストールされます。



9. パソコンの右下の画面に [デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました] と表示されましたらインストール完了です。



1.3 インストールが正常かの確認

1. 本体とパソコンが通信状態のまま、デスクトップのラベルパートナーアイコンをダブルク リックしてラベルパートナーを起動します。

»他の起動方法については、「2 ラベルパートナーの起動」を参照してください。



2. ラベルパートナーが起動し、[デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。 サンプルラベルでは、標準ラベルを使用していますので[OK] をクリックします。

デフ	デフォルトラベル設定				
	ラベル選択 🚺 標準(マーク	ד)55×43mm ע			
	ラベルタイプ	裏マーク			
	ラベル幅	55mm			
	ラベル長	42.9mm			
	ギャップ幅	Omm			

3. ラベルパートナーのメニュー・リボンの [通信] リボンの [プリンタ情報を取得] をクリックします。

»本体が通信状態になっていることを確認してください。

🖲 I D - 😅		Q. (a)		無盟 - La	abel Partner I	for Neo7		and the second second	- 3 - X
77416 7	モーム 表示	レイアウト	プリセット	その位データ	1. M.	1 - Y-	JU		۵
サンプル専得 通信設定	プリシタ 信報を取得 プリントク	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	発行機器 取得 発行機器	200 E					
7	-955					-	1	呼出番号	
↓			³	ليبي أسب	⁵]	6	1 >		=
							3		
							4		_
24							6		
26							7 8		
							9		
							11		
							12		
							14		
							15		_
							17		
4-							18		_
Ne						-	20		
							21		
							23		
							24		
レイアウト情報	: 7012 : 040	プリセット:	0/\$(0B)	プリセット	サイズ:08				西大事:210%
ファイル情報	1: LAPON:H	W プリセット:	0#‡(0B)	テーブル:	0#(0B)	登録イメー	-沙:0件(06	3) 7 4	>>: 01250(0E

4. 正常にインストールされていると、次のようなプリンター情報画面を表示します。 [OK] をクリックします。

プリンタ情報	— ×
プリンタ情報	
プリンタバージョン情報	
登録データ情報	
	ОК

①注意

次のようなエラーメッセージが表示されましたら、通信ケーブル(USB)が正しく接続されているか、本 体が [通信モード] になっているか、もう一度確認し [再試行] をクリックしてください。



※再試行してもエラーメッセージが表示される場合は、弊社カスタマーサポート部までサービスコール をしてください。

.

1.4 Adobe Reader のインストール

必要に応じて、Adobe Reader をインストールすることができます。

» Adobe Reader がインストールされていないパソコンで本書を表示する場合にご利用ください。

- **1.** 「1.2 ラベルパートナーと USB ドライバーのインストール」の手順1~手順2を行います。
- 3. 画面の表示に従って、インストールを行います。

2. ラベルパートナーの起動

本章では、ラベルパートナーの起動方法について説明します。

2.1 デスクトップアイコンから起動

デスクトップのラベルパートナーアイコンをダブルクリックします。



ラベルパートナーが起動し、[デフォルトラベルの設定]ダイアログが表示されます。

2.2 スタートボタンから起動

[スタートボタン] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [Shinsei] ⇒ [LabelPartnerForNeo7] ⇒ [Neo7Partner] をクリックします。



ラベルパートナーが起動し、「デフォルトラベルの設定」ダイアログが表示されます。

2.3 ファイルアイコンから起動

保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。 すでに作成したラベルの作業を行う場合に、この方法で起動すると便利です。

R
マーク 5
5 x 4 3.
lp7

2.4 バックアップデータの読み込み

何らかの理由でラベルパートナーが正常に終了できなかった場合、次のラベルパートナー 起動時に確認メッセージが表示されます。この場合は、必要に応じて [はい]、または [い いえ] をクリックしてください。

確認	22
0	前回翼常統了を検出しました。統了直筋の目動パックアップデータを 読み込みますか?
	(#),\$(V), (Y), (X), (X), (X), (X), (X), (X), (X), (X

- » 自動保存の設定は、[オプション] ダイアログで変更することができます。(⇒「8.8.5 オプション (オプショ ングループ)」)
- » [はい]をクリックしてバックアップデータを読み込んだ場合、「無題」のファイルとしてバックアップデータ が画面に表示されます。必要に応じて、ファイル名を付けて保存してください。(⇒「8.1.5名前を付けて保存」)

.

3. ラベルパートナーの基本事項

本章では、ラベルパートナーの画面、用語、およびラベルパートナーでの操作の流れに ついて説明します。

3.1 基本的な画面構成

横レイアウトの場合



縦レイアウトの場合(以下、縦レイアウトで説明します。)

🗕 🗅 🕶 🖬 🤟 🔍 🔍	, 🔍 🚔 र-७	7 55 x 43 001 - Label Partner for Neo7	- • ×
ファイルホーム表示	レイアウト プリセット その他データ編集	通信 ツール	۵
□ビー メ切り取り コビー&貼り付け ● 話り付け	· フォント幅 1 ↓ · フォント長 1 ↓ B I 単 6 ↓ 営業工業工業	陰湖え · 三 三 三 三 泊 泊 強順序 · ④ ☆ & 戶 話 説 単位:dot	↓ ↓ ↓ mm
クリップボード	フォント	項目配置 座標	線
■ 1 ■ 2 ■ 2 ■ 3 ■ 3 ■ 5hinsei 株	つ か つ 弁 当 、 、 御 7物、 キャペツ、 付 合 せ、 トマ た の 他親、 小麦、 乳、 大豆由来原料を含む 乳化剤 、 11 20時 200 4 912345 678904 式 会社ハロー食品	• • • ●	コード ま が うう 5 5
呼出番号 商	福名 原材料の内容		バーコード1 価格1
1 7 2 2 3 4	ハル・フテヨ (その他類」がまたす、大 、乳化剤	夏田是与(上)(上)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	4912345678904 1200
			,
レイアウト情報: 項目:11個 ファイル情報: レイアウト:11	フリセット:1件(235B) ブリセットサイス 国 プリセット:1件(235B) テーブル:4件(6	く:235B : 55mm 長さ .4KB) 登録イメージ:5件(3.2KB) フォント:0種類(0	* : 42.9mm 表示拡大率 : 210%:)B):

①クイックアクセスツールバー	- とく使うコマンドのツールボタンが表示されます (→「9 クイッ
	/// / ビハノ //// 」)
②り示ク	- リホンメニュー(ダノ)でクルーノ化された各種コマントが表
	示されます。 (⇒ $18. \times = 2 - \cdot y = 5$)
③ツールボックス	-項目をラベルに追加するためのツールボタンが表示されます。
	(⇒「5. ツールボックス」)
④レイアウトエリア	- 項目をラベルのイメージにレイアウト(配置)するエリアです。
	また、タブを追加することによりレイアウトを追加したりラベ
	ルサイズを変更したりすることができます。
	(⇒「10. レイアウトエリア」)
	» レイアウトエリアを非表示にすることができます。(⇒「8.3.1 レイ
	アウト表示(画面表示グループ)」)
	» レイアウトエリア内のルーラーを非表示にすることができます。(⇒
	「8.3.6 ルーラバー(画面表示グループ)」)
⑤項目一覧エリア	- レイアウトした項目が表示されます。(⇒「12.項目一覧エリア」)
	» 項目一覧エリアを非表示にすることができます。(⇒「8.3.7 項目一
	覧(画面表示グループ)」)
⑥入力エリア	- レイアウトした項目に関する項目データの入力を行うエリアで
	す。 (⇒「11. 入力エリア」)
	» 項目データを入力するとレイアウトエリアの該当項目に表示されま
	す。
	» 入力エリアを非表示にすることができます。(⇒「8.3.2 プリセット
	表示(画面表示グループ))
⑦ステータスバー	- 現在編集しているファイルや、表示中のレイアウトに関する基
	大情報が表示されます。 (\Rightarrow 「14 ステータスバー)

»横レイアウトと縦レイアウトを切り替え方法は、「8.3.13レイアウト・プリセットの配置」を参照してください。

» レイアウトエリア、項目一覧エリア、入力エリア、分類表示エリアの境界線をドラッグして、各エリアの幅や高さを 調節することができます。

3.2 ラベルの作成から発行までの操作の流れ

ラベルパートナーの操作手順について、説明します。

1. ラベルの作成 (⇒「4. ラベルの作成」)



» ラベルの各種設定は、ラベル編集で行います。(⇒「8.6.7 ラベル編集」)

2. レイアウトエリアに各項目を作成 (⇒「5.ツールボックス」)



- » それぞれの項目の各種設定は、それぞれの項目のプロパティで行います。(⇒「6.3 文字項目のプロパティ」~ 「6.13 発行枚数項目のプロパティ」)
- » レイアウトの各種設定は、レイアウトプロパティで行います。(⇒「6.1 レイアウトプロパティ」)

3. レイアウトエリアの各項目へのデータ入力(⇒「11.入力エリア」)

- »入力エリアの項目データとレイアウトエリアの各項目とのリンク付けは、各項目のプロパティで行います。
- »同じレイアウトで多くのプリセットデータを作成することができます。



- 4. 値下ラベルなどのラベルの種類やラベルサイズを変更してレイアウトを追加します。(⇒「6. プロパティ」/「7.ショートカットメニュー」/「8.メニュー・リボン」/「10.レイアウトエ リア」)
 - »レイアウトタブを追加して、レイアウトを追加することができます。
 - » レイアウトの種類によって背景色が区別されます。



5. 通信モード

5-1本体とパソコンを通信ケーブル(USB)で接続します。



5-2 本体の電源スイッチを約1秒長押しして、電源をオンにしてタッチパネルの [通信] アイ コンにタッチして、本体を通信モードにします。



6. ラベルの発行

6-1 オンライン発行(⇒「7.3.15 画面データを印字発行(入力エリア)」、および「8.7.3 番号 指定発行(オンライン発行)」、「8.7.4 選択発行(オンライン発行)」) ラベルパートナー上から確認用のラベルを発行します。



6-2 本体発行(⇒「8.7.6送信(通信グループ)」、「9.9送信」) 現在編集しているラベルの全データを本体に送信します。



本体でラベルを発行します。

4. ラベルの作成

本章では、ラベルを新規に作成する手順について説明します。

ラベルパートナーでは、あらかじめ準備されている標準ラベルを選択してさまざまなラベルを作成したり、 ユーザーがサイズ等を指定して、ユーザー定義ラベルを作成することができます。

以下では、標準ラベルを使用して、次のサンプルラベルを新規に作成する場合について説明します。



【サンプルラベル】



新規ファイルに標準ラベルを使用する

- **1**. ラベルパートナーをデスクトップアイコンから起動します。
- 2. [デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。
 - サンプルラベルは、標準(マーク)55mmx43mm を使用していますので、[OK] をクリックします。



選択した標準ラベルがレイアウトエリアに表示されます。



- » ラベルの各種設定は、[その他データ編集] メニューの [ラベル編集] を使用して行います。
- » ラベルの各種設定は、レイアウトプロパティの [ラベル編集] を使用してもできます。(⇒「7.2.1.7 レイアウ トプロパティ」、「8.4.8 プロパティ(データグループ)」)
- »新規ファイルに標準のフリーサイズラベルを選択する場合は、「16.1 標準のフリーサイズラベルから作成する」 を参照してください。
- »新規ファイルにユーザ定義ラベルを作成する場合は、「8.1.1新規-8.1.1.1ファイル」を参照してください。

5.ツールボックス

本章では、ツールボックスを使用してサンプルラベルをレイアウトする方法について説 明します。



サンプルラベルは、項目一覧エリアと入力エリアが縦方向に配置された縦レイアウトの場合で説明します。 »縦レイアウトと横レイアウトの切替方法は、「8.3.13 レイアウト・プリセットの配置」を参照してしてください。

5.1 操作の概要

ツールボックスを使用して、次の項目をレイアウトエリアにレイアウトすることができます。

項目の種類	概要	参照先			
□ 文字項目	文字列(漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字)をレ	→「52文字項日」			
	イアウトすることができます。				
🛄 バーコード項目	21 種類のバーコードをレイアウトすることができます。	⇒「5.3 バーコード項目」			
👔 価格項目	商品の価格、税額などをレイアウトすることができます。	⇒「5.4 価格項目」			
🛛 🖬 日付項目	同時に時刻項目をレイアウトすることができます。	⇒「5.5日付項目・時刻項目」			
▶ 直線項目	直線をレイアウトすることができます。	⇒「5.6 直線項目」			
✓ 斜線項目	斜線をレイアウトすることができます。	⇒「5.7 斜線項目」			
□ 四角形項目	四角形をレイアウトすることができます。	⇒「5.8四角形項目」			
🔀 イメージ項目	指定した画像をレイアウトすることができます。	⇒「5.9 イメージ項目」			
🗧 マーク項目	リサイクルマークをレイアウトすることができます。	⇒「5.10マーク項目」			
№ 呼出番号項目	ラベル発行の際にラベルを指定するための呼出番号をレ				
	イアウトすることができます。	→ 13.11 呼出番亏項日」			
	ラベル印刷の枚数と総印刷枚数をレイアウトすることが				
□ 元1」权数項日	できます。	⇒ 15.12			

» レイアウトした項目の各種設定は、各項目のプロパティで行ってください。(⇒「6.2 項目プロパティ(共通項目) ~「6.13 発行枚数項目のプロパティ」)

5.2 文字項目 T

サンプルラベルの「商品名」、「原材料名」、「原材料の内容」、「会社名」、「住所」、「電話番号」は、文字列(漢 字、ひらがな、カタカナ、英字、数字)になりますので文字項目でレイアウトします。 以下、サンプルラベルに基いて説明します。

1。「商品名」項目のレイアウトを行います。

1 – 1 ツールボックスの [文字項目を追加] アイコン T をクリックし、レイアウトエリアで開始 位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、「文字1」項目がレイアウトされます。 同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「文字1」項目が作成されます。

- 1-2 レイアウトされた「文字1」をダブルクリックすると表示される文字項目のプロパティで 次のように設定します。
 - 名称 :「文字 1」→「商品名」に変更します。
 - データ元 : [通常入力] を選択します。

設定と同時に、

- ・入力エリアの「文字1」→「商品名」に変更になります。
- ・ 項目一覧エリアの「文字1」→「商品名」に変更になります。



1-3 入力エリアの「商品名」列の1行目の青く反転しているセルにダブルクリックして、サン プルラベルのように「ロースかつ弁当」と入力し、1行目の「呼出番号」セルをクリック します。 すると、レイアウトエリアの「商品名」項目に「ロースかつ弁当」と入力されます。

<u>8</u>	- 🖬 🖡	🗐 🖗 🤇	ଥି ପ୍ 🔿	1	無題(変更) - Label Part	ner for Neo7		
ファイノ	レ ホー	ム表示	レイアウ	ト プリセット	その他データ編集	通信 ツ-	-ル	۵
レイア ⁴ 表示	ウト プリ ミー プリ	世 セット 転	<mark>ピグリッド</mark> NL音星グリッ	 マステータス マルーラバ・ マ項目一覧 面面表示 	スパー 図 項目範囲を表示 一 ⑦ 分類定義 ◎ 項目をグリット	えする 「線に合わせる」	レイアウト	クイック アクセス ツールバーの位置▼
	/ マーり	55×43mm				-	項目	
	4		2 			6	日文字	88
	1	<u>1</u> , 1	᠉᠊ᢩᢓ᠊ᡏᡏᡱ	<u>s</u>				
	2							
	3_1							
	4_							
Nº.	1							
	1 ► 2	呼出番号	÷ ۲	品名 コースかつ弁当				Â
レイアウ ファイ	ット情報: ノル情報:	項目:1個 レイアウト::	プリ・ 1個 プリ・	セット:0件(0B) セット:0件(0B)	プリセットサイズ テーブル:0件(0B	: 18B) 登録イメ・	-ジ:0件(0	%.:: B) フォン!.::

- »「商品名」項目の各種設定は、文字項目のプロパティで行います。(⇒「6.3 文字項目のプロパティ」)
- »入力エリアの項目データの入力については、「11.2項目データの入力」を参照してください。
- »「商品名」項目は、文字項目のプロパティで[テーブルから取得]にチェックを入れることによって商品テー ブルとリンクさせることができます。リンクさせると、「商品名」項目は、入力エリアに表示されません。
- »テーブル新規作成・編集・削除については、「8.6 その他データ編集」を参照してください。
- 2. 次に、「原材料名」項目をレイアウトします。
- 2-1 [文字項目を追加] アイコンで「原材料名」項目をレイアウトします。
- 2-2「原材料名」項目は、通常、変更することはありませんので、文字項目のプロパティの[デー タ元]で[固定データ]にチェックを入れます。
- 2-3「原材料名」項目は、文字項目のプロパティの[フォント名]([詳細] タブ)で[漢字ゴシック (6pt, 2.0mm)]を選択し、[固定データ入力]([データ] タブ)に「原材料:」と入力します。
 - » [固定データ] を選択すると、入力エリアに「原材料:」の列は作成されませんが、項目一覧エリアには「原材料:」 項目が作成され「固定」と表示されます。



- 3. 次に、「原材料の内容」項目をレイアウトします。
- 3-1 [文字項目を追加] アイコンで「原材料の内容」項目をレイアウトします。 同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「原材料の内容」項目が作成されます。

3-2「原材料の内容」項目のハンドルをドラッグしてテキストボックスを作ります。

- »「原材料の内容」項目が3行で入力されていますので、テキストボックスを作成すると便利です。
- »下図では、「原材料:」項目の幅をドラッグして短くした上で、「原材料の内容」項目をレイアウトしています。



- 3-3「原材料の内容」項目の文字項目のプロパティの[フォント名]([詳細] タブ)で[漢字ゴシック (6pt, 2.0mm)]を選択し、[桁数(半角)]([データ] タブ)を「96」に設定します。
- 3-4入力エリアの「原材料の内容」 セルにサンプルデータのように「ご飯、揚げ物・・・」と入力し、 Ctrl キーを押しながら Enter キーで改行し、「(その他卵・・・)」、「、乳化剤」と入力します。



- 4. 同様に、「会社名」項目(会社名・住所・電話番号)をレイアウトします。
- 4-1 [文字項目を追加] アイコンで「会社名」項目をテキストボックスでレイアウトします。 同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「会社名」項目が作成されます。
- 4-2「会社名」項目のハンドルをドラッグしてテキストボックスを作ります。

- 4-3入力エリアに、サンプルラベルのように「株式会社・・・」と、Shift キーまたは Alt を押 しながら Enter キーで改行し、「東京都・・・」、「TEL・・・」と入力します。
 - »「会社名」項目の入力は、文字項目のプロパティで[テーブルから取得]にチェックを入れることによって生産者テーブルなどとリンクさせることができます。
 - »テーブル新規作成・編集・削除については、「8.6 その他データ編集」を参照してください。



^{»「}会社名」項目が3行で入力されていますので、テキストボックスを作成すると便利です。

5.3 バーコード項目 📖

 ツールボックスの [バーコード項目を追加] アイコン ■をクリックし、レイアウトエリアで 開始位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、バーコード1項目がレイアウトされます。 同時に、入力エリアと項目一覧エリアにもバーコード1項目が作成されます。

» サンプルラベルは、JAN13 桁 PLU バーコードを使用しています。(⇒「6.4 バーコード項目のプロパティ」)



 入力エリアのバーコード1の列の1行目の青く反転しているセルをダブルクリックして、 サンプルラベルのように半角数字12桁で付帯文字を入力して1行目の呼出番号セルをク リックします。

すると、レイアウトされたバーコード1項目に付帯文字が入力されます。

»バーコード1の13桁目のCDは、自動計算に設定することができます。

(⇒「6.4.1 [詳細] タブ」(バーコード項目のプロパティ))



5.4 価格項目 👔

ツールボックスの [価格項目を追加] アイコン
 をクリックし、レイアウトエリアで開始位
 置をクリックします。

クリックした位置を始点として、価格項目がレイアウトされます。 同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも価格1項目が作成されます。



- 2. 入力エリアの価格1列の1行目の青く反転しているセルをダブルクリックして、サンプルラベルのように半角数字で「1200」と入力して1行目の呼出番号セルをクリックします。 すると、レイアウトされた価格1項目に「¥1200」と入力されます。
 - » ¥マークなどの設定は、価格項目のプロパティで行います。(⇒「6.5価格項目のプロパティ」)
 - 通貨記号 : ¥ (中)
 - ・カンマ

```
:挿入
```



5.5日付項目・時刻項目 🔤

1. ツールボックスの [日付と時刻項目を追加] アイコン **a**をクリックし、レイアウトエリアで 開始位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、本体の内蔵時計の日付項目と時刻項目がレイアウトされます。 同時に、項目一覧エリアに日付項目⇒日付1、時刻項目⇒時刻1項目が作成されます。

»日付・時刻項目のプロパティ⇒詳細タブで「日付・時刻直接入力」ボックスのチェックが外れている場合は、 内蔵時計が優先され入力エリアに日付・時刻項目の列は作成されませんが、チェックが入れている場合は、入 カエリアに日付・時刻項目が作成されます。



» 日付・時刻の各種設定は、日付項目・時刻項目のプロパティで行います。(⇒「6.6 日付項目のプロパティ」、 および「6.7 時刻項目のプロパティ」)

日時の補正

消費期限や賞味期限は、現在の日時よりも数日後または数時間後が期限になります。 それまでの日時を補正日時で調整します。 なお、サンプルラベルでは、補正日時が設定されていません。

» 消費期限・賞味期限など今後の日時を表示させる時は、補正日時を設定します。
 (⇒「6.6.1 [詳細] タブ」(日付項目のプロパティ)、および「6.7.1 [詳細] タブ」(時刻項目のプロパティ))

5.6 直線項目 🖿

ツールボックスの [直線項目を追加] アイコントをクリックし、レイアウトエリアで開始位置をクリック⇒終了位置までドラッグします。
 クリックした位置を始点、ドラッグを終了した位置を終点として、直線が描画されます。
 同時に、項目一覧エリアに線1項目が作成されます。
 >> 入力エリアには、線1項目は作成されません。
 なお、サンプルラベルは、直線が描画されていません。
 >> 直線項目の各種設定は、線項目のプロパティで行います。(⇒「6.8 直線項目・斜線項目のプロパティ」)

5.7 斜線項目 🖊

ツールボックスの [斜線項目を追加] アイコン / をクリックし、レイアウトエリアで開始位置をクリック⇒終了位置までドラッグします。
 クリックした位置を始点、ドラッグを終了した位置を終点として、斜線が描画されます。
 同時に、項目一覧エリアに線1項目が作成されます。
 > 入力エリアには、線1項目は作成されません。
 なお、サンプルラベルは、斜線が描画されていません。
 > 直線項目の各種設定は、線項目のプロパティで行います。(⇒「6.8 直線項目・斜線項目のプロパティ」)

5.8 四角形項目 🗖

 ツールボックスの [四角形項目を追加] アイコン□をクリックし、レイアウトエリアで四角 形1を開始する位置をクリック⇒向かい合う角の位置までドラッグします。
 クリックした位置を始点、ドラッグを終了した位置を終点として、四角形が描画されます。
 同時に、項目一覧エリアに四角形項目⇒四角形1が作成されます。
 » 入力エリアには、四角形項目の列は作成されません。



»四角形項目の各種設定は、四角形項目のプロパティで行います。(⇒「6.9四角形項目のプロパティ」)

.

5.9 イメージ項目 🛃

イメージ項目は、会社ロゴなどのイメージデータをレイアウトエリアに描画します。 » カラーイメージは、白黒に変換されます。

1. ツールボックスの [イメージ項目を追加] アイコン 🔀 をクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

イメージデータが保存されているファイルを選択し[開く]をクリックします。

20 開く						×	
				▼ 49	- デスクトップの検討	R 🔎	
整理 ▼ 新しいフォルダー					8== •	· 🔟 🔞	
☆ お気に入り ⇒ ライブラリ ◎ ドキュメント	^	名前 (論 ライブラリ - ぷ ホームグループ - <u>ほ</u> ino	サイズ	項目の種類	更新日時		
 ■ ピクチャ ■ ピデオ ♪ ミュージック 	E	● コンピューター ● ネットワーク ● CSV ● Image		ファイル フォル… ファイル フォル…	2013/12/07 10:54 2013/11/23 22:50		
🔞 ホームグループ		🔊 shinsei_logo.jpg	5 KB	JPEG イメージ	2014/03/14 13:51		
 ■ コンピューター ▲ ローカル ディスク (C:) ■ ボリューム (D:) ● DVD RW ドライブ (E:) 3 10 201- □ ローカル ディスク (F:) 	4						
ファイル名(<u>N</u>): sh	insei_logo	jpg		·	Image File(*.bmp; 開<(p) ↓	*.jpg;*.gi ▼ キャンセル	1
					- ()		

2. 画像の白黒変換画面が表示されますので、白黒画像が鮮明になるように最適なしきい値を選択して [OK] をクリックします。



クリックした位置を始点として、イメージデータが描画されます。 同時に、項目一覧エリアにイメージ項目⇒ shinsei_logo が作成されます。 » 入力エリアには、イメージの列は作成されません。

3. イメージデータのハンドルをドラッグしてサイズ調整します。

	147	ማት1					-	項目		
1	t	¹	2 3	4 5		7		■·文字 ■·バーコー ■·価格	- 14	
	1	ロースカイン 原材料:この くその	月子当 5、揚げ物、キャベツ、 2他卵、小麦、乳、大豆 14番	付合せ、トマト 注由来原料を含む)				■ 田田 ■ 時刻 ■ 四角形 ■ 四角形		
26	2	2015.01.2	2月1時							
		¥1,20		5 678904						
/		Sinsi 株式 東京	会社ハロー食品 都北区堀船4-12-	-15						
	4- [TEL	03-3913-0131				ШÀ			
\mathbf{R}										
		呼出番号	商品名	原材料の内容	** + .	会社名	±10 🗖	バーコー	FT.	価格1 _
2			니는 것까 말카질	マツ、付合せ	例、キャ 、トマト	体 马安全 食品	тлц-			
NՉ	Ľ.≯			(その他卿、 乳、大豆由来 む) 、乳化	小麦、 原料を含 剤	東京都4 4-12-15 TEL 03 0131	七区堀船 -3913-	48123458	78904	1200
	٠.									P
170	/ト/情報:	項目:10個	プリセット:	: 0/#(0B)	プリセットサ	イズ:230	в			% .:
771	クレ情報:	レイアウト:	5回 プリセット:	: 0件(0B)	テーブル:34	件(264B)	登録イメ	ージ:5件(3	.2KB)	フォント;

»イメージ項目の詳細設定については、「6.10イメージ項目のプロパティ」を参照してください。

5.10マーク項目 🖻

マーク項目は、リサイクルマークをレイアウトに描画します。

ツールボックスの [マーク項目を追加] アイコン
 をクリックし、レイアウトエリアで開始
 位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、リサイクルマークがレイアウトされます。 同時に、入力エリアと一覧エリアにマーク1項目が作成されます。

	140	ምኃՒ1				-	項目			
<u> </u>	4	ահովուտ	2 3	4 5	6		 B 文字 B パーコ ホ / # th 	-*		
	-	ロースかつ	·并当				 日付 日付 日付 			
	1-	原材料: こ間 (その) 、別	、 腸ブ物、キャベツ、 光明、小麦、乳、大豆 北和	付合せ、トマト 注由来原料を含む)			 B 四角(B) 1メー 	F 9		
26	2	2015.01.2	2 1時					-bl		
		¥1.20		5 678904						
/	9_1	Shined 株式 東京	会社八口一食品 都北区垣船4-12-	15						
	4_	TEL	03-3913-0131	c c		mh				
		呼出番号	商品名	原材料の内容		会社名		パーコード1	価格1	7-01
8			ロースかつ弁当	こ飯、揚げ ペツ、付合せ、	物、キャ - トマト	株式会社 拿品				
N٩	1	•		(モの1094、) 乳、大豆由来) む) 、乳化)	小変、 原料を含 削	東京都北 4-12-15 TEL 03- 0131	a≥ 408 18 3919-	4912345678904	1200	_
	1									,
ノイアウ	ト情報	: 項目:11個	プリセット	: 0/‡(0B)	プリセットサ	ナイズ:2358	3			大率:150% ;
771	のレ情報	・ レイアウト:	5個 プリセット	0(‡(0B)	テーブル:3	件(264B)	登録イメ	ージ:5件(3.2KB)	フォ	ント:0種類(0)

- » マーク項目のプロパティの [データ] タブで固定データに設定した場合は、入力エリアにマーク1の列は作成 されません。(⇒「6.11.2 [データ] タブ」(マーク項目のプロパティ))
- »マーク項目の詳細設定については、「6.11マーク項目のプロパティ」を参照してください。
- » 入力エリアにマーク1の列が作成された場合は、セル内のドロップダウンリストから「なし]・「プラ 6mm]・[紙 6mm] から選択することができます。

5.11 呼出番号項目 №

呼出番号項目は、呼出番号をレイアウトに表示します。

- »「呼出番号」は、プリセットデータ(レイアウトに項目データを入力した印字データ)ごとに関連付けられ、 重複するとエラーメッセージが表示されます。(⇒「11.入力エリア」)
- **1.** ツールボックスの [呼出番号項目を追加] アイコン№ をクリックし、レイアウトエリアで開 始位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、呼出番号項目がレイアウトされます。 同時に、項目一覧エリアに呼出番号⇒呼出番号1が作成されます。

- »入力エリアには、呼出番号の列は作成されません。
- » 呼出番号の桁数は、[レイアウト] リボン⇒ [プロパティ] ⇒ [呼出番号桁数設定] で設定することができます。
- »呼出番号項目の詳細設定については、「6.12呼出番号項目のプロパティ」を参照してください。

なお、サンプルラベルには、呼出番号項目が表示されていません。

5.12 発行枚数項目 😡

発行枚数項目は、ラベルの総発行枚数に対する発行枚数をレイアウトに表示します。

 ツールボックスの [発行枚数項目を追加] アイコン № をクリックし、レイアウトエリアで開 始位置をクリックします。

クリックした位置を始点として、発行枚数と総枚数項目がレイアウトされます。 同時に、項目一覧エリアに発行枚数項目⇒総枚数と発行枚数が作成されます。

- »入力エリアには、発行枚数項目の列は作成されません。
- » 発行枚数項目をレイアウトエリアに表示すると、発行枚数/総発行枚数はグループ化されていますので、右ク リックしてグループを解除した後で、それぞれの項目をレイアウトし直してください。
- » 発行枚数項目の詳細設定については、「6.13 発行枚数項目のプロパティ」を参照してください。
5.13 呼出番号の入力

入力エリアの各項目の項目データの入力が終了したら、呼出番号セルをダブルクリックして半角数

字で入力します。

たとえば、サンプルラベルのように呼出番号セルに「7」を入力します。 1つのプリセットデータに1つの呼出番号が対応します。

» レイアウト1に複数の呼出番号を付けてプリセットデータを作成することができます。



» 呼出番号が全てのレイアウトの中で重複すると次のようなエラーメッセージが表示されますので、重複しない 呼出番号を再入力してください。



5.14 レイアウトエリアの各項目の調整

入力エリアの各項目の項目データの入力が終了したら、レイアウトエリアの各項目の並びを揃えた

り 等間隔に調整したり、グループ化などをします。

»項目の揃え・等間隔・グループ化などについては、「7.2 レイアウトエリアのショートカットメニュー」、および「8.2 ホーム」を参照してください。

5.15 レイアウトの追加

レイアウトを変更したり、ラベルサイズを変更したりしてレイアウトを追加することができます。

» レイアウトを追加する方法については、「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」 を参照してください。

.

6. プロパティ

本章では、レイアウトプロパティおよび項目プロパティについて説明します。

6.1 レイアウトプロパティ

1 つのファイルに複数のレイアウトを作成することができますので、レイアウトごとに各種設定をレイアウトプロパティで行います。

- ・レイアウトエリア内の項目以外の部分をダブルクリック
- ・レイアウトエリア内を右クリックして表示されるショートカットメニューから [レイアウトプロパティ]
 を選択
- ・レイアウトタブを右クリックして表示されるショートカットメニューから [レイアウトプロパティ]、またはレイアウトタブをダブルクリックして選択

6.1.1 [一般] タブ

たとえば、レイアウトタブを右クリックして〔レイアウトプロパティ〕をクリックします。



[レイアウト設定] ダイアログが表示されます。

レイアウト設定				×
一般 詳細設定				
レイアウト名	マ-532×34mm			
- ラベル (単位: mm)				
ラベリリストから選択	<u>5</u> 標準(マーク	2)32≍34mu	- 54UA	*
ラベルタイプ	表マーク	ギャップ幅	0	
ラベル福	\$1.7	ラベル長	33.5	
二枚貼りレイアウト 印字関連設定	V-15-0-1	・ バーコード最低高さ	(1~100mm)	3.0 🛫
印字方式	ライアオフ	•		
注:カッタ· ◎ 発行終了 ◎ 何枚毎に	-設定は本体にカッター 後にカットする カットする 1	- 結着時 (0み)有効 ● 1~-99枚		
カッターモード	発行操作	自動(セノサー使用)	•	
利胡発行操作		自動(センサー使用)	-	
ライナーレスモー	ド発行操作	自動くセンサー使用)	-	
□ 印字時計を	リアルタイム更新	── 発行後テストパターン		
うべい出し方向	5			
0 88%L		◎ 尻だし		
印字する前確認	2直面設定	本体設定依存	•	
■ 湖銀 レイアウ	7トにig用	変更確認項目一覧表示		
● 金レイア	ケトに適用			
 同種類. 	イアウトのみに適用			
			DK	**>/211

[一般] タブの項目:	
レイアウト名	レイアウトタブにレイアウト名を設定することができます。
ラベル	
ラベルリストから選択	編集対象のレイアウトで使用するラベルをドロップダウンリス トから選択することができます。
ラベル編集	クリックして[ラベル編集]ダイアログを表示し、[ラベルリ ストから選択]で設定したラベルの設定内容を変更することが できます。[ラベル編集]ダイアログの操作方法については、 「8.6.7 ラベル編集(データグループ)」を参照してください。
ラベルタイプ	[ラベルリストから選択]で設定したラベルのラベルタイプが 表示されます。
ギャップ幅	[ラベルリストから選択]で設定したラベルのギャップ幅が表 示されます。
ラベル幅	[ラベルリストから選択]で設定したラベルのラベル幅が表示 されます。
ラベル長	[ラベルリストから選択]で設定したラベルのラベル長が表示 されます。
二枚貼りレイアウト	1 レイアウトで2枚のラベルを設定します。 *2枚目のラベルに項目をレイアウトした後に[二枚貼りレイアウト] のチェックを外すと、2枚目にレイアウトした項目が1枚目の左上 に配置されます。
フリーバーコード	レイアウト上のバーコード高さを自由に変更できます。
バーコード最低高さ	1~100mm の範囲で設定できます。
印字関連設定	
印字方式	[ティアオフ]、[連続] または [剥離] から印字方式を設定す ることができます。 たとえば、[ティアオフ] は、印字したラベルをカット位置ま で送り出します。
カッター動作設定	
発行終了後にカットする	ライナーレスラベルに印字終了後、ラベルをカッター位置まで 送り出して自動的にカットします。
何枚毎にカットする	設定した枚数毎にカッター位置まで送り出して自動的にカット します。
カッターモード発行操作	[自動(センサー使用)]または [手動(Eキー押下)]を設定 することができます。
剥離発行操作	[自動(センサー使用)]または[手動(E キー押下)]を設定す ることができます。
ライナーレスモード発行操作	[自動(センサー使用)]または[手動(E キー押下)]を設定す ることができます。
印字時計をリアルタイム更新	ラベル印字中でも時計項目をリアルタイムで印字します。
発行後テストパターン ラベル出し方向	ラベル発行後、テストパターンラベルを一枚発行します。
頭だし	[頭出し] は、ラベルのラベル出し方向が 逆視の状態でラベル

発行されます。

印字する前確認画面設定--------[本体設定依存]、「変更確認項目一覧表示」または[印字イメージ表示)]から設定することができます。

複数レイアウトに適用

全レイアウトに適用-----印字関連設定を全レイアウトに適用させます。

同種類レイアウトのみに適用-----印字関連設定を同じ種類のレイアウトのみに適用させます。



二枚貼りレイアウト

6.1.2 [詳細設定] タブ

詳細設定タブをクリックします。 本体の入力発行でレイアウト番号を入力する時に、レイアウトヒントを表示させることができます。



6.1.3 [値下設定] タブ(値下レイアウトの場合)

値下レイアウトを作成すると、プロパティに [値下設定] タブが追加されます。 たとえば、値下レイアウトタブを右クリックして [レイアウトプロパティ] をクリックします。 次に、 [レイアウト設定] ダイアログで [値下設定] タブをクリックします。

	(1~09)	
 UPGAに展開 先頭「町埋めでGDなし 先頭「町埋めでGDなし 		
「小田小山田田市」 「小田」「山田」		
◎ 值下设価格	○ (前下部)	
WHICH I	処理析故	
 切捨て 	 ・ ・ ・	
◎ 切上げ	一小数点後2桁	
	ウイザードで再設ス	

[値下設定] タブの項目: %引き設定 最大値下げ幅-------最大値下げ幅を%引きで設定します。 UPCE(元バーコード)設定 UPCA に展開 -------元バーコードを UPCA として展開します。 先頭「0」埋めで CD なし------先頭桁を「0」桁にして CD の桁がありません。 先頭「0」埋めで CD あり-------先頭桁を「0」桁にして CD の桁があります。 端数処理設定 処理対象 値下後価格------値下後価格を端数処理の対象とします。 値下額------値下額を端数処理の対象とします。 端数処理 切捨て------端数処理の桁を切捨てします。 切トげ------端数処理の桁を切上げします。 四捨五入-------端数処理の桁を四捨五入します。 処理桁数 指定なし------小数点後の桁数を指定しません。 小数点後2桁------小数点後2桁を端数処理します。 小数点後1桁------小数点後1桁を端数処理します。 値下ボタン定義------以下の「値下ボタン定義」を参照してください。 ウィザードで再設定------以下の「ウィザードで再設定」を参照してください。

値下ボタン定義

[値下ボタン定義]をクリックすると、[値下ボタン定義]ダイアログが表示されます。 値下方式のフラグに対応して値下幅を設定します。

		値下方式	1	2	3	4	5	6
1	۲	%弓 (1~50)	5	10	20	30	40	50
2		円引(1~99999)	10	50	100	200	300	500
3		新価格(1~99999)	10	50	100	200	300	500

ウィザードで再設定

[ウィザードで再設定]をクリックすると、[値下ラベル作成ウィザード]画面が表示されます。 ウィザードの最初の画面では、「値下げ方式」および「値下ラベルの表示方法(%引・円引・新価格)」を 選択します。

(単下け方式選択) (一入力必須 ● 新価格の場合、入力不要 (● 公月(元価格有り)) (円引護(元価格有り)) (新価格の場合、入力不要) (● 公月(元価格無し) (一円引護(元価格無し)) (新価格(元価格無し)) (● 公月(元価格無し) (一一円引護(元価格無し)) (一一町一個本の場合、チェックを 価格の場合、入力不要		値下ラベル作成ウィザート	\$	
アレー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー		値下げ方式選択		
● 入力必須 ● 新価格の場合、入力不要 ● %31(元価格有り) ● 円引類(元価格有り) ● 新価格(元価格有り) ● %31(元価格無し) ● 円引類(元価格無し) ● 新価格(元価格無し) ● %31(元価格無し) ● 円引類(元価格無し) ● 新価格(元価格無し) ● %31(元価格無し) ● 円引類(元価格無し) ● 新価格(元価格無し) ● %31(元価格無し) ● 明引類(元価格無し) ● 新価格(元価格無し) ● %31(元価格 ● 八面格(が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要 値下価格が新価格の場合、入力が石 ます。		☑ 元価格入力画面		
マッ%引(元価格有り) ア月引鎮(元価格有り) 新価格(元価格有り) マッ%引(元価格無し) ア月引鎮(元価格無し) 新価格(元価格無し) マッ%引(元価格無し) ア月引鎮(元価格無し) 新価格(元価格無し) アビブラ式選択]: アビブラ式選択]: 格入力画面 力必須		🔲 入力必須	📄 新価格の場合、入力ス	不要
Will (元価格無し) () 円引 (顕元価格悪し) () 所価格(元価格悪し) () % 引 (元価格無し) () 円引 (顕元価格悪し) () 所価格(元価格悪し) () 「頭い" 20%3) () () () () () () () () () () () () () (☑ %引(元価格有り)	☑円引額(元価格有り)	📝 新価格(元価格有り)
Will(元価格無し) PH3 [鎮元価格無し) 新価格(元価格無し) 「「「「」」」」 「」」」」 「」」」」 「「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」		20%3 15847		董下教师将789円 ED14 111111 (2225491988)
Fif方式選択]: 格入力画面 力必須入力価格が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要値下価格が新価格の場合、入力がすます。		☆ %引(元価格無し) ☆ ### 20%引 ☆ ### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ #### 20% ☆ ################################	⑦ 円引額(元価格無し) ₱売間により ₱売間により ●	新価格(元価格無し)
F げ方式選択]: 格入力画面 力必須入力価格が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要値下価格が新価格の場合、入力が7 ます。		0014 1111111 429(2188)/85533	0514 1111111 408/21602/05033	
Fげ方式選択]: 格入力画面 力必須入力価格が必須の場合、チェック 価格の場合、入力不要値下価格が新価格の場合、入力が ます。				
Fげ方式選択]: 格入力画面 力必須入力価格が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要値下価格が新価格の場合、入力が不 ます。			戻る	
格入力画面 力必須入力価格が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要 値下価格が新価格の場合、入力が不 ます。	[値下げ方式選択]:			
油入り画面 力必須入力価格が必須の場合、チェックを 価格の場合、入力不要値下価格が新価格の場合、入力が7 ます。				
力必須		-		の担合「イール」
価格の場合、入力不要 値下価格が新価格の場合、入力が7 ます。	人刀必須)	く 刀価格か必須の	刀場合、ナエッ ク
ます。	新価格の場合、入力	不要 値	直下価格が新価権	格の場合、入力が
		ਹ ਟ	ます。	
		c c		

次の画面を表示する場合は、[次へ]をクリックします。 以降のウィザード画面は、以下のとおりです。

[社員番号関連定義] 画面

[社員番号関連定義] 画面では、必要に応じて社員弁号関連定義を行います。 社員番号関連定義をすると、値下ラベルを発行する時に社員番号の入力が必要となります。

値下ラベル作成ウィザード	×
☆社員番号関連定義	
□ 社員番号使用 社員番号術数 7 (1~14)	
□ 先頭に「0」で埋める	
□ 責任者番号使用条件設定	
□ 最大値下制限以上入力しようとする場合	
□ 新価格を入力しようとする場合	
厚る 次ム キャンセ	π
	<u> </u>
<u>()</u>	

次の画面を表示する場合は、[次へ]をクリックします。

[出力バーコード定義] 画面

[出力バーコード定義] 画面では、値下後の出力バーコードを定義します。 次の図では、[CODE128- 新盛 20 桁 -I] を選択しています。

値下ラベル作成ウィザード
出入力バーコード定義(Code 128)
出ノハーコート指定 UUUE128-新盤2W的-1 ▼
バーコード桁鼓: 20 🔶 範囲:13~60桁
値下データ桁数: 5 🍚 範囲:4~8桁(出力バーコードに値下データの桁数)
√ データ部最後の桁をC/D(モジュラス10)に指定
- JAN2段バーコードのフラヴ 1f段目 フラヴ 00 2f段目 フラヴ 00
出力バーコード構成。色で構成を表す、青色は未定義部分。
1234567890123 <mark>4</mark> 567890
1
戻る 次 キャンセル

次の画面を表示する場合は、「次へ」をクリックします。

[出力バーコード構成項目定義] 画面

[出力バーコード構成項目定義] 画面では、出力バーコードに反映させる元バーコードの種類などを 定義します。

次の図では、[元バーコード(13桁)]を選択しています。

値下ラベル作成さ	ウィザード	×
出力バーコード構	構成項目定義	
種類	元バーコード(13桁) 🔹	
固定データ	日付」 「「「「」」「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」	
日付形式	値下げ方式(1桁) 新価格	
時刻形式 7	元ハーコード(13行) 元パーコード種類(1行)	
桁数 仰	時刻 値下げデータ 開閉したシャックコード	
未定義析数: 幕	期限	
	現荷日に後の設定は起た底を	* **
	現4日以後の病又と11年間で用き	69W
出力バーコード	ド構成(青数字部分は未定義):	
	12245670001224567000	
	123430/890123430/890	

[次へ]をクリックすると、選択内容に応じて画面が切り替わります。

切り替わった画面で、必要な事項を設定します。たとえば、[値下げ方式(1桁)]を選択して、[%引き]・ [円引き]・[新価格]を対応するフラグを定義します。

値下ラベル作成ウィザード	×
出力バーコード構成項目定範 種類 値下け方式(固定データ 日付 固定データ 日付 日常 一次 日付形式 新価格 元パーコード構 時刻形式 6 ドゲータ 桁数 期限チェックフラ 市成 期限 未定義術数: 6	 (値下(げ方式フラヴ定義) %31き 1 金 (0~9) 円引額 2 金 (0~9) 新価格 3 金 (0~9)
出カバーコード構成(書数: 12345	現項目以後の設定情報を廃棄する ■部分は未定義): 67890123 <mark>4567890</mark>

必要な事項を設定したら、〔次へ〕をクリックします。

[次へ]をクリックすると、選択内容に応じて画面が切り替わります。 次の図では、[値下げデータ]を選択しています。

値下ラベル作	成ウィザード X
-出力バーコー	-ド構成項目定義
種類	値下げデータ □ プライスチェック(PC)
固定データ	
日付形式	*71回98 元パーコード種類(1桁) 時なり
時刻形式	マラクション 「値下げデータ」 第17月 チャックコーン
桁数	IIR .
未定義桁数	(:5
	現項目以後の設定情報を廃棄する
出力バーコ	ード構成(書数字部分は未定義):
	12345678901234567890
,	

次の画面を表示する場合は、「次へ」をクリックします。

[出力バーコード確認] 画面

[出力バーコード確認] 画面では、表示された設定内容を確認します。 確認後、[終了] をクリックしてウィザードを閉じます。



6.2 項目プロパティ(共通項目)

レイアウト上の項目の各種設定を項目プロパティで行います。 この節では、項目プロパティの共通項目について説明します。 その他の項目は、次節以降の各項目プロパティを参照してください。

項目プロパティは、以下の方法で表示することができます。

- ・レイアウト上の項目をダブルクリック
- ・レイアウトエリア内の項目を右クリックして表示されるショートカットメニューから[項目プロパティ]
 を選択
- ・項目一覧エリアの各項目をダブルクリック

項目の種類ごとに項目プロパティの設定内容が異なりますが、一部の項目は共通です。 主な共通設定は、次の表のとおりです。

	[データ] タブ または その他画面		[詳細] タブ または <i>そ</i>			
	[データ元(データ・ソース)]	[入力方式]	[一時変更設定]	[印字設定]	[フォント設定]	[ナンバーリング] タブ
文字項目のプロパティ	0	0	0	0	0	0
バーコード項目のプロパティ	0	0	0	0	0	0
価格項目のプロパティ	0	0	0	0	0	
日付項目のプロパティ	0	0	0	0	0	
時刻項目のプロパティ	0	0	0	0	0	
イメージ項目のプロパティ	一部		0	0		
マーク項目のプロパティ	一部		0	0		
呼出番号項目のプロパティ				0	0	
発行枚数項目のプロパティ				0		

6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)

[データ元(データ・ソース)]項目グループは、文字項目 / バーコード項目 / 価格項目 / 日付項目 / 時刻項 目 / イメージ項目(一部)/ マーク項目(一部)のプロパティで共通の設定項目です。

たとえば、「商品名」項目を右クリックして、「項目プロパティ」を選択します。



文字項目のプロパティが表示されます。

名称 商品名 桁数(半角) 18		
データ元(データ・ソース)		
◙ 遺常入力	② 合成	
◎ テーブルから取得	© 95¢	
◎ 固定テータ	0 7E	
入力方式		
入力必須	宣 全桁入力	
■ 0入力禁止	□ 全桁入力後次の項目へ	
■スキャナー入力許可	🔲 スキャナのあ入力許可	
🗌 ユーザ辞書使用許可		
一時変更設定		
📄 強制一時変更	手助一時変更	
	一 時変更前にデータをクリア	
□ 連続入力	*	

[文字項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ



○ 固定データ

入力必須

0入力禁止 2米ッナー入力許可 ユーザ辞書使用許可

| 佳制→時変更 | 一時変更内容を記憶 ○演算

全桁入力

□ 全桁入力後次の項目へ
 □ 入をゃナのみ入力許可

□ 千動一時変更 □ 一時変更前にデータをクリア

[バーコード項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[価格項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[日付項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

OK キャンセル

X



[時刻項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[イメージ項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[マーク項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[データ元 (データ・ソース)] 項目グループの項目:

通堂入力	「文字項目]、「バーコード項目]、「価格項目]、「日付項目]、お
	よび [時刻項目] で設定することができます。(⇒「通常入力」)
テーブルから取得	すべての項目で設定することができます。(⇒「テーブルから
	取得」)
固定データ	すべての項目で設定することができます。(⇒「固定データ」)
合成	複数の項目データを1つの項目データに合成することができま
	す。(⇒「合成」)
リンク	[文字項目]、[バーコード項目]、[価格項目]、[日付項目]、お
	よび[時刻項目]で設定することができます。(⇒「リンク」)
演算	数値項目どうしを演算することができます。(⇒「演算データ」)
リストから選択	[イメージ項目]、[マーク項目] で設定することができます。(⇒
	「6.10.2 [データ] タブ」(イメージ項目のプロパティ)、「6.11.2
	[データ] タブ」(マーク項目のプロパティ))

通常入力

入力エリアで項目データを入力する場合に、[データ元 (データ・ソース)]から [通常入力]を選択します。

テーブルから取得する

項目に関連付けられたテーブルから項目データを取得する場合に、[データ元(データ・ソース)]から[テーブルから取得]を選択します。

[テーブルから取得]を選択した場合、[テーブル関連付け]項目が表示されます。

»項目一覧エリアの対応する項目に[テーブル関連]と表示され、レイアウト上の項目がどのテーブルに関連付けられているかがわかります。

»項目データの項目は、入力エリアに表示されません。

»テーブルの作成については、「8.6.1テーブル新規作成(テーブルグループ)」を参照してください。

名称 商品名			
桁数(半角) 18	🗧 桁加固定	テーブル関連付け	
データ元(データ・ソース)			
◎ 通常入力	⑦ 合成	テーブル名	
◎ テーブルから取得	◎ リンク	フィールド	
◎ 固定テータ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	キーフィルドに関連付項目	Ψ
入力方式			
■ 入力必須	🔲 全桁入力		
■ 0入力禁止	□ 全桁入力後次の項目へ		
■ スキャナー入力許可	🔲 スキャナのみ入力許可		
- ユーザ辞書使用許可			
一時変更設定			
📃 強制一時変更	🥅 手動一時変更		
一時変更内容を記憶	- 一時変更前にデータをクリア		
□ 連続入力	-		

例)文字項目の場合

[テーブル関連付け]の項目:

テーブル名-----アルを選択します。 フィールド-----ドロップダウンリストから使用するテーブルを選択します。 テーブル名として[店舗情報テーブル]を選択した場合

275 蘇島名				
118 計数(半角) 18 データ元(データ・ソース)		テーブル関連付け		
◎ 遺常入力	一 合成	テーブル名	店舗情報テーブル ▼	
◙ テーブルから取得	◎ リンク	24°-148	-	
◎ 固定データ	(7) 演算	キーフィルドに関連付項目	Ψ	
入力方式		▼ 本体店舗情報を使用		
□入力必須	🔲 全桁入力			
■ 0入力禁止	■ 全桁入力後次の項目へ			
コスキャナー入力許可	🔲 スキャナのみ入力許可			
コーザ辞書使用許可				
一時変更設定				
- 強制一時変更	🥅 手動一時変更			
一時変更内容を記憶	── 一時変更前にデータをクリア			
道德入力	*			

[本体店舗情報を使用] ボックスが表示されます。

チェックを入れた場合------本体(プリンター)に保存されている店舗情報を使用します。 本体の店舗情報は、ホーム画面のデータ管理⇒店舗情報にタッ チすると表示されます。

チェックを外した場合------入力エリアでドロップダウンリストから店舗情報テーブルでリンクされた店舗情報を選択することができます。

»店舗情報テーブルは、マルチテーブルのオプションで店舗情報テーブルに指定して作成します。

(⇒「8.6.1.1 マルチテーブル」を参照してください。)

固定データ

データの入力内容を固定したい場合に、[データ元(データ・ソース)]から[固定データ]を選択します。 [固定データ]を選択した場合、固定データを入力するための[固定データ入力]項目が表示されます。

- » [固定データ]を選択すると、入力エリアに項目データの項目列が表示されなくなります。
- » イメージ項目、およびマーク項目の固定データの操作方法については、「6.10.2 [データ] タブ」(イメージ項目のプロパティ)、および「6.11.2 [データ] タブ」(マーク項目のプロパティ)を参照してください。

名称 商品名			
桁数(半角) 0	🗧 - 桁加固定	固定了一刻入力	
データ元(データ・ソース)―			
◎ 通常入力	② 合成	固定データ	
◎ テーブルから取得	0 928 		
 国産ナータ 	())))) () () () () () () () () () () ()		
入力方式			
入力必須	🔄 全桁入力		
0入力禁止	□ 全桁入力後次の項目へ		v
□ スキャナー入力許可 □ ユーザ辞書使用許可	スキャナのみ入力許可		
一時変更設定			
- 陸制一時変更	手帥一時変更		
——時遊更內容を記憶	── 時変更前にデータをクリア		
連続入力	Ţ		

例)文字項目の場合

[**固定データ入力**]の項目: 固定データ-----レイアウト上の項目に反映されます。

合成

複数の項目データを合成して1つの項目データにしたい場合に、合成したい項目プロパティの[データ元 (データ・ソース)]から[合成]を選択します。

[合成]を選択した場合、合成したい項目データを選択する [合成入力] フレームが表示されます。

» [合成] を選択すると入力エリアに項目データの項目列が表示されなくなります。

たとえば、文字項目1に入力された[株式]と文字項目2に入力された[会社]の文字項目を文字項 目3に合成させた場合について説明します。



文字項目3の [項目プロパティ] ⇒ [合成] を選択します。

名称	文字3			
桁数(半角) 🛛		🚽 🗌 桁別固定	合成入力	
 データ元(データ 適常入力 テーブルから 	・ソース) 取得	 ◎ 合成 ◎ リンク 	項目一覧 文字1 文字2	結合子項目 項目サイズ自動計算 項目 桁数
- 入力方式 	力許可 東用許可	 ■ 全和入力 ■ 全和入力核次の項目へ ■ スキャナのみ入力許可 	子項目析数不足处理	< >
一時変更設定 登制一時渡 一時変更内	変 濟を記憶	 ● 手動一時変更 ● 一時変更前にテータをクリア 	データ理めの文字 日 付時参順目 の合成の形式 項目間の区切り設定	▼
□速続入力		*		

データ埋めの文字------アルダウンメニューからデータ埋めの文字を選択します。

日付時刻項目の合成の形式	日付・時刻項目を合成する時に選択します。
桁数固定	区切り文字を含まない数字だけが合成されます。
印字データ	区切り文字を含んだ数字で合成されます。
補正データ	補正データを含んだ項目を合成すると表示され、補正日が合成され
	ます。
項目間の区切り設定	項目間に全角または半角文字を1文字挿入して区切ることがで
	きます。

項目一覧枠の[文字1]と[文字2]を[><]キーで結合子項目に移動させ[OK]をクリックします。

^{データ} 野細 <u>ナンバーリング</u> 名称 文字3 桁鼓(半角) 20	🔄 🗌 桁梯固定	合成入力	
 通常入力 ラーグルがら取得 団定データ 入力方式 入力が須 ロスカ禁止 スク禁止 コーゲ会社(日時本) 	 ● 合成 ● リンク ● 須算 ● 全柏入力 ● 全柏入力(協力の項目へ) ● スキッナのみ入力許可 		
 →時変更設定 ○ 強制→時変更 ○ 一時変更内容を記憶 ○ 連続入力 	 ←時変更 ・ ・	データ想めの大学 日 付時参加目の合成の形式 項目間の区切り設定	SPACE ▼ 打扰面定 ▼

文字項目3に [株式会社] と合成されました。



リンク

他の項目とリンク(関連付け)を設定し、リンクした項目のデータの一部を表示したい場合に、[データ元 (データ・ソース)]から[リンク]を選択します。

[リンク]を選択した場合、[リンク]項目が表示されます。

»[リンク]を選択すると、入力エリアに項目データの項目列が表示されなくなります。

デージ元(データ・ソース) ● 通常入力 ● テーブルから取得 ● 団電子ータ 入力方式 ■ 入力方式 ■ 入力の須 ■ 0入力詳し 0 スキャナー入力詳可 ■ スーサ読書使用許可	 合成 第1000 第2 第2 金石入力 全石入力 全石入力(法)大の項目へ スキャナのみ入力許可 	リンク先、 リンク先の開始は広置 リンク先がら取得研想 リンク方式 A成改定 (リンク先での外下位置=10 桁	JXーコード! ・ 1 上 10 上 注意の別ンク・ ・ 0 と 目) 日
 →時変更該定 ● 第前一時変更 ● 時変更内容を記憶 ● 時変更内容を記憶 ● 通続入力 	 ● 手動→時変更 ● 一時変更訂にデータをクリア 		

例)文字項目の場合

[リンク]の項目:

リンク先 ------データの一部を表示する他の項目(リンク先項目)をドロップダウン リストから選択します。

- リンク先の開始位置-----使用するデータ範囲の開始位置(桁数)を指定します。
- リンク先からの取得桁数-------[リンク先の開始位置]から何桁のデータを使用するか指定します。
 - »数値項目は、数字1文字が1桁であることに注意してください。
- リンク方式-----ドロップダウンリストから選択します。
- A | 設定 ------リンク先方式で [A | データをリンク] を選択した時に有効になります。

演算

項目データの数値と項目データの数値を演算して、演算結果を表示します。

» 演算するには、項目データが数値(半角)に設定されている必要があります。 (項目プロパティ⇒詳細タブ⇒漢字のチェックを外ずし、数字のみにチェックを入れます。)



たとえば、計り売り商品のデータを作成した場合について説明します。

価格項目2の[項目プロパティ]⇒[データ]タブ⇒[演算]を選択します。

演算フレームの演算項目ーに計りたい項目の数値を演算項目二に単価を選択し演算子を選択します。 ここでは、演算子として掛け算を示す[x]を選択します。

データ元(データ・ソース)―				
〕通常入力	○ 合成	注算項目ー 注算子	"這算項目二 	
ラテーブルから取得	 リンタ 	X+0 V X	VINGI ~	
〕固定データ	④ 淮算	小数点後の構成(0-4)	0	
入力方式		小额加加速度	Rute T V	
入力必須	全桁入力	1 0.000	CONTRACT 1	1
0入力禁止	○ 全桁入力後次0項目へ			
スキャナー入力許可	□スキャナのみ入力許可			
ユーザ辞書使用許可				
時変更設定				
硅制一時変更	手動一時変更			
一時変更内容を記憶	□ 一時変更前にデータをクリア			

なお、演算子には、四則計算の他に [あまり計算(演算子:%で表示)] もすることができます。

項目 タ 詳細 ナンバーリング				4		-
名称 文字4						
桁数(半角) 18	🗧 🔲 桁張加定	清算				
データ元(データ・ソース)						
◎ 通常入力	◎ 合成	演算項目一	演算子	演算項目二		
◎ テーブルから取得	◎ リンク	文子2 •		(文十3	•	
◎ 固定データ	◎ 演算	小教点後の桁	- 610×	0		
入力方式		1. 24 (0.40.20	~~ <u>~</u>	r (mither 1		
入力必須	■ 全桁入力	小板の処理	·	四指五八	-	
□ 0入力禁止	🔄 全桁入力後次の項目へ	※注:あまり計算は正数	獣のみ対応し	いています。		
スキャナー入力許可	□ スキャナのみ入力許可					
- ユーザ辞書使用新刊						
一時変更設定	- +3 1-10° T					
	一時変更前にデータをクリア					
演统入力						
				or	1 200	
				OK		570

価格項目2に掛け算された数値が表示されます。



6.2.2 入力方式(共通項目)

[入力方式]項目グループは、文字項目 / バーコード項目 / 価格項目 / 日付項目 / 時刻項目のプロパティで 共通の設定項目です。



[バーコード項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[価格項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ



◎ テーブルから取得	 周定データ 	
1+++	0 8007 7	
	一 本 約 1 わ	
○ 八月29月	 王111八/J 二 王111八/J 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	
□ 0人/示正 □ 2キャナー入力許可	三 ± 11/1/18/20項目へ	
	2 X4 Y3 00070 Jate1	
一時更更設定	■ 手動→時変更	
一時変更内容を記憶	 一 時変更前にデータを加速 	
		OK キャンセル
価格項目		
価格項目		
価格項目 詳細 データ 桁徴(半角) 4		
価格項目 詳細 「データ」 桁数(半角) ギータ元(データ・ソース)	🚖 🔄 桁鼓固定	
価格項目 詳細 (データ) 桁筋(半角) 4 データ元(データ・ソース) の) 通常入力	 ● 町×2 	
価格項目 詳細 析数(半角) 様 データ元(データ・ソース) ● 通称スカ ● テーンルから取得	● ●	
価格項目 詳細 <u>データ</u> 析数(半角) (4 データ元(データ・ソース) ・ 通常入力 ・ プーガルや取得 ユリナギ	 ① 桁数固定 ① リンク ② 固定データ 	
価格項目 詳細 (データ) 行動(半角) (データ元(データ・ソース) ● 通常入力 ● テーブルがら取得 入力方式 → カッペ海	 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ <	
価格項目 詳細 (データ) 桁数(半角) 4 データ元(データ・ソース) ・ 適応不入力 ・ テーブルから取得 入力方式 ・ 入力必須 ・ コンカル・	・ 布裁固定 ・ リンク ・ 固定データ ・ 会布入力 ・ 今方3 大方(************************************	
価格項目 詳細 データ 析放(半角) ↓ データ元(データ・ソース) ● 通常入力 ラーブルから取得 入力方式 入力が点 へ入力際通 ■ ストルキコ コンドラ コンドラ マータ・シース) ● ホーム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ 新設園定 ・ <th></th>	
価格項目 詳細 データ 桁数(半角) ↓ データ元(データ・ソース) ・ 適本入力 ・ テーブルがら取得 入力方式 、入力必須 ・ の入力第止 、スキャナー入力は可 フィザダ素(伊用)+可	・ リンク ・ 新秋回定 ・ リンク ・ 固定データ ・ 量金和入力 ・ 金和入力(能大の項目へ) ・ 全和入力(能大の項目へ) ・ スキャナのみ入力許可	
 価格項目 詳細 (データ) 市法(半角) (データ元(データ・ソース) 通常入力 テーブルがら取得 入力方式 スカカ必須 ヘンカ第止 スキャナー入力ド可 ユーザ浴書使用ド可 メカカ(学) 	 ・ リンク ・ 国定データ ・ 金桁入力 ・ 全桁入力 ・ 全桁入力(法への項目へ) ・ スキャナのみ入力許可 	
 価格項目 詳細 データ 析放(半角) (4 データ元(データ・ソース) 適応入力 テーブルがら取得 入力方式 入力方式 入力が満 ストャナー 入力応 ストャナー 大力応可 ユーザ好書使用許可 中埼室更設定 本料ーは表示 	・ ・	
価格項目 詳細 データ 桁数(半角) (4 データ元(データ・ソース) ・ 適本入力 ・ テーブルがら取得 入力方式 、入力必須 ・ の入力第止 、入力必須 ・ の入力第止 、 スキッサー入力は可 ・ ユーザがき使用比可 ・ 一時変更 読定 ・ 強制一時変更	 ▲ ● 布数固定 ● リンク ● 固定データ ● 金和入力 ● 全和入力(法入の項目へ) ○ スキャナのみ入力は下す ● 手動一時変更 	

OK キャンセル



[日付項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[時刻項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[入力方式] 項目グループの項目:

入力必須 ------項目の入力を行わないと次の項目を設定できないように制限する場合 にチェックを入れます。 全桁入力 ------項目に指定された桁数以下のデータの入力を制限する場合にチェック を入れます。

バーコードを合成項目で作成したような場合、元項目の桁数が変わる

とバーコード(合成項目)が成立しなくなるような場合に設定します。

- »例)買上値を 100cm 以上で販売するような場合に、[買上値]項目に[全 桁入力]を選択します。
- 0 入力禁止 -------項目の入力を「0」のみにできないように制限する場合にチェックを 入れます。

全桁入力後次の項目へ------項目に指定された全桁数のデータが入力されると自動的に次の入力項 目へ移動させる場合にチェックを入れます。

> »項目に指定された桁数以下のデータを入力した場合は、E キーで次の項目 へ移動します。

スキャナ入力許可------入力エリアでの入力に加えて、neo-7 のスキャナで読み取った内容 (バーコード)も項目に入力できるようにする場合にチェックを入れま

- す。
- » スキャナでは漢字では読み込めないため、[詳細] タブの [漢字入力] の チェックを外してください。
- » 呼出発行時にスキャナによる入力を行う場合は、同時に[一時変更設定] ([強制一時変更] / [手動一時変更])を設定してください。
- »項目の桁数より大きい桁のバーコードを読み取った場合は、桁数を超過し た部分のデータは削除されます。

- »スキャナ入力時は、スキャン後自動的に次の項目へ移動します。
- » [スキャナ入力許可] と [スキャナのみ入力許可] を同時に設定すること はできません。
- スキャナのみ入力許可------neo-7のスキャナで読み取った内容(バーコード)だけを項目に入力 できるようにする場合にチェックを入れます。
 - » スキャナでは漢字では読み込めないため、[詳細] タブの [漢字入力] の チェックを外してください。
 - » 呼出発行時にスキャナによる入力を行う場合は、同時に[一時変更設定] ([強制一時変更] / [手動一時変更])を設定してください。
 - »項目の桁数より大きい桁のバーコードを読み取った場合は、桁数を超過した部分のデータは削除されます。
 - »スキャナ入力時は、スキャン後自動的に次の項目へ移動します。
 - » [スキャナ入力許可] と [スキャナのみ入力許可] を同時に設定すること はできません。

×

6.2.3 一時変更設定(共通項目)

[一時変更設定]項目グループは、文字項目 / バーコード項目 / 価格項目 / 日付項目 / 時刻項目 / イメージ項 目/マーク項目のプロパティで共通の設定項目です。

[文字項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

文字項目 データ 詳細 ナンバーリング 名称 商品名 桁数(半角) 18 🔹 📄 机动力定 データ元(データ・ソース) ◙ 通常入力 ◎ 合成 ● テーブルから取得 のリンク ◎ 固定データ () 演算 入力方式 入力必須 🔲 全桁入力 全桁入力後次の項目へ
 スキャナのみ入力許可 ロ入力禁止
 ロ入力禁止
 スキャナー入力許可
 ユーザ辞書使用許可 的変更設定 手動一時変更
 一時変更前にデータをクリア □ 強制→時変更
 □ 一時変更内容を記憶 | 速続入力 OK #wordth



桁掛(半角) 4	🛁 🔲 桁拗因定	
データ元(データ・ソース)	- HISKELAE	
 通常入力 	რ სახ	
◎ テーブルから取得		
入力方式		
📄 入力必須	📄 全桁入力	
📃 スキャナー入力許可	📰 スキャナのみ入力許可	
🔲 ユーザ辞書使用許可		
一時変更設定		
📄 強制一時変更	🥅 手動一時変更	
一時変更内容を記憶	── 時変更前にデータをクリア	

[バーコード項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[価格項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ



[時刻項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[イメージ項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[マーク項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[一時変更設定] 項目グループの項目:

- - 次回の変更時に、前回変更されたデータ内容が表示されます。
 - [強制一時変更] にチェックを入れた場合、[一時変更内容を記憶] と [一時変更前にデータをクリア] を同時に設定することはできません。
- - に有効となり、プルダウンメニューから設定値を選択することができ ます。
- » [手動一時変更]を設定し、[一時変更内容を記憶]、[一時変更前にデータをクリア]の両方にを付けた場合、[F4] キーで一時変更をしてラベルを発行すると、一時変更されたデータが記憶され、次回 [F4] キーを押して変更 を行わない限り、記憶された一時変更内容で印字されます。

6.2.4 印字設定(共通項目)

[印字設定]項目グループは、文字項目/バーコード項目/価格項目/日付項目/時刻項目/イメージ項目/マーク項目/呼出番号項目/発行枚数項目のプロパティで共通の設定項目です。

[文字項目] ダイアログ⇒ [詳細] タブ



バーコード項目		
詳細 データ ナンバーリング		
名称 バーコードタイプ	バーコード1 JAN1%(1%行)	
(パーコード(一)次元コード)		印字する前に確認表示
モジュール幅 3 細・太バー比率 1:2	 パーコード長 80 ● ■ NONPLU CD 自動計算 ▼ 	
- 付帯文字 - 付帯文字位置 - 付帯文字位置会わせ	(下 ▼)	
	付帯文字フォント	
		OK キャンセル

[バーコード項目]	ダイアログ⇒	[詳細]	タブ

[価格項目] ダイアログ⇒ [詳細] タブ

名称	価格1		日序設定	6	0		
項目内配置					。 7.60字		-
データ位置	右寄せ		7				-
総額表示設定			フォント種類	ē (内蔵フォント		*
価格タイプ	通常価格		- 7:01-8		価格8(16pt	5.6m)	•
辅放起理设置					を :自由に拡大縮	小可能	
一処理対象-			植倍率	1	1		*
(i) 1228		○ 算出価格	縦倍率	1	1		•
処理術数		端数处理	女字間隔	Į.			-
 語定なし 小敬貞社 	, 夏2相行	 回 切捨 (回 切上付 			「太平」	1184년	all as
◎ 小数点征	麦1桁	◎ 四捨五入		i i	白抜き	反転	
通貨記号				1	下得		
通貨記号		(大)	• 1354mm				
位置合わせ		下端揃え	- √%p=0+7 -	军视频有效	位置合わせ	下端揃之	
通貨記号と価格	名文字 (1)間隔	0	● ■ 22数72	シトを使用	小数フォン	ト詳細設定	ī
■ かで.」を	挿入する	■□円の場合印字	小教と聖教	065565 0			
	価格前に置く		☑ 强制的	に小数点後2桁まで	- HP字		

6. プロパティ 6.2 項目プロパティ

細データ	Cramillaria	
名称 日付1	日子設定	0
形式		♥ 印字
日付種類 yyyy.mm.dd v 区切り文字 . v	フォント設定	
週の表現形式 なし	フォント種類	内蔵フォント・・・
暦種類	フォント名	漢字ゴシック(8pt, ▼
暦種類 西暦 → □年号印字		理:自由に拡大縮小可能
	横倍率	1
補正単位 日 - 1日の補正は当日にする	縦倍率	1
	文字間隔	0
		□太字 □ 斜体
□ 消費/賞味期限自動切替 切替日数 4 → (1~99)		□ 白抜き □ 反転
補正 補正データなし時に印字しない		□ 下線
全角数字使用 印字する前に確認表示		
		UK 445/2/

[日付項目] ダイアログ⇒ [詳細] タブ

[時刻項目]ダイアログ⇒ [詳細]タブ

[イメージ項目] ダイアログ⇒ [印字] タブ

[マーク項目] ダイアログ⇒ [印字] タブ

么称	時刻1	フォント設定	
-010 F0字時空	*1363	フォント種類	内蔵フォント
回転角度	0	フォント名	漢字ゴシック(8pt,
	✓ 印字		聖:自由に拡大縮小可能
形式		横倍率	1
時間形式	bb -	縦倍率	1
反われた字	·····································	文字問題	0
ビックステ			
MALA ATA	151418191	0	白抜き 反転
補正			□ 下線
補正単位	8 4		
「油田」	● 補正データン 時に印字した()		
	■ 印字する前に確認表示		
			OK ¥
ーン項目			
「字 データ			
名称	shinsei_logo		
印字設定			
回転角度	0	_	
E140 352			
	。唯認表示		
	2.唯论表示		
	2014-223377		
	2.睡起表示		
	2. 1999 - 2017		
	. ₩£237077		
	- 19 至公式		
	2.1911公式()7.1		
	- 1911-237077		
	OK	**>セル	
	OK	**>セル	
	OK	**>セル	
ク項目	OK	**>ゼル	
夕項目 (字) データ	OK	**>セル	
ク項目 字 データ	OK	**>セル	
ク項目 「字 データ 名称	マーク1	++>UI	
ク項目 (字 データ) 名称 印字設定	で で マーク1	**>セル	
ク項目 PF データ 印字 設定 回転角度	C (単純公表)(T)	**>セル	
ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度	- WELC2をホー - OK マーク1 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	**>セル	
ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度	マーリ1 (0 () 町字	++>21/	
ク項目 P字 データ 名称 印字設定 回転角度	○ 確認会表示 マーク1 0 ② EP字 : 確認表示	**>セル	
ク項目 「字 データ 印字設定 回転角度	○ 確認会表示 マーク1 0 回 2 日中子 こ確認表示	**>セル	
ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度	- 0番ビタ表示 マーク1 0 ダ) E印字 ご確認表示	**>tu	
- ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度 回転角度 の字する前(○ 確認会表示 マーク1 0 () 印字 : 確認表示	++>2U	
- ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度 一 印字する前(- 0K マーク1 0 び印字 こ確認表示	**>セル	
ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度 の 印字する前(- 確認表示 マーク1 0 ビビ印字 : 確認表示	**>セル	
ク項目 中字 データ 名称 印字設定 回転角度 ・ 印字する前(○ 確認会表示 マーク1 0 ② 印字 ご確認表示	**>tu	
ク項目 「字 データ 名称 印字設定 回転角度 回転角度	○ 確認表示	**>セル	
ク項目 中字 データ 印字設定 回転角度 一印字する前(C WEジネホホ マーク1 0 ジ EF字 こ WEジネ示	**>セル	
ク項目 字 データ 印字設定 回転角度 印字する前(○ 確認会表示 ○ K ○ K ○ CK ○ CK	**>セル	
ク項目 字 データ 名称 印字設定 回転角度 印字する前(○ 確認会表示 マーク1 0 () 印字 ご確認表示	**>セル	

呼出番号項目			.
名称 表示析数 印字該定 回転角度 項目内配置 データ位置 マ 先頭を「0」で埋める	呼出番号1 5 ÷ 0 ▼ ジロ中 本寄せ ▼	73ント設定 73ント経算 73ント名 73ント名 73ント気(単位:dot) 73ント気(単位:dot) 文字間隔	内蔵フォント
発行枚数項目			0K キャンセル
名称	発行枚数	- フォント設定 フォント種類	内蔵フォント・・・・
回転角度	0 v	フォント名	漢字ゴシック(8pt. ▼
	17千		理:自由に拡大縮小可能
言手移田 わ / →	004-45.85	横倍率	1
STR - Tel	(£174X\$X ▼	縦倍率	1
ロッチンオーマット	: ▼	文字間隔	0
項目内配學	- 2008 C. 03 C 42008		□ 太字 □ 斜体
データ位置	「右寄せ ▼		 白抜き 反転 下線
			OK キャンセル

[発行枚数項目] ダイアログ

[呼出番号項目] ダイアログ

[印字設定] 項目グループの項目:

回転角度 ------ラベルに対する、項目の回転角度をドロップダウンリストから選択し ます。

- » [0 度]、[90 度]、[180 度]、または [270 度] のいずれかを選択します。
- »レイアウト項目の始点を軸に反時計周りの方向に項目が回転します。
- » すでに回転した項目については、[0 度]を選択して、元の角度に戻すこと ができます。
- »回転により項目が印字領域外にはみ出てしまった場合、項目枠がオレンジ 色で表示されます。この場合は、必要に応じて項目をドラッグして移動し、 調整してください。
- » レイアウトエリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。 (⇒「7.2.2.13 回転(項目)」)
- » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.16 回転(項目配置 グループ)」)
- 印字 -------印字する場合はを付けます。項目を印字しない場合は、を外します。 印字しない設定すると、レイアウト上から項目が表示されません。
 - また、項目一覧エリアで該当項目に[印字しない]と表示されます。
 - » 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒ 「7.4.2 印字しない(項目一覧)」)
 - » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.14 印字しない(項 目配置グループ)」)

6.2.5 フォント設定(共通項目)

[フォント設定]項目グループは、文字項目 / バーコード項目 / 価格項目 / 日付項目 / 時刻項目 / 呼出番号項 目 / 発行枚数項目のプロパティで共通の設定項目です。

[文字項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[バーコード項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[価格項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

The DOME of the second second			
rータ 時初 ナンバーリング			
+#210 07401-0 B00		印字設定	-
16(12~354000) pas	mm mc(12~3540000) 37	E140/172	T ETT
(7hapak-32~12/dot)	*		<u>.</u>
データ配置設定		- フォント設定 - フォント課題	内带つかん
横位置を寄せ	•	フェント名	アリモンオント 満つプロット (Ont
総位置 上端線/	t •	202110	ノ夫ナコンシン(opt, ・
回 漢字入力		+11/01/17	4F : HITERCOLL/CARPT® HE
		181a +	1 1
☑ 数字	☑ 記号		
<u>√</u> 2 2.		X+raiva	
- 強羽印字設定	w		□ A+ □ 7419 □ 白抜き □ 反転
🥅 全数字の場合、先頭0で埋める	- 三半角を自動的に全角で印字		□下線 ○ 文字反転
■ 印字する前に確認表示	■ 本体で印字範囲をチェックしない		() 項目範囲
			OK ¥+>t
オント			
7*`小踏定			
フォント種類	「内蔵フォント	-	
7471-40	UCK-B(7PL)	•	
	聖:自由に拡大縮小可能		
横倍率	1	÷	
縦倍率	1		
大会開店	0		
又子間隔	U		
	□ 十字 □ 剑/+		
	A+		
	□ A子 □ #11年 □ 白抜き □ 反転		
	 □ ☆子 □ 弁打4 □ 白抜き □ 反転 □ 下線 		
	□ △子 □ ♪11年 □ 白抜き □ 反転 □ 下線		
	 △子 ● 計(本) ● 目抜き ● 反転 ● 下線 		
	 ▲ナ ● 封き ● 反転 ● 下線 ○ K 	F#>ZZIL	
	 △ナ ●利年 白抜き 反転 下線 OK ★ 	FWZTZIL	
	 ○ 人子 ● 打き ● 打き ● 万数 ● 下線 ○ OK ▲ 本 	Freitzik	
1.頃目	 ヘナ ●利キ 白抜き 反転 下線 OK ★ 	FPDZZIL	
- 2月 祥初 - 子- 2	 ▲子 ● 持ち ● 「長ち ● 「長ち ● 「長ち ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	Fritzil	
1月日 詳初 <u>デーク</u> 全称 田塔1	 ○ ムナ ●利4 ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線 ○ K ▲ 	EPP2Ka	
1項目 詳細 データ 	 ▲ナ ● 持き ● 反転 ● 下線 ○ CK ▲ 	-{I7+26/2 Барди	L
 ・ 第 ・ 第 ・ 第 ・ 個の場合 ・ ・ 	 ○ A f ● 利4 ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線 ○ OK ▲ 	Fre>センレ 日平部定 回25月度	〔 〔 〔 〔 〔 〕 〕 〔 〕 〔 〕 〕 〕 〔 〕 〕 〕 〕 〕 〔 〕
2項目 洋村 <u>子→久</u> 次日 内記2正 データ加速 石本主 従調惑示式空産	 ○ A f ● 封持き ● 反転 ● 下線 ○ OK ▲ 	 (1)平秋定 (1)平秋定 (1)平秋定 (1)日秋定 (1)日秋定 	L
■項目 詳細 データ 名称 価格1 項目内配温 データ 総議表示設定 608々77 逐路感表示設定	△ △ 子 ● 利平 ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線 ○ K 名	- 日平352 - 日平352 - 国25月度 - フォント目的 - フォント目的 - フィント目的	L • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
 株理目 株理 データ 名称 価格1 項目内型2五 データ位置 石楽型 総理表示設定 価格を行う (通常価格 	 ▲・・ ●和 白抜き 反転 下線 OK え 	 (1)手致定 国際用度 アンド数定 アンド数定 アント発展 フィント発展 	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
項目 詳細 データ 名称 一次 「 一次 」 二次 日 「 二次 日 二次 日 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	○ A+ ● 种1+ ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線 ○ K ▲	E(学校定 国政内度 フォント経境 フォント名	E ▼ EFF
■項目 詳細 <u>データ</u> 名称 個が名 1 項目内型2至 データ位素 <u>石楽セ</u> 総雑表示設定 個形各々了 <u>活常価格</u> 一型建立完 - 2月建立完 - 2月建立完 - 2月建立完 - 2月建立完 - 2月建立完	○ 六十 ● 村中 ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線	 日中30定 回発売成 フォント指摘 フォント者 検査率 荷奈率 	 ●
第3日 第3日<	○ 方山/市株	日平30定 日平30定 国知時度 フォント登録 フォント登録 フォント登録 マット登録	 ●
■項目 第24 名称 個形1 第1日内記2番 データ10番 名書を 総28単元の設定 回路タイフ 道光価格 等には処理後置 単理で第一 の後約 単理で第一 の後約 の第二、10番 の の の の の の の の の の の の の	 ▲子 ● 打出(日時 ● 貰出(日時 ● 貰出(日時 ● 貰出(日時 ● 貰出(日時 	日平安定 日平安定 日東安定 東ンド安定 オント経境 オント経境 オント経境 オント経境 オント経境 大学習編	 □ ● ED平 ● ED平 ● Edata 2425 + ● Edata 2426 + 可能 <
- 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	 ▲ナ ● 村中 ● 白抜き ○ 反転 ○ 百出/前格 ○ 百出/前格 ○ 百出/前格 ○ 百出/前格 ○ 町上付 ○ 切上付 ○ 切上付 ○ 切上付 ○ 切上付 	 (日平致定 国)手致定 国)助用度 アオンド数定 アオンド 名 検信率 縦信率 縦信率 縦信率 縦信率 縦信率 縦信率 	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	 ▲子 ● 村本 ● 白抜き ● 反転 ● 万秋 ● 万松 	Feシセル 日戸設定 国政内政 フォント名 検信半 叙信年 太平道属	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
- 第日 - 第日 - 第一 - 2年 - 9山香 - 7一9山香 - 万名寺社 - 2月 - 7一9山香 - 石舎社 - 2月 - 7一9山香 - 石舎社 - 2月 - 7一9山香 - 2月 - 2	 ▲ナ ●村キ 白抜き 反転 下線 OK 名 () ()<!--</td--><td>Fr9ンセル 日平波定 日東5月度 フォント名 横告半 従告半 文平留写</td><td> E ● 印序 ● 印序 ● 佰格3(16pt, 5.6m) ● ● 百由に拡大応小可能 1 ● 百 ● ○ ●</td>	Fr9ンセル 日平波定 日東5月度 フォント名 横告半 従告半 文平留写	 E ● 印序 ● 印序 ● 佰格3(16pt, 5.6m) ● ● 百由に拡大応小可能 1 ● 百 ● ○ ●
	 ▲ナ ●村キ ● 持ちき ● 反転 ● 万林 ● 万松 	日平波定 回販売度 アンド指題 フォント指題 フォント名 検信本 統告本 大中間馬 小枝均字	 ▲ ● EPF ● EPF ● EBF ●
- 2月 - 2本 - 2本 - 2本 - 2本 - 2-2 - 2	 ▲子 ● 許利年 ● 前出(前格 ● 前出(前格 ● 前出(前格 ● 前指(長規 ● 前指(長規) ● 前(長規) ● 前(長(L)) ● 前(L) ● 前(L) <	 F(ヤンセル) E目950定 E目95月度 アオント名が アオント名 検信半 叙信本 文字習慣属 - 小坂印字 マ)・小坂印字様並希助 	 ● ● ● ● 印字 ● 印字 ● 「商名登(16pt, 5, 6m) ● ● ① ● ① ● ① ● ② ○ ○ ○ ○
3項目 第項目 データ 名称 値端1 3項目内型2座 データ位置 石書堂 6部24,5年32年 6部24,2年35年 第2年35年 第3年35年 </td <td> ▲子 ●村キ ●村本 ●村本 ● 反転 ○ 百出(前時 ○ 百出(前時 ○ 可指て、 ○ 可指示入 ○ 四指示入 </td> <td>Freシセル 印字波定 日子波定 日子波定 フォント名が 検索半 税告本 火子習慣病 小枝印字 マール取り字様電素数 ご 登取フォント名(次用)</td> <td></td>	 ▲子 ●村キ ●村本 ●村本 ● 反転 ○ 百出(前時 ○ 百出(前時 ○ 可指て、 ○ 可指示入 ○ 四指示入 	Freシセル 印字波定 日子波定 日子波定 フォント名が 検索半 税告本 火子習慣病 小枝印字 マール取り字様電素数 ご 登取フォント名(次用)	

OK **//±/

6. プロパティ 6.2 項目プロパティ

日付項目		
詳細 データ		
	印字設定回転角度	0 ▼ EP字
■Freedant yyyyymmuu ◆ ともの文子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-フォント設定 フォント種類	内蔵フォント ・
暦種類	フォント名	漢字ゴシック(8pt, ▼ 雪 :自由に拡大縮小可能
補正 補正単位 日 🛛 🕞 1日の補正は当日にする	横倍率 縦倍率	
日付名称切替 「消費/賞味期限自動切替 切替日数 (1~99)	文字描版	 □ 太字 □ 斜体 □ 白抜き □ 反転
補正 補正データなし時に印字しない 金角数字使用 印字する前に確認表示		□ 下線
		ОК * *>tzи

フォント設定 フォント種類

[日付項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[時刻項目] ダイアログ⇒ [データ] タブ

[呼出番号項目] ダイアログ

名称	時刻1	フォント種類	内蔵フォント
印字設定		フォント名	漢字ゴシック(8nt. ▼
回転角度	-		「「「」」」 フラフラスのPは、「
77-D	☑ 印字	横倍率	
形式			
時間形式	hh 🗸	他信半	
区切り文字	漢字 ▼	文字間隔	0
時刻システム	12時間制 🔻		
補正			 日抜ぎ 反転 下約
補正単位	B		- + 0) +
] 補正] 全角数字使用	 □ 補正デーダなし時に印字しない □ 印字する前に確認表示 		
			OK
肾項目		_	
न	呼出番号1	フォント設定	
和數	5	フォント種類	内蔵フォント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
学時定	V	フォント名	℡ 英数Arial 🔹
転角度	0 -		聖:自由に拡大縮小可能
	▼印字	フォ`ント幅(単位: dot)	30
ㅋㅋㅋㅋㅋ			
		/オノト長(単12:007)	40
	/□ च ध 🔻	文字間隔	U
先頭を「ዐ」で埋める			■太字 ■斜体
			📄 白抜き 📄 反転
			▶ 下線
			0K \$#2
收数項目			
新	整行枚数	フォント設定	
	261 TTARA	フォント種類	内蔵フォ゙ント

	[発行枚数項目]	ダイアロ	グ
--	----------	------	---



[フォント設定]項目グループの項目:

フォント種類-----ドロップダウンリストから項目 / 付帯文字で使用するフォントの種類 ([内蔵フォント] または [外部フォント])を選択します。 »内蔵フォントは、本体で準備されているフォントです。

時刻項目 詳細 データ

名称

時刻1

»外部フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。

	» 外部フォントにつきましては、ライセンス許諾が必要なものがあります。
	ご利用になる場合は、それぞれの著作権者にご確認下さい。
	» 外部フォント選択時、ファイルのサイズが大きくなります。
	» 文字項目では、[データ]タブで[固定データ]を選択した場合に設定す
	ることができます。
	» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.6 フォント種類 (フォ
	ントグループ)」)
フォント名	ドロップダウンリストからフォント名を選択します。
	» 初期設定より大きいサイズのフォントを選択すると、項目に入力できる文
	字数が減ります。必要に応じて、レイアウトエリアで項目のサイズを変更
	してください。(⇒「10.6 項目の移動・サイズ変更」)
	» [ツール]リボン⇒[印字範囲]⇒[全項目の印字領域を確認]で項目デー
	タがオーバーしていないかをチェックしてください。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.7 フォント名(フォ
	ントグループ)」)
サイズ	外部フォントを選択している場合に設定することができます。
	ドロップダウンリストから項目 / 付帯文字で使用するフォントのサイ
	ズを選択します。
	» [ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.9 フォントサイズ(フォ
	ントグループ)」)
横倍率	内部フォントの「TT (アウトライン)」フォントを選択していない場合
	に設定することができます。項目 / 付帯文字で表示する文字の横倍率
	を指定します。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.10 横倍率 / 縦倍率・
	フォント幅 / フォント高さ(フォントグループ)」)
縦倍率	内部フォントの「TT (アウトライン)」フォントを選択していない場合
	に設定することができます。項目 / 付帯文字で表示する文字の縦倍率
	を指定します。
	» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.10 横倍率 / 縦倍率・
	フォント幅 / フォント局さ(フォントクルーフ)」)
ノオント幅(単位:dot)	呼出番号フロハテイで設定することかできます。
	» [ホーム] リホンぐも同様の操作かぐきます。(⇒「8.2.10 横倍率 / 縦倍率・
	ノオント幅/ ノオント局さ (ノオントクルーノ)」) 「「「山平日プロパニュズで記向ナスストドズキキオ
ノオノト長(単位・000)	
	» $[$
大中国同	フォント幅/ フォント局さ(フォントクルーフ)」)
又子间隔	
	» 文子间隔を品のく設定した場合(マイノス値)は、文子の里なりに注意し てください
	してたこい。 ※ 立字問隠を広く設定した提合け、 項日の立字オーバーに注音してください。
	※ 欠于間隔を広く設定した場合は、気白の欠子が パーに注意してくたとい。 ※「ツール」」レボン⇒「印字節囲」⇒「今百日の印字領域を確認」で百日デー
	" レノ ハレ ノ ハノ フ しい 丁 町 ビロ 」 フ し 土 次 ロ ツ 印 ナ 限 域 で 唯 mù 」 く 項 日 ノ 一
太字	項目データを大字にする場合にを付けます
м г	
	(7 + 2 + 5)

斜体	項目データを斜体にする場合にを付けます。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.8 太字 / 斜体 / 下線
	(フォントグループ)」)
白抜き	項目データを白抜きにする場合にを付けます。
	» 内蔵フォントの「TT (アウトライン)」を選択している場合に設定すること
	ができます。
反転	文字だけを白黒反転にする場合または項目の範囲全体を白黒反転にす
	る場合に、いずれかにを付けます。
下線	項目データに下線をつける場合にを付けます。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.8 太字 / 斜体 / 下線
	(フォントグループ)」)

6.2.6 ナンバーリング(共通項目)

[ナンバーリング] タブは、文字項目 / バーコード項目のプロパティで共通の設定項目です。

[文字項目] ダイアログ⇒[ナンバーリング] タブ	Image: State 1 Fighter Hole 2857 State Image: State State <td< td=""></td<>
[バーコード項目] ダイアログ⇒ [ナンバーリング] タブ	2-9 јан Ганерани странентика 2-9 јан 100 странентика 29-7 352 20-1 (2) 352 (2) 32-1 (2) 352 (2) 123456789012345678 *123456789012345678

[ナンバーリング] タブの項目:

種類	ナンバーリングを表示(印字)する項目として使用する場合に
	ドロップダウンリストから[インクリメント](数値を加算)
	または[デクリメント](数値を減算)を選択します。
	ナンバーリング項目として使用しない場合は、[無し]を選択
	します。
同番号印字枚数	レイアウト上に数字でナンバーリングした場合に、何枚ずつ同
	じナンバーリング項目を何枚発行するかを指定します。

ステップ	- [インクリメント]または[デクリメント]を選択した場合に
	加減算の幅を設定することができます。
進法	-進法を設定します。
スタート値	- ナンバーリングのスタート番号を設定します。
ストップ値	- ナンバーリングのストップ番号を設定します。
ナンバーリングの結果を記憶	- ナンバーリングの履歴を記憶します。
ナンバーリング範囲	- スライダーを使用して、ナンバーリングに使用する範囲を1~
	6桁の範囲で設定することができます。詳細については、下記
	の「ナンバーリング範囲」を参照してください。
プレビュー	- クリックすると設定内容をプレビュー表示することができます。
	プレビューを終了する場合は、[終了]をクリックします。

ナンバーリング範囲

スライダーマを使用して、ナンバーリングに使用する範囲を設定することができます。

種類 ステップ スタート値	難し 「 り	 同番号印字状数 通法 ストゥブ値 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	1234567	7890123456	57 <mark>8</mark>
★ナンバーリング算師	团: I-6代T		7W2-

たとえば、種類を「インクリメント」を選択し、ステップを「1」のまま下4桁をナンバーリングに使用する場合は、スライダーマを下4桁までドラッグします。

「字項目 データ 詳細 ナンパ・	-928		-	×	
種類 ステップ スタート値	+C803C1	同番号印字校数 通法 ストップ値	1 一 Auto ・ 3 ・ ブーリングの結果を記憶 ・		
123456789012345678					
			OK .	<i>≭</i> ₩ンゼル	
6.3 文字項目のプロパティ

文字項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.3.1 [データ] タブ

項目		
ータ 詳細 ナンバーリング		
名称 商品名		
桁数(半角) 18	→ 市地方定	
データ元(データ・ソース)		
 適常入力 	⑦ 合成	
テーブルから取得	○ <u>-</u> … ◎ <u>リン</u> ク	
◎ 固定テータ	() (Fi	
スカナナ		
「ハリカエい」	同 会体 3 力	
■ / ○ ル23線	■ 王伯(大) ■ 今接入力総合の原目 △	
■ 2キャナー入力時可		
コーザ辞書使用許可		
一時変更設定		
建制一時変更	─ 手動→時変更	
	- 時変更前にデータをクリア	
回道結入力		
- 1900 (V)		
		ar a

[データ] タブの項目:

名称 ------

------文字項目の名称を設定することができます。





項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)

> » ハンドルにマウスを合わせると矢印に変わりますので、ドラッグして [桁 数(半角)] 変更することができます。

» [テーブルから取得]、[固定データ]、[リンク]を選択した場合は、桁数 を入力することはできません。

桁数固定 -	
データ元	(データ・ソース)「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。
入力方式 -	「6.2.2 入力方式(共通項目)」を参照してください。
一時変更認	設定「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

6.3.2 [詳細] タブ

477.510 0.510 L 0		印字設定	6	
信(12~3540dot) 289 行用期稿(-32~127dot) 4	★ #2(12~3540000) 37 ★	E90/3/2		
デール配置設定		フォント設定	(1.00 × 1.00	
横位置を寄せ	•	フォント種類	「内山松フォント	v
総位置 上端編	t •	フォント宅	决子_	シック(8pt, •
			理:自由に知	大橋小可能
] 漢字入力		横倍率	1	Ť
☑ 数字	☑ 記号	縦倍率	1	A.
☑ 英文		文字間隔	D	÷
			□ 太字	🔄 斜体
强抑中字放定	*		自抜き	反転
] 全数字の場合、先頭0で埋める	□ 半角を自動的に全角で印字		□ 下線	文字页転
日宇する前に暗認表示	◎ 本体で印字範囲をチェックしない			◎ 項目範囲

「三子人山」	カゴの店口	•
「「日子が田」	アノの項目	•

幅	レイアウト上の文字項目の幅を設定します。
長さ	レイアウト上の文字項目の縦を設定します。
行間隔	レイアウト上の文字項目内の行間隔を設定します。
横位置	レイアウト上の文字項目に対して入力した項目データの横方向
	の位置を設定します。
	[左寄せ]、[中央]、[右寄せ]、または[均等]を選択すること
	ができます。
	» [ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.13 文字揃え(項
	目配置グループ)」)
縦位置	レイアウト上の文字項目に対して入力した項目データの縦方向
	の位置を設定します。
	[上端揃え]、[上下中央揃え]、[下端揃え]、[上下両端揃え]、
	または[行間隔均等]を選択することができます。
漢字入力	すべての文字種が漢字入力になります。
	» ナンバーリングを行う場合は、[漢字入力]のを外し、[数字]およ
	び[英字]のを付けている必要があります。
数字	[漢字入力]のを外している場合に設定することができます。
	項目に入力する文字種に半角数字を含める場合にを付けます。
	» ナンバーリングを行う場合は、[漢字入力]のを外し、[数字]およ
	び[英字]のを付けている必要があります。
記号	[漢字入力]のを外している場合に設定することができます。
	項目に入力する文字種に半角記号を含める場合にを付けます。

英文	[漢字入力]のを外している場合に設定することができます。
	項目に入力する文字種に半角英字を含める場合にを付けます。
	» ナンバーリングを行う場合は、[漢字入力]のを外し、[数字]およ
	び[英字]のを付けている必要があります。
強調印字設定	メニュー・リボンの[その他データ編集]の[強調印字]で設
	定した時にを付けると有効となり、プルダウンメニューから設
	定した文字を強調することができます。
全数字の場合、先頭0で埋める	を付けると、[数字]に設定された項目の入力データが設定さ
	れた桁数よりも小さい桁数の場合に不足桁数分を先頭から「0」
	で埋めることができます。
	が付いている状態で[漢字入力]に設定された項目に全角数字
	で入力を行い、かつ桁数が不足している場合、レイアウトエリ
	ア上では半角の「0」で埋められますが、本体による印字は、
	全角の数字のみの印字になります。
	» ナンバーリングは桁数が不足している場合に実行されないため、ナ
	ンバーリングを行う場合は、を付けます。
半角を自動的に全角で印字	を付けると、半角で入力された数字、英字、記号を自動的に全
	角に変換して印字することができます。
	半角数字、半角英字、半角記号はすべて全角で印字されます。
	「内容量」のような項目に利用することができます。
印字する前に確認表示	ラベル発行前に印字データを確認する場合に付けます。
本体で印字範囲をチェックしない	文字項目のプロパティで強制一時変更または手動一時変更など
	で印字データを変更した場合、変更後の印字データが印字範囲
	をオーバーしてもX印を付けないで、印字範囲の印字データだ
	けを印字させることができます。
印字設定	「6.2.4 印字設定(共通項目)」を参照してください。
フォント設定	「6.2.5 フォント設定(共通項目)」を参照してください。

6.3.3 [ナンバーリング] タブ(文字項目のプロパティ)

[ナンバーリング] タブの項目については、「6.2.6 ナンバーリング(共通項目)」を参照してください。

6.4 バーコード項目のプロパティ

バーコード項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.4.1 [詳細] タブ

		印字設定	
名称	パーコード1	回転角度	0 -
ドーコードタイナ	JAN19(19%)	•	📝 印字
77-0-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-			日宇する前に確認表示
モジュール幅 8	☆ コード長 80	NONPLU	
和·太バ−比率 12	▼ CD 自動計算	-	
	詳細設定		
付帯文字			
付帯文字位置	শ	•	
付帯女字位置合わせ	均等揃え	Ŧ	
カスタマイズ定義			
	付帯文字フォント		

[詳細] タブの項目:

名称 ------

-----バーコード項目の名称を設定します。

名称は、入力エリア、項目一覧エリア等に反映されます。



» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒ 「7.4.1 変更(項目一覧)」)

バーコードタイプ-----バーコードの種類を変更することができます。ドロップダウンリスト から使用するバーコードの種類を選択します。[バーコードタイプ]の 選択に応じて、[詳細] タブの表示が変更されます。

印字設定 ------「6.2.4 印字設定 (共通項目)」を参照してください。

印字する前に確認表示-----ラベル発行前に確認する場合にを付けます。

バーコード(一次元コード)を設定する

[バーコードタイプ]から一次元コードタイプのバーコードを選択した場合、[詳細]タブ画面に、[バーコード(一次元コード)]項目が表示されます。

» 一次元コードタイプのバーコードは、[JAN13 (13 桁)]、[JAN8 (8 桁)] [ITF]、[NW7]、[CODE39]、[CODE128]、[UPC-A (12 桁)]、[UPC-E (7 桁)]、[EAN128] です。

AT OX	d-m-ki	印字設定	-
	//-u-F1	回転用度	l
パーコードタイプ	CIRCLE AND CONCURACE	•	
CAPER-Star			日子する前に確認表示
T-23 11 effet			
191-1/16 8		NON ED	
和太八-比平 [12	- CD 自動計算	-	
	詳細設定		
付帯文字			
付帶文字位置	<u>۲</u>	•	
付帯文字位置合わせ	均等揃え	v	
カスタマイズ定義			
	付帯文字フォント		

[バーコード (一次元コード)] の項目:

モジュール幅-----バーコードのモジュール幅を指定します。

バーコード長-----バーコードのモジュールの長さを指定します。

(バーコード長 1mm ≒ 11.8dot)

細・太バー比率------ドロップダウンリストから、細いバーと太いバーの比率を選択します。 CD ------ドロップダウンリストからチェックデジットの入力(確認)方法を選 択します。

> » バーコードの CD を自動計算することができます。詳細については、「8.8.1 バーコードの CD をする(自動計算グループ)」を参照してください。

詳細設定

[NW7]のダイアログが表示されますので、各種設定をします。

詳細設定	×
NW7スタートコード A → NW7ストップコード ▼ 両端に余白を確保する ■ ITFコードに外枠をつける	A •
OK キャンセル	

モジュール幅-----バーコードのモジュール幅を指定します。

付帯文字位置------ドロップダウンリストから、付帯文字の配置位置を選択します。

クすると表示される [フォント] ダイアログで付帯文字に使用するフォ ントを設定することができます。[フォント] ダイアログ内の各項目の 詳細については、「6.2.5 フォント設定 (共通項目)」を参照してください。 [キャンセル] をクリックすると、変更内容を破棄することができます。 [OK] をクリックすると、変更内容を保存することができます。

フォント種類 フォント名	内蔵フォント OCR-B(7Pt,	•
	聖 :自由に拡大縮小可能	
横倍率	1	-
縦倍率	1	-
文字間隔	0	×
	🔲 太字 📃 斜体	
	白抜き 反転	
	🔲 下線	

NONPLU------NONPLUのバーコードの場合にを付けます。を付けると、桁数編集枠 と[プライスチェック]が表示されます。詳細については、「NONPLU のバーコードを設定する」を参照してください。

バーコード項目			—
詳細 データ ナンバーリング			
名称 バーコードタイプ 「バーコード(一次元コード)	۲۶−۲−۲۱ (JAN13(13Ħī) •	印字設定 回転角度	0 ▼ 印字 ■ 印字する前に確認表示
モジュール幅 8 細・太パー比率 12 付帯文字 付帯文字位置 付帯文字位置合わせ	 	NONPLU KONPLUI 123456	価格 7890123 プライスチェック(PC)
			<u> 0K</u> キャンセル

QR を設定する

[バーコードタイプ] から [QR] または [Micro QR (最大 35 桁)] を選択した場合、[QR] 項目が表示されます。

» 作成した QR コードを読み取る場合は、QR コードのサイズまたは読み取り機器の精度などによって読み取ることが できない場合がありますので、ご注意ください。

バーコード項目			x
詳細 データ ナンバーリング			
名称	バーコード1	印字設定 回転角度	0 🗸
バーコードタイプ	QR 🔹		☑ 印字
			📄 印字する前に確認表示
セルサイズ	4		
マスク番号	Default 🔹		
エラー訂正レベル	L (7%) 👻		
			OK キャンセル

[QR] の項目:

セルサイズ------QR コードのセルサイズモジュール幅を指定します。

マスク番号-----を選択します。

エラー訂正レベル-----ドロップダウンリストから、誤り訂正機能のレベルを選択します。

PDF417 を設定する

[バーコードタイプ]から [PDF417 Standard] または [PDF417 Truncated] を選択した場合、[詳細] タ ブ画面に、[PDF417] 項目が表示されます。

バーコード項目				×
詳細 データ ナンバーリング				
名称	バーコード1	印字設定回転角度	0	•
バーコードタイプ	PDF417 Standard	•	🔽 印字	
[PDF417]			📄 印字する前に確認表示	
横モジュール幅	2	縦モジュール幅	6	
行数	0	列娄如	0	
エラー訂正レベル	0-Lowest Security	エラー訂正%	0	
縦横比率	0.5			
			ОК	キャンセル

[PDF417] の項目:

横モジュール幅-----バーコードのモジュール幅を指定します。

縦モジュール幅-----バーコードのモジュールの高さを指定します。

- 行数 ------びーコードの行数を指定します。
- 列数 -----ドの列数を指定します。

エラー訂正レベル-----ドロップダウンリストから、誤り訂正機能のレベルを選択します。

縦横比率 -----を指定します。

GS1 DataBar を設定する

[バーコードタイプ] から GS1 DataBar のシンボルを選択した場合、[詳細] タブ画面に、[GS1 DataBar] 項目が表示されます。

- » 一次元コードタイプのバーコードは、[GS1 Databar Omnidirectional (14 桁)]、[GS1 Databar Truncated (14 桁)]、[GS1 Databar Stacked (14 桁)]、[GS1 Databar Omnidirectional Stacked (14 桁)]、[GS1 Databar Limited (14 桁)]、[GS1 Databar Expanded Standard (最大 74 桁)]、[GS1 Databar Expanded Stacked (最大 74 桁)]です。
- » GS1 DataBar の選択に応じて、一部の[GS1 DataBar]項目が設定対象とならない場合があります。

バーコード項目			×
詳細 データ ナンバーリング			
名称 パーコードタイプ	パーコード1 GS1 DataBar Omnidirectional(14術 ・)	印字設定 回転角度	0 ▼ 印字 ■ 印字する前に確認表示
モジュール幅 バーコード長 1行の文字歌 チェック処理	3 99 6 (小) 自動計算 v	付帯文字 付帯文字位置 付帯文字位置合わせ	下 均等揃え
			OK キャンセル

[GS1 DataBar]の項目:

- モジュール幅-----シンボルのモジュール幅を指定します。
- バーコード長-----シンボルのモジュールの長さを指定します。

(バーコード長 1mm ≒ 11.8dot)

- 1行の文字数 ------1 行の文字数を指定します。
- チェック処理-----ク方法を選択します。
- 付帯文字位置------ドロップダウンリストから、付帯文字の配置位置を選択します。
- 付帯文字位置合わせ-------[付帯文字位置]で[上]または[下]を選択した場合に設定することができます。

ドロップダウンリストから、バーコードに対する付帯文字の位置設定 を選択します。

- » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.13 文字揃え(項目 配置グループ)」)
- 付帯文字フォント------クリックすると、[フォント]ダイアログが表示されます。詳細については、「6.2.5 フォント設定(共通項目)」を参照してください。

NONPLU のバーコードを設定する

[バーコードタイプ]から一次元コードタイプのバーコードを選択して[NONPLU]にを付けた場合、表示 される画面で価格桁数とプライスチェック(PC)の有無を設定することができます。 » NONPLUのバーコードを設定すると、[ナンバーリング]タブの設定が行えなくなります。

- **1.** [バーコード項目] ダイアログ⇒ [詳細] タブ⇒ [バーコードタイプ] から一次元コードタ イプのバーコードを選択します。
- **2.** [NONPLU] にチェックを入れます。

[NONPLU]の下に、桁数編集枠と[プライスチェック]が表示されます。

バーコード項目				x
詳細 データ ナンバーリング				
名称	バーコード1	印字設定 回転角度	0 -	ן ר
バーコードタイプ	JAN13(13桁) -		🔽 印字	
バーコード(一次元コード)			📄 印字する前に確認表示	
モジュール幅 3		NONPLU	価格	
		123456	78 <mark>90123</mark>	
付帯文子				
付帯文字位置合わせ	► ▼ 均等揃え ▼		🔲 プライスチェック(PC)	
	付帯文字フォント			
			OK = ++>	セル

3. 価格桁数を増やす場合は、右側のスライダー 🛆 を必要な桁数左に動かします。





- »税込価格の桁数が、設定した価格の桁数を超過した場合、表示価格に不整合が生じます。税込価格の表示が可 能な桁数に調整してください。
- **4.** プライスチェックを行う場合は、[プライスチェック] にを付けます。 プライスチェック用の桁が確保されます。





[📝] プライスチェック(PC)

5. NONPLU1 部分の桁数を分割する場合は、桁数編集枠内を右クリック⇒ショートカットメ ニューから [項目分割] を選択します。

項目が分割され、新しく「NONPLU2」が作成されます。



- » ショートカットメニューを選択した場所で分割されます。必要に応じて、分割した項目の桁数をスライダーで 調整します。
- » 分割を戻す場合は、分割して生成した項目部分を右クリック⇒ショートカットメニューから [項目結合] を選 択します。
- »項目の名称を変更する場合は、項目上で右クリック⇒ショートカットメニューから [名前変更]を選択します。
- 6. 必要に応じて、項目分割、項目結合、名前変更、スライダー 🛆 による調整を繰り返します。

7. [OK] をクリックして [バーコード項目] ダイアログを閉じます。

入力エリアに設定した NONPLU 項目とバーコード項目に関連付けられた価格が追加され、レイアウ トエリアにバーコード項目に関連付けられた価格項目が追加されます。



8. 価格項目の設定を行います。

»価格項目の設定については、「6.5価格項目のプロパティ」を参照してください。

6.4.2 [データ] タブ

(ーコード項目	
詳細 データ ナンバーリング	
桁数(半角) 13	↓ 桁数固定
データ元(データ・ソース)	
◎ 通常入力	◎ リンク
◎ テーブルから取得	◎ 固定データ
入力方式	
🔲 入力必須	🔲 全桁入力
🔲 0入力禁止	📄 全桁入力後次の項目へ
□ スキャナー入力許可	📃 スキャナのみ入力許可
🔲 ユーザ辞書便用許可	
一時変更設定	
■ 强制一時変更 → 時亦更由のを記憶	■ 手動一時変更 → 時亦更前にデータを加立
一一时发史的台名已是	一一時変更期にナーダをクリア

[データ] タブの項目:

桁数(半角)------[詳細] タブで選択したバーコードタイプに応じて桁数が表示されま す。変更することはできません。

データ元(データ・ソース)---「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。 入力方式 ------「6.2.2 入力方式(共通項目)」を参照してください。

一時変更設定-----「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

6.4.3 [ナンバーリング] タブ

[ナンバーリング] タブの項目については、「6.2.6 ナンバーリング(共通項目)」を参照してください。

6.5価格項目のプロパティ

価格項目のプロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.5.1 [詳細] タブ

23 5	(6532.)		印字数定	
9月内配度——			回顧利度	0
データ位置	右寄せ		-	💟 धान्
能翻表示設定			73ン相対定	
面格タイプ	通常価格		フォント推現	八成フォント -
	(ALL PROPERTY AND		7#21-名	価格8(16pt, 5.6m) -
磁处理设置-				聖 :自由に拡大縮小可能
- 地址的第一		a wall with	植倍率	1
0 1928		© gabinne	縦倍率	1
処理桁数		山岩街安处13里	女字問題	0
 1 1 1 3 5 4 5 5 4 5 6 5 6 6 5 6 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	antia	(i) 切捨て(i) わたけ	2 C F Land	
 小数点後 	8.2111 6.1117	 四捨五入 		□ 八子 □ 541年 □ 白抜き □ 反転
副業業長				□ 下称
通貨記号		¥(大)	•	
位置合わせ		下端揃え	- 小鼓印字	LENALLY TRANS
通貨記号と価格	國間の主文部	0	● 「「「「」」「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「	
			● 登録 ノオントをは用	
	●人 手表 (mide)→(用)(■ 四方地合印字	THE CHERK OF BURG	
/])週貨記号を	間俗所に置く	甲子する前に確認表示	☑ 強制的に小数点後	20行までモロ平

[詳細] タブの項目: 名称 ------

------項目の名称を設定することができます。名称は、入力エリア、 項目一覧エリア等に反映されます。



また、本体操作時にも、項目の名称が表示されます。

» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)

データ位置	・ドロップダウン	/リストから、価格データの横方向の揃え方法を
	選択します。	
	[左寄せ]、[中:	央〕、〔右寄せ〕、または〔均等〕を選択すること
	ができます。	
	» [ホーム]リボ	ンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.13 文字揃え(項
	目配置グルー	プ)」)
価格タイプ	・ドロップダウン	/リストから、価格タイプを選択します。[税込
	価格]または	[本体価格]を選択すると、[詳細]タブの画面
	に設定項目が追	』加されます。
	- 総額表示設定	
	価格タイプ	本体価格
	- 総額表示設定	
	価格タイプ	税込価格
		────────────────────────────────────
	また、レイアウ	¹ トエリアに「本体価格」、「税込価格」、「税額」
	が文字項目とし	、て追加されます。詳細については、「税込価格 /
	本体価格を設定	<u>こ</u> する」を参照してください。
税込価格桁数を本体価格と同様	[価格タイプ]	で[本体価格]を選択した場合に設定すること
	ができます。税	込価格桁数を本体価格と同様とする場合にを付

- けます。 » [税込価格]を選択した場合にも表示されますが、が付いた状態で 固定され、変更することはできません。
- 税額 ------ 本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更するこ とはできません。

算出価格 -----------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。

- 指定なし -------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 小数点後 2 桁 -------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 小数点後1桁------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 切捨て ------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 切上げ ------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 四捨五入 ------本体で設定する項目のため、ラベルパートナーから変更することはできません。
- 通貨記号 ------------------------ドロップダウンリストから、使用する通貨記号を選択します。
- 位置合わせ------ドロップダウンリストから、通貨記号の表示位置を選択します。

通貨記号と価格文字の間隔	通貨記号と価格の間隔をドット単位で指定します。(12 ドット で 1㎜)
カンマ「,」を挿入する	4 桁以上の価格にカンマを挿入する場合にを付けます。
0円の場合の印字	価格データが0円の場合にも印字を行う場合にを付けます。
通貨記号を価格前に置く	通貨記号の選択に応じて自動的に設定されます。変更すること
	はできません。
印字する前に確認表示	ラベル発行前に本体で表示し、確認する場合にを付けます。
印字設定	[回転角度]、および[印字]については、「6.2.4 印字設定(共
	通項目)」を参照してください。
フォント設定	[フォント種類]、[フォント名]、[サイズ]、[横倍率]、[縦倍率]、
	[フォント幅(単位:dot)]、[フォント長(単位:dot)]、[文
	字間隔]、[太字]、[斜体]、[白抜き]、[反転]、および[下線]
	については、「6.2.5 フォント設定(共通項目)」を参照してくだ
	さい。
小数印字機能有効	チェックを入れると、各小数印字項目の設定ができます。
位置合わせ	整数部分と小数部分を上端揃えにするか下端揃えにするかの選
	択ができます。
整数フォントを使用	小数印字を整数フォントで印字させる時にチェックを入れます。
小数フォント詳細設定	小数フォントで印字させる時にチェックを入れます。
小数と整数の間隔	整数部分と小数点の間隔を調整することができます。
強制的に小数点後2桁まで印字	強制的に小数点 2 桁まで印字させる時にチェックを入れます。

税込価格 / 本体価格を設定する

[価格項目] ダイアログの設定により、「税込価格」、「本体価格」、「税額」の文字項目を自動的に生成し、 税込価格または本体価格を入力するだけで他の金額を計算して表示することができます。

 【価格項目】ダイアログ⇒ [詳細] タブ⇒ [価格タイプ] から [税込価格] または [本体価格] を選択します。

[税込価格]を選択した場合、レイアウトエリアに「税込価格」(1 行目)、「本体価格」(2 行目)、「税 額」(3 行目)が表示されます。





» 〔税込価格〕(1行目)以外は後で削除する事ができます。

[本体価格]を選択した場合、レイアウトエリアに「本体価格」(1 行目)、「税込価格」(2 行目)、「税 額」(3 行目)が表示されます。



» [本体価格](1行目)以外は後で削除する事ができます。

2. 必要に応じてその他の設定を行い [OK] をクリックします。

3. 入力エリアの価格項目列に税込価格、または、本体価格を入力します。 自動的に計算が実行され、計算結果がレイアウトエリアに表示されます。



- »税率は、本体で設定を行います。
- »手順1で [税込価格]を選択し、手順2で [本体価格を入力]を選択した場合は、本体価格を入力します。
- » 手順1で [税込価格]を選択し、手順2で [本体価格を入力]を選択していない場合は、税込価格を入力します。
- »手順1で[本体価格]を選択し、手順2で [税込価格入力]を選択した場合は、税込価格を入力します。
- » 手順1で [本体価格]を選択し、手順2で [税込価格入力]を選択していない場合は、本体価格を入力します。

4. 税込価格が本体価格より大きな桁数となる場合、桁数不足のために不正な値となっていない ことを確認します。

設定した桁数が足りずに、不正な値となっている場合は、[価格項目] ダイアログで桁数を修正して ください。

NONPLUのバーコードを設定した際に追加される価格項目を操作対象としている場合に不正な値と なった場合は、[バーコード項目] ダイアログで NONPLU の設定を修正してください。詳細について は、「6.4.1 [詳細] タブ」(バーコード項目のプロパティ)の「NONPLU のバーコードを設定する」を 参照してください。

[本体価格]を選択して [税込価格桁数を本体価格と同様] にを付けている場合は、を外してください。

5. NONPLU のバーコードを設定した際に追加される価格項目の場合、バーコードに設定した 価格桁の位置に本体金額が表示されていることを確認します。

6.5.2 [データ] タブ

格項目	
詳細 データ	
桁数(半角) 4	
データ元(データ・ソース)	
◙ 通常入力	◎ リンク
◎ テーブルから取得	◎ 固定データ
入力方式	
🔲 入力必須	🔲 全桁入力
■ 0入力禁止	📃 全桁入力後次の項目へ
🔲 スキャナー入力許可	🔲 スキャナのみ入力許可
□ ユーザ辞書使用許可	
一時変更設定	
■ 强制一時変更	■ 手動一時変更
一一時変更内容を記憶	→ 時変更前にナータをクリア

[データ] タブの項目:

桁数(半角)-----価格項目の桁数を指定します。

- » NONPLU のバーコードを設定した際に追加される価格項目の場合は、この 項目を変更することはできません。この場合の桁数変更は、NONPLU のバー コード項目を編集して行います。詳細については、「6.4.1 [詳細] タブ」(バー コード項目のプロパティ)の「NONPLU のバーコードを設定する」を参照 してください。
- データ元(データ・ソース)----[通常入力]、[テーブルから取得]、[リンク]、および [固定データ] については、「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照 してください。
- - 時変更前にデータをクリア]については、「6.2.3 一時変更設定(共通 項目)」を参照してください。

6.6日付項目のプロパティ

日付項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

名称 日付1	印字設定	0
形式	ERANJE.	□ *
日付種類 yyyyummdd ▼ 区切り文字 . ▼ 週の表現形式 なし ▼ 括弧付き	- フォント設定 フォント種類	国際フォント・・
吉祥坊	7分21名	漢字ゴシック(8pt, ・
暦極 細		湮:自由に拡大縮小可能
#TE	横倍率	1
補正単位 日 一一一日の補正は当日にする	縦倍率	1
	文字間隔	D 🚖
□ 清曹/貨味期限自動切替 清費期限①日数 ↓ (1~99)		 □ 太字 □ 白抜さ □ 反転
日付直接入力 入力形式 yyyymmdd マ		下禄
] 補正 □ データなし時に印字しない 全角数字使用 □ □ 印字する前に確認表示		

6.6.1 [詳細] タブ

[詳細] タブの項目:

名称 ------

--項目の名称を設定することができます。名称は、項目一覧エリア等に 反映されます。



» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒ 「7.4.1 変更(項目一覧)」)

日付種類 -------ドロップダウンリストから、日付の表示形式を選択します。

- » 選択肢の「yyyy」部分は、年を西暦4桁で表示することを意味します。
- » 選択肢の「mm」部分は、月を2桁で表示することを意味します。1桁の 月については、前に「0」が付加されます。
- » 選択肢の「dd」部分は、日を2桁で表示することを意味します。1桁の日 については、前に「0」が付加されます。

- »選択肢の「yy」部分は、年を西暦末尾の2桁で表示することを意味します。
- » 選択肢の「m」部分は、月を2桁で表示することを意味します。1桁の月 については、前にスペースが付加されます。
- » 選択肢の「d」部分は、日を2桁で表示することを意味します。1桁の日 については、前にスペースが付加されます。
- 区切り文字------ドロップダウンリストから、年、月、日の区切りに使用する文字を選 択します。
- 週の表現形式-------ドロップダウンリストから、曜日の表示方法を選択します。
 - » [X 曜日]を選択すると、設定された日付の末尾に「月曜日」のように曜日 を表示します。
 - » [X] を選択すると、設定された日付の末尾に1文字で「月」のように曜日 を表示します。
- 暦種類 -----・
 レーンジャンシーン・
 「ロップダウンリストから、日付の表示に使用する暦を選択します。
- 年号印字 -------------------------[暦種類] で [和暦] を選択した場合に設定することができます。元号 を日付項目の先頭に付加する場合にを付けます。
- - »「年」を選択すると、年単位で加算して補正を行います。
 - »[月]を選択すると、月単位で加算して補正を行います。
 - »[日]を選択すると、日単位で加算して補正を行います。
- 1日の補正は当日にする------[補正単位]で[日]を選択した場合に設定することができます。1日 を補正データとして指定した場合、ラベル発行日当日として処理を行 う場合にを付けます。を付けない場合は、ラベル発行日の翌日の日付 となります。
- 消費/賞味期限自動切換------指定した日数を経過した場合、「消費期限」と「賞味期限」を自動的に 切り替える場合にを付けます。を付けると、日付項目の前に自動的に 「消費期限」または「賞味期限」の文字項目が追加されます。





- 日付直接入力-----を付けると入力形式が有効になりプルダウンリストから選択すること ができます。同時に、入力エリアに[日付項目]が作成されます。 を外すと内蔵時計を表示します。
- 補正 ------日付項目を補正する場合にを付けます。補正を行わない場合、発行日の日付が常に表示(印字)されます。を付けると、入力エリアに補正データを入力するための列が追加されます。



6.6.2 [データ] タブ

付項目	
羊細 データ	
◎ 通常入力	◎ リンク
◎ テーブルから取得	🔘 固定データ
入力方式	
🗌 入力必須	🔄 全桁入力
0入力禁止	🔄 全桁入力後次の項目へ
□ スキャナー入力許可	🔄 スキャナのみ入力許可
ユーザ辞書使用許可	
一時変更設定	
一 強制一時変更	手動一時変更
□ 一時変更内容を記憶	一時変更前にナータをクリア

[データ] タブの項目:

データ元(データ・ソース)---「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。 入力方式 ------「6.2.2 入力方式(共通項目)」を参照してください。

一時変更設定-----「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

6.7 時刻項目のプロパティ

時刻項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.7.1 [詳細] タブ

	a de star 1 -	フォント設定	
名称:	「「「「「」」	フォント種類	(内蔵フォント ・)
印字論定	6	7#ント名	漢字ゴシック(8pt, ▼
	17 印字	•	聖:自由に拡大縮小可能
形式	V 4.7	横倍率	1 🛬
時間形式	hh	▼ 縦倍平	1
区切り文字	漢字	▼ 文字間隔	0
時刻システム	243寺間制	•	■太字 ■斜体
14.77			🗌 白抜き 📄 反転
補正単位	84	-	□ 下線
明刻直接入力	入力形式	*	
補正	データなし時に印字しない		
全角数字使用	目印字する前に確認表示		

[詳細] タブの項目:

名称 ------- 項目の名称を設定することができます。名称は、項目一覧エリア等に 反映されます。



項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)

印字設定 ------を照してください。

時間形式 ------ドロップダウンリストから、時刻の表示形式を選択します。

- » 選択肢の「hh」部分は、時間を2桁で表示することを意味します。1桁の 時間については、前に「0」が付加されます。
- » 選択肢の「mm」部分は、分を2桁で表示することを意味します。1桁の 分については、前に「0」が付加されます。

- » 選択肢の「ss」部分は、秒を2桁で表示することを意味します。1桁の秒 については、前に「0」が付加されます。
- » 選択肢の「h」部分は、時間を2桁で表示することを意味します。1桁の 時間については、前にスペースが付加されます。
- » 選択肢の「m」部分は、分を2桁で表示することを意味します。1桁の分 については、前にスペースが付加されます。
- » 選択肢の「s」部分は、秒を2桁で表示することを意味します。1桁の秒に ついては、前にスペースが付加されます。
- 区切り文字------ドロップダウンリストから、時、分、秒の区切りに使用する文字を選 択します。
- 時刻システム------ドロップダウンリストから、時刻の表示に使用する時刻システムを選 択します。[12 時間制]、[24 時間制]、[AM/PM+12 時間制]、または [午 前 / 午後 +12 時間制] のいずれかを選択します。
- - »[時]を選択すると、時間単位で加算して補正を行います。
 - »[分]を選択すると、分単位で加算して補正を行います。
- 日付直接入力-----を付けると入力形式が有効になりプルダウンリストから選択すること ができます。同時に、入力エリアに[日付項目]が作成されます。 を外すと内蔵時計を表示します。
- 補正 ------時刻項目を補正する場合にを付けます。補正を行わない場合、発行時 刻が常に表示(印字)されます。を付けると、入力エリアに補正デー タを入力するための列が追加されます。



- 印字する前に確認表示------ラベル発行前に確認する場合にを付けます。
- フォント設定------を発展してください。

6.7.2 [データ] タブ(時刻項目のプロパティ)

アータエ(アーダ・ソー人) 通常入力 リンク テーブルがら取得 固定データ 入力方式 入力必須 全桁入力 0入力禁止 全桁入力後次の項目へ スキャナー入力許可 スキャナのみ入力許可 ユーザ辞書使用許可
 入力必須 ① 全桁入力 ① 2桁入力後次の項目へ ① 2桁入力後次の項目へ □ 2キャナー入力許可 □ 2+ザ辞書使用許可
 一時変更設定 □ 強制一時変更 □ 千動一時変更 □ 一時変更内容を記憶 □ 一時変更前にデータをクリア

[データ] タブの項目:

データ元(データ・ソース)---「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。 入力方式 ------「6.2.2 入力方式(共通項目)」を参照してください。

一時変更設定-----「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

6.8 直線項目・斜線項目のプロパティ

直線項目・斜線項目の項目プロパティは、[線項目]ダイアログで設定します。 サンプルラベルでは、使用されていません。

線項目		X
名称	線1	
線種類 線の長さ	実線 ▼ 線幅 25.3 ◆ mm	3
☑ 印字		OK キャンセル

[線項目] ダイアログの項目:

名称	項目の名称を設定することができます。名称は、項目一覧エリアに表
	示されます。
	» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒
	「7.4.1 変更(項目一覧)」)
線種類	ドロップダウンリストから、線の種類を選択します。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.21 線の太さ / 線の
	種類 / 線の長さ(線グループ)」)
線幅	ドロップダウンリストから、線の太さを選択します。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.21 線の太さ / 線の
	種類/線の長さ(線グループ)」)
線の長さ	直線の長さを指定します。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.21 線の太さ / 線の
	種類 / 線の長さ(線グループ)」)
印字	印字する場合はを付けます。
	» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒
	「7.4.2 印字しない(項目一覧)」)
	» [ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.14 印字しない(項
	目配置グループ)」)

6.9 四角形項目のプロパティ

四角形項目の項目プロパティは、[四角形項目]ダイアログで設定します。

四角形項目				—
名称 背 <u>景</u> 枠線 線種類	実線	四角形1 なし	線幅	
🔽 印字				 や線なし OK キャンセル

[四角形項目] ダイアログの項目:

名称 ------- 項目の名称を設定することができます。名称は、項目一覧エリアに反 映されます。



- » 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒ 「7.4.1 変更(項目一覧)」)
- 背景 -------------------------------ドロップダウンリストから、四角形の内側に表示する背景を選択しま す。
 - » [なし]、[点]、[左斜線]、[右斜線]、[網掛け]、または[黒] のいずれか を選択することができます。
- 線種類 -------線の種類を選択します。
 - » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.21 線の太さ / 線の 種類 / 線の長さ(線グループ)」)
- - » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.21 線の太さ / 線の 種類 / 線の長さ(線グループ)」)

枠線なし	[背景]	で	[なし]	以外を選択した場合に設定することができます。

四角形の枠線を表示しない場合にを付けます。 印字 「 日 た 印 ウ 対象 と す ス 提 合 け た 付 け ま す す

١f	

- » 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒ 「7.4.2 印字しない(項目一覧)」)
- » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.14 印字しない(項 目配置グループ)」)

.....

6.10 イメージ項目のプロパティ

イメージ項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.10.1 [印字] タブ

イメージ項目	×
印字データ	
名称	shinsei_logo
印字設定 回転角度	0 ▼
■ 印字する前に確認表示	
	OK キャンセル

[印字] タブの項目:

名称 ------------------------項目の名称を設定することができます。名称は、入力エリア、項目一 覧エリア等に反映されます。

	/マーク	55×43mm_2			-	項目
			2 3	4,,5,		 ⊕ 一文字 ● 価格 ● パーコード ● 四角形
	1	文字1 文字2	文字3			ローメージ La <mark>shinsei_logo</mark> 日 マーク
26		5	文字4 2014_03	16 14時		世日17 田 時刻
	2				E	
		¥9993	4 9012	234 567894		
	3	shineel,文字	6			
	4	ーー・ 又子 文字	8			
No						
		呼出番号 8 価格	1マーク1	バーコード1	補正(日)	shinsei_logo 🔶
	1 ► 2					shinsei_logo
	<	TEC . 44/0				1
レインウ ファイ	' ト'順戦: 'ル情報:	項曰:14個 レイアウト:1個	プリセット:0件(0B) プリセット:0件(0B)	フリセットサイス:15 テーブル:0件(0B)	OB 登録イメージ:64	大率:210%: ‡(3.9KB) フォント:0種類(C _{.::}

項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)

印字設定	6.2.4 印字設定	(共通項目)」	を参照してください。
印字する前に確認表示	ラベル発行前にな	確認する場合(こを付けます。

6.10.2 [データ] タブ

イメージ項目		X
印字「データ」		
-データ元(データ・ソース)		
◎ リストから選択	◎ 固定データ	
◎ テーブルから取得		
一時変更設定		
📄 強制一時変更	📄 手動一時変更	
 一 時変更内容を記憶 	── 一時変更前にデータをクリア	
	OK キャン1	211

[データ] タブの項目:

リストから選択------入力エリアにイメージ項目の列のセルのドロップダウンリストからイ メージを選択します。

固定データ------[データ] タブに表示されるドロップダウンリストからイメージデータ を選択します。 [固定データ]を選択すると、[データ] タブの表示が変更されます。

> 詳細については、「固定データ(イメージ)を設定する」を参照してく ださい。

» ドロップダウンリストから [イメージ追加] を選択して、イメージを追加 することもできます。詳細については、「固定データ(イメージ)を選択する」 を参照してください。

テーブルから取得------「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。 一時変更設定------「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

固定データ(イメージ)を選択する

[データ元(データ・ソース)]から[固定データ]を選択すると、ドロップダウンリストからイメージデー タを選択して変更することができます。

[固定データ]を選択した場合、[固定データ入力]の項目が表示されます。

イメージ項目	×
印字一字一夕	
データ元(データ・ソース)	
◎ 固定データ	
◎ テーブルから取得	
一時変更設定	51
□ 強制一時変更 □ 手動一時変更	
● 一時変更内容を記憶 ● 一時変更前にデータをクリア	
固定データ入力	
固定データ shinsei_logo_2 →	
OK	91

[固定データ入力]:

固定データ-----ドロップダウンリストから使用するイメージを選択します。

固定データ(イメージ)を追加する

[固定データ] ドロップダウンリストから、固定データとして使用するイメージを追加することができます。

- 【イメージ項目】ダイアログ⇒ [データ] タブ⇒ [固定データ] を選択します。
 [データ] タブ画面に [固定データ入力] の項目が表示されます。
- **2.** [固定データ] ドロップダウンリストから [イメージ追加] を選択します。 [開く] ダイアログが表示されます。

189 開く							X
중 ♥ ■ デスクトップ ・				v ∮ j	デスクトップの検索		Q
整理 ▼ 新しいフォルダー					8== -		?
 ★ お気に入り ⇒ ライブラリ ※ ドキュメント ※ ドキュメント 	*	名前 つ ライブラリ 3 ホームグループ 3 ino 1 コンピューター	サイズ	項目の種類	更新日時		
 ■ こクテオ ■ ビデオ ♪ ミュージック ◎ ホームグループ 		ஷネットワーク	5 KB	ファイル フォル ファイル フォル JPEG イメージ	2013/12/07 10:54 2013/11/23 22:50 2014/03/14 13:51		
▲ コンピューター	•						
ファイル名(N): shinsei_	logo.	jpg		•	Image File(*.bmp;*. 聞<(<u>Q</u>) ▼	jpg;*.gi ・ヤンセル	•

3. ファイルの保存場所⇒読み込む画像ファイルを指定し、[開く] をクリックします。 [画像の白黒変換] ダイアログが表示されます。



4. 必要に応じて [2 階調化する境界のしきい値] で値を指定、またはスライダーを左右にドラッ グして白黒変換に関する調整を行い [OK] をクリックします。 画像がドロップダウンリストに追加されます。

6.11 マーク項目のプロパティ

マーク項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。

6.11.1 [印字] タブ

マーク項目	
印字データ	
名称	マーク1
印字設定	
	☑ 印字
□ 印字する前に確認表示	
	OK キャンセル

[印字] タブの項目:

名称 -----マーク項目の名称を設定することができます。名称は、入力エリア、



項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)

印字設定 ------「6.2.4 印字設定 (共通項目)」を参照してください。 印字する前に確認表示 ------- ラベル発行前に確認する場合にを付けます。

6.11.2 [データ] タブ

マーク項目		×
印字データ		
- データ元(データ・ソース)		_
◎ リストから選択	◎ 固定データ	
◎ テーブルから取得		
一時変更設定		
🔄 強制一時変更	🔄 手動一時変更	
 一時変更内容を記憶 	── 一時変更前にデータをクリア	
	OK t+v>t	211

[データ] タブの項目:

リストから選択------入力エリアにマーク項目の列のセルをダブルクリックすると表示されるドロップダウンリストから選択します。

固定データ------[データ] タブに表示されるドロップダウンリストからマークデータを 選択します。 [固定データ]を選択すると、[データ] タブの表示が変更されます。 詳細については、「固定データ(マーク)を設定する」を参照してくだ さい。

- テーブルから取得------「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」を参照してください。 » サンプルテーブルの「リサイクルマークテーブル」を利用してマーク用テー ブルを準備しておくと便利です。サンプルテーブルからテーブルを作成す
 - る方法については、「8.6.1.4 サンプルテーブル」を参照してください。
- 一時変更設定-----「6.2.3 一時変更設定(共通項目)」を参照してください。

固定データ(マーク)を選択する

[データ元(データ・ソース)]から[固定データ]を選択すると、ドロップダウンリストからマークデー タを選択します。

[固定データ]を選択した場合、[固定データ入力]の項目が表示されます。

マーク項目	×
印字 データ	
「データ元(データ・ソース)	
◎ リストから選択 ◎ 固定データ	
◎ テーブルから取得	
一時変更設定	51.
□ 強制一時変更 □ 手動一時変更	
□ 一時変更内容を記憶 □ 一時変更前にデータをクリア	
固定于一夕入力	
」 固定データ プラ6mm ▼	
OK チャンセ	21-

[固定データ入力] の項目:

固定データ-----クを選択します。

» [プラ 6mm] または [紙 6mm] のいずれかを選択することができます。
6.12 呼出番号項目のプロパティ

呼出番号項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。 サンプルラベルでは、使用されていません。

呼出番号項目			
名称 表示析数 印字設定 回転角度	呼出番号1 5 ÷ 0 ▼ ♥ 印字	フォント設定 フォント種類 フォント名 フォント幅(単位:dot)	内蔵フォント ▼ 至 英数Arial ▼ 団 :自由に拡大縮小可能 30 ◆
項目内配置 データ位置 ② 先頭を「0」で埋める	「右寄せー・」	フォント長(単位: dot) 文字間隔	40 0 ◆ 二 太宇 ○ 斜体 ○ 白抜き ○ 反転 ○ 下線
			OK キャンセル

[呼出番号項目] ダイアログの項目:

名称	呼出番号項目の名称を設定することができます。
	名称は、項目一覧エリア等に反映されます。
	項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができま
	す。(⇒「7.4.1 変更(項目一覧)」)
表示桁数	呼出番号項目の桁数が表示されます。
	変更することはできません。
印字設定	「6.2.4 印字設定(共通項目)」を参照してください。
データ位置	ドロップダウンリストから呼出番号項目の横方向の揃え方法を選択し
	ます。
	» [左寄せ]、[中央]、[右寄せ]、または[均等]を選択することができます。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.13 文字揃え(項目
	配置グループ)」)
先頭を「0」で埋める	[表示桁数] よりも小さい桁数の呼出番号の場合は、先頭の桁数を「0」
	を表示します。
フェント記会	「6つ5 フェント記字(世通西日)」た会昭してノゼナい

フォント設定-------「6.2.5 フォント設定(共通項目)」を参照してください。

6.13 発行枚数項目のプロパティ

発行枚数項目の項目プロパティの共通項目以外の項目を以下に説明します。 サンプルラベルでは、使用されていません。

発行枚数項目			×
名称 - 印字設定 回転角度	発行校数 0 ⑦ 印字	フォント設定 フォント種類 マ フォント名	内蔵フォント 実字ゴシック(8pt, ▼ 堕:自由に拡大縮小可能
詳細 タイプ 印字フォーマット	発行枚数 ? 「先頭を「0」で埋める	 横倍率 縦倍率 文字間隔 	
項目内配置 データ位置		•	 □ 太子 □ 白抜き □ 反転 □ 下線
			OK ++>7211

[発行枚数項目] ダイアログの項目:

名称	発行枚数項目の名称を設定することができます。名称は、項目一覧エ
	リア等に反映されます。
	» 項目一覧エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒
	「7.4.1 変更(項目一覧)」)
印字設定	「6.2.4 印字設定(共通項目)」を参照してください。
タイプ	ドロップダウンリストから[発行枚数]、[残枚]、または[総枚数]を
	選択します。
印字フォーマット	ドロップダウンリストから発行枚数の印字書式を選択します。
先頭を「0」で埋める	既定の桁数よりも小さい桁数の発行枚数の場合は、先頭の桁数に「0」
	を表示します。
データ位置	ドロップダウンリストから発行枚数項目の横方向の揃え方法を選択し
	ます。
	» [左寄せ]、[中央]、[右寄せ]、または[均等]を選択することができます。
	»[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.13 文字揃え(項目
	配置グループ)」)
フォント設定	「6.2.5 フォント設定(共通項目)」を参照してください。

7. ショートカットメニュー

本章では、ショートカットメニューを使用して、レイアウト・各項目・項目データを編 集する方法について説明します。

7.1 ショートカットメニューを表示する

レイアウトエリア(⇒「10.レイアウトエリア」)内の各項目、入力エリア内のセル/列/行(⇒「11.1入力 エリアの行/列/セル」)、項目一覧エリア(⇒「12.項目一覧エリア」)内の各項目、分類表示エリア(⇒「13. 分類表示エリア」)内の各項目を右クリックしてショートカットメニューを表示し、各項目を編集をするこ とができます。

また、[Ctrl] キーを押しながらレイアウトエリア内の項目、入力エリア内のセル / 列 / 行をクリックして、 複数の項目を選択することができます。

7.2 レイアウトエリアのショートカットメニュー

レイアウトエリア(⇒「10. レイアウトエリア」)のショートカットメニューを使用して、レイアウトの編 集を行うことができます。

7.2.1 レイアウトタブのショートカットメニュー

レイアウトタブを右クリックすると、レイアウトタブのショートカットメニューを表示することができま す。 **1**



7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)

新しいレイアウト、値下レイアウト、コピー発行レイアウト、トレーサビリティレイアウト、neo 固定タ イプレイアウトまたはテーブル一覧発行レイアウトのタブを現在のレイアウトタブの後に追加します。

- » [ファイル] メニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1 新規ーレイアウト」)
- » クイックアクセスツールバーの新規作成でも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」)

7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)

新しいレイアウト、値下レイアウト、コピー発行レイアウト、トレーサビリティレイアウト、neo 固定タ イプレイアウトまたはテーブル一覧発行レイアウトのタブを現在のレイアウトタブの前に追加します。 » [ファイル] メニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1 新規一レイアウト」)

» クイックアクセスツールバーの新規作成でも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」)

7.2.1.3 レイアウトのコピー(レイアウトタブ)

レイアウトをコピーすることができます。

- レイアウトエリアのタブ部分を右クリック⇒ [レイアウトのコピー]を選択します。
 レイアウトエリアに、右クリックしたレイアウトがコピーされます。
 - > 右クリックしたレイアウトの次のタブにコピーされます。
 ただし、項目データは、コピーされません。

7.2.1.4 レイアウトとプリセットのコピー(レイアウトタブ)

レイアウトと項目データをコピーすることができます。

 レイアウトエリアのタブ部分を右クリック⇒ [レイアウトとプリセットのコピー]を選択し ます。

レイアウトエリアに、右クリックしたレイアウトがコピーされます。 入力エリアに、右クリックしたレイアウトの項目データがコピーされます。

- » 右クリックしたレイアウトの次のタブにコピーされます。
- » 同一ファイル内で呼出番号が重複しまうため、重複している [呼出番号] セルがピンク色で表示されます。こ の場合は、同一ファイル内で重複しないような呼出番号に変更してください。 なお、呼出番号を自動作成することもできます。(⇒「7.3.16 呼出番号自動作成(入力エリア)」)

7.2.1.5 レイアウトを削除(レイアウトタブ)

レイアウトを削除することができます。

レイアウトエリアのタブ部分を右クリック⇒ [レイアウトを削除]を選択します。 右クリックしたレイアウトのタブが削除されます。

- » 削除したレイアウトに設定されていた項目データも削除されます。
- » 削除したレイアウトを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒ 「9.5 元に戻す」)

7.2.1.6 他のファイルにレイアウト・全データをコピーする (レイアウトタブ)

レイアウト・全データをコピーすることができます。

 レイアウトエリアのタブ部分を右クリック⇒ [他のファイルにレイアウト・全データをコ ピーする]を選択します。

クリップボードに右クリックしたレイアウトタブのレイアウト・全データが一時保存されます。 » クリップボードにコピーしたデータは、他のファイルに貼り付けることができます。

7.2.1.7 他のファイルにレイアウト・全データを貼り付ける (レイアウトタブ)

[他のファイルにレイアウト・全データをコピーする]を使用してコピーしたレイアウト・全データを貼り 付けることができます。

- 同時に起動している他のラベルパートナーでレイアウトのタブ部分を右クリック⇒ [他の ファイルにレイアウト・全データを貼り付ける]を選択します。
 [他のファイルにレイアウト・全データをコピーする]を使用してコピーしたレイアウト・全データが右クリックしたレイアウトタブに張り付けられます。
 - » 貼り付けたレイアウトを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの[元に戻す]を使用してください。(⇒ 「9.5 元に戻す」)

7.2.1.8 レイアウトプロパティ(レイアウトタブ)

レイアウトのプロパティ([レイアウト設定] ダイアログ)することができます。 »[レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.8 プロパティ(データグループ)」)

レイアウトエリア上で右クリック⇒ [レイアウトプロパティ]を選択します。 [レイアウト設定] ダイアログが表示されます。

» [レイアウト設定] ダイアログの詳細については、「6.1 レイアウトプロパティ] を参照してください。

7.2.1.9 ラベル左回転表示(レイアウトタブ)

レイアウトエリアに表示されたラベルが左に90度回転します。 »[レイアウト]リボンても同様の操作ができます。(⇒「8.4.9 ラベルを回転表示(回転グループ)」)

1. レイアウトエリア上で右クリック⇒「ラベル左回転表示」を選択します。

確認メッセージが表示されます。



2. [はい] をクリックします。

ラベルが左に90度回転します。



7.2.1.10 ラベル右回転表示(レイアウトタブ)

レイアウトエリアに表示されたラベルが右に90度回転します。 »[レイアウト]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.9 ラベルを回転表示(回転グループ)」)

1. レイアウトエリア上で右クリック⇒「ラベル左回転表示」を選択します。

確認メッセージが表示されます。



2. [はい] をクリックします。

ラベルが右に90度回転します。



7.2.2 レイアウトエリアの項目のショートカットメニュー

項目上を右クリックすると、項目のショートカットメニューが表示されます。

たとえば、「商品名」項目上を右クリックします。

» ラベルの種類がフリーサイズラベルの場合は、項目のショートカットメニューが異なりますので、「16. フリーサイズ ラベルの作成」を参照してください。



7.2.2.1 項目プロパティ(項目)

選択した項目のプロパティを表示することができます。 »[レイアウト]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.8 プロパティ(データグループ)」)

- プロパティを表示する項目上で右クリック⇒ [項目プロパティ]を選択します。
 各項目のプロパティが表示されます。
 - » 各項目のプロパティの詳細については、「6. プロパティ」を参照してください。
 - »複数の項目を選択して操作することはできません。

7.2.2.2 レイアウトプロパティ(項目)

前述の「7.2.1.7 レイアウトプロパティ」を参照してください。

7.2.2.3 上下ラベル印字内容を交換(項目)

[レイアウト設定]ダイアログで[二枚貼りレイアウト]を設定している場合、上下のレイアウトを入れ替 えることができます。

» [レイアウト設定] ダイアログで [二枚貼りレイアウト] にチェックが付いている場合に使用できます。

- プロパティを表示する項目上で右クリック⇒ [上下ラベル印字内容を交換]を選択します。
 上下のレイアウトが入れ替わります。
 - » [二枚貼りレイアウト] の設定については、「6.1.1 [一般] タブ] を参照してください。

7.2.2.4 項目コピー(項目)

選択した項目のレイアウトだけをクリップボードにコピーすることができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.3 コピー(クリップボードグループ)」)

1. コピーをする項目上で右クリック⇒ [項目コピー] を選択します。
 クリップボードにコピーデータが一時保存されます。
 » 必要に応じて、[貼り付け] を行います。(⇒ 「7.2.2.7 貼り付け(項目)」)

7.2.2.5 項目切り取り(項目)

選択した項目のレイアウトを切り取り、その項目データを削除することができます。

- » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.4 切り取り(クリップボードグループ)」)
- **1.** 切り取る項目上で右クリック⇒ [項目切り取り] を選択します。 右クリックした項目のレイアウトが切り取られ、クリップボードに切り取りデータが一時保存されます。
 - » 必要に応じて、[貼り付け]を行います。(⇒「7.2.2.7 貼り付け(項目)」)
 - » 切り取りを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に 戻す」)

7.2.2.6 削除(項目)

選択した項目のレイアウトとその項目データを削除することができます。

 ÎI除する項目上で右クリック⇒ [削除]を選択します。
 右クリックした項目が削除されます。
 » 削除を元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す]を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

7.2.2.7 貼り付け(項目)

クリップボードに一時保存されたコピーデータ、または切り取りデータを貼り付けることができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.1 コピー&貼り付け(クリップボードグループ)」)

- **1**。 レイアウトエリア上で右クリック⇒ [貼り付け] を選択します。
 - 選択した項目の近くに一時保存されたコピーデータ、または切り取りデータが貼り付けられます。 » 貼り付けを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に 戻す))

7.2.2.8 コピー&貼り付け(項目)

選択した項目のレイアウトのコピーと貼り付けを1クリックで同時に行うことができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.1 コピー&貼り付け(クリップボードグループ)」)

1. 目的の項目上で右クリック⇒ [コピー&貼り付け] を選択します。 選択した項目の近くにレイアウトが貼り付けられます。

7.2.2.9 項目とデータのコピー&貼り付け(項目)

選択した項目のレイアウトとその項目データのコピーと貼り付けを1クリックで同時に行うことができま す。

»項目データのコピーを行うと、重複した[呼出番号]のセルがピンク色で表示されます。この場合は、ラベルファイ ル内で重複しない数字に修正してください。

なお、呼出番号を自動作成することもできます。(⇒「7.3.16 呼出番号自動作成(入力エリア)」)

- » [ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.2 項目とデータのコピー&貼り付け(クリップボードグループ)」)
- 目的の項目上で右クリック⇒ [項目とデータのコピー&貼り付け]を選択します。
 選択した項目の近くにレイアウトが貼り付けられ、入力エリアに項目データが挿入されます。

7.2.2.10 全項目を選択(項目)

表示されたレイアウト上のすべての項目を選択することができます。

- » レイアウト全項目の全体移動を行う場合などに使用します。
- » [レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.3 全項目を選択(データグループ)」)
- レイアウト上で右クリック⇒ [全項目を選択]を選択します。
 表示されたレイアウト上のすべての項目が選択されます。

7.2.2.11 全項目を削除(項目)

表示されたレイアウト上のすべての項目とその項目データを削除することができます。 »[レイアウト]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.4 全項目を削除(データグループ)」)

1. レイアウト上で右クリック⇒[全項目を削除]を選択します。

表示されたレイアウト上のすべての項目が削除されます。

» 削除を元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

7.2.2.12 揃え(項目)

単独で選択した項目の位置を印字可能領域の左端、縦軸中央、右端、上端、横軸中央、または下端に揃え ることができます。

複数の選択した項目の位置を一方の項目の左端、縦軸中央、右端、上端、横軸中央、または下端に揃える ことができます。

3項目以上を選択して、選択された最上位置 / 最左位置の項目と最下位置 / 最右位置の項目の上下間隔を均 等にすることができます。

» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.11 揃え(項目配置グループ)」)

1. 位置を揃える項目上で右クリック⇒ [揃え] ⇒ [左揃え]、[縦軸中央揃え]、[右揃え]、[上 揃え]、[横軸中央揃え]、[下揃え]、[縦項目間隔均等]、または [横項目間隔均等] を選択 します。

選択した項目が指定した位置に揃えられます。



- » 3項目以上を選択して [縦項目間隔均等] を実行した場合、選択された最上位置の項目と最下位置の項目の上 下間隔を均等にします。
- » 3項目以上を選択して [横項目間隔均等] を実行した場合、選択された最左位置の項目と最右位置の項目の上 下間隔を均等にします。
- » 揃えを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

7.2.2.13 回転(項目)

選択した項目を、0度(すでに回転した項目を元の角度に戻す場合)、90度、180度、または270度ずつ反時計周りに回転することができます。

» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.16 回転(項目配置グループ)」)

 回転する項目上で右クリック⇒ [回転] ⇒ [0 度] / [90 度] / [180 度] / [270 度] を選 択します。

選択した項目が指定した度数で回転されます。

	回転	Ռո	•	~	0度
	順序	d)	•		90度
	グループ				180度
x	ロック				270度

- »すでに回転した項目については、[0度]を選択して、元の角度に戻すことができます。
- »元の角度に対して反時計回りに回転させる角度を選択してください。
- »回転により項目が印字領域外にはみ出てしまった場合、項目枠がオレンジ色で表示されます。 この場合は、必要に応じて項目をドラッグして移動し、調整してください。 印刷範囲のチェックを行って該当箇所を確認することもできます。(⇒「8.8.2 印字範囲(チェックグループ)」)



7.2.2.14 順序(項目)

重なってレイアウトされた項目がある場合、選択した項目を他の項目より前面 / 背面にする、または最前面 / 最背面にすることができます。

項目の階層順位を変更することで、選択しにくかった背面の項目を選択しやすくすることができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.12 順序(項目配置グループ)」)

順序を変更する項目上で右クリック⇒ [順序] ⇒ [最前面へ移動]、[最背面へ移動]、[前面へ移動]、または [背面へ移動] を選択します。

選択した項目が指定した重ね順に移動します。



7.2.2.15 グループ(項目)

選択した複数の項目をグループ化することができます。

グループ化を行うと、複数の項目を一度に選択して移動する際などに、効率の良い作業ができます。

グループ化を解除して、もとの個別の項目に戻すこともできます。

また、レイアウト上のすべてのグループを、一度に解除することもできます。

- » 複数の項目を一度に移動するような場合に設定します。
- » グループのグループ化も設定することができます。
- » [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.18 グループ / グループを解除(項目配置グループ)」)

グループ化

- **1.** [Ctrl] キーを押しながらグループ化する複数の項目を選択します。 または、グループ化したい項目をマウスで範囲指定をします。
- **2. 選択したいずれかの項目上で右クリック⇒ [グループ] ⇒ [グループ項目] を選択します**。 選択した項目がグループ化されます。



グループ解除

 グループ化を解除するグループ項目上で右クリック⇒ [グループ] ⇒ [グループを解除] / [全 てのグループを解除] を選択します。

[グループを解除]を実行した場合、選択したグループ項目のグループ化が解除されます。 [全てのグループを解除]を実行した場合、レイアウト上のすべてのグループ項目のグループ化が解 除されます。



7.2.2.16 ロック(項目)

選択した項目をロックして、レイアウトエリア上で移動やサイズ変更が行えないようにすることができま す。

» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.15 ロック(項目配置グループ)」)

1. ロックする項目上で右クリック⇒[ロック]を選択します。

選択した項目がロックされます。

- » 複数の項目を選択してロックすることができます。
- »ロックを解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

7.2.2.17 全項目をロック(項目)

表示されたレイアウト上のすべて項目をロックして、レイアウトエリア上で移動やサイズ変更が行えない ようにすることができます。

» [レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.5 全項目をロック(データグループ)」)

1. レイアウト上で右クリック⇒[全項目をロック]を選択します。

表示されたレイアウト上のすべての項目がロックされます。

»全項目のロックを解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

7.2.2.18 キー項目(項目)

選択した項目を、本体で呼出発行を行う際に最初に表示される表示項目(キー項目)に設定することができます。初期設定では、レイアウトに最初に設定された項目がキー項目となりますが、この操作でキー項目を変更することができます。

» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.17 キー項目(項目配置グループ)」)

1。 キー項目を設定する項目上で右クリック⇒[キー項目]を選択します。

選択した項目が呼出発行時の表示項目として設定されます。

» キー項目に設定できるのは、1 レイアウト中、1 項目です。他の項目をキー項目に設定すると、元のキー項目 設定は削除されます。

7.2.2.19 検索用バーコード項目の指定(項目)

レイアウト上のバーコード項目を検索用バーコード項目として設定して本体に送信すると、本体に[バー 検索]アイコンが作成されます。

» [レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.2 検索用バーコード項目の指定(データグループ)」)

 検索用バーコード項目に設定する項目上で右クリック⇒ [検索用バーコード項目]を選択し ます。

選択した項目がバー検索時の検索対象のバーコード項目として設定されます。

7.2.2.20 検索用項目に指定(項目)

レイアウト上の文字項目を検索用項目に指定して設定して本体に送信すると、本体に[文字検索]アイコンが作成されます。

» [レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.1 検索用項目に指定(データグループ)」)

- 検索用項目に設定する項目上で右クリック⇒ [検索用項目に指定]を選択します。
 選択した項目が文字検索時の表示項目として設定されます。
 - »検索用項目に設定できるのは、1レイアウト中、1項目です。他の項目を検索用項目に設定すると、元の検索 用項目設定は削除されます。

7.2.2.21 画像の元サイズに戻す(項目)

画像サイズを変更したイメージ項目を選択して、元の画像サイズに1クリックで戻すことができます。 » 複数のイメージ項目を選択して同時に操作することはできません。

- » [レイアウト] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.4.6 画像の元サイズに戻す(データグループ)」)
- 目的のイメージ項目上で右クリック⇒ [画像の元サイズに戻す]を選択します。
 選択したイメージ項目が、元の画像サイズに戻ります。

7.2.2.22 全て非印字項目を印字項目に変更(項目)

印字を行わない設定をしたすべての項目を、印字を行う通常の設定に1クリックで戻すことができます。

レイアウト上で右クリック⇒ [全て非印字項目を印字項目に変更]を選択します。
 すべての項目が印字される設定になります。

7.2.3 レイアウトエリア上の各項目以外のショートカットメニュー

このショートカットメニューでもアクティブになっている項目を選択することができます。

» ラベルの種類がフリーサイズの場合は、各項目以外のショートカットメニューが異なりますので、「16. フリーサイズ ラベルの作成」を参照してください。



.

7.3 入力エリアのショートカットメニュー

入力エリアを右クリックして表示されるショートカットメニューを使用して、入力エリア内で項目データの編集を行うことができます。



ショートカットメニューの操作対象の対応

ショートカットメニュー	参照先
コピー	7.3.1 コピー (入力エリア)
切り取り	7.3.2 切り取り(入力エリア)
削除	7.3.3 削除(入力エリア)
貼り付け	7.3.4 貼り付け(入力エリア)
行挿入	7.3.5 行挿入(入力エリア)
行削除	7.3.6 行削除(入力エリア)
プリセットデータシートに行追加	7.3.7 プリセットデータシートに行追加(入力エリア)
入力後セルの移動方向	7.3.8 入力後セルの移動方向(入力エリア)
昇順並べ替え	7.3.9 昇順並べ替え(入力エリア)
降順並べ替え	7.3.10 降順並べ替え(入力エリア)
並べ替え	7.3.11 並べ替え(入力エリア)
分類定義で並べ替え	7.3.12 分類定義で並べ替え(入力エリア)
列を表示しない	7.3.13 列を表示しない(入力エリア)
隠し列を再表示	7.3.14 隠し列を再表示(入力エリア)
画面データを印字発行	7.3.15 画面データを印字発行(入力エリア)
呼出番号自動作成	7.3.16 呼出番号自動作成(入力エリア)
分類設定	7.3.17 分類設定(入力エリア)
分類解除	7.3.18 分類解除(入力エリア)
全プリセット表示	7.3.19 全プリセット表示(入力エリア)

7.3.1 コピー(入力エリア)

選択した項目データをクリップボードにコピーすることができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.3 コピー(クリップボードグループ)」)

1。 コピーする項目データ上で右クリック⇒ [コピー] を選択します。

クリップボードにコピーデータが一時保存されます。

- »入力エリアの行、列、セルを選択することができます。
- » 必要に応じて、 [貼り付け]を行います。 (⇒7.3.4 貼り付け (入力エリア)」)

7.3.2 切り取り(入力エリア)

選択した項目データを切り取ることができます。

» [ホーム] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.4 切り取り(クリップボードグループ)」)

- 切り取る項目データ上で右クリック⇒ [切り取り] を選択します。
 右クリックした項目データが切り取られ、クリップボードに切り取りデータが一時保存されます。
 - »入力エリアの行、列、セルを選択することができます。
 - » 必要に応じて、[貼り付け]を行います。(⇒7.3.4 貼り付け(入力エリア)」)
 - » 切り取りを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に 戻す」)

7.3.3 削除(入力エリア)

選択した項目データを削除することができます。

- 削除する項目データ上で右クリック⇒ [削除] を選択します。
 右クリックした項目データが削除されます。
 - »入力エリアの行、列、セルを選択することができます。
 - » 削除を元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

7.3.4 貼り付け(入力エリア)

クリップボードに一時保存されたコピーデータ、または切り取りデータを貼り付けることができます。 »[ホーム]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.2.5 貼り付け(クリップボードグループ)」)

1。 入力エリア内の貼り付け位置で右クリック⇒ [貼り付け] を選択します。

一時保存されたコピーデータ、または切り取りデータが貼り付けられます。

» 貼り付けを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に 戻す」)

7.3.5 行挿入(入力エリア)

入力エリアに新しい行を挿入することができます。 »[プリセット]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.5 挿入(データシートグループ)」)

入力エリア内の行挿入を行う位置の行で右クリック⇒ [行挿入] を選択します。
 1つのセルまたは1行を選択した場合、選択されたセルまたは行の上に行が挿入されます。
 複数行にわたるセル、または複数行を選択した場合、同じ行数の行が挿入されます。
 列を選択した場合、全体の行数と同じ行数の行が挿入されます。

7.3.6 行削除(入力エリア)

入力エリアの行を削除することができます。 »[プリセット]リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.6 削除(データシートグループ)」)

入力エリア内の削除する行で右クリック⇒ [行削除]を選択します。
 選択したセルがある行、または選択した行が削除されます。
 列を選択した場合、入力エリアが空の1行のみとなります。

- »行に項目データが入力されていた場合、項目データも削除されます。
- » 削除を元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

7.3.7 プリセットデータシートに行追加(入力エリア)

入力エリアの先頭行の前 / 最終行の後ろ / 現在の行の前に、指定した行数の新しい行を挿入することができます。

- » [プリセット] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.7 先頭行の前に行を追加(データシートグループ)」、「8.5.8 末行の後ろに行を追加(データシートグループ)」、および「8.5.9 現在行の前に行を追加(データシートグループ)」)
- 入力エリア内の行を挿入する位置で右クリック(現在の行の前に挿入する場合)、または入 カエリア内で右クリック(その他の場合)⇒[プリセットデータシートに行追加]⇒[先頭 行の前に行を追加]/[末行の後ろに行を追加]/[現在行の前に行を追加]を選択します。
 [プリセットシートに行追加]ダイアログが表示されます。



2. 挿入する行数を〔行数〕で指定し、〔OK〕をクリックします。

7. ショートカットメニュー 7.3 入力エリアのショートカットメニュー

プリセット	トシートに行進	当力口	×
行数		100	
	ОК	キャンセル	

7.3.8入力後セルの移動方向(入力エリア)

入力エリアでデータ入力をした際に、次に移動するセルの方向(右または下)を設定することができます。

1. 入力エリア内で右クリック⇒ [入力後セルの移動方向] ⇒ [右] / [下] を選択します。 移動方向が設定されます。

入力後セル	しの移動方向	lle '	~	右
↓ 昇順並べ替	え	· ·		т

7.3.9 昇順並べ替え(入力エリア)

入力エリアの列内のデータを基準にして、項目データを昇順に並べ替えることができます。

- » [プリセット] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.2 昇順並べ替え(データグループ)」)
- » [オプション] ダイアログの [並べ替え時空白セルを対象にする] にチェックが付いている場合、空白セルが並べ替 え対象に含まれます。(⇒「8.8.5 オプション(オプショングループ)」)

入力エリア内で並べ替えの基準とする列のセルで右クリック⇒[昇順並べ替え]⇒[文字]/[数値](文字項目のみ)を選択します。 昇順並べ替えが実行されます。

» 文字項目以外の項目は、〔文字〕/〔数値〕サブメニューが表示されません。文字項目の場合は、文字として並 べ替えを行うか、数値として並べ替えを行うかを選択します。

- » 2 列のデータを組み合わせて並べ替えを行う場合は、[並べ替え] (⇒「7.3.11 並べ替え (入力エリア)」)を使 用してください。
- » 分類定義で並べ替えを行う場合は、[分類定義で並べ替え](⇒「7.3.12 分類定義で並べ替え(入力エリア)」) を使用してください。



7.3.10 降順並べ替え(入力エリア)

入力エリアの列内のデータを基準にして、項目データを降順に並べ替えることができます。

- » [プリセット] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.3 降順並べ替え(データグループ)」)
- » [オプション] ダイアログの [並べ替え時空白セルを対象にする] にチェックが付いている場合、空白セルが並べ替 え対象に含まれます。(⇒「8.8.5 オプション(オプショングループ)」)
- 入力エリア内で並べ替えの基準とする列のセルで右クリック⇒[降順並べ替え]⇒[文字]/[数値](文字項目のみ)を選択します。

降順並べ替えが実行されます。

- » 文字項目以外の項目は、[文字] / [数値] サブメニューが表示されません。文字項目の場合は、文字として並 べ替えを行うか、数値として並べ替えを行うかを選択します。
- » 2 列のデータを組み合わせて並べ替えを行う場合は、[並べ替え](⇒「7.3.11 並べ替え(入力エリア)」)を使 用してください。
- » 分類定義で並べ替えを行う場合は、〔分類定義で並べ替え〕(⇒「7.3.12 分類定義で並べ替え(入力エリア)」) を使用してください。

₩	降順並べ替え	·h ·	文字
2 ⊕	並べ替え…		数値

7.3.11 並べ替え (入力エリア)

入力エリアの列の項目データを優先項目を基準に昇順 / 降順に並べ替えることができます。

- » [プリセット] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.5.4 並べ替え (データグループ)」)
- » [オプション] ダイアログの [並べ替え時空白セルを対象にする] にチェックが付いている場合、空白セルが並べ替 え対象に含まれます。(⇒「8.8.5 オプション(オプショングループ)」)
- 入力エリア内で右クリック⇒ 「並べ替え」を選択します。
 「並べ替え」ダイアログが表示されます。

_ 並べ替え…	—
最優先項目	
文字2	-
◎ 昇順	◎ β鼻川頂
◎ 文字	◎ 数値
-2番目に優先項目	
バーコード1	•
◎ 昇順	◎ 路順
◎ 文字	◎ 数値
ОК	*+>ンセル

2. 各項目を選択し、[OK] をクリックします。 並べ替えが実行されます。

【並べ替え】ダイアログの項目:
 最優先項目------ドロップダウンリストから、1番目の並べ替え基準とする項目を選択します。
 昇順/降順-------並べ替え方法を選択します。
 文字/数値-------文字として並べ替えを行うか、数値として並べ替えを行うかを選択します。
 2番目に優先項目 -------ドロップダウンリストから、2番目の並べ替え基準とする項目を選択します。

- » 文字項目以外の項目は、〔文字〕/ 〔数値〕が選択できません。
- » 1 列のデータを基準に並べ替えを行う場合は、[昇順並べ替え] / [降順並べ替え] (⇒「7.3.9 昇順並べ替え(入 カエリア)」/「7.3.10 降順並べ替え(入力エリア)」)を使用してください。
- » 分類定義で並べ替えを行う場合は、[分類定義で並べ替え] (⇒「7.3.12 分類定義で並べ替え (入力エリア)」) を使用してください。

7.3.12 分類定義で並べ替え(入力エリア)

分類定義された項目データを並べ替えることができます。

- »分類定義の作成手順は、「7.5.1分類定義」を参照してください。
- 入力エリア内で右クリック⇒ [分類定義で並べ替え] を選択します。
 分類定義並べ替えが実行されます。
 - »入力エリア内のプリセットデータを分類定義順に並べ替える場合、分類表示エリアの分類の並び順に従って並 べ替えられます。分類表示エリアの分類の並び順を変更する方法については、「7.5.4 上へ移動(分類定義)」、 および「7.5.5 下へ移動(分類定義)」を参照してください。

7.3.13 列を表示しない(入力エリア)

入力エリアの列を、非表示に設定することができます。

- 入力エリア内で非表示とする列のセルで右クリック⇒ [列を表示しない]を選択します。
 列が非表示となります。
 - »複数の列を選択して非表示とすることができます。
 - » 非表示にした列を再度表示する場合は、[隠し列を再表示]を使用してください。(⇒「7.3.14 隠し列を再表示(入 カエリア)」)

7.3.14 隠し列を再表示(入力エリア)

非表示に設定した入力エリアの列を、再表示することができます。

入力エリア内で右クリック⇒ [隠し列を再表示]を選択します。
 非表示列が再表示されます。

7.3.15 画面データを印字発行(入力エリア)

プリセットデータを呼出番号・枚数を指定してラベル発行することができます。

- »本体にデータは登録されません。
- » [通信] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.7.3 番号指定発行(オンライン発行)」、「8.7.4 選択発行(オンラ イ ン発行)」)
- 入力エリア内で右クリック⇒ [画面データを印字発行]を選択します。
 [1 プリセットを発行] ダイアログが表示されます。

1プリセットを発行		×
呼出番号	7	* *
発行枚数	1	* *
ОК	キャンセル	

2. [呼出番号] と [発行枚数] を指定して、[OK] をクリックします。 指定した呼出番号のラベルが、指定した枚数分発行されます。

次のエラーメッセージが表示された場合は、本体の電源を切り、USB ケーブルの接続を確認し、手順 2の操作を再度行い、エラーメッセージの[再試行]をクリックしてください。

15-
₩WSBポートが使用できません。
再試行(R) キャンセル

- »本体とパソコンが USB ケーブルで接続されているか確認してください。 接続方法については、「1.2 ラベルパートナーと USB ドライバーのインストール」の手順7を参照してください。
- »本体の電源を入れ、タッチパネルの〔通信〕アイコンをタッチして通信モードにしてください。

7.3.16 呼出番号自動作成(入力エリア)

入力エリアの [呼出番号] を連番で自動作成することができます。

 入力エリア内で右クリック⇒ [呼出番号自動作成]を選択します。または、入力エリアの [呼 出番号] 列で、呼出番号の自動作成を行いたい範囲の先頭セルから末尾セルまでをドラッグ で範囲指定し、その範囲上で右クリック⇒ [呼出番号自動作成] を選択します。
 [呼出番号作成] ダイアログが表示されます。

連続呼出番号作品	ζ.	X
開始行		级了飛星 1
[#]26世方	T	 № 丁世号 ▼ 開始番号と終了番号同時変化
	ОК	キャンセル

2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。 呼出番号が指定された内容で自動的に入力されます。

	[呼出番号作成]	ダイアログの項目
--	----------	----------

開始行	呼出番号の自動作成を開始する行の番号を指定します。ドラッ
	グで範囲指定した場合は、自動的に開始行が表示されます。
開始番号	連番の開始番号を指定します。
終了番号	連番の終了番号を指定します。ドラッグで範囲指定した場合は、
	[開始番号]を指定すると自動的に [終了番号] が表示されます。
開始番号と終了番号同時変化	開始番号を指定すると同時に終了番号が指定されるようにする
	場合はチェックを入れます。

7.3.17 分類設定(入力エリア)

項目データに分類表示定義エリアで作成した分類を関連付けることができます。

»分類定義の作成手順については、「7.5.1分類定義」を参照してください。

 入力エリア内で分類を設定する項目データを右クリック⇒ [分類設定] ⇒ 「設定する分類名」 を選択します。



分類が設定され、行番号の背景色が分類色に変更されます。 ここでは、弁当と丼が定義されています。



分類表示		呼出番号	商品名	原材料の内容
- <u>全データ</u> <mark> 弁当 [1]</mark> 	1	7	ロースか つ弁当	ご飯、揚げ物、 キャベツ、付合せ、 トマト (その他卵、小麦、 乳、大豆由来原料…
	2	8	のり弁当	
	•			III

7.3.18 分類解除(入力エリア)

項目データに設定された分類の関連付けを解除することができます。

»分類表示エリアの表示方法については、「8.3.9分類定義(画面表示グループ)」を参照してください。

 入力エリア内で分類の関連付けを解除する項目データを右クリック⇒ [分類解除] を選択し ます。

分類の設定が解除され、行番号の背景色が元の色に戻ります。

7.3.19 全プリセット表示(入力エリア)

ファイルの中の全プリセットデータを表示します。

1. 入力エリア内で右クリック⇒[全プリセット表示]を選択します。

全プリセット番号が一覧表示されます。



2. 一覧表示フレームの中で右クリック⇒ [プリセットデータを印刷]を選択します。

プリセットデータ印刷画面が表示されます。



各種選択して〔印刷ボタン〕をクリックします。

» メニューバーの「プリセット」⇒「プリセットデータ印刷」でも操作ができます。

7.4 項目一覧エリアのショートカットメニュー

項目一覧エリア(⇒「12.項目一覧エリア」)のショートカットメニューを使用して、項目名の変更、およ び項目名を印字する / 印字しないを設定することができます。



» 項目一覧エリアの各項目上をダブルクリックすると、各項目のプロパティが表示されます。(⇒「6.3 文字項目のプロ パティ」~「6.13 発行枚数項目のプロパティ」)

7.4.1 変更(項目一覧)

項目一覧エリアに表示された項目の名称を変更することができます。 » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.3 文字項目のプロパティ」~「6.13 発行枚数項目のプロパティ」)

1. 項目入力エリア内で名称を変更する項目を右クリック⇒ [変更] を選択します。 項目名の文字列が、編集可能になります。



2. 項目名を変更し、[Enter] キーを押します。 項目名が変更されます。

7.4.2 印字しない(項目一覧)

項目一覧エリアに表示された項目について、印字する / 印字しないを設定することができます。

»印字しない設定を行うと、設定した項目がレイアウトエリアで非表示になります。

» 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.4 印字設定(共通項目)」)

 項目入力エリア内で設定を変更する項目を右クリック⇒[印字]/[印字しない]を選択します。
 [印字しない]を選択すると、項目名の後ろに「[印字しない]」と表示され、設定した項目がレイア ウトエリアで非表示になります。



[印字]を選択すると、項目名の後ろの「[印字しない]」が削除されます。



»[印字]/[印字しない]は選択した項目によって切り替わります。

7.5 分類表示エリアのショートカットメニュー

レイアウトごとに作成されたプリセットデータ呼出番号の分類定義を行います。

7.5.1 分類定義

各レイアウトのプリセットデータを新規に分類定義します。

1. 分類表示エリアを表示させます。

メニュー・リボン⇒表示⇒分類定義ボックスにチェックを入れると、分類表示エリアが作成されます。 (⇒「8.3.9分類定義(画面表示グループ)」)



2. 分類表示エリアで分類定義をします。

分類表示エリア内で右クリックして[新規]を選択します。 [分類]ダイアログが表示されます。

たとえば、名称に[弁当]を入力し、分類識別番号 ID を[1]のままにして[OK]ボタンをクリックします。

	Í	分類 X
分類表示 ★5 ⁻⁰ その他 新規 削除 上へ移動 下へ移動	⇒	名称: 弁当 分類識別ID(4桁数字): 1 分類表示色: OK キャンセル

分類表示エリアに〔弁当〕が作成されました。

分類表示
<mark>全データ</mark> <mark></mark> 弁当 [1]
その他

同様に、[丼]、分類識別番号 ID [2] として追加します。

»呼出番号に存在しない分類の場合は、分類名の末尾に「無」が付記されます。

»他のレイアウトに同じ分類名がある場合は、そのレイアウトに移動します。

分類表示		分類表示	
☆データ 弁当[ID: 1] 毎日 #[TD: 2]-毎		全データ 弁当 + その他	[ID: 1] 新規
子(110) 21 (11)	\Rightarrow		削除
C0012			変更
			上へ移動
			下へ移動
			この分類に登録したレイアウトへ移動

分類定義は、最大[100]種類まで着色して定義できます。

3. プリセット番号を分類します。

入力エリアのプリセットデータを定義した分類に関連付けします。(⇒7.3.17分類設定「入力エリア」) レイアウト1の呼出番号 [7]の「ロースかつ弁当」を [弁当]の分類に定義します。 呼出番号 [7]の列のいずれかのセル上で右クリックし [分類設定] ⇒ [弁当]を選択します。

分類表示		呼出番号	商品名 原材料の内容
全データ	1 🕨	7	ローマンシンクシュー ご飯 埋げ物、キャベ
	2	8	
——— 井[ID: 2]	3	ă	6 切り取り
一その他	4	×	< 削除
	5	Ū.	貼り付け
	6	3	行揮入
	7		1 行削除
	8		プリセットデークシートに行き加
	9		
	10		
	11	ź	↓ 昇順亚へ替え
	12	Z,	↓ 降順並べ替え
	13	Âzs	g 並べ替え…
	14		分類定義で並べ替え
	15		列を表示しない
	16		隠し列を再表示
	17		
	18	1=	画面ナーダを印子先行
	19		呼出番号自動作成
	20		分類設定 ▶ 弁当
	21		分類解除
	22		全プリセット表示

同様に、呼出番号[8]の[のり弁当]も[弁当]に分類定義します。 同様に、レイアウト2の呼出番号[17]の[メンチかつ弁当]も[弁当]に分類定義します。 同様に、レイアウト3の呼出し番号[27]の[海鮮丼]は、[丼]に分類定義します。 7. ショートカットメニュー 7.5 分類表示エリアのショートカットメニュー

分類表示		呼出番号	商品名
r 全データ	1 🕨	7	ロースかつ弁当
	2	8	のり弁当
	3		
	4		
	5		

7.5.2 削除(分類定義)

作成した分類を削除することができます。

- »項目データが関連付けられている分類は、削除することができません。この場合は、項目データの分類設定を解除してください。分類設定の削除については、「7.3.18分類解除(入力エリア)」を参照してください。
- 分類表示エリア内で削除する分類を右クリック⇒ [削除]を選択します。
 分類が削除されます。

次のエラーメッセージが表示された場合は、まず項目データの分類設定を解除してください。



»分類設定の削除については、「7.3.18分類解除(入力エリア)」を参照してください。

7.5.3 名前変更(分類定義)

分類表示エリアに表示された分類名を変更することができます。

分類表示エリア内の分類名上で右クリック⇒ [名前変更] を選択します。
 [分類] ダイアログが表示されます。

分類		×
名称: 并当		
分類識別ID(4桁)	数字〉: 1	
分類表示色:		
	OK キャンセル	

2. [名称] に変更する分類名称を指定し、[OK] をクリックします。 分類名が変更されます。

7.5.4 上へ移動(分類定義)

分類表示エリアに表示された分類名を1つ上に移動することができます。

- »入力エリア内の項目データを分類定義順に並べ替える場合、分類表示エリアの分類の並び順に従って並べ替えられま す。(⇒「7.3.12分類定義で並べ替え(入力エリア)」)
- **1.** 分類表示エリア内で1つ上に移動する分類名を右クリック⇒ [上へ移動]を選択します。 分類の位置が1つ上に移動されます。



7.5.5 下へ移動(分類定義)

分類表示エリアに表示された分類の並び順を1つ下に変更することができます。

- »入力エリア内の項目データを分類定義順に並べ替える場合、分類表示エリアの分類の並び順に従って並べ替えられま す。(⇒「7.3.12分類定義で並べ替え(入力エリア)」)
- **1.** 分類表示エリア内で1つ下に移動する分類を右クリック⇒ [下へ移動] を選択します。 分類の位置が1つ下に変更されます。



.

.

8.メニュー・リボン

本章では、メニューやリボンの使用方法について説明します。

8.1 ファイル

8.1.1 新規

新規にファイルまたは各種レイアウトを作成することができます。

ここで、「メニューリボン」⇒「レイアウト」メニュー⇒「プロパティ」⇒「neo 固定タイプレイアウト設定」 で「マスタレイアウトを使用」にチェックを入れた場合は、「neo 固定タイプレイアウト」が追加で表示さ れます。

なお、「neo 固定タイプレイアウト設定」にチェックを入れない場合は、neo 固定マスタレイアウトが表示 されません。



8.1.1.1 ファイル

新規にファイルを作成することができます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [ファイル] を順にクリックします。 » クイックアクセスツールバーの [新規] メニュー⇒ [ファイル] を順に選択しても同様に操作ができます。

ファ	イル ホーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
	新規	•	ファイル	0	L	
đ	開<		レイアウト	2	m)	
	別ウィンドウでファイルを開く	C 1	値下レイアウト	۲.	_	
	上書き保存		コピー発行レイフ	アウト		
	名前を付けて保存		トレーサビリティ	(レイアウト		
	インポート	*	neo固定タイプレ	ィアウト		
	エクスポート	•	テーブル一覧発行	テレイアウト		
	パスワードでデータ保護					
	データファイル情報設定					
	情報					
	データ互換性情報確認					
						終了

[デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。

デフ	デフォルトラベル設定				
	ラベル選択 🚺 標準(マーク)55×43mm 🚽				
	ラベルタイプ	裏マーク			
	ラベル幅	55mm			
	ラベル長	42.9mm			
	ギャップ幅	Omm			
		OK キャンセル			

2. 「新規ファイルに標準ラベルを使用する」または「新規ファイルにユーザー定義ラベルを使用する」のいずれかの操作を行います。

新規ファイルに標準ラベルを使用する

- (1) [ラベル選択] ドロップダウンリストから使用する標準ラベルを選択します。
 - ここでは、サンプルラベルと同じ[標準(マーク)55mmx43mm]を選択し、[OK]をクリックします。 »標準のフリーサイズラベルを選択する場合は、「16.1標準のフリーサイズラベルから作成する」を参照してく ださい。



(2) 選択した標準ラベルがレイアウトエリアに表示されます。

ラベルの設定方法については、「8.6.7 ラベル編集(データグループ)」を参照してください。



新規ファイルにユーザー定義ラベルを使用する

- (1) [ラベル選択] ドロップダウンリストから使用する [ラベル新規追加] を選択します。 [ラベル編集] ダイアログが表示されます。
 - » ユーザ定義のフリーサイズラベルを作成する場合は、「16.2 ユーザ定義のフリーサイズラベルを作成する」を 参照してください。



(2) ラベルの設定を行います。

» ラベルの設定方法については、「8.6.7 ラベル編集(データグループ)」を参照してください。

(3) [ラベル追加保存] をクリックします。



定義したラベルがレイアウトエリアに表示されます。

8.1.1.2 レイアウト

ファイルに新しいレイアウトタブを追加することができます。

- 1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [レイアウト] を順に選択します。
 - » ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レ イアウトタブ)」)
 - » クイックツールバーでも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」の「レイアウト」)



新しいレイアウトタブが現在のレイアウトタブの後ろに追加されます。


8.1.1.3 値下レイアウト

ファイルに値下レイアウトを追加することができます。

- **1。** [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [値下レイアウト] を順に選択します。
 - » 詳細については、「15. 値下ラベルの作成」を参照してください。



値下ラベル作成ウィザード画面が作成されます。

値下ラベル作成ウィザード			×
─値下ラベルの選択 よく使われる値下ラベル			
新盛値下A-55×34	*		
20%引 800円			
42012342673842003005	491 2245-76-40105-05	42012245676543C08C05	
			-
12345	678001234	67890	
12JTJ	0707012545	07070	
·'			
L			
	同 五	· ΆτΑ - Ατων «ΗΠΙ	
	戻る	キャンセル	

2. 値下ラベルの選択をして [次へ] をクリックします。

値下ラベル作成ウィザードが開きます。

値下ラベル作成ウィザード	\mathbf{X}
- %引設定 最大値下げ幅% 50 📚 (1~	-99)
-UPCE(元パーコード)設定 ● UPCA(Z展開	
 ● 先頭「0」埋めでCDなし ● 先頭「0」埋めでCDあり 	
端数处理設定 处理対象	
● 値下後価格	○ 値下額
→端数処理● 切捨て	 処理桁数 ③ 指定なし
〇切上げ	
	値下ボタン定義
	戻る 終了 キャンセル

3. [終了] ボタンをクリックします。 新しく値下レイアウトタブが現在のレイアウトタブの後ろに追加されました。

🔞 🗋 - 📑 🚽 🧐 🖗 🖯 a	🗎 無罰 カット	ライン付き(変更) - La	bel Partner for N	o7 Pro	
<mark>ファイル</mark> ホーム 表示 レイ	アウト プリセット その	の他データ編集 通信	ツール		۵
	重複データ デロリ チェック データ オフツ オフツ オフツ オフツ	1 32 32			
₹-255×43mm	值下A-55×34			項目(値下け項目)	構成
 ▲ ▲	BED 80		<u>1</u>	值 计过度目线点 共有项目 %公订行通格从 户时行通格和 户时行通格和 户时行通格和 开闭行通格和	00 パ パ パ パ パ パ パ パ パ パ パ パ パ
490123	456789410	00209		966]	20
				F981	200
2				新価格	800
NO				元パーコード種類	JAN13
				元パーコード	4901234567
				任用ます	1234567 G // IL #1925505
				2015年10日日 全値下げうべり	シー活確認知
レイアウト情報: 項目:25個 ファイル情報: レイアウト:2個	ブリセット: 0件 0 B) ブリセット: 5件 @45 B)	ブリセットサイズ:0B テーブル:0件(0B)	登録イメージ:	D#\$ (0B)	210N:: フォント:0租_::

8.1.1.4 コピー発行レイアウト

商品のバーコードをスキャナーで読み取って同じバーコードを本体で発行することができます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [コピー発行レイアウト] を順に選択します。



新たにコピー発行レイアウトタブが現在のレイアウトタブの後ろに追加されました。



8.1.1.5 トレーサビリティレイアウト

トレーサビリティのレイアウトを作成することができます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [トレーサビリティレイアウト] を順に選択します。 » 詳細については、「17.トレーサビリティのラベル作成」を参照してください。



出力形式画面が表示されます。

出力形式				×
 A タイプ 				
一つの個体識別番号に対して、重量な	彩を入力			
🔘 B タイプ				
最大3つまでの個体識別番号を入力				
💿 C タイプ				
最大3つまでの生産履歴確認番号を	ሊታ			
	戻る	次	ОК	キャンセル
				,

たとえば、「Aタイプ」を選択のまま、「次へ」をクリックします。 入力画面構成が表示されます。



ここでは、「1つの画面で必要なデータを入力」を選択のまま、「次へ」をクリックします。 入力バーコード画面が表示されます。



固体識別番号以外にバーコードに表示させたい項目にチェックを入れます。 ここでは、固体識別番号だけにして、「次へ」をクリックします。



URL印字設定画面が表示されます。

ここでは、「する」を選択のまま、「OK」をクリックします。



新たにトレーサビリティレイアウトが現在のレイアウトタブの後ろに追加されました。

8.1.1.6 neo 固定タイプレイアウト

neo 固定タイプのレイアウトを作成することができます。 neo 固定タイプレイアウトを作成するためには、「メニューリボン」⇒「レイアウト」メニュー⇒「プ ロパティ」⇒「neo 固定タイプレイアウト設定」で「マスタレイアウトを使用」にチェックを入れて ください。(⇒「8.4.8.6 neo 固定タイプレイアウト設定」)

なお、チェックが付いていない場合、neo 固定タイプレイアウトは作成されません。

1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] メニュー⇒ [neo 固定タイプレイアウト] を順に選択します。

- » レイアウトタブのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、 「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」)
- » クイックツールバーでも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」)

ファ	イルホーム表示	レイアウ	74	プリセット その他データ編集 通信 ツール
			_	
	新規	- * I	9	ファイル
2	開<	[レイアウト
	別ウィンドウでファイルを開			値下レイアウト
	上書き保存			コピー発行レイアウト
	名前を付けて保存			トレーサビリティ レイアウト
	インポート	•		neo固定タイプレイアウト
	エクスポート	•		テーブルー覧発行レイアウト
	パスワードでデータ保護			
	データファイル情報設定			
	情報			
	データ互換性情報確認			
				終了

 内蔵 neo 固定タイプレイアウトから選択する場合と neo 固定タイプレイアウトを新規作成 する場合から選択することができます。

【内蔵 neo 固定タイプレイアウトから選択】した場合



レイアウト番号にチェックを入れるとレイアウト番号ごとにレイアウトタブが作成されます。 たとえば、レイアウト1にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックすると、レイアウト番号「1」 のタブが作成されます。



項目の上辺の赤線は、いずれかの項目が「高さ可変項目」に設定されていることを表示しています。 ここで、バーコードは、レイアウトプロパティでフリーバーコードに設定されていますので、呼出 番号項目「66666」を印字しないにして原産地項目にデータがない場合は、フリーバーコードが上辺 まで伸長します。

また、リサイクルマークの付帯文字項目が文字項目プロパティでフリー項目拡張機能有効に設定されていますので、リサイクルマークにデータがない場合は、バーコードが下辺まで伸長します。 » フリーバーコードは、「6.1 レイアウトプロパティ」を参照してください。

»フリー項目拡張機能有効は、「6.3文字項目のプロパティ⇒6.3.2 [詳細] タブ」を参照してください。



»「全て選択」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックすると、全てのレイアウト番号のレイアウトタブ が作成されます。

【neo 固定タイプレイアウトを新規作成】の場合

neo 固定タイプレイアウトを新規作成にチェックを入れるとレイアウトしたい項目を選択する画面 が表示されます。

たとえば、全て選択にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。

neo固定タイプレイアウトを追加	
◎ 内蔵neo固定タイプレイアウトから選択	
◎ neo固定タイプレイアウトを新規作成	
 ✓ 品名1 ✓ 品名2 ✓ 部門番号 ✓ 売価 ✓ バーコード ✓ バーコード2 ✓ 原産地番号 ✓ リサイクルマーク番号 ✓ 補正日 ✓ 補正時間 ✓ 予約 	
☑ 全て選択	
OK キャンセル	

すると、レイアウト番号「1」のタブが作成されます。



8.1.1.7 テーブル一覧発行レイアウト

テーブル一覧発行のレイアウトを作成することができます。

- 1. [ファイル]メニュー⇒[新規]メニュー⇒[テーブル一覧発行レイアウト]を順に選択します。
 - » レイアウトタブのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、 「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」)
 - » クイックツールバーでも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」)



2. テーブルを選択する画面が表示されます。

作成したテーブルから選択し、[OK] ボタンをクリックします。

テーブルを選択)
テーブルを選択 生産者テーブル 👻	
OK キャンセル	

3. テーブル一覧発行レイアウトのタブが作成されました。

文字項目をレイアウトし、文字項目のプロパティでテーブルから取得にチェックを入れてテーブル 関連付けを行ってください。

Control (1997) Contro	ス価 目前フォント その3 (金更) - Lobel 画 21 マール 一 2 日本 マール 2 日本 マール 4 日本 マール 5 日本 日本 マール 5 日本	Partner for Neo7 5	a) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	
▼	デーク 詳細 キンパールング 名称 文平1 村村(中台) 近 タークボ(デ・ソーン) 単本パンフ 第本パンフ 第本パンフ 第本パンフ 第本パンフ 日本ディア アンパンジ スティン・プレンジ 第本パンフ システィン・プレンジ システィン・プレンジ マージ目前音見出来の 二、マンジョーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェーンジェ		テ−74歳 続けけ テ−7 4歳 7<10,5 4 −24 KL配続け項目	[三産地子−734] ・ [21=5,81] ・ [6 ₂₇ ・
レイアント編集: 3回:18 プリセット:04(08) プリセット ファイル編集: レイアウト:28 プリセット:04(08) アーブル				01 **># 1/-

8.1.2 開く

既存のファイルを開きます。

» クイックアクセスツールバーでも同様の操作ができます。(⇒「9.3 開く」)

1. [ファイル] メニュー⇒ [開く] を順に選択します。 [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

ファイルを開く				
デス201597 デスク1597 マイ サンブル 使家サンブル	フォルグ □ ■ (50/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50 ■ ■ 20/3)50	771/k 771/k4 ₹ ₹ ₩	ファイル更新日8 2013-11-05 12	プレビュー
ファイル ファイルの種類	マーク 55×43.lp7 neo7 データファイル(*.lp7)		•	開K キャンセル

新規でデータ作成中の場合、次の確認メッセージが表示されます。

確認 ▲
? ファイル 無題 に変更があります。保存しますか?
(はい(Y) いいえ(N) キャンセル

ファイルを保存する場合は [はい] をクリックし、表示される [名前を付けて保存] ダイアログでファ イルを保存します。 [名前を付けて保存] ダイアログの操作方法については、「8.1.4 名前を付けて保存」 を参照してください。

ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ]をクリックします。この場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

直前の編集画面に戻る場合は、「キャンセル」をクリックします。

既存のファイルを編集中の場合、次の確認メッセージが表示されます。



ファイルを上書き保存する場合は [はい] をクリックします。 ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ] をクリックします。この場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。 直前の編集画面に戻る場合は、「キャンセル] をクリックします。

2. ファイルの保存場所⇒開くファイルを指定し、[開く] をクリックします。 ファイルが開き、レイアウトが表示されます。

- » [ファイルの場所] には、前回使用したフォルダが表示されます。
- »[ファイルを開く]ダイアログの右領域で、ファイルのプレビューを確認することができます。
- » [ファイルを開く] ダイアログの左領域の [マイサンプル] をクリックすると、「マイドキュメント⇒ Shinsei ⇒ LabelPartnerForNeo7 ⇒ Sample」フォルダを直接開くことができます。本体の標準サンプルがこの場所に保 存されています。
- » 呼出番号の重複や桁数オーバーなどのエラーが生じているファイルを開いた場合、次のような確認メッセージ が表示されます。この場合は [OK] をクリックした後、該当箇所を修正してください。エラー箇所のセルは ピンク色で表示されますが、データチェックを行って該当箇所を確認することもできます。(⇒「8.8.4 データ チェック(チェックグループ)」)



8.1.3 別ウィンドウでファイルを開く

開いているファイルの他にもう1つのファイルを開くことができます。

[ファイル] メニュー⇒ [別ウィンドウでファイルを開く] を順に選択します。
 別のウィンドウで開きたいファイルを選択します。



8.1.4 上書き保存

編集中のファイルを同じファイル名で上書き保存します。 » クイックアクセスツールバーでも同様の操作ができます。(⇒「9.4 上書き保存」)

1.[ファイル]メニュー⇒[上書き保存]を順に選択します。

ファイルが上書き保存されます。

- »新規ファイルの場合は、[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。[名前を付けて保存]ダイアログの 操作方法については、「8.1.4名前を付けて保存]を参照してください。
- » 呼出番号の重複や桁数オーバーなどのエラーが生じているプリントラベルを保存しようとする場合、次のよう な確認メッセージが表示されます。この場合は[キャンセル]をクリックした後、該当箇所を修正してくださ い。エラー箇所のセルはピンク色で表示されますが、データチェックを行って該当箇所を確認することもでき ます。(⇒「8.8.4 データチェック(チェックグループ)」)



8.1.5 名前を付けて保存

編集中のファイルを、指定した名前で保存することができます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [名前を付けて保存] を順に選択します。 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。



- **2.** ファイルの保存場所⇒保存するファイル名を指定し、[保存] をクリックします。 ファイルが保存されます。
 - »[ファイルの場所]として、前回使用したフォルダが表示されます。
 - » よく使うファイルを「マイドキュメント⇒ Shinsei ⇒ LabelPartnerForNeo7 ⇒ Sample」フォルダに保存して おくと、ファイルを開く際に[ファイルを開く]ダイアログの左領域の[マイサンプル]をクリックしてすぐ にファイルにアクセスできるので便利です。
 - » 呼出番号の重複や桁数オーバーなどのエラーが生じているプリントラベルを保存しようとする場合、次のよう な確認メッセージが表示されます。この場合は [キャンセル] をクリックした後、該当箇所を修正してくださ い。エラー箇所のセルはピンク色で表示されますが、データチェックを行って該当箇所を確認することもでき ます。(⇒「8.8.4 データチェック (チェックグループ)」)



8.1.6 インポート

8.1.6.1 CSV ファイル直接インポート

レイアウトエリアに表示している編集中のレイアウトに、CSV ファイルに保存された項目用データを直接 インポートすることができます。

- » CSV ファイルをあらかじめ準備する必要があります。
- » CSV ファイルの列項目の並び順とレイアウトされた項目の入力エリアでの並び順が一致している必要があります。並び順が異なっている場合は、インポートウィザードを使用してください。(⇒「8.1.6.2 インポートウィザード」)
- **1.** [ファイル] メニュー⇒ [インポート] ⇒ [CSV ファイル直接インポート] を順に選択します。 確認ダイアログが表示されます。

ファ	イルホーム表示レイア	アウト プリセット その他データ編集 通信 ツール
	新規	▲B. CSVファイル直接インポート
đ	開<	1>#- トウィザ- К
	別ウィンドウでファイルを開く	A.B. 新盛標準CSVファイル
	上書き保存	<i>テーブル</i>
	名前を付けて保存	レイアウト
	インポート	マスタレイアウト
	エクスポート・	
	パスワードでデータ保護	
	データファイル情報設定	
	情報	
	データ互換性情報確認	
		2/2

確認ダイアログが表示されます。

確認	x
CSVファイルを読み込んだ後、現在レイアウトのプリセットデータが上書きされます。 現データを上書き 現データの末尾(こ追加 キャンセル	

- 入力エリアに何も入力されていない場合、または入力済みの項目データを上書きしてもよい場合は [現データを上書き] をクリックします。
 入力エリアに入力されている項目データの次の行以降にデータをインポートする場合は、
 [現データの末尾に追加] をクリックします。
 [開く] ダイアログが表示されます。
- **3.** ファイルの保存場所⇒インポートする CSV ファイルを指定し、[開く]をクリックします。 インポートが実行されます。

100 間<			x
OO- 🔉 , csv	- [fg] C	SVの検索	P
整理 ▼ 新しいフォルダー		= • 1 @)
 ☆ お気に入り ダウンロード デスクトップ 第二方のしの第 第一方のり ドチュント ビラオ ミュージック 	kurdtbox.csv		
→ ホームグループ ■ コンピューター			
ファイル名(<u>N</u>):	•	Nファイル(*.csv) ▼ 聞く(<u>0</u>) ▼ 年ャンセル]

»ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。

[開く] をクリックすると、インポートされたデータが入力エリア画面に表示されます。

»例) [現データの末尾に追加] をクリックしてインポートした場合



» インポートを取り消したい場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

8.1.6.2 インポートウィザード

レイアウトエリアに表示している編集中のレイアウトに、CSV ファイルに保存された項目用データをウィ ザード形式でインポートすることができます。

- » ウィザードを使用して、レイアウトされた項目の入力エリアでの並び順と CSV ファイルの列項目の並び順が一致して いない場合でも、インポートが簡単にできます。並び順が一致している場合は、CSV ファイル直接インポートを行っ てください。(⇒「8.1.6.1 CSV ファイル直接インポート」)
- **1.** [ファイル]メニュー⇒[インポート]⇒[インポートウィザード]を順に選択します。



インポートウィザード画面が表示されます。

ファイルを開く	区切り文字 ● 力ンマ(CSV) ● タブ ● スペース ● その他 DEL(127) ~	和田指定	レイアウト 3 マープジンズ 43mm	

2. [区切り文字] と [レイアウト選択] を設定します。

ウィザード画面の項目: 区切り文字------ファイルで使用されているデータ区切り文字を選択します。 レイアウト選択------複数のレイアウトを表示している場合、どのレイアウトにデータイン ポートするか選択します。 **3.** [ファイルを開く] をクリックします。 [開く] ダイアログが表示されます。

開<							×
CSV ↓ CSV					▼ 4 CSVの検索		م
整理 ▼ 新しいフォルダー							0
🔆 お気に入り	Â.						
🎉 ダウンロード		X	X				
📃 デスクトップ		2					
📃 最近表示した場所		α,		а,			
	E	lunchbox.csv	lunchbox.xlsx	lunchbox02.csv	lunchbox02.xlsx		
🍃 ライブラリ							
📄 ドキュメント							
🔛 ピクチャ							
😸 ビデオ							
🎝 ミュージック							
🤞 ホームグループ							
📑 コンピューター	-						
ファイル名(N):					 すべてのファイル(*.*)	•
					開<(Q) ▼	***>t	ZIL

4. ファイルの保存場所⇒インポートに使用する CSV ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

»ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。

[開く]をクリックすると、指定したファイルの内容がインポートウィザード画面に読み込まれます。

771		加文字) カンマ(CSV)) タブ) スペース) その他 DEL(127)	範囲 開調 終	推定 読取範囲指定 始行 1 ← 7行 4 ←	レイアウト選択 レイアウト1 マーク55×43mm	1	
	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7
▶ 1	8	ひれかつ弁当	LB331	原材料に飯、揚げ	1	株式会社//ロー食	4912345678
2	9	チキンかつ弁当	LB332	原材料に飯、揚げ	1	株式会社ハロー食	4912345678
3	10	鮭フライ弁当	LB333	原材料に飯、揚げ	1	株式会社ハロー食	4912345678
4	11	唐揚げ弁当	LB334	原材料:ご飯、揚げ 助 キャペリ 付合	1	株式会社ハロー食品であったの	4912345678

5. 必要に応じて [読取範囲] を設定し、 [次へ] をクリックします。

ウィザード画面の項目:

読取範囲指定-----インポートする行を指定する場合は、チェックを入れます。 開始行 -----インポート開始行を指定します。 終了行 -----インポート終了行を指定します。

» [キャンセル] をクリックすると、ウィザードを中止することができます。

[次へ]をクリックすると、次のウィザード画面が表示されます。

6. 各項目を設定し、[完成]をクリックします。

F出番号(A) 文字(E) 文字5(C) マーク1(D) 文字3(E) パーコード1(F) 価格1(G)
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
III 28時 回 セル内前空白削除
7月1 7月2 7月3 7月4 7月3 7月7 7月7 7月7 7月7 7月7 7月7 7月7 7月7 7月7
◎ 鮭フライ弁当 F8333 原型和Aiと取い揚丁 1 牡い営社//山上国 4912345678906
0 鮭フライ弁当 LB333 切がすいため、物の 1 啓示(金はいし)を 4912345678906 1 唐揚げ弁当 LB334 原材料にご飯、揚げ 1 特式会社い口に食 4912345678907
0 軽力5/并当 LB333 電気行る。原本171 営業で着式10-27 49123457900 1 唐鴉/方半当 LB334 原材料にご飯、揚灯 1 替式会社700-27 49123457900 第 支部の2014年111 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
0 軽ブブ弁当 LB33 (開化は)に取った。 「「「「「「「」」」」 (日本) 日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)
0 軽ブブイ井当 LB33
0 鮭フライ弁当 LB333 場所44年に取り掛け 1 体が気気はパロー度 491234 動 キャパット付合 日本新生民 491234

»上段がインポート先のレイアウトに設定された項目で、下段が指定した CSV ファイル内のデータです。

ウィザード画面の項目:

末尾に追加 / 上書き -------入力エリアに何も入力されていない場合、または入力済みの項目デー タを上書きしてもよい場合は、ドロップダウンリストから [上書き] を選択します。 入力エリアに入力されている項目データの次の行以降にデータをイン ポートする場合は、ドロップダウンリストから [末尾に追加]を選択 します。

固定データ入力			×
入力			
[OK	キャンセル	

セル内前空白削除-----インポートするデータの前に空白があり、この空白をインポートした くない場合に、チェックを入れます。

セル内後空白削除-----インポートするデータの後に空白があり、この空白をインポートした くない場合に、チェックを入れます。

全列を取り込む------全列をインポートする場合にクリックします。インポートするデータ 列よりレイアウトの項目が少ない場合は、先頭の列よりインポートさ れ、超過している列はインポートされません。

選択列を取り込む------列を選択してインポートする場合に使用します。

インポート先の項目の列を上段でクリックし、そこにインポートする データの列を下段でクリックし、[選択列を取り込む]をクリックする

と、上段に対応するデータが読み込まれます。

	呼出番号(A) 8 9 10 11	文字1(B) ひれかつ弁当 チキンかつ弁当 鮭フライ弁当 唐揚げ弁当	文字5(C) 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッド たて、現 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッ 付全 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッ 付全 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッ 付全	マーク1(D) 1 1 1 1	文字2(E) 株式会社/10-食 品 = 5数+1穴 株式会社/10-食 品 = 5数+1穴 株式会社/10-食 品 = 5数+1穴 株式会社/10-食 品 = 5数+1穴	√√−⊐−ド1(F) 4912345678904 4912345678905 4912345678906 4912345678907	f面格1(G) 1200 1200 1200 1200
1 6 Otthの弁当 標材料:こ飯, 物灯 1 性やなけいの-皮 41234557894 1200 2 9 チャンかっ弁当 解材料:こ飯, 桃灯 1 性やなけいの-皮 41234557896 1200 3 10 軽フライ弁当 解材料:こ飯, 桃灯 1 性やなけいの-皮 41234557896 1200 4 11 唐揚切 弁当 解材料:こ飯, 桃灯 1 性やなけいの-皮 41234557896 1200 4 11 唐揚切 弁当 解材料:こ飯, 桃灯 1 性やなけいの-皮 41234557896 1200 4 11 唐揚切 弁当 原材料:こ飯, 桃灯 1 生やないの 41234557896 1200 5 ワーク助ひとの レバか家空白 除除 全がたの、付 合 1 生かたの、付 合 1	8 9 10 11	ひれかつ弁当 チキンかつ弁当 触フライ弁当 唐揚げ弁当	原材料:ご飯、構作 動 キャベッ (村全) 原材料:ご飯、掲げ 効 キャベッ (村全) 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッ (村全) 原材料:ご飯、掲げ 物 キャベッ (村全)	1 1 1 1	株式会社/10-食 品	4912345678904 4912345678905 4912345678906 4912345678907	1200 1200 1200 1200
2 9 チャンかつ弁当 原材料:ご飯、粉灯 1 佐小公(古) 411244572805 1200 3 10 軽ブクチュ当 原材料:ご飯、粉灯 1 佐小公(古) 411244572805 1200 4 11 唐物灯チ当 原材料:ご飯、粉灯 1 佐小公(古) 41124457806 1200 4 11 唐物灯チ当 原材料:ご飯、粉灯 1 佐小公(古) 41124457806 1200 5 一 1 唐物灯/白 1 佐小公(古) 41124457807 1200 デーク知込時 セルウ(前空白)除 日 月1 月2 月8 月1 第1 第1 第1 第1 第1 1	9 10 11	チキンかつ弁当 鮭フライ弁当 唐揚げ弁当	原材料:ご飯、揚げ 効 キャパツ 付合 原材料:ご飯、揚げ 効 キャパツ 付合 原材料:ご飯、揚げ 物 キャパツ 付合	1 1 1	株式会社//10-食 品 百支邦北区 株式会社//10-食 品 百支邦北区 株式会社//10-食 品 百支邦北区	4912345678905 4912345678906 4912345678907	1200 1200 1200
3 10< 経フライ弁当 原材料:ご飯、掛灯 1 佐・公社/Dack 4 12.246572000 12.00 4 11 唐揚げ弁当 解材料:ご飯、掛灯 1 佐・公社/Dack 4 4 12.246572000 12.00 4 11 唐揚げ弁当 解材料:ご飯、掛灯 1 佐・公社/Dack 4 12.246572007 12.00 5 - 原材料:ご飯、掛灯 1 佐・公社/Dack 4 12.246572007 12.00 5 - - - - 1 12.246572007 12.00 5 - - - - - - 12.00 5 - - - - - - - - 12.00 1 12.00 1 - - 12.00 1 1 - 12.00 1 1 1 12.245572007 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10 11	鮭フライ弁当 唐揚げ弁当	原材料:ご飯、揚げ 物 キャベッ 付合 原材料:ご飯、揚げ 物 キャベッ 付合	1	株式会社/10-食 品 重支邦北区 株式会社/10-食 品 重支邦北区	4912345678906 4912345678907	1200 1200
4 11 唐揚げ井当 照村村:二飯,割げ 焼 キャベツ 付合 1 唐木会社/ひっ食 香香泉小校 4 い12245570007 1200 アーク取込時 セルバ前空白刷除 セルバ強空白刷除 金利を取込む 運営税取込む 運営税取込む 運営税取込む 運営税取込む 運営税取込む 運営税取込む 2 約1 列2 列3 列4 列5 列6 列7 1 8 0 びれつ:弁当 LB331 開材利:二飯,樹「1 営工会社/ひっ食 410245678005 410245678005 2 9 チキンかつ:弁当 LB332 原材利:二飯,樹「1 営工会社/ひっ食 410245678005 3 10 融ランイ井当 LB33 原材利:二飯,樹「1 営工会社/ひっ食 412345678005 4 11 唐鴉げ井当 LB334 原材利:二飯,樹「1 営工会社/ひっ食 412345678005	11	唐揚げ弁当	原材料:ご飯、揚げ 物 をゃべり 付合	1	株式会社ハロー食品であったの	4912345678907	1200
アーク取込時 也小内前空白削除 重力/内強空白削除 重力/内強空白削除 重力/防取込む 運動の利益 列7 1 8 び北かつ弁当 B531 原材料にご飯、揚げ 1 営工会社2010年 1612245578901 2 9 チキンかつ弁当 B532 原材料にご飯、揚げ 1 営工会社2010年 491234578905 3 10 軽万/4井当 LB333 原材料にご飯、揚げ 1 営工会社2010年 412245678905 4 11 唐揚好弁当 LB334 原材料に広飯、揚げ 1 営工会社2010年 41224567850							
1 8 O(1,0 ⁺)7+3 LB331 (1) <th(1)< th=""> (1) (1) <th< th=""><th>列1</th><th>列]2</th><th>列3</th><th>列4</th><th>列5</th><th>列6 株式会社10日一会</th><th>列7</th></th<></th(1)<>	列1	列]2	列3	列4	列5	列6 株式会社10日一会	列7
1 8 01(加つ弁当 LB331 開水(れ)、(水)(ボ) 1 営い部立(1)(元) 412243573041 2 9 チャンの弁当 LB332 原材料に広阪、物f 1 営い部立(1)(元) 412243578045 3 10 館75/4升当 LB333 原材料に広阪、物f 1 営い部立(1)(元) 412243578045 4 11 唐鴉げ弁当 LB334 原材料に広阪、物f 1 営い部立(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(列1	列2	歹[]3	列4	列5	列的	列7
2 9 ナキンパンチョン 1 日本 1 <th1< th=""> 1 1 1<td>8</td><td></td><td>LB331</td><td>物 チャバリ 付合</td><td>1</td><td>は式会社の口一合</td><td>4912845678904</td></th1<>	8		LB331	物 チャバリ 付合	1	は式会社の口一合	4912845678904
3 10< 経774 先 LB833 第744 た 1 宮下香田山口長 41224557805 4 11 唐揚げ井当 LB834 原材料ご飯、揚げ 株式会社/口一貫 412845678015 5 11 唐揚げ井当 LB834 東杉科に広飯、揚げ 日、 612845678017	9	チキンかつ并当	LB332	ホロイイ・CBX、9例) 物 をゃべり 付合 原料料・1%5 担任	1	「「「「「「「」」」」の	4912845678905
4 11 唐揚げ弁当 LB334 原材料に取、揚げ 1 研究会社/旧一覧 4912345678907 知 ションパリ イク ロー 電気新化() 4912345678907	10	(粧フライ弁当)	LB333	赤われるこの、例り 物 キャパリ 付合	1	「「「「「「」」」」	4912345678906
	11	唐揚げ弁当	LB334	原材料に取、捌丁 物 キャバリ 付合	1	林式会社ハロー度	4912345678907
		取込時 回セ/ 回セン 列1 8 9 10 11	取込時 しル内前空台削除 0 レル内前空台削除 0 レル内航空台削除 0 ア 8 01/07年当 9 チキンカつ井当 10 酷力/4半当 11 唐揚げ弁当	取込持 ○ セル内納空合卵除 ○ セル内強空合卵除 1 701 701 701 8 01(加)7 并当 L8331 9 5×20 ∩ 7 井当 L8332 10 唐羽が弁当 L8334	取249 口小内前空白刷除 セル内前空白刷除 セル内検空白刷除 利1 利2 列4 0 Uれ内後空白刷除 8 Uれの中当 9 チンカワチ当 9 チンカワチ当 10 軽フィチ当 11 唐揚げ弁当 1834 第メルベッ 行会	取込時 セル内前空白銅除 金別約 ブリ1 列2 列3 ブ14 列5 8 Uれかり半当 LB331 原料料に版 現7 9 チキンかっ升当 LB332 原料料に気、現7 1 10 軽力54 LB333 原料料に気、現7 1 11 唐揚げ弁当 LB334 原料料に気、現47 1	取込持 セル内前空白刷除 全列後取込む ブリ1 ブリ2 グ月3 ブル4 グリ5 ブ月6 参 ジロパウ・弁当 LB331 新た料に2000米 ブリ5 ブ月6 8 ジロパウ・弁当 LB331 新たいアレイク・目 生、空きない アレク・ 、 シェック・レイク・ 、 シェック・ ビク・ 1 生、空きない ワー会 9 チャンウ・カ+当 LB333 新たれいアレイク・ 、 シェック・ ビク・ 1 任学を注入ロー会 10 軽力5・41 LB333 新たいアル・ ビク・ 1 任学を注入ロー会 11 唐揚げ弁当 LB334 新たいアル・ ローク 生、空音ないア 生、空音ないア

- » [戻る]をクリックすると、前のウィザード画面に戻ることができます。
- » [キャンセル] をクリックすると、ウィザードを中止することができます。

[完成]をクリックすると、インポートされたデータが入力エリア画面に表示されます。

» インポートを取り消したい場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

8.1.6.3 新盛標準CSVファイル

新盛フォーマットのCSVファイルであれば、一括してインポートすることができます。 » レイアウト名が存在しない場合は、プリセットデータをインポートしません。



8.1.6.4 テーブル

- エクスポートしたラベルパートナー用テーブルをインポートすることができます。
- » ラベルパートナー用テーブルの作成方法、および利用方法については、「8.6 その他データ編集」を参照してください。
- »テーブルファイルは、エクスポートのテーブルで作成します。(⇒「8.1.7.3 テーブルファイル」)
- 1. [ファイル] メニュー⇒ [インポート] ⇒ [テーブル] を順に選択します。



[開く] ダイアログが表示されます。

<u>國</u> 關<						×
🔾 🖓 - 📕 + CSV					← CSVの検索	م
整理 ▼ 新しいフォルダー						= • 1 0
 ☆ お気に入り ● ダウンロード ■ デスクトップ >>> >> >>						
	E	マルチテーブル 1.tb7 商品001.tb7	ユーザ発音辞書 1.tb7 生産者テーブル.tb7	リサイクルマークテーブ [*] ル.t b7 店舗情報 テープ [*] ル.tb7	原材料発音辞書。 167	雇地コード表. tb7
(果 コンピューター ファイル名(N): 商品の	+ 11.tb7				✓ パートナーの	テーブル ファイノ 🔻
					開<(Q)	キャンセル

2. ファイルの保存場所⇒インポートするテーブルファイル(.tb7)を指定し、[開く] をクリックします。

»ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。

[開く] をクリックすると、指定したテーブルがラベルパートナーにインポートされます。

» インポートを取り消したい場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

8.1.6.5 レイアウト

- 編集中のファイルに、他のファイルに保存されたレイアウトをインポートすることができます。
- » 一度にインポートできるレイアウトは1つです。複数のレイアウトが保存されているファイルの場合は、インポート するレイアウトを指定します。
- » レイアウトといっしょに項目データ、およびテーブルもインポートされます。
- **1.** [ファイル]メニュー⇒[インポート]⇒[レイアウト]を順に選択します。



[インポート] ダイアログが表示されます。

インポート				
7201-07	2010万 日 〒 72010万 日 〒 72010万 日 〒 72010万 日 〒 2015-5 日 日 2015-7 日 日 2015-7 日 日 2015-7 日 日 2015-7	7711148 7711148 12 7-7 55×43.97 12 7-7 55×43,9107-	ファイル更新日時 2013-11-16 21 2013-11-17 10	7042-
マイ サンフル マイ サンフル 夜事サンフル	a 🧯			2 - 19.999 4 (501234/567894) 19.999 2 ₹2 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -
		к <u>п</u>	•	- レイアウト名 マーク55×48mm 高さ 42.9mm 幅 55mm
7rf.#	マーク 55x43_2パターンゆ7		-	インボート
ファイルの種類	neo7 データファイル(*.þ7)		•	+v)也ル

- ファイルの保存場所⇒インポートするファイルを選択します。
 » ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。
 選択したファイルに保存されているレイアウトが、プレビュー表示されます。
- インポートするレイアウトがプレビューに表示されていることを確認します。複数のレイア ウトが保存されている場合、
 ▲ または
 ▶ をクリックして、目的のレイアウトをプレビュー に表示します。
- **4.** [開く] をクリックします。 指定したレイアウトが、レイアウトエリアの最後のタブにインポートされます。
 - » インポートを取り消したい場合は、クイックアクセスツールバーの [元に戻す] を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

8.1.6.6 マスターレイアウト

マスターレイアウトのインポートができます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [インポート] ⇒ [マスターレイアウト] を順に選択します。



8.1.7 エクスポート

8.1.7.1 CSV ファイル

レイアウトエリアに表示している編集中の項目データを CSV ファイルにエクスポートすることができます。 »項目データをエクセルなどの他のアプリケーションで修正してインポートする場合などに便利です。

1. [ファイル] メニュー⇒ [エクスポート] ⇒ [CSV ファイル] を順に選択します。



[CSV ファイル形式で保存] ダイアログが表示されます。

🔞 CSVファイル形式で保存			×
00 - 10 · csv	▼ 49 CSVの検索		٩
整理 ▼ 新しいフォルダー		E •	0
 ★ お気に入り ダウンロード デスクトップ 量 近表示した響 マイブラリ ドキュメント ビクテャ ビデオ ミュージック 			
ファイル名(<u>N</u>): マーク24×18mm.csv			•
ファイルの種類(<u>T</u>): CSVファイル(*.csv)			•
● フォルダーの非表示	保存(5)	キャンセ	ال ا

2. ファイルの保存場所⇒保存するファイル名を指定し、[保存]をクリックします。 »ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。

CSV ファイルが保存されます。

8.1.7.2 新盛標準 CSV ファイル

レイアウトエリアに表示している編集中のレイアウトの項目データを新盛標準 CSV ファイルにエクスポートすることができます。

»項目データをエクセルなどの他のアプリケーションで修正してインポートする場合などに便利です。

1. [ファイル] メニュー⇒ [エクスポート] ⇒ [新盛標準 CSV ファイル] を順に選択します。



[CSV ファイル形式で保存] ダイアログが表示されます。

1 図 CSVファイル形式で保存			×
00 · 1 · csv	▼ 49 CSVの検索		P
整理 ▼ 新しいフォルダー		E - ()
★ お気に入り ● ダウンロード ■ デスクトップ ■ 最近表示した場 Iunchbox.csv			
♪ ミュージック			
•			
ファイル名(N): <mark>shinsei CSV.csv</mark>			•
ファイルの種類(工): CSVファイル(*.csv)			•
● フォルダーの非表示	保存(5)	キャンセル]

2. ファイルの保存場所⇒保存するファイル名を指定し、[保存]をクリックします。 »ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。

新盛標準 CSV ファイルが保存されます。

8.1.7.3 テーブルファイル

レイアウトエリアに表示している編集中のテーブルファイル(.tb7)をエクスポートすることができます。

- » ラベルパートナー用テーブルの編集方法、および利用方法については、「8.6.1 テーブル新規作成(テーブルグ ループ)」、および「8.6.2 テーブル編集(テーブルグループ)」を参照してください。
- **1.**[ファイル]メニュー⇒[エクスポート]⇒[テーブルファイル]を順に選択します。



[テーブルのエクスポート] ダイアログが表示されます。

2. 保存するテーブルを選択し、[保存]をクリックします。

テーブルのエクスポート	×
テーブルを選択 店舗情報テーフル	•
保存 キャンセル	

[テーブルのエクスポート] ダイアログが表示されます。

- 19 テーブルのエクスポート		×
COO - D → CSV	←	٩
整理 ▼ 新しいフォルダー		= • 0
 ★ お気に入り ダウンロード デスクトップ 激励表表示した場所 コーザ発音時音 コーザ発音時音 コーザ発音時音 1.1b7 ドキュメント ビクテャ ビラオ ミュージック 		
ファイル名(13): <mark>マルチテーブル1 107</mark> ファイルの爆発(11: <mark>/パートナーのテーブル ファイル(*.167)</mark>		•
● フォルダーの非表示	保存(5)	キャンセル

3. ファイルの保存場所⇒保存するファイル名を指定し、[保存]をクリックします。 ファイルの保存場所として、前回使用したフォルダが表示されます。 ラベルパートナー用テーブルファイルが保存されます。

8.1.8 パスワードでデータ保護

パスワードを設定することによってファイルを保護することができます。 »パスワードを設定すると、一部の編集機能または全ての編集機能が使用できなくなります。

1. [ファイル] メニュー⇒ [パスワードでデータ保護] を順に選択します。



[パスワードでデータ保護] ダイアログが表示されます。

データ保護方式:

全て書き込み禁止------全ての印字データの書き込みができません。

レイアウト変更、

テーブル構造禁止変更------全ての印字データの内、レイアウトとテーブル構造に関する印字デー タの変更ができません。

パスワードでデータ保	<u>ب</u>
データ変更禁止 パスワード パスワード再確認	2-8桁の半角英数字
データ保護方式	全て書き込み禁止 全て書き込み禁止 レイアウト変更、テーブル構造変更禁止
	OK キャンセル

確認画面が表示されます。



2. パスワードでデータ保護されたファイルのデータ保護を解除して編集したい場合は、もう 一度パスワードでデータ保護をクリックして下さい。

パスワード解除画面が表示されます。

パスワード解除		x
パスワード	[]
	OK キャンセル	

パスワードを入力します。

すると、確認画面が表示されます。

» 完全解除 -------- 一旦、データ保護が解除されファイルの編集後、データの保護状態も全て解除されます。

確認	x
(#U)(X) (#マンセ	JL

8.1.9 データファイル情報設定

編集中のファイルにデータファイル情報(データバージョン)を設定することができます。 ファイルにデータバージョンを設定すると、ファイル管理に役立ちます。

1. [ファイル] メニュー⇒ [データファイル情報設定] を順に選択します。



[データファイル情報設定] ダイアログが表示されます。

データファイル情報設定	È 🗾 🔀	
データバージョン データ!説8月	0.0	
	ОК + +>>セル	

2. 管理しやすいデータバージョンとそのデータ説明を入力します。

» データバージョンを入力すると、本体のタッチパネル⇒ [ツール] アイコン⇒ [プリンター情報] の [DATA] にデータバージョンが表示されます。

8.1.10 情報

ラベルパートナーのバージョン情報を表示します。

1. [ファイル] メニュー⇒ [情報] を順に選択します。

ファ	イルホーム	表示	レイア	ウト プリt	Zット	その他データ編集	通信	ツール
	新規		•	最近使用したこ	アイル			
	開<			リングイスツさ	ん向け手順	ā 5 .lp7		
	別ウィンドウで:	ファイルを開	罰<	ライナーレス	6 0 mn	n 取説用.lp7		
	上書き保存			ライナーレス	6 0 mn	n.lp7		
	名前を付けて保ィ	字						
	インポート		•					
	エクスポート		•					
	パスワード設定							
	データファイル	青報設定						
		.						
	データ互	確認						**~
								#@]

ラベルパートナーのバージョン情報画面が表示されます。

Label Partner for Neo3	
Labe	el Partner
	for neo7 (64bit)
	Version
Shinsei	株式会社 新盛インダストリーズ http://www.shinseiind.co.jp/

2. 確認後、バージョン情報画面上をクリックして、画面を閉じます。

8.1.11 データ互換性情報確認

1. [ファイル] メニュー⇒ [データ互換性情報確認] を順に選択します。



対応するラベルパートナーと本体のバージョン情報を表示します。



8.1.12 最近使用したファイル

[ファイル] メニューの右側に表示される [最近使用したファイル] から、ファイルを開くことができます。

- »最近使用したファイルの一覧には、直近で使用した最大9ファイルが表示されます。
- » 最近使用したファイルの一覧をクリアすることができます。詳細については、「8.8.5 オプション(オプショングループ)」を参照してください。
- **1。** [ファイル]メニューを選択し、一覧からファイル名をクリックします。

דכ	イルホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
	新規	+	最近使用した	ファイル			
2	開<		ラベル40×60	惣菜:ポテトt	ナラダ.lp7		
	上書き保存		- ラベル57×60	洋生菓子:シュ	ュークリーム.lp7		
	2前を付けて 保友	E	ラベル32×25	8PLU : 品名2.	p7		
			ラベンレ55×76	洋生菓子.lp7			
	インホート	•					
	エクスポート	+	_				
	パスワード設定						
	データファイル情	靜設定					
	情報						
							終了

ファイルが開き、レイアウトが表示されます。

新規でデータ作成中の場合、次の確認メッセージが表示されます。

確認	
? ファイル 無題	に変更があります。保存しますか?
(#t)(<u>)</u>	() いいえ(N) キャンセル

ファイルを保存する場合は [はい] をクリックし、表示される [名前を付けて保存] ダイアログでファ イルを保存します。

» [名前を付けて保存] ダイアログの操作方法については、「8.1.4 名前を付けて保存] を参照してください。

ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ]をクリックします。この場合は、ファイルが開き、 レイアウトが表示されます。

直前の編集画面に戻る場合は、「キャンセル」をクリックします。

既存のファイルを編集中の場合、次の確認メッセージが表示されます。



ファイルを上書き保存する場合は [はい] をクリックします。 ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ] をクリックします。 直前の編集画面に戻る場合は、[キャンセル] をクリックします。

» 呼出番号の重複や桁数オーバーなどのエラーが生じているファイルを開いた場合、次のような確認メッセージ が表示されます。この場合は [OK] をクリックした後、該当箇所を修正してください。エラー箇所のセルは ピンク色で表示されますが、データチェックを行って該当箇所を確認することもできます。(⇒「8.8.4 データ チェック(チェックグループ)」)



8.1.13 終了

ラベルパートナーを終了します。

» クイックアクセスツールバーでも同様の操作ができます。(⇒「9.1 プログラムアイコン」の「閉じる」)

1. [ファイル] メニュー⇒ [終了] を順に選択します。



ラベルパートナーを終了します。 新規でデータ作成中の場合、次の確認メッセージが表示されます。



ファイルを保存する場合は [はい] をクリックし、表示される [名前を付けて保存] ダイアログでファ イルを保存します。

» [名前を付けて保存] ダイアログの操作方法については、「8.1.4 名前を付けて保存] を参照してください。 ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ] をクリックします。この場合は、ラベルパートナー を終了します。

直前の編集画面に戻る場合は、「キャンセル」をクリックします。

変更が保存されていない編集中のファイルがある場合、確認メッセージが表示されます。

確認	
? ファイルマーク か?	5 5 x 4 3 に変更があります。上書き保存します
	はい(Y) いいえ(N) キャンセル

ファイルを上書き保存する場合は [はい] をクリックします。 ファイルを保存する必要がない場合は、[いいえ] をクリックします。 直前の編集画面に戻る場合は、[キャンセル] をクリックします。

8.2 ホーム

[ホーム]リボンを使用する場合は、[ホーム]タブをクリックして[ホーム]リボンを表示します。 各操作は、レイアウトエリアの項目、または入力エリアの項目データを選択してから行います。 »[貼り付け]の操作は、項目、または項目データを選択しなくてもできます。

[ホーム] リボンは、機能ごとに以下のグループに分かれています。

[クリップボード] ----- レイアウトエリアの項目、入力エリアの項目データのコピー、切り取り、貼り 付け操作を行います。

[フォント] ------レイアウトエリアの項目、入力エリアの項目データの文字設定操作を行います。 「項目配置] -----レイアウトエリアの項目配置操作を行います。

[座標] -----レイアウトエリアの項目の位置指定を行います。

[線] ------線項目の設定を行います。

ファイル	ホーム	表示	レイ	アウト	ブ	゚リセット	その他デ	ータ編集	通信	ツール				۵
		[≧⊐ピー ※切り取り	内蔵漢字	フォン ゴ シッ	ト ク(8pt,	• 2.8mn ≁	橫倍率 縦倍率	1 ‡ 1 ‡	╠=揃え▼			X: 23 ‡ Y: 22 ‡	v	
	MELCER	■ 貼り付け	В	ΙŢ	<u>J</u> 6	÷	* * *	t: t:	1.4 3/₩/ 3 * *			単位:dot	t mm	
3	ナリップオ	ペード				フォン	۲			項	目配置	座標	線	

8.2.1 コピー&貼り付け(クリップボードグループ)

選択した項目のレイアウトのコピーと貼り付けを1クリックで同時に行うことができます。 »項目のショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.8 コピー&貼り付け(項目)」)



» 選択した項目の近くにレイアウトが貼り付けられます。

8.2.2 項目とデータのコピー&貼り付け(クリップボードグループ)

選択した項目のレイアウトと項目データのコピーと貼り付けを1クリックで同時に行うことができます。 »項目のショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.9項目とデータのコピー&貼り付け(項目)」)

ファイル	ホーム	表示	レイアウ				
□ピー&貼	」 り付け	コピー 切り取り 貼り付け	内蔵フォ 漢字ゴシ B I				
項目とデータのコピー&貼り付け							

» 選択した項目の近くにレイアウトが貼り付けられ、入力エリアに項目データが挿入されます。

8.2.3 コピー(クリップボードグループ)

選択した項目のレイアウト、または項目データをクリップボードにコピーすることができます。

» 項目のショートカットメニュー、および入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.4 項目コピー(項目)」、および「7.3.1 コピー(入力エリア)」)



8.2.4 切り取り(クリップボードグループ)

選択した項目のレイアウトの切り取り、または項目データの切り取りができます。

» 項目のショートカットメニュー、および入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.5 項目切り取り(項目)」、および「7.3.2 切り取り(入力エリア)」)



8.2.5 貼り付け(クリップボードグループ)

クリップボードに一時保存されたコピーデータ、または切り取りデータを貼り付けることができます。

» 項目のショートカットメニュー、および入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.7 貼り付け(項目)」、および「7.3.4 貼り付け(入力エリア)」)



8.2.6 フォント種類(フォントグループ)

[ホーム] リボンの [フォント] グループ内に、内蔵フォントまたは外部フォントを選択するためのドロッ プダウンリストがあります。

» レイアウトエリアまたは入力エリアでサンプルラベルの「ロースかつ弁当」を選択した場合、内蔵フォントが設定さ れている項目のため、外部フォントを選択できません。



- »内蔵フォントは、本体にインストールされているフォントです。
- » 外部フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。
- » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)
- » 文字項目は、項目プロパティで[固定データ]を選択した場合や価格項目を選択した場合などに外部フォントが選択 できます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)
- »外部フォントにつきましては、ライセンス許諾が必要なものがあります。ご利用になる場合は、それぞれの著作権者 にご確認下さい。
- レイアウトエリアでフォント種類を変更する項目を選択します。または入力エリアでフォント種類を変更する項目データのセルを選択します。
- [ホーム] リボンの [フォント種類] ドロップダウンリストから、[内蔵フォント] または [外 部フォント] を選択します。

8.2.7 フォント名(フォントグループ)

[ホーム] リボンの [フォント] グループ内に、使用するフォントを選択するためのドロップダウンリスト ([フォント名]) があります。

» 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)



- **1.** レイアウトエリアでフォントを変更する項目を選択します。または入力エリアでフォントを 変更する項目データのセルを選択します。
- 2. [ホーム] リボンの [フォント名] ドロップダウンリストから、使用するフォントを選択し ます。

フォントが変更されます。

8.2.8 太字 / 斜体 / 下線(フォントグループ)

[ホーム] リボンの [フォント] グループ内に、文字装飾を変更するためのボタン (左から順に [太字]、[斜体]、[下線]) があります。

» 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)



- レイアウトエリアでフォントスタイルを変更する項目を選択します。または入力エリアで文字装飾を変更する項目データのセルを選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [太字] / [斜体] / [下線] をクリックします。 文字装飾が変更されます。

»項目を選択して同じボタンをクリックするたびに、選択した項目の文字装飾の有無が切り替わります。

8.2.9 フォントサイズ(フォントグループ)

[ホーム] リボンの [フォント] グループ内に、外部フォントのサイズを変更するためのフォントサイズボックスがあります。

» 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)

»外部フォントを選択した時に、[フォントサイズ]を設定することができます。



- レイアウトエリアでフォントサイズを変更する項目を選択します。または入力エリアでフォントサイズを変更する項目データのセルを選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [フォントサイズ] で使用するフォントサイズを指定します。 フォントサイズが変更されます。
8.2.10 横倍率 / 縦倍率・フォント幅 / フォント高さ(フォントグループ)

[ホーム] リボンの [フォント] グループ内に、文字の横倍率 / 縦倍率・フォント幅 / フォント高さを変更 するためのボックス([横倍率] / [縦倍率]・[フォント幅] / [フォント高さ])があります。

ファイル ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集
	■コピー が切り取り	内蔵フォント 漢字ゴシック(8	• × ×	横倍率 1 ♀ 縦倍率 1 ♀
	昏貼り付け	<u>в I U</u>	6 🌲	₩ <u>₩</u> ₩ T ‡ T <u>‡</u>
クリップボ・	-15		フォン	- (''')
				_
ファイルホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集
	<u>מ</u> ⊐צ–	内蔵フォント	*	フォント幅 32 🛟
「「ビー&貼り付け」	が切り取り	英数Arial	-	フォント長 32 🛟
	■ 貼り付け	<u>в I U</u>	8 🏮	

- レイアウトエリアで目的の項目を選択します。または入力エリアで目的の項目データのセル を選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [横倍率] / [縦倍率]・[フォント幅] / [フォント長] で値を指定します。 または、 🍟 / 📅 / 📅 / 📅 をクリックして、値を設定します。

文字の横倍率 / 縦倍率・フォント幅 / フォント長が変更されます。

- » [フォント幅] / [フォント長] は、内部フォントの「TT (アウトライン)」フォントを選択している場合に設定 することができます。
- » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.5 フォント設定(共通項目)」)

8.2.11 揃え(項目配置グループ)

項目の位置を、ラベルの左端、縦軸中央、右端、上端、横軸中央、または下端に揃えることができます。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.12 揃え(項目)」)
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目の揃えを設 定することができます。
- » 複数の項目を選択して同時に揃えることもできます。ただし、上下に配置された複数の項目を選択して[横軸中央揃え] を実行すると、項目が重なって揃えられます。

ファイル	ホーム	表示	レイアウ	トープリセ	zw ト	その他データ編集	通信	ツール		
)⊐Ľ-	内蔵フォン	ント	-	横倍率 1 €	□□揃え			
□ピー&貼	」 5り付け 🎽	いい いい いい いい いい いい いい いい いい い	OCR-B(7	pt, 2.5mm)	*			 前え	P	티 티
*			BI	<u>U</u> 6	÷	T T T‡ T‡	±	油中央揃え		6 H 6.3
ク	リップボー	- ۴			フォント	`	- 尚 右:	πż		

8.2.12 順序(項目配置グループ)

重なってレイアウトされた項目がある場合、選択した項目を他の項目より前面 / 背面にする、または最前面 / 最背面にすることができます。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.2.14 順序(項目)」)
- »入力エリアで項目データを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目の順序を設定する ことができます。



8.2.13 文字揃え(項目配置グループ)

[ホーム] リボンの [項目配置] グループ内に、文字の揃えを変更するためのボタン (左から順に [左寄せ]、 [中央]、[右寄せ]、[均等]) があります。

» 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.3.2 [詳細] タブ」(文字項目のプロパティ)、「6.5.1 [詳細] タブ」 (価格項目のプロパティ)、「6.12 呼出番号項目のプロパティ」、および「6.13 発行枚数項目のプロパティ」)

ファイル	ホーム	表示	レイアウ	ト	プリセ	ット	その他データ編集	i i	通信	ツール			
)⊐ピー	内蔵フォ	ント		-	横倍率 1	: 岸	■揃え▼	≣≣	∃	B	壮
	コ より付け 🎽	切り取り	OCR-B(7pt, 2.	5mm)	*	縦倍率 1	÷	」順序→		42 0		問
		「賄り付け	BI	U	6	÷	₩ ₩ T‡ T‡		- 100 J	~~			0:0
5	ァリップボー	۲			7	オント	、			項目	配置		

- **1.** レイアウトエリアで目的の項目を選択します。または入力エリアで目的の項目データのセル を選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [左寄せ] / [中央] / [右寄せ] / [均等] をクリックします。 文字の揃えが変更されます。

8.2.14 印字しない(項目配置グループ)

[ホーム] リボンの [項目配置] グループ内に、選択した項目について、印字しない設定を行うための [印 字しない] ボタンがあります。

- »項目一覧のショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.4.2印字しない(項目一覧)」)
- »印字する設定に戻す場合は、「7.4.2印字しない(項目一覧)」の手順で[印字]を選択します。
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目について印 字しない設定を行うことができます。
- » 全ての非印字項目を印字項目にする場合は、レイアウトエリアのショートカットメニューの [全て非印字項目を印字 項目に変更]を使用してください。(⇒「7.2.2.22 全て非印字項目を印字項目に変更(項目)」)
- » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.4 印字設定(共通項目)」)



- レイアウトエリアで印字しない項目を選択します。または入力エリアで印字しない項目デー タのセルを選択します。
- [ホーム] リボンの [印字しない] をクリックします。
 項目一覧で項目名の後ろに「[印字しない]」と表示され、設定した項目がレイアウトエリアで非表示 になります。

8.2.15 ロック(項目配置グループ)

[ホーム] リボンの[項目配置] グループ内に、選択した項目をロックして、レイアウトエリア上で項目の 移動やサイズ変更が行えないようにするための[ロック] ボタンがあります。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.16 ロック(項目)」)
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目のロックを 設定することができます。

ファイルホーム	表示 レイアウ	ト プリセット	その他データ編集	通信	ツール
	コピー 内蔵フォ	>ト •	横倍率 1 €	<mark>-</mark> 揃え ▼	■書書■ 開始
「」 「」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 」)) 。 、 し	刀り取り 漢字ゴミ	ック(8pt, 2.8mn -	縦倍率 1 🗘	。 順皮 。	
		<u>U</u> 6 ‡	₩ ₩ T‡ T‡	uen 100/19	
クリップボード		フォン	N		

- » レイアウトエリアのロックを設定した項目、またはその項目データを選択すると、[ロック] が背景色付きで表示されます。
- » レイアウトエリアの項目、または項目データを選択して[ロック]をクリックするたびに、選択したロックの有無が 切り替わります。

8.2.16 回転(項目配置グループ)

選択した項目を、0度(すでに回転した項目を元の角度に戻す場合)、90度、180度、または270度ずつ反時計周りに回転することができます。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.13 回転(項目)」)
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目の回転を設 定することができます。
- » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.2.4 印字設定(共通項目)」)

ファイルホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
	⊐Ľ-	内蔵フォント	•	横倍率 1 ↓	□ 揃え •	
コピー&貼り付け	切り取り 貼り付け	漢字コシック(8 B I U	8pt, 2.8mn +		薖順序▼	● 🖈 🌇 🔑 📰
クリップボード	s		フォント			項目

» レイアウトエリアの項目、または項目データを選択して[回転]をクリックするたびに、選択した項目が反時計回り に 90 度回転します。

8.2.17 キー項目(項目配置グループ)

本体でラベル発行・登録・編集などをするときに、項目データのタイトルとしての項目(キー項目)に設 定することができます。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.18 キー項目(項目)」)
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目をキー項目 に設定することができます。



- » キー項目に設定したレイアウトエリアの項目、または項目データを選択すると、[キー項目] が背景色付きで表示されます。
- »項目、または項目データを選択して[キー項目]をクリックするたびに、選択した項目のキー項目設定の有無が切り 替わります。

8.2.18 グループ / グループを解除(項目配置グループ)

選択した複数の項目をグループ化することができます。また、グループ化を解除して、もとの個別の項目 に戻すこともできます。

- » PC のキーボードの [Ctrl] キーを押しながら項目をクリックして複数の項目を選択することができます。
- » 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.15 グループ(項目)」)
- » 全てのグループ化を解除する場合は、項目のショートカットメニューの [グループ] ⇒ [全てのグループを解除] を 使用してください。



8.2.19 項目幅を最大幅に揃える / 項目幅を最小幅に揃える (項目配置グループ)

[ホーム] リボンの [項目配置] グループ内に複数の項目について、横幅を調整するためのボタン (左から、 [項目幅を最大幅に揃える]、[項目幅を最小幅に揃える]) があります。

- » PC のキーボードの [Ctrl] キーを押しながら項目をクリックして複数の項目を選択することができます。
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目の横幅を調 整することができます。



- レイアウトエリアで目的の項目を複数選択します。または入力エリアで目的の項目データの セルを複数選択します。
- [ホーム]リボンの[項目幅を最大幅に揃える]/[項目幅を最小幅に揃える]をクリックします。
 [項目幅を最大幅に揃える]をクリックした場合、横幅が一番長い項目にあわせて他の項目の横幅が 広がります。
 [項目幅を最小幅に揃える]をクリックした場合、横幅が一番短い項目にあわせて他の項目の横幅が 狭められます。

8.2.20 X 座標 /Y 座標(座標グループ)

[ホーム] リボンの [座標] グループ内に、選択した項目の X 座標 /Y 座標を指定するためのボックス ([X]、 [Y]) があります。

- »選択した項目の左上角の座標(基準点)を指定します。
- » ラベルの左上角の座標は「X(横方向)=0、Y(縦方向)=0」です。
- » 複数の項目の座標を一度に指定することはできません。
- »レイアウトした項目を選択⇒ドラッグして項目の位置を移動することもできます。
- »ドラッグする代わりにキーボードの矢印キーを押して項目を移動することもできます。
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目の座標を調 整することができます。

ファイルホーム	表示	レイフ	アウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール		
)⊐ピ–	内蔵	フォント	*	横倍率 1 €	□ 揃え •		植植	X: 37
コピー&貼り付け 🎽	切り取り	漢字:	ゴシック(8	8pt, 2.8mn -	縦倍率 1 📮	10.順序 ▼	· (• • • • • •	타 타	Y: 39 dm
*	賄り付け	в	<u>Ι</u> <u>U</u>	6 🌲	₩ ₩ T‡ T‡		~ ~ /	D-+1 D:3	単位:do
クリップボー	۴			フォント				座標	



- レイアウトエリアで座標を指定する項目を選択します。または入力エリアで座標を指定する 項目データのセルを選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [X] / [Y] の値を指定します。 指定した位置に項目が移動します。

8.2.21 線の太さ / 線の種類 / 線の長さ(線グループ)

[ホーム] リボンの [線] グループ内に、選択した直線項目 / 斜線項目 / 四角形項目の線の設定を変更する ためのボックス (上から順に [線の太さ]、[線の種類]、[線の長さ]) があります。

- » [線の長さ] は横線・縦線の直線項目についてのみ設定ができます。
- » 各項目のプロパティでも同様の操作ができます。(⇒「6.8 直線項目・斜線項目のプロパティ」、および「6.9 四角形項 目のプロパティ」)

ファイル ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール		
)⊐Ľ-		*	横倍率 1 🛟	┣揃え・		X: 42 🛟	3 1* 91
≫	切り取り		-		匾順序▼	 	Y: 240 🛟	実線(「
-	URD OT DO	<u>в I U</u>	6 🗘	τ̈́τ T‡ T‡			単位:dot	45.9 🗘 🛌
クリップボー	۲		フォント			項目配置	座標	線

- 1. レイアウトエリアで線の設定を変更する項目を選択します。
- **2.** [ホーム] リボンの [線の太さ] / [線の種類] / [線の長さ] (直線項目のみ)を指定します。 指定した内容に従って、線の設定が変更されます。

8.3 表示

[表示] タブをクリックすると、[表示] リボンが表示されます。 [表示] リボンを使用して、ラベルパートナーの画面表示を設定することができます。 » 背景色が反転している項目は、すでに設定されています。

	ファイル	ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ሦ	-JL	۵
	レイアウト	プリセット まテ	<mark># 背景</mark> 載 ラベ	<mark>グリッド</mark> NL背景グリッド	 ✓ ステータス バ・ ✓ ルーラ バー ✓ 項目一覧 	 □ 項目範囲を表示 □ 分類定義 □ 項目をグリッド 	まする 「線に合わせ	ta	 ☑ 項目プロパティ設定画面をリアルタイム更新 ☑ 線項目同±を移動時に自動結合 レイアウト・プリセットの配置 ○ 横並べ ◎ 縦並べ 	 ● メインツールバーの上 ○ メインツールバーの下
l	▲小 ▲小 画面表示							レイアウト	クイック アクセス ツールバーの位置	

8.3.1 レイアウト表示(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアを表示する / 非表示にするためのボタン([レイアウト表示]) があ ります。

» レイアウトエリアについては、「10. レイアウトエリア」を参照してください。



1. レイアウトエリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [レイアウト表示] をクリックします。

»クリックするたびに表示 / 非表示が切り替わります。

8.3.2 プリセット表示(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、入力エリアを表示する / 非表示にするためのボタン([プリセット表示])があります。 »入力エリアについては、「11.入力エリア」を参照してください。

ファイルホーム	表示 レイアウト	プリセット ジ	その他データ編集	通信 ツ
	井 背景グリッド 帯 ラベル背景グリッド	 ✓ ステータス バー ✓ ルーラ バー ✓ 項目一覧 	 ☑ 項目範囲を表示す □ 分類定義 □ 項目をグリッド総 	する 泉に合わせる
	Ī	面表示		

1. 入力エリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [プリセット表示] をクリックします。

»クリックするたびに、表示 / 非表示が切り替わります。

8.3.3 背景グリッド(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアの背景グリッドを表示する / 非表示にするためのボタン([背景グリッド]) があります。

ファイル	ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	. ש	
レイアウト 表示	レクレン フリセット 表示	<mark>## #5</mark> #5 ラ	<mark>グリッド</mark> 最グリッド	 マステータス / ルーラ バー 「項目一覧 	 (一 図 項目範囲を表示 □ 分類定義 □ 項目をグリット 	示する ド線に合わt	±a	

レイアウトエリアの背景グリッドの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [背 景グリッド] をクリックします。

»クリックするたびに、表示/非表示が切り替わります。

8.3.4 ラベル背景グリッド(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアの背景グリッドの基本設定を行うためのボタン [ラベル背景グリッド])があります。



1. レイアウトエリアの背景グリッドの基本設定を行う場合は、[表示] リボンの [ラベル背景 グリッド] をクリックします。

[データのグリッド] ダイアログが表示されます。

₹	データのグリッド
	ラベルのグリッドの設定 つ グリッドなし ④ グリッド間隔(0.1~50) 1.0 mm
	OK キャンセル

2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

[データのグリッド] ダイアログの項目:

グリッドなし------背景グリッドを使用しない場合に選択します。

グリッド間隔------背景グリッドを使用する場合に選択し、グリッド間隔を指定します。

8.3.5 ステータスバー(画面表示グループ)

[表示] リボン内にステータスバーを表示する / 非表示にするためのチェックボックスがあります。 » ステータスバーについては、「14.ステータスバー」を参照してください。

🔽 ステータス バー	☑ 項目範囲を表示する
<h>L-シン</h>	🔲 分類定義
☑ 項目一览	🔲 項目をグリッド線に合わせる

1. ステータスバーの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [ステータスバー] をクリックしてチェックのオン / オフを切り替えます。

8.3.6 ルーラバー(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアのルーラバーを表示する / 非表示にするためのチェックボックスが あります。

» ルーラバーについては、「10.5 ルーラバー」を参照してください。

🔽 ステータス バー	☑ 項目範囲を表示する
🔽 ルーラ バー	🔲 分類定義
	🔲 項目をグリッド線に合わせる

 レイアウトエリアのルーラバーの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [ルー ラバー] をクリックしてチェックのオン / オフを切り替えます。

8.3.7 項目一覧(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、項目一覧エリアを表示する / 非表示にするためのチェックボックスがあります。 »項目一覧エリアについては、「12.項目一覧エリア」を参照してください。

🔽 ステータス バー	📝 項目範囲を表示する
🔽 ルーラ バー	🔲 分類定義
🔽 項目一览	🥅 項目をグリッド線に合わせる
dm)	

項目一覧エリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [項目一覧] をクリックしてチェックのオン / オフを切り替えます。

8.3.8 項目範囲を表示する(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアで項目範囲(青枠)を表示する / 非表示にするためのチェックボックスがあります。



1. 項目一覧エリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [項目範囲を表示する] をクリックしてチェックのオン / オフを切り替えます。



8.3.9 分類定義(画面表示グループ)

プリセットデータを分類定義する場合は、「分類定義」ボックスにチェックを入れます。

»分類定義の作成手順については、「7.5.1分類定義」を参照してください。



1. 分類表示エリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [分類定義] をクリッ クしてチェックのオン / オフを切り替えます。

1	ロース	かりサ		+ 1-71		
1	15(1/1774) -	こ 取、換 (その他身 、乳化剤	前1700、十平八万、19日已 18、小麦、乳、大豆由来原 11	い、「マ」「 「料を含む)		
	2014.	03. 20 1	OB号			
4		000				
	¥	.200				
3_			4 912345 67	78904"		
	CTA-II					
1 1	SHINSE	市古都		_		
	Shinsei	東京都 TFL 03	比区堀船4-12-15 -3913-0131	Ð		
4_	Suites	東京都 TEL 03	比区堀船4-12-15 -3913-0131	Ð		
4	Fileta	RLUH 東京都 TEL 03	上区垣船4-12-15 →3913-0131	经	//-=-F1	
4	呼出番号 · 7	本 東京都は TEL 03 商品名 日子スか 日子スか	上八日 - 2000 上区 垣船4-12-15 -3913-0131 		バーコード1 4912345678904	
4	呼出番号 · 7	本 東京都 TEL 03 商品名 日 二 スか	上に支出品名4-12-15 -3913-0131 原材料の内容 ご面、掲げ称、キャベ 、行合せ、トマト での倍頭、小麦、乳、: 三由未原料を含む) 、乳化剤		バーコード1 4912345678904	
4	呼出番号 7	本式公式 東京都は TEL 03	上へ日 5000 比之可量約4-12-15 →3913-0131 原材料の内容 ご爾、揚げ板、キャベ ご爾、揚げ板、キャベ い、丁白老せ、トマト くその危限、小変 、私に刷	会社名 株式パー食 部 二	レデーコード1 4912345678904	
4 4 1 2 3 4	呼出番号 7	本式公式 東京都は TEL 03	上区 1 2011 - 2013-0131 - 2013-0131 - 2013-0131 - 2013-12-15 - 2013-15 - 201	会社名 株式の食 BB東京 の都	バーコード1 4912345676904	



8.3.10 項目をグリッド線に合わせる(画面表示グループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアの項目をグリッド線に合わせて配置する / しないを切り替えるためのチェックボックスがあります。

🗹 ステータス バー	🔽 項目範囲を表示する
🔽 ルーラ バー	🔲 分類定義
🔽 項目一览	🔲 項目をグリッド線に合わせる

 レイアウトエリアの項目をグリッド線に合わせて配置する / しないを切り替える場合は、「表示」リボンの「項目をグリッド線に合わせる」をクリックしてチェックのオン / オフを切り 替えます。

チェックがオンの場合、レイアウトエリアの項目を追加 / 移動する際に、項目の左上角が背景グリッドに合うように自動的に調整されます。

チェックがオフの場合、レイアウトエリアの項目を背景グリッドとは無関係に追加 / 移動することが できます。

8.3.11 項目プロパティ設定画面をリアルタイム更新(レイアウトグループ)

[表示] リボン内に、項目プロパティで設定を行うと同時にレイアウトエリア上の項目にリアルタイムで反映する/反映しないを切り替えるためのチェックボックスがあります。

✓ 項目プロパティ設定画面をリアルタイム更新
 ✓ 線項目同士を移動時に自動結合
 ✓ アウト・プリセットの配置 ○ 横並べ ◎ 縦並べ

1. 分類表示エリアの表示 / 非表示を切り替える場合は、[表示] リボンの [分類定義] をクリックしてチェックのオン / オフを切り替えます。

チェックがオンの場合、項目プロパティ設定を行うと同時にレイアウト上の項目にリアルタイムに反 映します。

チェックがオフの場合、項目プロパティ設定画面で OK ボタンをクリックしないとレイアウト上の項 目に反映しません。

8.3.12 線項目同士を移動時に自動結合(レイアウトグループ)

[表示] リボン内に、直線項目 / 斜線項目 / 四角形項目を移動して接近させると自動的に結合する/しない を切り替えるためのチェックボックスがあります。

 直線項目 / 斜線項目 / 四角形項目を移動して接近させると自動的に結合する/しないを切り 替える場合は、[表示] リボンの [線項目同士を移動時に自動結合] をクリックしてチェッ クのオン / オフを切り替えます。

チェックがオンの場合、直線項目 / 斜線項目 / 四角形項目を移動して接近させると自動的に結合しま す。

チェックがオフの場合、直線項目 / 斜線項目 / 四角形項目を移動して接近させても自動的に結合しま せん。

8.3.13 レイアウト・プリセットの配置(レイアウトグループ)

[表示] リボン内に、レイアウトエリアと入力エリアの配置について横並ベ/縦並べを切り替えるためのラジオボタンがあります。



横並べ

縦並べ

8.3.14 クイック アクセス ツールバーの位置

[表示] リボン内に、クイック アクセス ツールバーの位置について、メインツールバーの上/下を切り替 えるためのラジオボタンがあります。

◎ メインツールバーの上 アメインツールバーの下

🔞 🗋 🖬 🧐 👰 🤤 🚔 🧱 - Label Pa	窗 無题 - Label Partner for Neo7
ファイル ホーム 表示 レイアウト プリセット その他データ編集 通信 ツー	ファイル ホーム 表示 レイアウト プリセット その他データ編集 通信 ツ
₩3412820	

メインツールバーの上

メインツールバーの下

8.4 レイアウト

[レイアウト] タブをクリックすると、[レイアウト] リボンが表示されます。

ファイル ;	ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール		
□ √ ↓ 検索用項 √ 検索用バ √ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	〔目に指定 (ーコード項	1 1目の指定	금 全項 ☆ ☆ ☆ 全項 全項	目を選択 目を削除 目をロック	通信の 画像の 元サイズに戻す		その プロパティ	ラベルを回転表示	 学・項目を検索 検索項目を検索 検索バーコード項目を検索
				データ				回転	検索

8.4.1 検索用項目に指定(データグループ)

レイアウトエリアの項目を検索用項目に指定して本体と通信すると、本体のタッチパネル上に[文字検索] アイコンが表示されます。[文字検索]アイコンを使用すると、本体で検索用項目を検索してラベル発行を することができます。

- »項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.20検索用項目に指定(項目)」)
- »入力エリアで項目データのセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアの項目が選択され、その項目を検索用項 目に指定することができます。



»検索用項目に設定した項目、またはデータ項目を選択すると、「検索用項目に指定」が背景色が反転します。

8.4.2 検索用バーコード項目の指定(データグループ)

1 レイアウト上に複数のバーコード項目がある場合、選択したバーコード項目を、スキャナで呼出発行を行 う際の検索対象のバーコードに設定することができます。

- »項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.19検索用バーコード項目の指定(項目)」)
- »入力エリアでバーコード項目のセルを選択した場合も対応するレイアウトエリアのバーコード項目が選択され、その バーコード項目を検索用バーコード項目に指定することができます。



»検索用バーコード項目に設定した項目、またはデータ項目を選択すると、〔検索用バーコード項目の指定〕の背景色が反転します。

【本体タッチパネル】

8.4.3 全項目を選択(データグループ)

レイアウトエリア上のすべての項目を選択することができます。

»項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.10 全項目を選択(項目)」)



8.4.4 全項目を削除(データグループ)

レイアウトエリア上のすべての項目と入力エリア上の項目データを削除することができます。 »項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.11 全項目を削除(項目)」)



8.4.5 全項目をロック(データグループ)

レイアウト上のすべての項目をロックして、レイアウトエリア上で移動やサイズ変更が行えないようにす ることができます。

» 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.17 全項目をロック(項目)」)



8.4.6 画像の元サイズに戻す(データグループ)

画像サイズを変更したイメージ項目を選択して、元の画像サイズに1クリックで戻すことができます。 »項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.21 画像の元サイズに戻す(項目)」)



8.4.7 入力順序設定(データグループ)

[レイアウト] リボンの [データ] グループ内に入力エリアの項目データの列を移動するためのボタンがあ ります。



 入力エリアでの項目データの列を移動する場合は、[レイアウト] リボンの [入力順番設定] をクリックします。

<u>ک</u>	力順番	x
	項目	
	商品名	
	原材料の内容	
	会社名	
	バーコード1	
	価格1	
	マーク1	
	۰ III • •	
	座標順に項目の入力順を	並べ替える
	印字前に確認表示順	番設定
	ОК	キャンセル

2. [入力順番] ダイアログが表示されます。 [項目] のリストを選択して 🔨 または 💟 をクリックし、リスト内を入力順に並べ替えます。

[OK] をクリックします。

すると、入力エリア内の項目データの列の順番が並べ替えのように変わります。

「座標軸に項目の入力順を並べ替える」ボタンをクリックすると、全ての項目が座標軸通りに自動的 に並べ替えられます。

- » レイアウト項目の配置には影響がありません。
- »入力エリアで項目データ名をドラッグ&ドロップして、列の順番を変更することもできます。ドロップ可能な 場所にマウスが近づくと、赤い矢印が表示されます。
 - 例)「マーク1」列をドラッグしている場合

	4	L	Ľ				Ľ			•	
2			呼出番号	商品名	原材料の内	容 マ	- 21	F1	価格1	マーク1	
Nº	1	Þ	7	ロースかつ弁当	ご飯、揚 ツ、付合せ (その他卵	げ物、キャベ <mark>)</mark> 、トマト 、小麦、乳…	株式会 社ハ ロー···	4912345678904	1200	ブラ6mm	Ŧ
	2		8	のり弁当				4912345678904	1300		
	3	_									
	4	_									
レイアウ	ト情報	:	項目:11個	プリセット:2	作(470B)	プリセットサイ	ズ:235B			: 55mm 長さ : 42.9mm	n 表
771	ル情報	÷	レイアウト:	4個 プリセット:4	件(0.9KB)	テーブル:4件(6.4KB)	登録イメージ:5件(3.2KB)	フォ	ント:0種類(0B)	

「印字前に確認表示順番設定」ボタンをクリックすると確認表示順番ダイアログが表示されます。 ここには、項目プロパティの[印字する前に確認表示]ボックスにチェックが付いている項目が表 示されます。

たとえば、[商品名]、[会社名]、[価格1]項目のプロパティの[印字する前に確認表示] ボックス にチェックを入れます。

確認表示順番	×
項目	
商品名	
会社名	
価格1	
< +	
座標順に項目の入力順を	並べ替える
ОК	キャンセル

[座標軸に項目の項目の入力順を並べ替える] ボタンをクリックすると、全ての項目が座標軸通りに 自動的に並べ替えられます。

[OK] ボタンをクリックします。

項目プロパティの[印字する前に確認表示] ボックスにチェックが付いている項目は、印字データ が本体に送信されると本体の設定アイコン⇒操作設定⇒印字前確認画面で[変更確認項目一覧表示] ボックスにチェックが付いている場合、それらの項目が本体タッチパネルのラベル発行前の画面に表 示されます。

ロースかつ弁当
商品名
会社名
株式会社ハロー食
価格1
1200円
発行 1
紙送り 戻る ホーム

8.4.8 プロパティ(データグループ)

プロパティでレアイウトに関する各種項目を設定します。

8.4.8.1 項目プロパティ

選択した項目のプロパティ画面を表示することができます。

- » 項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.2.1 項目プロパティ(項目)」)
- »項目のプロパティについては、「6.2項目プロパティ(共通項目)」を参照してください。
- レイアウトエリアで目的の項目を選択します。または入力エリアで目的の項目データのセル を選択します。
- [レイアウト] リボンの [プロパティ] ⇒ [項目プロパティ] を順に選択します。
 選択した項目のプロパティ画面が表示されます。



8.4.8.2 レイアウトプロパティ

編集しているレイアウトのプロパティ([レイアウト設定]ダイアログ)を表示することができます。

- » レイアウトタブ、および項目のショートカットメニューでも同様の設定ができます。(⇒「7.2.1.7 レイアウトプロパティ (レイアウトタブ)」、および「7.2.2.2 レイアウトプロパティ(項目)」)
- »レイアウトのプロパティについては、「6.1レイアウトプロパティ」を参照してください。
- [レイアウト] リボンの [プロパティ] ⇒ [レイアウトプロパティ] を順に選択します。
 編集しているレイアウトのプロパティ([レイアウト設定] ダイアログ)が表示されます。



8.4.8.3 呼出番号桁数設定

編集しているレイアウトにレイアウトされた[呼出番号]項目の桁数を設定することができます。

1. [レイアウト] リボンの [プロパティ] ⇒ [呼出番号桁数設定] を順に選択します。



2. [呼出番号桁数設定] ダイアログが表示されます。

呼出番号桁数	設定	X
桁数	5	(1~7)
		OK キャンセル

桁数を入力し、[OK]をクリックします。

8.4.8.4 全レイアウトの共通設定

全レイアウトに共通の総額端数処理および税額設定をします。

1. [レイアウト] リボンの [プロパティ] ⇒ [全レイアウトの共通設定] を順に選択します。



[全レイアウトの共通設定] ダイアログが表示されます。



- **2.** [共通総額端数処理] にチェックを入れます。 端数処理設定が有効になりますので各種設定をします。
- 税率設定をします。また、税率を本体に送信する場合は、ボックスにチェックを入れます。
 各種設定後、[OK]をクリックします。

8.4.8.5 呼出画面の入力モード設定

呼出画面の入力モードを設定します。

1. [レイアウト]リボンの[プロパティ]⇒[呼出画面の入力モード設定]を順に選択します。



[呼出画面の入力モード設定] 画面が表示されます。

呼出画面の入力モード設定			×
入力時優先するモード			
● 番号	◎ 一覧	◎ 履歴	
🔲 優先入力モード維持			
0	く キャンセル		

入力時優先するモード ------- 本体の呼出画面から入力する時に、番号表示または一覧表示または履 歴表示させるかを選択することができます。

優先入力モード維持にチェックを入れると、本体で番号モード・一覧 モード・履歴モードを他のモードに変更しても元の入力モードを維持 します。

8.4.8.6 neo 固定タイプレイアウト設定

neo 固定タイプのレイアウトを作成する場合に設定します。

1. [レイアウト] リボンの [プロパティ] ⇒ [neo 固定タイプレイアウト設定] を順に選択します。



[neo 固定タイプレイアウト設定] 画面が表示されます。

neo固定タイプレイアウト設定	
◎ マスタレイアウトを使用	
◎ マスタレイアウトのバーコード検索を使用	
しん キャンセル	

マスタレイアウトを使用 ------neo 固定タイプのレイアウトを使用する場合にチェックを入れます。 そうすると、マスタレイアウトのバーコード検索を使用、および、 マスタレイアウトの検索項目を使用が有効になります。 それぞれを使用する場合にチェックを入れます。

[OK]ボタンをクリックすると、読み込み確認画面が表示されます。



[OK] ボタンをクリックします。

2. neo 固定タイプレイアウトのタブを作成します。

メニューリボンの「ファイル」メニュー⇒「新規」メニュー⇒「neo 固定タイプレイアウト」が表示されます。 この neo 固定タイプレイアウトをクリックして neo 固定タイプレイアウトのタブを作成します。 詳しくは、neo 固定タイプレイアウトを参照してください。(⇒「8.1.1.6 neo 固定タイプレイアウト」)

77	イルホーム表示	レイア	ウト	プリセット	その他データ	福集 通信	ツール
۵	新規	1	₩.	ファイル			
đ	開<			レイアウト			
	別ウィンドウでファイルを	#<		値下レイアウト			
	上書き保存			コピー発行レイス	アウト		
	名前を付けて保存			トレーサビリティ	የ レイアウト		
	インポート			neo固定タイプレ	イアウト	lho	
	エクスポート						
	マスタレイアウト						
	パスワード設定						
	データファイル情報設定						
	情報						
	データ互換性情報確認		_				
							終了

» レイアウトタブのショートカットメニューでも同様な操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規」、「7.2.1.2 挿入」) » クイックアクセスツールバーの「新規作成」でも同様な操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」)

3. テーブルが自動的に作成されます。

neo 固定タイプレイアウト設定にチェックをつけると、自動的に「固定版原産地表」と「固定版マーク表」 のテーブルが自動的に表示されます。

メニューリボンの「その他データ編集」メニュー⇒「テーブル編集」で「固定版原産地表」と「固定版マー ク表」が表示されています。

ファイル ホーム	表示	レイアウト	プリセ	ット	その他デー	夕編集	通信	ツール
	ーブル編集・		1/20	-				
テーブル	固定版原産地	□表 ▶発行	エリア	履歴	イメージ	ラベル編	集	
新开現化FDX。	固定版マーク	7表		デー	5			

8.4.9 ラベルを回転表示(回転グループ)

8.4.9.1 ラベル左回転表示・ラベル右回転表示(回転グループ)

編集中のラベルイメージを左右に回転することができます。

»レイアウトエリアの項目がラベルの幅よりも大きくなる場合は、ラベルの向きを回転させて印字します。

1. [レイアウト] リボンの [ラベルを回転表示] ⇒ [ラベル左回転表示] または [ラベル右回 転表示] を順に選択します。



確認メッセージが表示されます。

確認	8
?	ラベル表示を回転すると項目位置が変わります。継続しますか?
	(はい(Y)) いいえ(<u>N</u>)

2. [はい] をクリックします。 ラベルイメージが回転します。

- » ラベルを回転すると、項目がラベルからはみ出す場合があります。この場合は、印字領域内に再レイアウトしてください。
- » [はい]をクリックすると、[ラベルを回転表示]が[ラベルを正常表示]になります。
- » レイアウトエリア右下のラベル方向マークにマウスを近付けると、動画でラベルの発行方向を確認することができます。(⇒「10.3 ラベル方向マーク」)



8.4.9.2 ラベル正常表示(回転グループ)

左右に回転したラベルイメージを元の表示に戻すことができます。

1. [レイアウト] リボンの [ラベルを正常表示] をクリックします。



[確認] ダイアログが表示されます。



2. [はい] をクリックします。 ラベルイメージが元の表示に戻ります。

8.4.10 キー項目を検索(検索グループ)

キー項目に選択されている項目を検索します。

1。[レイアウト]リボンの[キー項目を検索]をクリックします。



キー項目に選択された項目がヒットします。ここでは、「ロースかつ弁当」がヒットします。

ファイル	ホーム	表示	レイアウト	ブリセット	その他データ編集	通信	ツール			
國検	索用項目に指 索用バーコート	定 *項目の指定	計 全項 ☆ 全項 ☆ 全項 ☆ 全項	目を選択 目を削除 目をロック データ	画像の 元サイズに戻す	入力順番	יין דםונדי	- ラベルを 回	<mark>合</mark> 回転表示 • 順	 第二項目を検索 検索項目を検索 検索バーコード項目を検索 検索
T	マーク5:	5×43mm_2		3	4 5	3	7	• •)	項目 日 文字	
		□-スかご 秋料: [こでで、す 2014.06.1 ¥1.21 和示ので、す れたので、す たたので、 たたので、す たたので、 たので、 たので た たので、 た たので、 たので、 たので たので たので、 たので たので、 たので、 たの	・ ・ に で の に の で の し の 一 の で の し の 一 の で し の 一 の の し の 一 の の し の 一 の の し の 一 の の の し に 知 の つ し に 知 の つ の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の つ の し の つ の し の つ の し の つ の し の つ の し の つ の し の つ の し の う の し の の の の の の の の の の の の の	····································	付合せ、トマト 由来原料を含む) ・51-678904 ・15 ・515					第秋和名 [回定 = "原秋料:"] 蔡秋和の内容 会社名 「ーコード 「ーコード」 「ーコード」 「ーコード」 「ーコード」 「・コード 「・コー 「・コード」 「・コード」 「・コード」 「・コー 「・コード」 「・」 「・コー 「・コー 「・コー 「・コー 「・コー 「・コー 「・コー 「・コー 「

8.4.11 検索項目を検索(検索グループ)

検索項目に選択されている項目を検索します。

1. [レイアウト] リボンの [検索項目を検索] をクリックします。



検索項目に選択された項目がヒットします。ここでは、原材料の内容がヒットします。

ファイル	ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール			
國稅	<mark>索用項目に指定</mark> 索用バーコード項	。 (目の指定	計 全項 ★ 全項 ★ 全項	目を選択 目を削除 目をロック データ	画像の 元サイズに戻す	入力順番設定	₩ 701/57	うべルを うべルを 回	<mark>19</mark> 回転表示 「転	 二 キー項目を検索 2 検索項目を検索 1 検索バーコード項目を検索 検索
	マーク55×	43mm_2						-	項目	
		- スか: 料: 23 (そく、) 14.06. ¥1.21 東京 TEL	20 デ当 の デ の デ の で 、 場 プ 物 の や れ い る 、 場 プ 物 の や れ い る い る 、 る 、 る 、 る 、 る 、 る 、 る 、 る 、 る	····································	代音せ、トマト 田本原料を含む) 武 「678904				 ・ ・<td>品名 林村科名 (国売 = "原材料:") 林村科名(国売 = "原材料:") 林村名 (1-1 「一」 「一」 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「</td>	品名 林村科名 (国売 = "原材料:") 林村科名(国売 = "原材料:") 林村名 (1-1 「一」 「一」 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「

8.4.12 検索バーコード項目を検索(検索グループ)

検索バーコード項目に選択されているバーコード項目を検索します。

1. [レイアウト] リボンの [検索バーコード項目を検索] をクリックします。



検索バーコードに選択されたバーコード項目がヒットします。 ここでは、JAN13桁PLUバーコードがヒットします。



8.5 プリセット

[プリセット] タブをクリックすると、[プリセット] リボンが表示されます。

ファイル	ホーム	表示	レイアウト	プリ・	セット	その他データ編集	通信	ツール
AA	₩ 昇!	順並べ替え。	+	×	₫ 先	頭行の前に行を追加		
検索/	₩14	順並べ替え。	挿入	削除		行の後ろに行を追加	プリセット	
置き換え	- 9⊛並/	、替え…		12 21 12	書明	在行の前に行を追加	デー矩向刷	
	データ				データ	シート	ツール ゅ	

8.5.1 検索 / 置き換え(データグループ)

入力エリア内の項目データの検索/置き換えができます。

1. [プリセット] リボンの [検索 / 置き換え] をクリックします。

ファイル	ホーム 表示
ん 検索/ 置き換え	∰昇順並べ替え ▼ ₩降順並べ替え ▼ ₩ ₩
	データ

[検索と置換] ダイアログが表示されます。

検索と置換	Σ
検索置換	
検索内容	×
検索範囲	編集中レイアウト
	編集史4721
一大文字と小文字を	現在0月00000000000000000000000000000000000
□ 全角と半角を区別	全ファイル
□字令に→教するジ	
	- NC() @19.#
速万回検索	
🔄 印字内容も同時()	に検索
	次を検索

検索を行う場合は〔検索〕タブを使用して、「8.5.1.1 検索」の手順を行います。
 置き換えを行う場合は、〔置換〕タブを使用して、「8.5.1.2 置き換え」の手順を行います。

8.5.1.1 検索

検索を行う場合は、「検索と置換」ダイアログの「検索」タブを使用します。

検索と置換
検索置換
検索内容
検索範囲 編集中レイアウト 🖌
現在の列のみ 現在の列のみ 全ファイル 全角と半角を区別する 完全に一致するデーダだけを検索 び方向検索 の字内容も同時に検索
次を検索

[検索] タブの設定項目:

検索内容	-検索する文字列を入力します。
検索範囲	-検索範囲として、ドロップダウンリストから[編集中レイアウ
	ト]、[現在の列のみ]、[現在の行のみ] または [全ファイル]
	のいずれかを選択します。
大文字と小文字を区別する	-大文字と小文字を区別して検索する場合にチェックを入れま
	す。
全角と半角を区別する	-全角と半角を区別して検索する場合にチェックを入れます。
完全に一致するデータだけを検索	-完全に一致するデータだけを検索する場合にチェックを入れま
	す。
逆方向検索	-検索範囲の末尾から検索を行う場合にチェックを入れます。
印字内容も同時に検索	-印字内容も検索を行う場合にチェックを入れます。

1. [検索] タブの各項目を設定し、[次を検索] をクリックします。 検索が実行され、該当文字列を含むレイアウトエリアの項目と入力エリアのセルが選択されます。

2. 引き続き検索を行う場合は、再度 [次を検索] をクリックします。

引き続き検索を行わない場合は、[検索と置換]ダイアログ右上の[×] をクリックします。 以降に該当する文字列が無い場合は、次の情報画面が表示されます。この場合は[OK]をクリック して操作を終了します。



8.5.1.2 置き換え

置き換えを行う場合は、〔検索と置換〕ダイアログの〔置換〕タブを使用します。

検索と置換 検索 置換		X
検索内容		T
置換後内容		-
検索範囲	編集中レイアウト	-
 ○ 大文字と小文字を ○ 全角と半角を区別 ○ 完全(こ一致する)² ○ 逆方向検索 	⊡区別する する [:] −yだけを検索	
	次を検索	置換 すべて置換

[置換]タブの設定項目:	
検索内容	-検索する文字列を入力します。
置換後内容	- 置換する文字列を入力します。
検索範囲	-検索範囲として、ドロップダウンリストから[編集中レイアウ
	ト]、[現在の列のみ]、または[現在の行のみ]のいずれかを
	選択します。
大文字と小文字を区別する	-大文字と小文字を区別して検索する場合にチェックを入れま
	す。
全角と半角を区別する	- 全角と半角を区別して検索する場合にチェックを入れます。
完全に一致するデータだけを検索	-完全に一致するデータだけを検索する場合にチェックを入れま
	す。
逆方向検索	-検索範囲の末尾から検索を行う場合にチェックを入れます。

検索結果を確認しながら置き換えを行う場合

- **1**. [置換] タブの各項目を設定し、[次を検索] をクリックします。 検索が実行され、該当文字列を含むセルが選択されます。
- **2.** 検索された文字列を [置換後内容] で指定した文字列で置換する場合は、[置換] をクリックします。
- **3.** 引き続き検索を行う場合は、再度 [次を検索] をクリックし、同様の操作を繰り返します。 引き続き検索を行わない場合は、[検索と置換] ダイアログ右上の [×] をクリックします。

検索結果の確認をしないで該当文字列ごとに置き換えを行う場合

- **1**. [置換] タブの各項目を設定し、[置換] をクリックします。 検索と置換が実行され、該当文字列を含むセルが置換されて表示されます。
- 引き続き検索と置換を行う場合は、再度[次を検索]をクリックし、同様の操作を繰り返します。
 引き続き検索と置換を行わない場合は、[検索と置換]ダイアログ右上の[×]をクリックします。

検索結果の確認をしないですべての該当文字列の置き換えを一度に行う場合

1. [置換] タブの各項目を設定し、[すべて置換] をクリックします。 該当文字列を含むセルが置換され,次の情報画面が表示されます。



2. [OK] をクリックして操作を終了します。

8.5.2 昇順並べ替え(データグループ)

入力エリアの列の項目データを文字または数値で昇順に並べ替えることができます。

» 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.9 昇順並べ替え(入力エリア)」)

ファイル រ	ホーム 表示	
AA.	₩昇順並べ替え	
検索/	文字	m
置き換え	数値	
	データ	

8.5.3 降順並べ替え(データグループ)

入力エリアの列の項目データを文字または数字で降順に並べ替えることができます。

» 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.10 降順並べ替え(入力エリア)」)



8.5.4 並べ替え(データグループ)

入力エリアの列の項目データを優先項目を基準に昇順 / 降順に並べ替えることができます。

»入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.11 並べ替え(入力エリア)」)



8.5.5 挿入(データシートグループ)

入力エリアに新しい行を挿入します。

»入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.5 行挿入(入力エリア)」)

レイアウト	プリセット	その他データ
	 ** 先頭行の前 ** 未行の後き ** 現在行の前 ** 現在行の前 ** データシート 	前に行を追加 ろに行を追加 前に行を追加

8.5.6 削除(データシートグループ)

入力エリアの行を削除します。

»入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.6 行削除(入力エリア)」)



8.5.7 先頭行の前に行を追加(データシートグループ)

入力エリアの先頭行の前に、指定した行数の新しい行を挿入します。

» 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.7 プリセットデータシートに行追加(入 カエリア)」)



8.5.8 末行の後ろに行を追加(データシートグループ)

入力エリアの最終行の後ろに、指定した行数の新しい行を挿入します。

» 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.7 プリセットデータシートに行追加(入 カエリア)」)



8.5.9 現在行の前に行を追加(データシートグループ)

入力エリアの現在の行の前に、指定した行数の新しい行を挿入します。

» 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.7 プリセットデータシートに行追加(入 カエリア)」)



8.5.10 プリセットデータ印刷(ツールグループ)

全プリセットデータを項目ごとに選択してプリンターに印刷することができます。

- » 項目一覧エリアのショートカットメニューの「全プリセット」のプリセットフレームのショートカットメニューの「プ リセットデータを印刷」でも同様の操作ができます。(⇒「7.3.19 全プリセット表示(入力エリア)」)
- 1. [プリセット] リボンの [プリセットデータ印刷] をクリックします。



2. プリセットデータ印刷画面が表示されます。

プリセットデータ印刷	
印刷する項目を選択 ♥ 呼出番号 ● バーコード1 ● 文字1 ● 価格1	 グリッド線を印刷 左右2列で印刷 印刷の向き 縦< 横 フォント ページ設定・・・ E印刷プレビュー・・・ E印刷 修了
すべて選択	

各種選択して[印刷]ボタンをクリックします。

8.6 その他データ編集

[その他データ編集] タブをクリックすると、[その他データ編集] リボンが表示されます。

ファイル ホーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信 ツール	
デーブル編集 マ テーブル 購 テーブル編集 マ 新規作成	回り での セット発行	 	ジ ラベル編集 連続	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	FTP受信の 関連設定
テーブル			データ		設定。

8.6.1 テーブル新規作成(テーブルグループ)

頻出の項目データをテーブルに作成することによって、入力エリアの項目データとテーブルとを関連付け て入力を簡略化することができます。

- »項目との関連付けは、項目のプロパティで行います。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」)
- » 作成したテーブルは、エクスポートすることができます。またエクスポートしたテーブルをインポートして他のファ イルで使用することができます。(⇒「8.1.6.4 インポート-テーブル」、および「8.1.7.3 エクスポート-テーブル」)
- **1。** [その他データ編集]リボンの[テーブル新規作成]をクリックします。



[テーブル新規作成ウィザード] 画面が表示されます。

テーブル新規作成ウィザード	1 1001	×
新規テーブルの種類		
_		
◎ 店舗情報テーブル		
◎ マルチテーブル		
○ ユーザ発音辞書 ○ コードテーブル		
◎ サンプル テーブル		
	戻る 次へ 完了 キャン	2.16

店舗情報テーブルを作成する場合は、「8.6.1.1 店舗情報テーブル」の手順を行います。
 ※店舗情報テーブルは、一度作成されると二度目以降は、選択することができません。
 マルチテーブルを作成する場合は、「8.6.1.2 マルチテーブル」の手順を行います。
 ユーザ発音辞書を作成する場合は、「8.6.1.3 ユーザ発音辞書」の手順を行います。
 コードテーブルを作成する場合は、「8.6.1.4 コードテーブル」の手順を行います。
 サンプルテーブルを作成する場合は、「8.6.1.5 サンプルテーブル」の手順を行います。

8.6.1.1 店舗情報テーブル

ここでは、会社名、住所、電話番号などの項目データを使って店舗情報テーブルを作成します。

- **1.** [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [店舗情報テーブル] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 2. テーブル新規作成ウィザード画面が表示されます。

テーブル新規作成ウィザード	
テーブルのプロパティ	
名称	JE含約1含和G-ブル
作成日	2015年 1月23日
	オプション
	戻る 次へ 充了 キャンセル

テーブル新規作成ウィザード画面の項目:

名称 -----アーブルの名称を指定します。

バージョン-----を指定します。

作成日 -------自動的に日付が表示されます。必要に応じて、カレンダーアイコンを クリックすると表示されるカレンダーで日付を選択します。

オプション

オプション
□ レイアウトテーブルに指定
入力時のタイトル
関連レイアウト種類 普通レイアウト ・
モード定義
□ 又子使系充行 □ ハーコート使系充行 □ 分類発行 □ ヤット発行
☑ 本体で表示
Key項目(こ「0」コードが有効
入力時優先するモード
● 番号 ○ 一覧
■ 優先入力モード維持
□ 〒 5 / √ ハーテヘ 1ナ41 U C 6 V&6 / 田 5 W/(/ JaT*)
OK キャンセル
レイアウトテーブルに指定

本体で表示
Key 項目に [0] コードが有効
入力時優先するモード
番号入力時、存在して
いない番号の入力許可

- 3. オプションで必要事項にチェックを入れたら [次へ] をクリックします。
- **4.** 使用するフィールドにチェックを付け、必要に応じてフィールド追加、[名称] / [種類] / [サ イズ] の変更を行います。

	選択	名称	種類	サイズ	
Key	V	店番	Key	4	
View	v	店名	文字	60	
		住所1	文字	60	
		住所2	文字	60	
	V	電話	文字	60	
	V	会社名	文字	60	
1		責任者	文字	60	:

テーブルのフィールド定義:

選択 ------使用するフィールドを指定します。クリックしてチェックのオン / オ フを切り替え、使用するフィールドのチェックだけが付いている状態 にします。ただし、1 行目の [Key] と表示された項目はオフにするこ とはできません。

- 名称 -----フィールドの名称を指定します。他のテーブルの名称と重複しない名 称を指定してください。
- 種類 ------セルをダブルクリックすると表示されるドロップダウンリストから、 フィールドに格納する情報の種類として [文字]、[イメージ]、[マーク] のいずれかを選択します。ただし、1 行目の [Key] と表示された項目 の種類は変更できません。

サイズ ------フィールドのバイト数を指定します。文字の場合は半角1文字が1バ イトです。使用するデータ項目の桁数と揃えて設定してください(印 字する項目のセンタリング等の設定に影響します)。

5. [完了]をクリックすると [テーブル編集] ダイアログが表示されます。



6. セルを選択して情報を入力し、必要に応じて名称・プロパティの変更を行い、[OK] をクリックします。

589	、定法财务相子——	7.16	70/094	(> CGVデータを読込	CSV形式で採存 274184	580
T,	吉番(48)	店名(608)	住所1(60B)	電話(608)	会社名(60B)	
• 0	0001	尾久店	東京都北区場船4- 12-15	TEL 03-3913- 0131	株式会社ハロー食	
D						
1						
2						
3						
4						
5		-				
8						
7		_				
5						
8						
U						
0						
2						
5						

これで、店舗情報テーブルの作成が完了しました。

- » [テーブル編集] ダイアログを編集する場合は、「8.6.2 テーブル編集 (テーブルグループ)] を参照してください。
- » 項目とテーブルを関連付ける場合は、項目のプロパティで行います。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共 通項目)」)

8.6.1.2 マルチテーブル

ここでは、生産者と産地を関連付けた生産者テーブルをマルチテーブルで作成します。そして、生産者テーブルの Key 番号をバーコードにリンクさせることができます。

- **1.** [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [マルチテーブル] を選択し、[次へ] をクリック します。
- 2. テーブル新規作成ウィザード画面が表示されます。

テーブル	,新規作成ウィザード			×
7 ∼	-ブルのプロパティ			
	名称	生産者テーブル		
	作成日	1.0 2017年 8月 9日		
			オプション	
		戻る	次へ 完了	キャンセル

テーブル新規作成ウィザード画面の項目:

名称	テーブルの名称を指定します。
バージョン	テーブルのバージョンを指定します。
作成日	自動的に日付が表示されます。必要に応じて、カレンダーアイコンを
	クリックすると表示されるカレンダーで日付を選択します。

オプション

■ レイアウトテーブルに指定	
入力時のタイトル	
関連レイアウト種類	普通レイアウト
モード定義	
── 呼出発行	🔄 入力発行
○ 文字検索発行	── バーコード検索発行
分類発行	ゼット発行
▼ 本体で表示	
📄 Key項目(こ「O」コードが有効	防
入力時優先するモード	
 ● 番号 	◎ 一覧
📄 優先入力モード維持	
■ 番号 λ 力時 存在してい	ない希告の入力許可

レイアウトテーブルに指定 ---- 本体で呼出画面の最初にテーブルを呼び出して、そのテーブルに関連 付けられたプリセット選択番号ごとにラベル発行したい場合にチェッ クを入れます。 「呼出発行」、「文字検索発行」、「分類発行」、「入力発行」、「バーコード検索 発行」、「セット発行」の時に有効になります。

- 本体で表示------本体で表示する場合にチェックを入れます。
- Key 項目に [0] コードが有効 ----- Key 項目に [0] を入力しても有効に設定する場合にチェックを入れま す。
- 入力時優先するモード ------- 本体でレイアウトテーブルから入力する時に、番号で表示させるか 一覧で表示させるか選択することができます。

優先入力モード維持にチェックを入れると、本体で番号表示を一覧 モードに変更したり、一覧表示を番号表示に変更しても元の入力モー ドを維持します。

- 番号入力時、存在して------テーブル番号が定義されていない場合でもテーブル番号の入力を許可 いない番号の入力許可 する場合にチェックを入れます。
- **3.** オプションで店舗情報テーブルに指定にチェックを入れて[次へ]をクリックするとテーブ ルのフィールド定義画面が表示されます。
- **4.** 使用するフィールドにチェックを付け、名称の欄に生産地と生産者名と入力し[完了]をクリックします。

	選択	名称	種類	サイズ	
Key	V	Key	Кеу	8	
View	V	生産地	文字	60	
	V	生産者名	文字	60	

テーブルのフィールド定義:

選択 ------使用するフィールドを指定します。クリックしてチェックのオン / オ フを切り替え、使用するフィールドのチェックだけが付いている状態 にします。ただし、1 行目の [Key] と表示された項目はオフにするこ とはできません。 名称 ------フィールドの名称を指定します。他のテーブルの名称と重複しない名 称を指定してください。

種類 -----むちちちち モリング (シーン・シーン・シート) 種類 ------ セルをダブルクリックすると表示されるドロップダウンリストから、

フィールドに格納する情報の種類として [文字]、[イメージ]、[マーク] のいずれかを選択します。ただし、1 行目の [Key] と表示された項目 の種類は変更できません。

サイズ -----フィールドのバイト数を指定します。文字の場合は半角1文字が1バ イトです。使用するデータ項目の桁数と揃えて設定してください(印 字する項目のセンタリング等の設定に影響します)。

5. [完了]をクリックすると [テーブル編集] ダイアログが表示されます。

Ray	(88.)	生 能物(808)	生 唐 表 名 (80B)	
110.7	.007	25.786.4210003	2.18.4 - 1.0000	
-				
-				
2				
		1		
8				

6. セルを選択して生産地と生産者名を入力します。

Rev (BE)	生産熱(60B)	生産者名(60B)	T	
DD1	東京都北区	新盛花子	-	
002	東京都台東区	新盛太即		

これで、生産者テーブルの作成が完了しました。

- » [テーブル編集] ダイアログを編集する場合は、「8.6.2 テーブル編集 (テーブルグループ)] を参照してください。
- » 項目とテーブルを関連付ける場合は、項目のプロパティで行います。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共 通項目)」)

8.6.1.3 ユーザ発音辞書

ここでは、項目データを発音一文字で検索できるユーザ発音辞書を作成する手順について、説明します。

 [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [ユーザ発音辞書] を選択し、[次へ] をクリック します。

次のウィザード画面が表示されます。

2. 必要に応じて項目を設定し、[完了]をクリックします。

テーブル新規作成ウィザード		3
テーブルのプロパティ		
5 5760501014		
名称	ユーザ発音辞書1	
バージョン	1.0	
作成日	2013年11月22日	
	戻る 次へ 完了 キャンセル	

[テーブル編集] ダイアログが表示されます。

345 <mark>753</mark>	治症 律	プロパティー 🗐	CSV7-	タを読込 CSVF	形式で保存		
発音(2B)	単語(32B)						
•							
						0	***>

1. [発音] 列のドロップダウンリストから、読みの先頭文字を選択し、[単語] 列に情報を入力し、 必要に応じて名称・プロパティの変更を行い、[OK] をクリックします。

テーブル	編集		- • •
名称	ユーザ発音	辞書1 ブロパティ 🥑 (**) CSVデータを読込 CSV形式で保存	
	発音(2B)	単語(32B)	*
1	あ	あらびきウィンナー	=
2	U	イカフライ	
3 ▶			
4	a -		
5	U .		
6	3		
7	お		
8	か		
9	ē,		
10	、 ·		
10			
12			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
		OK)

これで、テーブルの作成が完了しました。

- » [テーブル編集] ダイアログの操作方法の詳細については、「8.6.2 テーブル編集(テーブルグループ)] を参照 してください。
- »項目との関連付けは、項目のプロパティで行います。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」)

8.6.1.4 コードテーブル

ここでは、コードテーブルを使って「キャッチフレーズ」テーブルを作成する手順について説明します。

1. [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [コードテーブル] を選択し、[次へ] をクリック します。

次のウィザード画面が表示されます。

テーブル象	f規作成ウィザード		×
テーブ	ブルのプロパティ		
	名称	コードテーブル1	
	ハーション 作成日	1.0 2015年 1月13日	
			オプション
			宗了 まかけれ

ウィザード画面の項目:

名称	·テーブルの名称を指定します。
バージョン	テーブルのバージョンを指定します。
作成日	-自動的に日付が表示されます。必要に応じて、カレンダーアイコンを
	クリックすると表示されるカレンダーで日付を選択します。
オプション	

本体で表示------本体で表示する場合にチェックを入れます。

Key 項目に [0] コードが有効 ----- Key 項目に [0] を入力しても有効に設定する場合にチェックを入れます。

オプション
 ▼ 本体で表示 ■ Key項目(こ「0」コードが有効
OK キャンセル

オプション設定をしたら〔次へ〕をクリックします。

2. テーブル新規作成ウィザード画面が表示されます。 次のウィザード画面が表示されます。

K	AE1/(種実見	0
Ney // View		チャッチフレーズ	 →字	0

ここで、 [名称] を [キャッチフレーズ] に変更します。 [完了] をクリックします。

3. テーブル編集画面が表示されます。

コード番号に関連付けるキャッチフレーズを入力します。

8時	コードテーブルパ	ブロパウィ 🧐 (*) CSVゲータを接込	CGV形式で保存 74川や名あり
- =	ド(BB) キャッチ:	レーズ(60B)	
1	新鮮!! 3	取り	
2 2	本日のお1	すめ	
3	もきたて!		
)			
2			
1			
5			
2			
3			
1			
)			
2			
3	2		
4			

[OK] をクリックします。

8.6.1.5 サンプルテーブル

サンプルテーブルには、使用頻度の高い数種類のテーブルが用意されています。これを利用すると、ラベ ルパートナーで項目データの編集を容易に行うことができます。

ここでは、サンプルテーブルの「産地コード表(コードテーブル)」を選択した場合について説明します。

1. [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [サンプルテーブル] を選択し、[次へ] をクリックします。

次のウィザード画面が表示されます。

2. 使用するサンプルテーブル (ここでは「産地コード表 (コードテーブル)」)を選択し、[完了] をクリックします。

テーブル新規作成ウィザード	×
サンブル テーブルから選択	
トレサビ用品種素(マルチテーブル) トレサビ用品種素(マルチテーブル) トレサビ用番種素(マルチテーブル) トレサビ用番肉素(マルチテーブル) トレサビ用街肉素(マルチテーブル) 順材料25百谷書(マーサ発音辞書) 店舗情報テジル(マルチテーブル) 産地コード表(マーサデーブル) 産地コード表(マードテーブル)	
	ll I

[テーブル編集] ダイアログが表示されます。

テーブル	補集		- • ×
名称	薩地口一門	プロパティ (*) (*) (CSVデータを読込) CSV形式で保存	
	⊐ — F (88)	内容(608)	1
1 +	0	無し	
2	1	北海道産	
3	2	青森県産	
4	3	岩手県産	
5	4	秋田県産	
6	5	宮城県産	
7	6	山形県産	
8	7	福島県産	
9	8	茨城県産	
10	9	栃木県産	
11	10	群馬県産	
12	11	埼玉県産	
13	12	千葉県産	
14	13	東京都産	
15	14	神奈川県産	
16	15	山梨県産	
17	16	長野県産	
18	17	新潟県産	
19	18	岐阜県産	
20	19	静岡県産	
21	20	愛知県産	
22	21	三重県産	
23	22	富山県産	
24	23	石川県産	
			OK ##>/t

3. 必要に応じて名称、プロパティの変更を行い [OK] をクリックします。 これで、サンプルテーブルの作成が完了しました。

8.6.2 テーブル編集(テーブルグループ)

[その他データ編集] リボンの [テーブル] グループ内に、作成したテーブルを編集するためのボタンがあ ります。

- »編集対象のテーブルに CSV ファイルからデータをインポートしたり、CSV ファイルヘデータをエクスポートすることができます。
- » メニュー・リボン⇒「レイアウト」メニュー⇒「プロパティ」で「neo 固定タイプレイアウト設定」の「マスタレイ アウトを使用」にチェックを入れた場合は、自動的に「固定版原産地表」と「固定版マーク表」のテーブルが表示さ れます。

テーブルを表示してプロパティを編集する

【その他データ編集】リボンの【テーブル編集】をクリックすると表示されるドロップダウンリストから編集するテーブルを選択します。

たとえば、マルチテーブルで作成された「キャッチフレーズ」テーブルを選択します。



[テーブル編集]ダイアログに「キャッチフレーズ」テーブルの内容が表示されます。



2. [プロパティ] をクリックします。 [テーブルのプロパティ] ダイアログが表示されます。

テーブルのプロパティ		X
名称	キャッチフレーズ	
バージョン	1.0	
作成日	2015年 1月14日	
キーフィールド	□-ド	Ŧ
		オプション
	OK キャンセル	

[テーブルのプロパティ]ダイアログの項目は、「8.6.1 テーブル新規作成(テーブルグループ)」-「店 舗情報テーブルを作成する」の手順3で表示されるウィザード画面の項目と同様です。

3. 必要に応じて各項目を設定し、[OK] をクリックします。

たとえば、[テーブルのプロパティ] ダイアログの [名称] ボックスに新しいテーブル名称を指定して、 テーブル名称を変更することができます。

- » 編集対象のテーブルがすでに項目と関連付けられている場合は、名称を変更することはできません。また、項 目との関連付けが削除済みの場合でも、項目一覧エリアと入力エリアにテーブルの Key 項目が残っている場合 も名称を変更することはできません。項目一覧エリアで Key 項目を「印刷する」設定にしてから Key 項目の 削除を行うと、入力エリアからも Key 項目列が削除され、関連付けが完全に解除されます。
- »すでに作成済みのテーブルと重複する名称を指定することはできません。

CSV データを読み込む

[テーブル編集]ダイアログで、テーブルに CSV 形式で保存したファイルの内容を読み込むことができます。

1。 [テーブル編集] ダイアログで、[CSV データを読込] をクリックします。



確認メッセージが表示されます。



2. [はい]をクリックすると、[開く] ダイアログが表示されます。



- **3.** ファイルの保存場所⇒読み込む CSV ファイルを指定し、[開く] をクリックします。 データが読み込まれます。
- **4** [OK] をクリックすると、テーブルが保存されます。

CSV 形式で保存する

[テーブル編集]ダイアログで、テーブルの内容を CSV 形式のファイルに保存することができます。

1。 [テーブル編集] ダイアログで、[CSV 形式で保存] をクリックします。



[CSV ファイル形式で保存] ダイアログが表示されます。

CSVファ	アイル形式で保存								×
00) - 🚺 🖡 CSV					•	← CSVの検索		م
整理	▼ 新しいフォルダ	-						x	0
	8歳に入り ダウンロード デスクトップ 最近表示した場所 ライブラリ ドキュメント ビクチャ ビデオ ミュージック		Lunchbox02.csv 酸品キャッチ. GSV	マルチテーブル 1.csv 主座者デーブルcsv	ユーザ発音辞書 1.csv 直接情報 5-71% csy	Уу4908-97-7 h.c SV	L-17"3hLesv	原材料発音辞書 CSV	р.
7	マイル名(N): 💷マッラ	チフレーズ.csv							•
771	(ルの種類(I): CSVフォ	r √)l/(*.csv)							-
ح ک	オルダーの非表示						保存(5)	キャンセル	i k

2. ファイルの保存場所⇒保存するファイル名を指定し、[保存]をクリックします。 CSV ファイルが保存されます。

ショートカットメニューを使う

[テーブル編集] ダイアログのセル内で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

フィールドのプロパティ	
フィールドを新規作成	
フィールドを削除	
表示フィールド指定	
検索用項目に指定	
行挿入	
行削除	
行追加	
⊐Ľ-	Ctrl+C
切り取り	Ctrl+X
削除	
貼り付け	Ctrl+V
昇順並べ替え	
降順並べ替え	
テーブルキー項目の番号	自動作成

フィールドのプロパティ ------フィールドのプロパティの設定ができます。

フィールドのプロパテ	T X
名称	キャッチフレーズ
サイズ(1〜2000)	8
種類	文字 ▼
入力モード	
📝 漢字入力	
☑ 数字	☑記号
☑ 英文	
-デフォルトス カチャ	- 15
◎ 漢字入力	
□ 数字	고한문
☑ 英文	
🥅 テーブルから取得	身 生産者テーブル →
0	K キャンセル

[フィールドのプロパティ] ダイアログの項目:

名称 -----フィールドの名称を変更できます。

サイズ -----フィールドのサイズを変更できます。

種類 ------文字、イメージ、マークから選択することができます。

テーブルから取得------チェックを入れると、選択したテーブルの中で表示フィールド指定されたフィールドのデータをダイアログから選択することができます。

フィールドを新規作成------フィールドを追加することができます。選択すると、右端に列 が追加されます。 フィールドを削除------現在選択しているセルがあるフィールド列を削除します。

表示フィールド指定	選択しているセルがあるフィールド列に対して、表示フィール
	ドの指定、または表示フィールドの指定の解除ができます。表
	示フィールドに設定すると、本体で商品名による検索発行を行
	う際の表示項目とすることができます。指定済みの場合、ショー
	トカットメニューの前にチェックが付きます。
検索用項目に指定	選択しているセルがあるフィールド列に対して、検索用項目の指定、
	または検索用項目の指定の解除ができます。検索用項目に指定する
	と、本体で商品名による検索発行を行う際の検索用項目とすること
	ができます。指定済みの場合、ショートカットメニューの前にチェッ
	クが付きます。
行挿入	選択しているセルがある行の前に、1 行追加されます。
行削除	選択しているセルがある行が削除されます。
行追加	末尾に 100 行が追加されます。
コピー	選択しているセルの内容がクリップボードにコピーされます。
切り取り	選択しているセルの内容が切り取られ、クリップボードにコピーさ
	れます。
削除	選択しているセルの内容が削除されます。
貼り付け	選択しているセルに、クリップボードに保存されたコピーデータ、
	切り取りデータが貼り付けられます。
昇順並べ替え	選択しているセルがあるフィールド列を基準に、データが昇順に並
	べ替えられます。
降順並べ替え	選択しているセルがあるフィールド列を基準に、データが降順に並
	べ替えられます。
テーブルキー項目の番号自動作成	[テーブルキー項目の番号自動作成]ダイアログを表示して、フィー
	ルドのプロパティの設定ができます。

テーブルキーコ	項目の番号自動作成	t	—
開始行	1		
開始番号	1	終了番号	1 🌲
	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	開始番号と終了看 キャンセル	番号同時変化]

[テーブルキー項目の番号自動作成] ダイアログの項目:

開始番号 ------連番の開始番号を指定します。

終了番号 ------グで範囲指定した場合は、

[開始番号]を指定すると自動的に[終了番号]が表示されます。 開始番号と終了番号同時変化------開始番号を指定すると同時に終了番号が指定されるようにする 場合はチェックを入れます。

8.6.3 テーブル削除(テーブルグループ)

作成したテーブルを削除することができます。

- » 編集対象のテーブルがすでに項目と関連付けられている場合は、テーブルを削除することはできません。また、項目 との関連付けが削除済みの場合でも、項目一覧エリアと入力エリアにテーブルの Key 項目が残っている場合もテーブ ルを削除することはできません。項目一覧で Key 項目を「印刷する」設定にしてから Key 項目の削除を行うと、入力 エリアからも Key 項目列が削除され、関連付けが完全に解除されます。
- 【その他データ編集】リボンの【テーブル削除】をクリックすると表示されるドロップダウンリストから削除するテーブルを選択します。

たとえば、「産地コード表」を選択します。

 ボーブル削除・
 セット発
 店舗・デーブル1
 ユーザ発音辞書1
 キャッチフレーズ
 産地コード表

確認メッセージが表示されます。

[はい]をクリックすると、テーブルが削除されます。

確認	×
?	「産地コード表」を削除しますか?
	(はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)

» 削除したテーブルを元に戻す場合は、クイックアクセスツールバーの[元に戻す]を使用してください。(⇒「9.5 元に戻す」)

8.6.4 セット発行(データグループ)

セット発行の設定を行うことができます。

セット発行を設定して本体に項目データを送信すると、本体のタッチパネル上に [セット発行] アイコン が作成されます。[セット発行] アイコンからセット名を選択してラベルを発行すると、設定されたラベル が連続して発行されます。

1。 [その他データ編集]リボンの[セット発行]をクリックします。



[セット発行] ダイアログが表示されます。

セット		
注意力加		
セットのリスト(最大100セット定義可能)	セット名 セ	ット番号
	セット構成(最大20個呼出番号まで定義可能)	
	呼出番号	*
	1	
	2	
	3	
	4 E	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
		*
	0	K \$++>tell

[セット発行] ダイアログの項目:

追加	-新規のセット発行設定を作成する場合にクリックします。
削除	-現在編集中のセット発行設定を削除する場合にクリックします。
セット名	-現在編集中のセット発行設定の名称を指定します。
セット番号	-セット名に関連付ける任意の番号を指定することができます。
呼出番号	-セット発行を行う項目データの呼出番号を各行に指定します。

 新しいセット発行を設定する場合は、「セット発行の追加」記載の手順を行います。 作成済みのセット発行設定を変更する場合は、「セット発行の編集」記載の手順を行います。 作成済みのセット発行設定を削除する場合は、一覧から目的のセット番号を選択して「削除」 をクリックします。

セット発行の追加

- **1.** [セット発行] ダイアログの [追加] をクリックします。 新しいセット発行設定が「セット xx」(xx は番号)として [セットのリスト] に追加されます。
- 2. [セット名] に、新しいセット発行設定の名前を指定します。
- 3. 必要に応じて、[セット番号] に番号を指定します。
- 4. 「呼出番号」の1行目に、最初に発行するラベルの呼出番号を指定します。 続いて2行目に、2番目に発行するラベルの呼出番号を指定します。 同様に、3行目、4行目・・に、3番目、4番目・・に発行するラベルの呼出番号を指定します。
- **5**. セット発行を行うすべてのラベルの呼出番号を指定後、[OK] をクリックします。

セット発行の変更

- **1.** [セット発行] ダイアログの [セットのリスト] から、変更するセット発行設定を選択します。 選択したセット発行設定の設定内容が、表示されます。
- **2.** 必要に応じて、[セット名]、[セット番号]、[呼出番号]の指定内容を変更し、[OK] をクリックします。

8.6.5 履歴(データグループ)

本体(プリンター)で発行されたラベルの発行履歴をラベルパートナーで取得する時の各種設定を行います。 » ここで設定した発行履歴データをメニュー・リボンの通信⇒発行履歴取得をクリックするとパソコンに保存すること ができます。(⇒「8.7.5 発行履歴取得(発行履歴)」)

1。[その他データ編集]リボンの[履歴]をクリックします。



[履歴設定] ダイアログが表示されます。

たとえば、履歴データとして商品名、呼出番号と印字枚数を取得する場合について説明します。 項目名欄に「商品名」、「呼出番号」、「印字枚数」と入力し、選択ボックスにチェックを入れます。

ÉDO	名称	辰臣1		展歴詳細評	定 - 尹 51	247
	照题種類	普通レイアウト	w	原思確認	- Tac	7012
	履歴項目	定義く定義項目をドラッグ	で上下移動可能〉	現在レイア	ウトから履歴項目す	取得
	湿択♥	項目名	履歴記録	データ形式	タイプ	
	2	商品名	ビロキデータ	を記録	標準項目	
	3	呼出番号	印字データ	在記録	標準項目	
	V	印字校验	ビロキデータ	The second s	EIF字校鼓	
	(m)					
						_
	(m)					
	履歴プレ6			_		
	商品名	呼出番号	日口字时发展发			
	0-2.00	沖当		-		
				-		

[履歴記録データ形式]をダブルクリックするとドロップダウンリストが表示されます。 元データを記録するか印字データを記録するかの設定を行うことができます。

[タイプ]をダブルクリックするとドロップダウンリストが表示されます。 標準項目、印字枚数、店舗番号、機械番号にするかの設定を行うことができます。

[現在レイアウトから履歴項目を取得]が有効になっている時は、ここをクリックすると履歴項目定 義のダイアログにレイアウトエリアにレイアウトされている項目が自動的に表示されます。 ここで、「商品名」、「呼出番号」、「印字枚数」の選択ボックスにチェックを入れて、これらの履歴デー タを取得することもできます。 **2.** 履歴詳細設定をクリックします。 発行履歴詳細設定ダイアログが表示されます。

発行履歴詳細設定	×
履歴データファイルの転送先設定	
◎ 本体のUSBメモリへ転送	
◎ 本体で設定したFTPサーバーへ転送	
□ データ取得と履歴送信を同時に行う	
転送先のフォルダ設定	
¥	
ファイル構成設定	
履歴ファイル名のフォーマット指定	
үүүү-мм	
履歴ファイルの拡張子指定 csv ▼	
履歴ファイルに項目間の区切り指定 . ▼	
履歴ファイルにレコードの区切り指定 CR(13) ▼ LF(10) ▼	
🔽 項目名行あり	
<u> </u>	

[履歴詳細設定] ダイアログの項目:

履歴データファイルの転送先設定 ------本体の USB メモリまたはラベルパートナーで 設定した FTP サーバーへ転送することができま す。 ファイル構成設定------履歴ファイル名のフォーマット指定、履歴ファ イルの拡張子指定、履歴ファイルに項目間の区 切り指定、履歴ファイルにレコードの区切り指 定をそれぞれのドロップダウンリストから選択 することができます。

3. [履歴確認]をクリックします。

履歴設定のダイアログが表示され、設定した履歴データの確認をすることができます。

虚說定		1	-		-	
履歴項目名	レイアウト: レイアウト:					
商品名	商品名					
呼出番号	呼出番号(
印字枚数	設定無し					
				 服用許須設定	ок	dive of
				10.5ke+1053.7E		

レイアウト1の商品名と呼出し番号のセルをダブルクリックしてプルダウンリストから選択します。

履歷設定			-	
履歴項目名	レイアウト: レイアウト1			
商品名	商品名 👻			
呼出番号	一設定無し 商品名			
印字枚数	原材料名 原材料の内容			
	会社3 バーコード1 (小日行1 時刻1 時刻1 shinsei logo マーク1 呼出番号1			
		履歴詳細設定	ОК	キャンセル

その他のレイアウトの履歴データを表示させたい場合は、履歴設定のダイアログ内で右クリックしてプルダウンリストから選択します。

19012-910-0	니까다 니까다	レイアウト: レイアウト2	レイアウト: レイアウト3			
新品名	商品名	設定無し	設定無し	1		
9出番号	呼出番号1	設定無し	設定無し	1		
和字枚鼓	設定無し	設定無し	設定無し			
			レイアウト語	定 🔸 🗸	レイアウト1	
				~	レイアウト2	
				×	レイアウト3	

上記のように[履歴設定]した場合の履歴データを取得します。

- ①本体(プリンター)を通信状態にして、ラベルパートナーのメニュー・リボンの通信⇒発行履歴取 得をクリックします。
- ②履歴データを保存するフォルダーを選択してください。

選択すると、履歴データの取得が開始されます。

- ③保存先のフォルダー内にSdフォルダーが作成され、そのフォルダー内に設定されたフォーマット
- で 履歴データが保存されます。

[csv]ファイルで取得した場合の履歴データ例:

- 2	A	В	С	D
1	商品名	呼出番号	印字枚数	
2	ロースかつ弁当	7	1	
3	のり弁当	8	1	
4	メンチかつ弁当	17	1	
5	海鮮丼	27	1	
6				

4. 履歴フォーマットの削除

設定した履歴フォーマットを削除することができます。

[設定履歴]ダイアログの履歴一覧フレーム上で右クリックすると削除ボタンが表示されま すので、削除ボタンをクリックします。

.0	名称	原題1	1			原型詳細語		A (975
削除	履歷種領	普通	レイアウト		-	周慶確認		21919
	寵歷項目	定 義⟨定ま	実項目をドラッジで上	下移动可能	E)	現在レイア	ウトから履歴項目	在取消导
	選択▼	項目名			原度記録す	一研究	タイナ	*
		商品名			印度データ	4456	標準項目	
	V	呼出番号			印序データキ	65267	標準項目	_
	1	発行快期	:		印字データキ	記録	印字校数	
								-
	履歴プレビ	- L						
	商品名		呼出番号	発行的	紋			
	ロースかつ	舟当	4912345678904					

削除ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。

確認	×
?	履歴定義が使用中です。 削除したら、履歴記録ができなくなります。削除しますか?
	(はい(Y) いいえ(N)

削除する場合は、[はい]をクリックします。

8.6.6 イメージ(データグループ)

イメージデータを一括して管理します。

- » ツールボックスのイメージ項目を使用してレイアウトエリアにイメージデータをレイアウトすることができます。(⇒ 「5.9 イメージ項目」)なお、イメージデータの取得方法は、イメージ項目の項目プロパティのデータタブで行うこと ができます。
- **1。** [その他データ編集]リボンの[イメージ]をクリックします。



[イメージ管理] ダイアログが表示されます。

ここでは、3種類の shinsei_logo が管理されています。

イメージ管理				x
イメージ管理 名称 <mark>Shinsei Jogo 1</mark> shinsei Jogo 2	7µ2ı-	Shinsel		
	(追加	0K ++)	セル

イメージを追加する場合は、追加ボタンをクリックしてイメージファイルを選択します。

イメージ項目の設定は、イメージ項目のプロパティで行います。

»「6.10.2 [データ] タブ」を参照してください。

8.6.7 ラベル編集(データグループ)

ラベルの各種設定を行うことができます。

- » [デフォルトラベル設定] ダイアログの [ラベル選択] ドロップダウンリストから [ラベル新規追加] を選択した場合、 新規に作成するラベルの編集を同様の操作でできます。(⇒「8.1.1.1 ファイル」)
- » レイアウトのプロパティ([レイアウト設定] ダイアログ)からラベルの編集を行うこともできます。(⇒「6.1.1 [一般] タブ」(レイアウトプロパティ)、および「8.4.8 プロパティ(データグループ)」)

1. [その他データ編集] リボンの [ラベル編集] をクリックします。



[ラベル編集] ダイアログが表示されます。

ラベル編集	
ラベリル編集 新規定追加 [5] - 標準(マーク)85×43min	- ラベル新規:30m ・ 新生産医ラベルから送校 - ビザ定義 ・ 送売ラベル ・ フリーサイズラベル
	名称 標準マーリが×13mm ライナレスラベル設定値に - 5パルサイズ設定(単位・mm)
	ラベルタイプ 高小(14-02) 550 「 ラベルス (10-200)」 129 「
	61字源章 (1~16) 8 香 詳細設定 5パル皆長 オーガン 507 24
1	,

2. 各項目を設定して [OK] をクリックします。

[ラベル編集] ダイアログの項目:

規に定義します。 名称 ------新規保存するラベルの名称を入力します。 ライナレスラベル設定値に----ライナレスラベルに印字する場合にクリックします。 ラベルタイプ------[ユーザ定義]を選択した場合、ラベルタイプを選択します。 »[裏マーク]:ラベルの裏面に位置決め用マーク(黒い横線)を検知して位 置決めを行います。 »「ギャップ]:ラベルとラベルのすき間を検知して位置決めを行います。 » [マークなし]: ラベルに位置決め用のマークがありません。 ギャップ幅-----の間隔を指定します。 裏マークの位置-------[ユーザ定義]を選択した場合、裏マークの位置を指定します。 印字濃度 ------ラベルに印字する時の濃度を指定します。 オープン -----クリックすると、ラベル背景に使用する画像ファイルを選択すること ができます。ラベル背景の設定方法については、「「ラベル背景」を設 定する」を参照してください。 クリア -----------クリックすると、ラベル背景の指定を取り消すことができます。

ユーザ定義------通常ラベルまたはフリーサイズラベル(ライナーレスラベル)から新

新盛標準ラベルから選択------標準ラベルをドロップダウンリストから選択します。

詳細設定 -----アログが表示されます。

詳細設定	×
印字位置上下微調整(-10.0~10.0mm)	0.0
 ごうせいまた ディアオフ送り量(-10.0~10.0mm) 	0.0
剥離送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
ライナーレス送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
カッター送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
印字速度設定 電池電源速度 AC電源速度	85 •
マージン(単位: mm) 先頭マージン(1~20) 10 全 ラ 左右マージン(1~20) 10 会	た尾マージン(1~20) 1.0 ◆
センサー話	定
	OK 中止

[詳細設定] ダイアログについては、以下の「ラベルの詳細設定を行う」 に詳しく説明します。

ラベルの詳細設定を行う

1. [ラベル編集] ダイアログの [詳細設定] をクリックします。 [詳細設定] ダイアログが表示されます。

詳細設定	
印字位置上下微調整(-10.0~10.0mm)	0.0
□□ 近り重設定 ティアオフ送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
剥離送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
ライナーレス送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
カッター送り量(-10.0~10.0mm)	0.0
印字速度設定 電池電源速度	85
AC電源速度	130 -
マージン(単位:mm) 先頭マージン(1~20) 1.0 奏 p	朱尾マージン(1~20) 1.0 🚖
左右マージン(1~20) 1.0 🚔	
センサー影	定
	ОК ФШ

2. 各項目を設定して [OK] をクリックします。

[詳細設定] ダイアログの設定項目:

印字位置上下微調整	-ラベルに対して印字開始位置の上下を微調整することができます。
送り量設定	
ティアオフ送り量	-印字方式がティアオフ発行に設定されている時に、最後のラベルを切
	り取りやすい位置までの送り量を指定します。
剥離送り量	-印字方式が剥離発行に設定されている時に、ラベルを台紙から剥離さ
	せて取り出しやすい位置までの送り量を指定します。
ライナーレス送り量	-ライナーレスラベルに設定されている時に、最後のライナーレスラベ
	ルを切り取りやすい位置までの送り量を指定します。
カッター送り量	-カッター付きのライナーレスラベルに設定されている時に、最後のラ
	イナーレスラベルをカッターの位置までの送り量を指定します。
印字速度設定	
電池電源速度	-バッテリーパックで使用する時の印字速度を選択します。
AC 電源速度	-AC 電源で使用する時の印字速度を選択します。
先頭 / 左右 / 末尾マージン	- ラベルの前後左右の印字できない範囲を先頭マージン / 左右マージン
	/ 末尾マージンとして指定します。

センサー設定-----センサー設定の確認メッセージが表示されます。

[はい] をクリックしてください。



[センサー設定] ダイアログを表示します。[センサー設定] ダイアロ グの設定方法については、後述する「センサー設定を行う」を参照し てください。

センサー設定	×
📝 プリンタ本体の共通センサー設定値を使用	する
- 裏マークセンサー- 裏マークセンサー抵抗値(0~127)	0
裏マーク センサーレベル (0~255)	0
センサー設定値を本体より検	出
ギャップ センサー	
ギャップ センサー 抵抗値 (0~127)	0
ギャップ センサー レベル (0〜255)	0
センサー設定値を本体より検	出
ОК	キャンセル

3. 編集内容を保存する場合は、[ラベル上書き保存]をクリックします。 編集内容が保存されます。

ラベル編集	
ラベリ /産業 新規55加 [N] 売至1(マーク)85× 43mm	- ラベル料気は加 ・ 新空標準ラベルから違訳 ・ 「中容素 ・ 達示ラベル ・ フリーサイズラベル
	白寺演査 (1~16) 8 合 詳細設定 5×06 資券 オープン 2007 24

4. ダイアログ右上の [×] をクリックして [ラベル編集] ダイアログを閉じます。

センサー設定を行う

[ラベル編集]ダイアログの[詳細設定]⇒[センサー設定]をクリックすると表示される確認メッセージで[はい]をクリックすると、[センサー設定]ダイアログが表示されます。

センサー設定	— ×-
▼ プリンタ本体の共通センサー設定値を使用 ■ 東マーク センサー	用する
裏マーク センサー抵抗値 (0~127)	0
裏マーク センサーレベル (0~255)	0
センサー設定値を本体より移	爸出
ギャップ センサー	
ギャップ センサー 抵抗値 (0~127)	0
ギャップ センサー レベル (0〜255)	0
センサー設定値を本体より移	食出
ОК	キャンセル

[センサー設定] ダイアログの項目:

プリンタ本体の共通センサー設定値を使用する	本体の共通センサー設定値を使用する場合に
	チェックを入れます。
	チェックを外すと、その他の設定ができます。
	※通常は、チェックを入れたままにしておきます。
裏マークセンサー抵抗値	裏マークセンサー抵抗値を指定します。
裏マークセンサーレベル	裏マークセンサーレベルを指定します。
ギャップセンサー抵抗値	ギャップセンサー抵抗値を指定します。
ギャップセンサーレベル	ギャップセンサーレベルを指定します。
センサー設定値を本体より検出	各センサー値を本体より検出して、裏マークセ
	ンサー抵抗値/裏マークセンサーレベル/ギャッ
	プセンサー抵抗値 / ギャップセンサーレベルの

値を自動的に取得する場合にクリックします。

[ラベル背景] を設定する

[ラベル編集] ダイアログの [オープン] を使用して、ラベル背景の画像を選択することができます。

1. [ラベル編集] ダイアログの [オープン] をクリックします。

べル編集	
5ベリル雇業 新規2010 【5】 標準(マーク)85×43mm	- ラベル形 気 (201) ● 労盛 標準 ラベルから 逆択 - ユーザ定義 - 通常 ラベル ● フリーザズ スラベル
	ラベル接線
	名称 標準マーク55×13mm ライナレスラベル設定値に
	-5パリサイズ設定(単位: mm)
	7ペル947 裏マーク デキャップ福祉マール」 い 音
	2~1/2/2 (24~80) 000 000 000 000 423
	印字濃度 (1~16) 8 本 詳細語定

2. [開く] ダイアログが表示されます。 ファイルの保存場所⇒読み込む画像ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

聞<		
	≠γ → image	 ✓ ✓
整理 ▼ 新しいフォルダー		E - 🗌 🔞
 ☆ お気に入り ※ ダウンロード デスクトップ 型 最近表示した場所 ⇒ ライブラリ □ ドキュメント 	ビクチャ ライブラリ mage B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	並べ替え: フォルダー ▼
 □ F+135F ■ ビクチャ ▶ マイ ビクチャ ▶ パブリックのビクチャ ■ ビデオ ♪ ミュージック 	ABC.jpg	
ペポームグループ ファイル名(№):		 Image File(*.bmp;*.jpg;*.gi ▼)

3. [ラベル編集] ダイアログにラベル背景がプレビュー表示されます。



ベル程準	ラベル新規追加
新規道加	 新盛標準ラベルから選択
55×43mm	- ラベル上書き保存
S	○ ユーザ定義(フリーサイズ)
	ラベル情報
	名称 標準(マーク)55×43 mm ライナレスラベル設定運に
	-5八川サイズ設定(単位: mm)
	ラベルタイプ 東マーク - ギャップ幅(1~11) 111 日
	ラベル幅(24~85)第5日 士 ラベル長(10~800)相2日 士
	自守課度(1~16) 8 ● 詳細設定
	ラベル 借屋 オープン クリア 🕰
	Α
	A
	AE
	AB
	ABO
	ABC
	ABC
	ABC
	ABC

回転ボタンをクリックするごとにラベル 背景が右に90度ずつ回転します。

- 4. 編集内容を保存する場合は、[ラベル上書き保存]をクリックします。
- **5.** ダイアログ右上の [×] をクリックして [ラベル編集] ダイアログを閉じます。 レイアウトエリアに背景画像が反映されたラベルイメージが表示されます。



8.6.8 連続入力(データグループ)

既存の商品やテーブルレコードから、いくつかのデータを選んで、選ばれた商品の一部情報とテーブルレ コードのフィールドデータをまとめて1枚のラベルの中に印字することができます。 盛り合わせ商品のラベルを作成する時に便利な機能です。

1。[その他データ編集]リボンの[連続入力]をクリックします。

ファイル ホーム 表示 L	レイアウト プリセッ	その他データ編集	通信 ツール	
デーブル構集・ デーブル 新規作成 デーブル	■■ ■● セット発行 履歴 ・	(メージ ラベル編集 デーイ	カ 強調印字 自動フォン	65 →66 ト通し番号 FTP受信の 関連設定 設定
		Ň		

[連続入力] ダイアログが表示されます。

λπ	名称	前定1 11最後のフィールドに、1	医切り文字系	Éħ0	保	¥		
	74-168							
	名称	データソース	入力種類	データノース 詳細設定	区切的文字 (政府:¥r)	フィールド知道付け	データ番号を重複 入力許可	終了許可
				HARKE.	1			
				新新田文室	Ì			
				詳純語效定	1		<u></u>	
				詳時間於定				[
				ETALENE.	1		10	
				論職定				
				制物植化定				
				ETSENCE)			
				詳論相致定				
				論職定]			
				部時時代定				
				ERSENCE.	Į		10	
				新新田文室	Į			
				iiiiitittiittiittii				
				ETAEXE.	ļ			
				部治田安定			10	

[フィールド] 項目の説明:

名称 ------- 入力時、本体画面上に表示されます。 例えば、1回目の商品選択は、「品 名1」とします。

- データソース------商品かテーブルかを選択します。ここでは、商品を選びますので「プ リセットに設定します。
- 入力種類 ------ データソースソースを「プリセット」に設定した場合に有効となりま す。印字データと入力データから選ぶことができます。
- データソース詳細設定-------商品にどの項目を使用するか、テーブル内のどのフィールドを使用す るかの設定をします。
- 区切り文字-----次のデータ間との区切り文字を設定します。
- フィールド関連付け------上のフィールドと関連するかしないかの設定をします。関連付けると、 選択画面が表示されません。関連するフィールドと同じ番号で印字 データを取得します。
- データ番号を重複入力許可----すでに選択した商品番号やテーブルレコード番号が重複しても良いか どうかを設定します。

例として、3つの商品名と産地名を連続入力する場合について説明します。 予め、3つの商品名とそれぞれの産地名のレイアウトを作成します。 次に、連続入力設定をします。

装入力								
規.	名称 盛り合き	9世連続入力			保	1Ŧ		
り合わせ連続入力	□ 最待	8074-JUNE.	区切り文字を	EDO				
	77-168							
	名称	データソース	入力種類	データソース 詳細設定	区切り文字 (2017:34)	フィールド関連付け	データ番号を重複 入力許可	終了許可
	一番目の時品名	プリセット	印字データ	STARAT.	¥	SKEMU		1
	一番目の商品の産地。	ブリセット	Eびキデータ	HARDS	¥-	一番目の商品名		
	二番目の商品名	プリセット	ビロ字データ	詳約版效定	*	設定無し		
	二番目の商品の産地。	ブリセット	印字データ	詩時時於定	¥	二番目の商品名		
	三番目の時品名	ブリセット	印字データ	ETABLICE	¥	設定無し	10 A	
	三番目の商品の産地。	ブリセット	印字データ	論酸定) *	三番目()商品名		
				副物理论定)			
				ETABLICE]		1	
				部66定				
				詳細語定)			
				部時間光定)			
				ETABLICE]		E	
				新新田文室)			
				詳細語定				
				ETABLICE]			
				新新田文室]			
				論確定	1			

レイアウトされた商品名と産地名を連続入力しますので、データソースのプルダウンメニューから リセットを選択します。

商品名を印字後、改行して産地名を印字したい場合は、区切り文字に「¥r」を入力します。 商品名を選ぶと産地名も決まりますので、商品名と関連付けます。

重複入力を許可しませんので、チェックを入れません。

3番目の商品の産地まで連続入力しますので、終了許可には、チェックを入れません。

1番目の商品名の詳細設定から商品名を選びます。

プリセット種類フィ	ールド詳細設定	 	Avera		×
	海鮮用レイアウト				
一番目の商品名	商品名 - 設定無し				
	産地名 バーコード1 NONPLU1 価格 ((物(大))			OK	*ャンセル .::

1番目の商品名の産地名の詳細設定から産地名を選びます。

プリセット種類フィールド詳細設定	 	and the second	-attended	×
海鮮用レイアウト				
一番目の商品の 産地名 ▼ 設定無し 商品名				
1月10日 パーコード1 NONPLU1 価格(中約(中))			ОК	**>セル .::

商品の連続入力は、自分自身を選ぶことを防ぐため、入力エリアを有する印字通常の印字レアウト おくことができません。

ここでは、コピー発行のレイアウトの場合について、説明します。

プ



コピー発行のレイアウトに盛り合わせ連続入力項目をレイアウトします。

盛り合わせ連続入力項目のプロパティを開きます。

力

ここで、一時変更設定で「強制一時変更」または「手動一時変更」にチェックを入れると、連続入 項目が有効になりますので、プルダウンメニューから「盛り合わせ連続入力」を選択します。

称 盛り合わせ運動	≅λ力	
徴(半角) 198	🔄 🥅 桁部加固定	
ータ元(データ・ソース)―		
通常入力	◎ 合成	
テーブルから取得	ල භාවන්	
) 固定データ	◎ 演算	
力方式		
入力必須	□ 全桁入力	
0入力禁止	■ 全桁入力後次の項目へ	
2キャナー入力許可	🔲 スキャナのみ入力許可	
ユーザ辞書使用許可		
時変更設定		
強制一時変更	手前→時変更	
一時変更内容を記憶	■ 一時変更前にデータをクリア	
連続入力	座り合わせ連続入力 🚽	

8.6.9 強調印字(データグループ)

たとえば、食物アレルギーの原因食物に該当する食物を印字する場合に、他の文字より目立たせるように 強調して印字することができます。

1. [その他データ編集]リボンの[強調印字]をクリックします。

ファイル ホーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信 ツ	ール	
聞 テーブル編集 ▼ テーブル 課 テーブル 説 テーブル 説 テーブル 説 テーブル 説 テーブル 説 また (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ビット発行	最悪 イメー	-ジ ラベル編集 連続入	力 強調印字	A 65 →66 自動フォント 通し番号	FTP受信の 期連設定
デーブル			データ	- dm		関連設定 設定 □

[強調印字] ダイアログが表示されます。

猫講印字設定		
37 年一覧 新規。	名作 設定! - 強調スタイル - 広本 - 一 反動 - 下線 - 一 外帯 	(集存 区 400文字
	f [*] ~9	

- [フィールド] 項目の説明:
- 名称 -------文字項目のプロパティの詳細タブの強調設定のプルダウンメニューに 表示されます。
- 強調スタイル------強調印字したい文字のスタイルを選択することができます。

区切り文字-----たとえば、添加物がコンマで列記され、その中に食物アレルギーの原 因物質が含まれている場合に、原因物質名だけを強調印字したい場合 に設定をします。

※一つ以上の区切り文字の登録が必要です。

例として、食物アレルギーの原因食物名をデータ欄に入力します。 名称は、アレルゲンとします。

BUE-9,	李称 四月月代5		
新規	28週7次イル		保存
лимо		Roiz C	
		外程	区坝坝文字
	— 54/幸		
	データ		
	純加		
	乳製品		
	小麦		
	甲殼類		
	果物類		
			_

添加物名は、通常コンマで区切られて列記されますので、区切り文字に「、」を入力します。

区切り文字設定	x
区切り文字	
s.	^
	-
OK +++>	セル

例えば、強調印字したいの文字項目のプロパティの「詳細」タブを開きます。強調印字設定にチェッ クを付けて、プルダウンメニューからアレルゲンを選択します。

(7田駅第-12~127dob) (回日下) データ配置設定 ファント設定 データ配置設定 ファント登録 内底フォント (内底フォント) 7位公室 (中底フォント) 2次子入力 (月高平) 夏女子入力 (月高平) 夏女子入力 (月高平) 夏女子入力 (月高平) 夏女子入力 (月高平) 夏女子、「夏田」 (日二)		2~-3540dot) 506 💓 長さ(12~-3540dot) 247
デーダ配置設定 フォンド設定 横位屋 左弯世 酸位量 上塔航池 漫字入力 使品号 図 決子入力 図 記号		版(-32~-127dot) 4 🚔
アライ酸酸酸化 左寄せ アメント種類 内配アメント 横口室 左寄せ マ アメント種類 アメント種類 アメント アメント アメント アメント アメント	フォント設定	77 # 13 -
内山血 左号位 ブガンド名 漢字ゴシック(8 縦位量 上指載え ア 理由に拡大縮小可能 夏安ネ入力 横信率 1 夏安子 夏記号 縦倍率 1	フォント種類 内蔵フォント マ	
	フォント名 漢字ゴシック(8pt, ▼	
□決字入力 横信平 1 □ 数字 ②記号 磁倍平 1	▼ 2 :自由に拡大縮小可能	上環鎖ス
☑ 数字 ☑ 記号 縦倍率 1	株倍率 1 👻	F入力
	縦倍率 1 🚖	数字 🕢 記号
夏英文 文字間隔 0	文字間隔 🕛 🚖	英文
	□ 太字 □ 斜体	Termina Lada
強非PF認定 アリルケン - 白抜き 反転	白抜き 反転	非学説定 アルパン -
■全数字の場合、先頭0で埋める ■半角を自動的に全角で印字 ■下線 ● 文字	印字 - 下線 - 文字反転	ま字の場合、先頭0で埋める 📄 半角を自動的に全角で印字
①印字する前に確認表示 回本体で印字範囲をチェックしない の項目	25しない () 項目範囲	ドする前に確認表示 📃 本体で印字範囲をチェックした

8.6.10 自動フォント(データグループ)

文字項目で印字範囲を可変にした時に、その印字範囲に全文字が印字されるように自動で予め設定された フォントで表示されます。

1。 [その他データ編集]リボンの[自動フォント]をクリックします。



[自動フォント設定] ダイアログが表示されます。

左のフレームの追加をクリックすると、自動フォント設定1と入力され名称枠にも自動フォント設 定1と入力されます。

自動フォント設定				-	×
istu H Bk	名称	自動フォント設定1			保存
요約792/132亩1	<u>iŝta</u>	926 H	752) (話定 242) (種類 242) (本 サイズ フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 フォン) (本 (本)) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ())) ()))())(1歳フォント 0 0 1 1	 × × × × ÷ ☆ ☆ ☆ ☆ 菜子(54) ○ 次子(54) ○ ☆ ☆ (有目範囲)
			模位畫 從位畫 行間籍 □ 強新中平設定	0	् प् •

右のフレームの追加をクリックすると、枠内に漢字ゴシック (32x32) が入力されます。 » (32x32) は、フォント幅が 32dot、フォント長が 32dot を表しています。

ištu HUSA	名称 自動2	ント設定1		保存
自動フォント設定1	追加 法字ゴシック (82×82)	前11余 フォント設定 フォント種類	内蔵フォント	
		フォント名	を 漢字ゴ	シック・
			● 自由に接	达福小可能
		フォント幅(単位: dot)	32	Ŷ
		フォント長(単位: dot)	32	÷
		文字間隔	0	\$
			 □ 太平 □ 白抜き □ 下線 	 新体 反転 文字页転 項目範囲
		我位置	左寄せ	
		縱位畫	上端揃え	
		行間隔	L	
		□ 逾期10字設定		
フォントを追加したい場合は、再度、右フレームの追加をクリックします。 たとえば、フォント幅 16、フォント長 16 を選択すると、漢字ゴシック (16x16) と入力されます。

自動フォント設定	7-9	81	1.00		×
	H DA	名称 自動フォント設定1			保存
自動(34)/+設置1		<u> 近取</u> 前 満年ゴシック (32-33) 太年ゴシック (16-16)	フォント接流 フォント格 フォントを フォントの(単位: dot) フォント県(単位: dot) 文字部長単位: dot)	内蔵フォント を漢字ゴ を自由に投 16 16 16 16 16	▼ シック ・ 大雅小町記 ● ● ● ●
			樹位置 酸位素 竹爛塔 □ 過呼中封定	□下除 <u>左茶世</u> 上瑞編え ↓	○ X千四枚 ○ 項目範囲 ・ ・ ・

さらにフォントを追加したい場合は、同様な作業を行います。 設定が完了したら保存をクリックします。 【右フレームのフォント選択の注意事項】 » フォント選択は、サイズの大きいフォントから順に選択してください。 » フォント種類は、最大8種まで選択することができます。

2. 文字項目をレイアウトします。

たとえば、下記のように印字範囲に余裕を持ってレイアウトします。



文字項目のプロパティの詳細タブを開きます。 自動フォントにチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。

文字項目	_	
テータ 詳細 ナンバーリング		
幅(12~\$540dot) [495 册 長さ(12~\$540dot) [70 册 行間隔(-32~127dot) [任	印字設定 回動角度	0 ▼ ▼ 60字
データ配置設定 横位度 を寄せ * 縦位度 上環鎖に *	☑ 自動フォント フォント設定 フォント経済 フォント経済 フォント名	自動7#シト設定1 ▼ 内蔵7#シト ▼ (内蔵7#シト ▼ (常定)「シック(8nt ▼)
 ☑ 溴字入力 ☑ 数字 ☑ 鼓字 	横倍率	 ・ 通:自由に拡大縮小可能 ・ 自由に拡大縮小可能
 ※ 英文 ※ 第 第 中 設定 	縦倍率 文字間隔	
 ●全数字の場合、先期ので現める ■ 半角を自動的に全角でビボ ■ 印字支通をチェックしない 		 ヘナ □341* 白枝さ □反転 □下移 ○文字[反転 □従書さ □項目範囲
Tag 0 特殊项目值	D	
		OK ¥∀>™

レイアウトされた文字項目は、印字範囲に余裕がありますので、自動フォントで設定された最も大きい漢字ゴシック (32x32) で表示されます。

ここで、レイアウトエリアの印字範囲を幅をそのままに高さを小さくするようにドラッグすると、 自動的に印字範囲に入る大きさの漢字ゴシック (16x16) に変更されて表示されます。



8.6.11 通し番号(データグループ)

ナンバーリングを印字する時に、いろいろな設定に応じてナンバーリングを通し番号にすることができま す。本設定がない場合(=デフォルト)は、ナンバーリングは呼出番号毎での通し番号となり、呼出番号 をまたぐ通し番号にはなりません。

1. [その他データ編集] リボンの [通し番号] をクリックします。



[通し番号設定] ダイアログが表示されます。

左のフレームの追加をクリックすると、通し番号1と入力され名称枠にも通し番号1と入力されます。

[通し番号タイプ] 項目の説明:

全体	-全レイアウトの範囲で通し番号が適用されます。
マスターレイアウト	レイアウトのプロパティで neo 固定タイプ設定で作成されたマスター
	レイアウトタブ毎の範囲で通し番号が適用されます。
レイアウト	レイアウトタブ毎の範囲で通し番号が適用されます。
レイアウト種類	レイアウトの種類毎の範囲で通し番号が適用されます。
グループ	分類で定義されたグループ毎の範囲で通し番号が適用されます。

» ナンバーリング設定は、「6.2.6 ナンバーリング(共通項目)」を参照してください。

3870 W F8:	-849 BL4	母1		修住
U\$\$	 通し働きシイブ(通行服 金 古林 マスカーレイアウト レイアウト レイアウト レイアウト レイアウト レイアウト 		• • •	
	ナンバーリング設定 新数	6	0	
	10.85	Robust	 同番号印字枚数 	1 🛃
	ステップ スタート(剤	1	通法 ストップ値	11 •
		1	23456	
				71K2-

2. ツールボックスから文字項目をレイアウトし、プロパティを開いてナンバーリングタブをクリックします。

通し番号にチェックを入れ、[その他データ編集]の[通し番号]で設定した名称を選択します。 » ナンバーリング設定は、「6.2.6 ナンバーリング(共通項目)」を参照してください。

☑ 通し番号	通し番号1	-	
種類 ステップ スタート値	15203574 	 同番号印字校数 通送法 ストゥブ値 	 10 ~ ブナンバーリングの結果も記憶
	1	23456	
★エンパーリンク単語	12 I-D4IT		7142-

各ナンバーリング項目を設定後、[OK] ボタンをクリックします。

8.6.12 FTP 受信の関連設定(設定グループ)

FTP受信時、レイアウトおよびテーブルとマスターファイル名をリンク付けすることができます。

1. [その他データ編集] リボンの [FTP 受信の関連設定] をクリックします。

ファイル ホーム 表示	レイアウト プリセット	その他データ編集 通信	ツール	
デーブル編集・ テーブル 購テーブル剤除・ 新規作成 テーブル。	で セット発行 エリア 履歴	イメージ ラベル編集 連続入 データ	カ 強調印字 自動フォント 通し番号	FTP受信の 関連設定 設
				<i>d</i>

[FTP 受信の関連設定] ダイアログが表示されます。

ユーザ定義にチェックを入れてマスターファイル名を入力すると、レイアウト名とリンク付けをす ることができます。

»テーブル名も同様にリンク付けができます。

FTP受信のファイル名間連設定	×
 ● 標準期間追索方式 ● ユーザ定義 ● 査通レイアウト ラーブル ■ペルパートナーファイル 	
③ ファイル名指定	नियन्न स्ट
◎ 唯一なうべルペートナーファイルを閉入	
	0K **/11

8.7 通信

[通信] タブをクリックすると、[通信] リボンが表示されます。

ファイル オ	マーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
してい サンプル取得	デリンタ	番号指定 選択発行	発行履歴	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →		
	情報を取得	発行	取得			
通信設定	プリンタ情報	オンライン発行	発行履歴	通信		

通信には、本体とパソコンを通信ケーブル(USB)で接続し、本体の電源スイッチを入れ、タッチパネルの [通信]アイコンにタッチして本体を通信状態にします。

» 接続方法については、「1.2 ラベルパートナーと USB ドライバーのインストール」の手順 7 を参照してください。

8.7.1 サンプル取得(通信設定)

1。 [通信] リボンの [サンプル取得] をクリックします。



(1) [新盛のサンプルデータ]の[各グループのサンプルデータ]の[各ファイル]をクリックします。 ネット経由で新盛のサーバーから新盛のサンプルデータを取得することができます。

※複数のサンプルデータを選択することもできます。この場合は、レイアウトタブが自動的に追加されます。





[開く] をクリックすると、今開いているファイルに追加するか別ファイルで開くかの確認画面が表示されます。



(2) [ユーザ定義サンプルデータ]をクリックします。

ユーザの FTP サーバーからユーザ定義サンプルデータを取得することができます。 ※ FTP サーバーの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

ネットからサンブルデータを取得		FTPサーバーを追加	
(b) (b)	7/62-		
		最近使用したFTPサーバー 新担 👽 🔽	
新型の サンプルダータ		ACCESSION 771 #1.94	
		FTPサーバー ポート 21	
لبي البي الم		2-ザ名 🗌 匿名	
		パスワード	
		ログイン後フォルダ /	
		[[[[[]]]][[[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[e` 1711.
	MK ##2/200	130%	

8.7.2 プリンター情報を取得(プリンタ情報)

本体の情報を取得することができます。

1. [通信] リボンの [プリンタ情報を取得] をクリックします。

ファイルオ	マーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
サンプル取得 通信設定	ご プリンタ 情報を取得 プリン 時 報	 ・ ・	発行履歴 取得 発行履歴	送信 取得 通信		

[プリンタ情報]ダイアログが表示されます。 ※プリンタ情報を取得する時は、本体を[通信モード]にしてください。

プリンタ情報	\mathbf{X}
プリンタ情報	
YJF ID	Standard Soft Version
プリンタ ID	
Bootloader/バージョン	neo7-BL-1.2
システムバージョン	neo7-1.4
内蔵フォント情報	neo7-FT-1.0
LANのMACアドレス	00:04:A3:D3:75:85
発行距離	35.356 m
カット回数	0
タッチ回数	7483
機械番号	0
樵械名	
店舗番号	0
]
登録データ情報	
登録済レイアウト件数	5
登録済プリセット件数	4
登録済テーブル件数	3
登録済イメージ件数	5
	ОК

次のエラーメッセージが表示された場合は、通信ケーブル(USB)が接続されているか、本体が通信 状態になっているかどうか確認し、[再試行]をクリックしてください。



8.7.3 番号指定発行(オンライン発行)

レイアウトエリアに表示されているプリセットデータを呼出番号・発行枚数を指定してラベル発行す ることができます。

- »番号指定発行する時は、本体を〔通信モード〕にしてください。
- » 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.15 画面データを印字発行(入力 エリア)」)
- **1**. [通信] リボンの [番号指定発行] をクリックします。

ファイル オ	マーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信 ツール
	=				
サンプル取得	プリンタ 情報を取得	番号指定 選択発行 発行	発行履歴 取得	送信 取得	
通信設定	プリンタ情報	ストロイン発行	発行履歴	通信	

[1プリセットを発行]ダイアログが表示されます。

1プリセットを発行		×
呼出番号	7	÷
発行枚数	1	-
ОК	キャンセル	

- » [1 プリセットを発行] ダイアログの詳細については、「7.3.15 画面データを印字発行(入力エリア)」を参照 してください。
- » [OK] をクリックした時に、エラーメッセージが表示された場合は、通信ケーブル(USB)が接続されているか、 本体が通信状態になっているかどうかを確認し、[再試行] をクリックしてください。

8.7.4 選択発行(オンライン発行)

レイアウトエリアに表示されているプリセットデータの呼出番号を選択して発行枚数を指定してラベ ル発行することができます。

- »番号指定発行する時は、本体を [通信モード] にしてください。
- » 入力エリアのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.3.15 画面データを印字発行(入力 エリア)」)

1. [通信] リボンの [選択発行] をクリックします。



[選択発行] ダイアログが表示されます。



選択データ発行	-発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選
	択して背景を青色にすると、その呼出番号のラ
	ベルを発行します。
	複数の呼出番号を選択することもできます。
表示分類選択データを一括発行	-発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選
	択して背景を青色にすると、同じ分類(行の番
	号に同じ着色がされています。)の呼出番号の
	ラベルを発行します。
表示レイアウトのデーター括発行	-発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選
	択して背景を青色に選択すると、同じレイアウ
	ト名の呼出番号のラベルを発行します。
全レイアウトのデータを一括発行	-いずれかの呼出番号のセルを選択して背景を青
	色に選択すると、全レイアウト名の呼出番号の
	ラベルを発行します。

» [OK] をクリックした時に、エラーメッセージが表示された場合は、通信ケーブル(USB)が接続されているか、 本体が通信状態になっているかどうかを確認し、 [再試行] をクリックしてください。

8.7.5 発行履歴取得(発行履歴)

予めパソコンで取得したい履歴データをメニュー・リボン⇒その他データ編集⇒履歴でフォーマット します。(⇒ 8.6.5 履歴(データグループ))

本体を通信状態にして、本体で発行されたラベルデータをパソコンで取得することができます。

1。[通信]リボンの[発行履歴取得]をクリックします。



保存したいフォルダを選択して、[OK]をクリックしてください。 選択したフォルダの中に自動的にSdフォルダが作成され履歴データが保存されます。 (デフォルトは、デスクトップになっています。)



履歴データがcsvファイルで表示されます。

	A	В	С	D
1	商品名	バーコード1	価格1	項目1
2	ロースかつ	4.91 E+1 2	1200	1
3	ロースかつ	4.91 E+1 2	1200	1
4	メンチかつ	4.91 E+1 2	2400	1

»必要に応じて、各セルをドラッグして広げます。

8.7.6 送信(通信グループ)

現在開いているファイルの全データを本体に送信します。 »送信する時は、本体を[通信モード]にしてください。

1. [通信] リボンの [送信] をクリックします。

ファイル オ	マーム 表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	も 通信	ツール
サンプル取得 通信設定	プリンタ 情報を取得 プリンタ情報	 ・ 	発行履歴 取得 発行履歴			

確認メッセージが表示されます。

確認	83
全データ送信するとプリンタの元デー 続しますか?	- タが全部消えてしまいます。継
	(はい(Y) いいえ(<u>N</u>)

2. [はい] をクリックして、全データを送信します。 [通信中] 画面が表示されます。

通信中…	
	中止

- »送信すると、本体の元データが全部消えてしまいます。
- » [はい] をクリックした時に、エラーメッセージが表示された場合は、通信ケーブル (USB) が接続されているか、 本体が通信モードになっているかどうかを確認し、 [再試行] をクリックしてください。
- »〔通信中〕画面の〔中止〕をクリックすると、送信を中止することができます。

8.7.7 取得(通信グループ)

本体に保存されている全てのデータをパソコンに取得することができます。

» データを取得する時は、本体を [通信モード] にしてください。

1.[通信]リボンの[取得]をクリックします。

	4 424/1	LINDE	フリセット	その	他データ編集	通信	ツール
していた。 サンプル取得 通信設定	。 プリンタ 青報を取得	 番号指定 選択発行 発行 	発行履歴 取得 登行履歴	→ 送信			

» [通信] をクリックした時に、エラーメッセージが表示された場合は、通信ケーブル (USB) が接続されているか、 本体が通信状態になっているかどうかを確認し、 [再試行] をクリックしてください。

8.8 ツール

[ツール] タブをクリックすると、[ツール] リボンが表示されます。

ファイルホーム	表示 レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
		3			
ー バーコードのCDを 自動計算する	印字範囲 重複データ デー ・ チェック チェッ	タ オプション ック			
自動計算	チェック	オプション			

8.8.1 バーコードのCDをする(自動計算グループ)

[ツール] リボンの [自動計算] グループ内に、バーコードの CD (チェックデジット) を自動計算するためのボタンがあります。

- » 自動計算できるバーコードは、JAN(8桁、13桁)、UPC-A(12桁)、UPC-E(7桁)、GS1 DataBar(14桁)です。
- » たとえば、JAN13 の 13 桁目に CD が入力されていない場合に、この機能を使用すると 13 桁目の CD が自動計算され ます。
- **1**. [ツール] リボンの [バーコードの CD を自動計算する] をクリックします。



自動計算が実行され、正常に終了すると、情報画面が表示されます。



[OK] をクリックします。

8.8.2 印字範囲(チェックグループ)

各項目データが各項目のプロパティで設定した桁数の範囲内にあるか、およびテーブルに関連づけた各項 目が各項目のプロパティで設定した桁数の範囲内にあるかをチェックすることができます。

8.8.2.1 全項目の印字領域を確認

1。[ツール]リボンの[印字範囲]⇒[全項目の印字領域を確認]をクリックします。



項目のプロパティで設定した桁数に対して項目データがオーバーしている場合は、次のような警告 メッセージが表示されます。(例:[商品名]の項目データの桁数が設定値より多い場合)

警告	
<u> </u>	項目「商品名」のデータは項目の有効印字範囲からはみ出していま す。
	ОК

- 2. 警告メッセージが表示された場合は [OK] をクリックし、 該当項目の調整を行います。 »項目データを小さくするか、項目のプロパティで項目の桁数を大きく設定し直します。
- 3. [項目の印字領域確認] ダイアログの [次項目確認] をクリックします。



4. 警告メッセージが表示された場合は手順2~3と同様の操作を行います。 確認終了のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。

項目の印字領域確認		8	情報	—
			1 名項目印字範囲	目の確認が終了しました。
	再確認 次項目確認	キャンセル		ОК

8.8.2.2 テーブル関連項目の印字領域を確認

1. [ツール] リボンの [印字範囲] ⇒ [テーブル関連項目の印字領域を確認] をクリックします。



» 項目のプロパティで関連付けられたテーブル項目の [テーブル編集] ダイアログで、フィールドデータが項目 のプロパティで設定された桁数をオーバーしている場合は、次のような警告メッセージが表示されます。 (例:[会社名]のフィールドデータの桁数が設定値より多い場合)



2. 警告メッセージが表示された場合は [OK] をクリックします。 [テーブル編集] ダイアログが表示されます。

テーブル	編集		- • •
名称	生産者テーブル	ブロパティ 🥑 🕐 CSVデータを読込 CSV形式で保存	🔲 フィルド行あり
	Key(8B)	生産者(40B)	<u>^</u>
1 ▶	001	株式会社ハロー食品	
2	002	シンセイソリューション 株式会社	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			-
		OK	**>\UL

3. 該当項目の調整を行い、[OK] をクリックします。

- » 例では、キー項目 [002] の「生産者」データがオーバーしています。この場合は、「生産者」データを小さくするか、 関連づけられている項目データのプロパティで桁数を大きく設定し直して、 [OK] をクリックします。
- 4. [項目の印字領域確認] ダイアログの [次項目確認] をクリックします。

項目の印字領域確認		×
	再確認	確認 キャンセル

5. 警告メッセージが表示された場合は手順2~3と同様の操作を行います。 確認終了のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。

項目の印字領域確認		83	情報
			() 各項目印字範囲の確認が終了しました。
	再確認 次項目確認	キャンセル	ОК

8.8.3 重複データチェック(チェックグループ)

入力エリアの同じ列の項目データに重複したデータがないかをチェックすることができます。

1. 重複データをチェックしたい入力エリアの列を選択します。 たとえば、バーコードの列をクリックします。



2. [ツール] リボンの [重複データチェック] をクリックします。



入力エリアの同じ列の項目データに重複したデータがある場合は、次のような警告メッセージが表示 されます。(例:バーコードが第1行目と第2行目が重複している場合)

警告	—
<u> </u>	重複データ : 第1行-第2行
	ОК

 警告メッセージが表示された場合は [OK] をクリック後、該当項目の調整を行い、「重複デー タ検査] ダイアログの [再検査] をクリックします。
 後で調整を行う場合は、警告メッセージの [OK] をクリック後、「無視] をクリックして次の重複デー タをチェックします。

重複データ検査		
	再検査	中止

4. 再度警告メッセージが表示された場合は手順3と同様の操作を行います。 確認終了のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。

重複データ検査		X	「情報	—
			重複データの検査	が終了しました。
	再検査	中止		ОК

8.8.4 データチェック(チェックグループ)

入力エリアの項目データに不適切なデータがないかをチェックすることができます。

1. [ツール] リボンの [データチェック] をクリックします。

ファイル ホーム	表示	レイアウ	לל	プリセット	その他データ編集	通信	ツール
	AEC			i i i i i i i i i i i i i i i i i i i			
バーコードのCDを	印字範囲	重複データ	データ	オプション			
自動計算する	*	チェック	チェック				
自動計算		チェック	~\m	オプション			

2. 警告メッセージが表示された場合は [OK] をクリック後、該当項目の調整を行い、[データ チェック] ダイアログの [再検査] をクリックします。

後で調整を行う場合は、警告メッセージの[OK]をクリック後、[無視]をクリックします。

	エラー 王 王 データ桁数オーバーです。
	ОК
データチェック	
	再検査 無視 中止

3. 再度警告メッセージが表示された場合は手順2と同様の操作を行います。 確認終了のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックします。



» エラーが生じているラベルを保存することはできますが、本体に送信するとエラーメッセージが表示され、送信する ことができません。



8.8.5 オプション(オプショングループ)

1. [ツール] リボンの [オプション] をクリックします。



[オプション] ダイアログが表示されます。

2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

オプション	×
自動保存間隔(単位:分) 時間間隔(0~60) 5	パートナー画面にデータファイルをドラグ した時の処理 の別ウィンドウでファイルを開く の行きたコーイルキュ わききる
フリセットオブション 一並べ替え時空白セルを対象にする 入力後セルの移動方向	 ● 編集中ファイルを入れ替える ● 編集中ファイルに追加する
◎ 右 ◎ 下	最近使用したファイルー覧をクリア 全設定値をデフォルト値に戻す
	ファーシャーの中無でと UEB2. OK キャンセル

[オプション] ダイアログの項目:

時間間隔	自動保存間隔を設定します。
並べ替え時空白セルを対象にする	並べ替え時に、空白セルを並べ替え対象にする場合は、
	チェックを入れます。
入力後セルの移動方向	項目データの入力後のセルの移動方向を選択します。
パートナー画面にデータをファイル	開いているパートナー画面に別のパートナーファイル
をドラッグした時の処理	をドラッグした時の処理を選択することができます。
最近使用したファイル一覧をクリア	クリックすると、[ファイル] メニューを選択した際
	に表示される [最近使用したファイル] の一覧内容が
	クリアされます。
全設定値をデフォルトに戻す ク	リックすると、全設定値をデフォルトに戻します。
ソフト更新の有無を確認	ソフトが最新版になっているかどうかを確認します。

9. クイックアクセスツールバー

本章では、クイックアクセスツールバーのツールボタンの使用方法について説明します。



9.1 プログラムアイコン

プログラムアイコンをクリックすると、メニューが表示されます。

5) - 📑 🖻 🔊 🙆 🤅	୪ ପ୍ 🚔
2		11. ホーム 東元 元のサイズに戻す(R)	/70+
		移動(M)	
		サイズ変更(S)	
	-	最小化(N)	
		最大化(X)	
	x	閉じる(C)	Alt+F4

元のサイズに戻す

最大化したラベルパートナーのウィンドウの大きさを元に戻します。

移動

ラベルパートナー画面をマウスを使わずに矢印キーで移動することができます。

サイズ変更

ラベルパートナー画面のサイズをマウスを使わずに矢印キーで変更することができます。

最小化

ラベルパートナーのウィンドウを最小化します。

最大化

ラベルパートナーのウィンドウを最大化します。

閉じる

ラベルパートナーを終了します。

9.2 新規作成 🗋

[新規作成] をクリックすると、メニューが表示されます。



1. ファイル

ファイルを新規に作成することができます。 »[ファイル]メニューーでも同様の操作ができます。(「8.1.1.1 ファイル」)

2. レイアウト

新しいレイアウトタブを現在のレイアウトタブの後ろに追加することができます。

» [ファイル] メニュー、ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(「⇒ 8.1.1.2 レイアウト」、「7.2.1.1 新規 (レ イアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」)

3. 値下レイアウト

新しい値下レイアウトタブを現在のレイアウトタブの後ろに追加することができます。

- » [ファイル] メニュー、ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1.3 値下レイアウト」、「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」)
- » 詳細については、「15. 値下ラベルの作成」を参照してください。

4. コピー発行レイアウト

新しいコピー発行レイアウトタブを現在のレイアウトタブの後ろに追加することができます。

- » [ファイル] メニュー、ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1.4 コピー発行レイアウト」、 「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」)
- » 詳細については、「8.1.1.4 コピー発行レイアウト」を参照してください。

5. トレーサビリティレイアウト

トレーサビリティのレイアウトを作成することができます。

- »「ファイル」メニュー、ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1.6 neo 固定タイプレイアウト」、 「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1,2 挿入(レイアウトタブ)」)
- » 詳細については、「8.1.1.6 neo 固定タイプレイアウト」を参照してください。

6. neo 固定タイプレイアウト

neo 固定タイプのレイアウトを作成することができます。

neo 固定タイプレイアウトを作成するためには、「メニューリボン」⇒「レイアウト」メニュー⇒「プロパティ」 ⇒「neo 固定タイプレイアウト設定」で「マスタレイアウトを使用」にチェックを入れてください。(⇒「8.4.8.6 neo 固定タイプレイアウト設定」)

»「ファイル」メニュー、レイアウトタブのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1.6 neo 固定 タイプレイアウト」、「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1,2 挿入(レイアウトタブ)」)

» 詳細については、「8.1.1.6 neo 固定タイプレイアウト」を参照してください。

なお、「neo 固定タイプレイアウト設定」にチェックを入れない場合は、neo 固定タイプレイアウトが表示 されません。

7. テーブル一覧発行レイウアト

テーブル一覧発行のレイアウトを作成することができます。

- »「ファイル」メニュー、レイアウトタブのショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「8.1.1.7 テーブル 一覧発行レイアウト」、「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1,2 挿入(レイアウトタブ)」)
- » 詳細については、「8.1.1.7 テーブルー覧発行レイアウト」を参照してください。

9.3 開く 营

[開く]を使用して、ファイルを開くことができます。 »[ファイル]メニューーでも同様の操作ができます。(「8.1.2 開く」)



[開く]をクリックすると表示される [ファイルを開く] ダイアログで、開きたいファイルを選択します。

マイルを開く					
	77111			プレビュー	
	ファイル名	ファイル更新日時	^	↓ 1 ¹ ²	3 4 5
		. 2014-01-24 15:39		10 10	6 ± 1
		. 2014-01-24 15:40		<u> 1 名 称 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3</u>	<u>/ ッ + -</u>
デスクトップ	2 ラベル32×34 8NDN.	. 2014-01-24 15:42		1 1原材料名 小麦粉、バ	ター、砂糖、卵、香料
	🔟 ラベル82×84 パチ.	. 2014-01-24 15:44			
_	□ ラベル82×84 バチ. □	. 2014-01-24 15:45	_	<u>- 賞味期限 2014</u>	年04月02日
O	2 5~1/32×34 //+.	. 2014-01-24 15:46.		2 📲 保存方法:直射日光	、高温多湿を避け、
N N	2 ラベル40×28 りん。	. 2014-01-24 15:48		開封後はお早めにお	召し上がり下さい。
マイサンプル	2 ラヘル40×28 文操。	2014-01-24 10:48		- 製造者 株式会社	新盛製菓 東京店
11 22270	2 ラベル40×20 必束。	2014-01-24 10.01	=	3	84-12-15
	□ ラベル40×20 志来。	2014-01-24 15:55		TL 03-39	13-0131
	□ ラベル40×43 和菓.	. 2014-01-24 15:56.		●商品に不都合な点がごさ	ざいましたら、現品に
X_{π}	□ ラベル40×43 和葉.	. 2014-01-24 15:57		4 このシールを添えて弊社	北お送り下さい。
	ラベル40×60 個□.	. 2014-01-24 15:58		100000000000000000000000000000000000000	50 C [[C # C # 9 &
標準サンプル	📕 🗑 ラベル40×60 焼葉.	. 2014-01-24 16:18			
	💿 ラベル40×60 水産.	. 2014-01-24 16:19	E	5_	
	💿 ラベル40×60 惣菜.	. 2014-01-24 16:22		3	
	🗾 ラベル40×60 調理.	. 2014-01-24 16:23		3	
	21 ラベル40×60 幕の.	. 2014-01-24 16:26	6	6	
	2 ラベル40×60 和葉.	. 2014-01-24 16:59		3	
	■ ラベル65×43 クッ.	. 2014-01-24 17:05		3	
		. 2014-01-24 17:07			
		2014-01-24 17:00.			
		. 2014 01 24 17.10	*	nan (43mm) 16 55mm	
71N	ラベル55×48 クッキー:交援	(案内.lp7	•	開入	
- イリ の手手用	and 7 = h7 = (11 (* la 7)		- 4	547.4711	

9.4 上書き保存 😼

[上書き保存]を使用して、ファイルを上書き保存することができます。

🗕 🗅 🛛 🛁 🛃	🦻 🖗 🔍 🖨
ファイルホペー	表示 レイアウト こ
バーコードのCDを	印字範囲 重複データ データ
自動計算する	▼ チェック チェック
自動計算	チェック

» [ファイル] メニューーでも同様の操作ができます。(「8.1.3 上書き保存」)

9.5 元に戻す 🗐

[元に戻す] をクリックして、直前の編集操作を取り消すことができます。



- » 直前の編集操作後にファイルを保存した場合は、使用することができません。
- »操作が元に戻せる場合にのみ、[元に戻す]が有効になります。

9.6 やり直す 🖭

[やり直す]をクリックして、[元に戻す]で取り消した操作をやり直すことができます。

図 □ • 📑 🖬 ファイル ホーム	[「] 」 (↓) (↓) (↓) (↓) (↓) (↓) (↓) (↓) (↓) (↓)
レレーロードのCDを 自動計算する	▲ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
自動計算	チェック

» 直前の編集操作後にファイルを保存した場合は、使用することができません。

»操作がやり直せる場合にのみ、[やり直す]が有効になります。

9.7 拡大 🔍

[拡大]をクリックするたびに、レイアウトエリアのレイアウト表示を 10%刻みで拡大表示することができます。



» 現在の表示拡大率はステータスバーで確認することができます。(⇒「14. ステータスバー」)

9.8 縮小 🔍

[縮小]をクリックするたびに、レイアウトエリアのレイアウト表示を 10%刻みで縮小表示することができます。



» 現在の表示拡大率はステータスバーで確認することができます。(⇒「14. ステータスバー」)

9.9送信 🔿

[送信]をクリックして、本体に全データを送信することができます。



» [通信] リボンでも同様の操作ができます。(⇒「8.7.6 送信(通信グループ)」)

.

10. レイアウトエリア

本章では、レイアウトエリアの使用方法について説明します。



1 つのファイルで複数のレイアウトを作成してプリセットデータを作成することができます。 レイアウトエリアでは、ツールボックス(⇒「5. ツールボックス」)を使用して各項目をレイアウトするこ とができ、ドラッグ操作で項目のサイズ変更・移動・揃えなどができます。

10.1 レイアウトタブ

ファイルに複数のレイアウトが設定されている場合、タブを使用して操作対象のレイアウトを切り替える ことができます。



- » レイアウトタブの追加については、「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レイアウトタブ)」を参照して ください。
- » レイアウトの各種設定は、レイアウトのプロパティ(⇒「6.1.1 [一般] タブ」(レイアウトプロパティ)で変更する ことができます。
- »レイアウトの切り替えは、レイアウト一覧表示(⇒「10.2レイアウト一覧表示ボタン」)を使用して行うことができます。

10.2 レイアウト一覧表示ボタン

レイアウトー覧表示ボタンをクリックすると、作成されたレイアウトの一覧を確認することができます。 »レイアウト件数が多く、レイアウトタブが隠れているような場合に使用します。

「「「「レイアウト1」 レイアウト2 レイアウト3 値下 レイアウト	▼ 項目
	レイアウト1
	レイアウト 2
	レイアウト3
	値下 レイアウト

10.3 ラベル方向マーク

ラベル方向マークでラベルの発行方向を確認することができます。

また、レイアウトエリア右下のラベル方向マークにマウスを近付けると、動画でラベルの発行方向を確認 することができます。



» ラベルの向きを回転する方法については、「8.4.9 ラベルを回転表示(回転グループ)」を参照してください。

» 左上のラベル方向マークは、ルーラバーが表示されている場合に表示されます。

10.4 背景グリッド

レイアウトエリアに背景グリッドを表示することができます。

- 表示 / 非表示の切り替え --------背景グリッドの表示 / 非表示を切り替えることができます。 操作方法については、「8.3.3 背景グリッド(画面表示グループ」を参 照してください。
- グリッド間隔の変更 ------------------------背景グリッドのグリッド間隔を変更することができます。 操作方法については、「8.3.4 ラベル背景グリッド(画面表示グループ) 」を参照してください。
- 項目をグリッド線に合わせる---背景グリッドに合わせて項目がレイアウトされるように設定することができます。 操作方法については、「8.3.10項目をグリッド線に合わせる(画面表示 グループ)」を参照してください。

10. レイアウトエリア 10.5 ルーラバー 10.6 項目の移動・サイズ変更 10.7 項目範囲 10.8 拡大・縮小 10.9 印字範囲チェック 10.10 レイアウトエリアのショートカットメニュー

10.5 ルーラバー

レイアウトエリアにルーラバー(定規)を表示することができます。 » ルーラバー左上のラベル方向マークは、ルーラバーが表示されている場合に表示されます。

表示 / 非表示の切り替え ------ルーラバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。 操作方法については、「8.3.6 ルーラバー(画面表示グループ)」を参照 してください。

10.6 項目の移動・サイズ変更

レイアウトエリアで項目の移動、および項目のサイズ変更ができます。

- »レイアウトした項目を選択⇒ドラッグして項目の位置を移動することができます。
- »レイアウトした項目を選択⇒表示された□ハンドルにマウスを近づけた際にマウスポインタの形が「↔→」となる場合は、□ハンドルをドラッグして項目のサイズを変更することができます。選択状態の文字項目にマウスポインタを近付けると、「印刷可能な文字数の参考値」が画面に表示されるので、調整の参考にしてください(項目の幅を変更するとその幅に応じて再度[桁数(半角)]が変更されます)。
- » 各項目のプロパティ、ショートカットメニュー、および [ホーム] リボンで位置や桁数を変更することもできます。(⇒ 「6. プロパティ」、「7. ショートカットメニュー」、および「8.2 ホーム」)

10.7 項目範囲

レイアウトエリアに項目の範囲を表示することができます。

表示 / 非表示の切り替え -------項目の範囲の表示 / 非表示を切り替えることができます。 操作方法については、「8.3.8 項目範囲を表示する」を参照してください。

10.8 拡大 / 縮小

レイアウトエリアの表示を、拡大 / 縮小することができます。 操作方法については、「9.7 拡大」、および「9.8 縮小」を参照してください。

10.9 印字範囲チェック

作成した全項目の印字領域、およびテーブル関連項目の印字領域をチェックすることができます。 詳細については、「8.8.2 印字範囲(チェックグループ)」を参照してください。

10.10 レイアウトエリアのショートカットメニュー

レイアウトエリアで、さまざまなショートカットメニューを使用することができます。 詳細については、「7.2 レイアウトエリアのショートカットメニュー」を参照してください。

11. 入力エリア

本章では、入力エリアを使用して、レイアウト上に作成された各項目に項目データを入 力する方法について説明します。

11.1 入力エリアの行 / 列 / セル

レイアウトごとに、入力エリアで項目データを入力します。



項目	表示	表示条件
文字項目	\triangle	[通常入力]、または [テーブルから取得] が設定されている場合、
		入力列が追加されます。
		文字項目が [固定項目] に設定されている場合は表示されません。
		(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」)
バーコード項目・価格項目	\triangle	[通常入力]、または [テーブルから取得] が設定されている場合、
		入力列が追加されます。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共
		通項目)」)
日付項目・時刻項目	\triangle	[通常入力]、[テーブルから取得]、または[補正]を設定した場
		合のみ、入力エリアに補正値を設定するための入力列が追加され
		ます。(⇒「6.6.1 [詳細] タブ」(日付項目のプロパティ)/「6.7.1
		[詳細]タブ」(時刻項目のプロパティ))
直線項目・斜線項目・四角形項目	×	入力列は表示されません。
イメージ項目・マーク項目	\triangle	[リストから選択]、または[テーブルから取得]が設定されてい
		る場合、入力列が追加されます。 (⇒「6.2.1 データ元 (データ・ソー
		ス)(共通項目)」)
呼出番号項目・発行枚数項目	×	入力列は表示されません。

- » 項目プロパティで[テーブルから取得]を設定した項目は、セルのドロップダウンリストからテーブルデータを選択 する列となります。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」)
- » 項目プロパティで[リストから選択]を設定した項目は、セルのドロップダウンリストからファイルに保存されたイ メージや標準で準備されているマークを選択する列となります。(⇒「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」)

行 / 列 / セルの選択

- ・項目データの行番号、列をクリックして、行全体 / 列全体を選択することができます。
- ・セルを選択してドラッグすると、セルの範囲選択ができます。
- ・[Ctrl] キーを押しながらセルをクリックして複数のセルを選択することができます。

11.2 項目データの入力

入力エリアの入力したい項目データのセルを選択して入力すると、レイアウト上の対応する項目にデータ が入力されます。

- » 同じレイアウト内および異なるレイアウト内に異なる項目データを入力して、多くのプリセットデータを作成するこ とができます。
- **1**. 入力エリアの[呼出番号]列に重複しない数字を入力し[Enter]キーを押します。
 - »入力後に右のセルに移動するか、下のセルに移動するかを設定することができます。(⇒「7.3.8入力後セルの 移動方向(入力エリア)」)
 - »ファイル内で重複しない数字を入力してください。重複した呼出番号を入力するとエラーメッセージが表示されます。



- » また呼出番号を自動作成することもできます。(⇒「7.3.16 呼出番号自動作成(入力エリア)」)
- » レイアウト上の文字項目のハンドルをマウスで拡大して[テキストボックス]を作成した場合、項目データののセル内で強制改行を行う場合は、[Shift] キーを押しながら [Enter] キーを押します。
- » 文字項目のプロパティで設定された桁数をオーバーした場合や設定された文字種類以外の文字が入力された場合、[Enter] キーをクリックするとエラーメッセージが表示されます。



11. 入力エリア 11.3 セルの行幅 / 列幅の変更 11.4 項目データの列の移動 11.5 入力内容のインポート・エクスポート
 11.6 入力内容の検索 / 置き換え 11.7 バーコードの CD(チェックデジット)の自動計算

- » エラーが発生しているセルは、ピンク色で表示されます。このようなエラーが生じているプリントラベルを保 存することはできますが、本体に送信するとエラーメッセージが表示され、送信することができません。
- »項目桁数の変更は、項目のプロパティで行うことができます。(⇒「6.プロパティ」)
- 入力を行った行をクリックして、入力データがレイアウトエリアできちんと表示されている かどうか、確認します。

必要に応じて、レイアウトの調整を行います。

- » [座標] ボックス (⇒「8.2.20 X 座標 /Y 座標 (座標グループ)」) で、項目の位置を調整することができます。また、 レイアウトした項目を選択⇒ドラッグして項目の位置を移動することもできます。
- »項目のサイズ変更については、「10.6項目の移動・サイズ変更」を参照してください。

11.3 セルの行幅 / 列幅の変更

行全体、列全体の幅を変更したい場合は、隣り合う行の間、または隣り合う列の間にマウスポインタを合わせ、マウスポインタの形状が「←→」となった状態でドラッグします。 また、「←→」となった状態でダブルクリックすると、入力内容の量に応じた行幅 / 列幅に変更することができます。

11.4 項目データの列の移動

項目データの列を移動させることができます。(⇒「8.4.7入力順序設定(データグループ)」)

11.5 入力内容のインポート・エクスポート

入力内容のインポート / エクスポートが行えます。(⇒「8.1.5.1 CSV ファイル直接インポート」、および「8.1.6.1 CSV ファイル」)

11.6 入力内容の検索 / 置き換え

入力内容の検索 / 置き換えができます。(⇒「8.5.1 検索 / 置き換え(データグループ)」)

11.7 バーコードの CD(チェックデジット)の自動計算

バーコードの CD (チェックデジット) を自動計算することができます。(「8.8.1 バーコードのCDをする(自動計算グループ」)

.

11.8 重複データのチェック

項目データに重複した内容があるかをチェックすることができます。(⇒「8.8.3 重複データチェック(チェッ クグループ)」)

11.9 無効データのチェック

項目データに無効なデータがないかチェックすることができます。(⇒「8.8.4 データチェック(チェックグ ループ)」)

11.10 入力エリアのショートカットメニュー

入力エリアで、さまざまなショートカットメニューを使用することができます。 » 詳細については、「7.3 入力エリアのショートカットメニュー」を参照してください。

12.項目一覧エリア

本章では、項目一覧エリアの使用方法について説明します。



項目一覧エリアは、レイアウトエリアで作成された項目、入力エリアの入力データとに対応しています。 図は、[商品名]項目を選択した時の相関図です。

展開表示

・項目前の「+」マークをクリックするとレイアウトエリアに作成された項目が展開表示されます。

・「-」マークをクリックすると、展開表示が折りたたまれ「+」マークが表示されます。



テーブルに関連付けられた項目

項目がテーブルに関連付けられている場合、項目一覧には関連付けられているテーブル名、フィールド名 (「産地コード表」のようなコードテーブル以外の場合)が表示されます。

- ・テーブルの関連付けについては、「6.2.1 データ元(データ・ソース)(共通項目)」の「テーブルから取得 する」を参照してください。
- ・テーブル(店舗情報テーブル以外)に関連付けられている項目の入力は、入力エリアに表示された Key 項目列のセルでドロップダウンリストから選択して行います。
- テーブルの関連付けを解除すると、項目一覧ではフィールドのデータを表示している項目の情報から「テーブル名」、および「フィールド名」が削除されます。しかし、項目一覧エリアと入力エリアには Key 項目の表示が残ります。この場合、項目一覧で Key 項目を「印字する」設定にしてから Key 項目の削除を行ってください。項目一覧で Key 項目の削除を行うと、入力エリアからも Key 項目列が削除されます。

項目のプロパティ

・一覧表示された項目をダブルクリックすると、項目のプロパティが開きます。(⇒「6.2項目プロパティ(共通項目)」)

項目エリアのショートメニュー

・項目一覧エリアのショートカットメニューを使用して、各項目の名称変更や印字有無の設定を行うことができます。

詳細については、「7.4項目一覧エリアのショートカットメニュー」を参照してください。

13.分類表示エリア

分類定義された分類表示エリアが表示されます。



レイアウト1で[弁当]に分類された呼出番号が一覧表示されています。 »分類定義の作成手順は、「7.5.1分類定義」を参照してください。

全データを選択すると、レイアウト1の全呼出し番号が一覧表示されます。

14. ステータスバー

各種設定情報がステータスバーに表示されます。



ステータスバーには、項目データに関する各種情報が表示されます。

表示 / 非表示の切り替え ------ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。 操作方法については、「8.3.5 ステータスバー(画面表示グループ)」を 参照してください。

レイアウト情報:

- 項目 ------レイアウトエリアに作成された項目数が表示されます。
- プリセット-------編集中のレイアウトの項目データの総件数が表示されます。
- プリセットサイズ------編集中のレイアウトの項目データのサイズが表示されます。
- ラベル幅 ------幅、東中のレイアウトのラベル幅が表示されます。
- 長さ -----------編集中のレイアウトのラベル長が表示されます。
- 表示拡大率---------編集中のレイアウトの表示の拡大率が表示されます。

ファイル情報:

- レイアウト-------ファイルのレイアウトタブの総数が表示されます。
- プリセット-----ファイルの項目データの総件数とサイズが表示されます。
- テーブル -----ひがあっていた ファイルのテーブルの総件数とサイズが表示されます。
- 登録イメージ-----ファイルのイメージ(画像)の総件数とサイズが表示されます。
- フォント -----ファイルで使用されている外部フォントの種類とサイズが表示されま

»外部フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。
15.値下ラベルの作成

本章では、値下ラベルを作成する手順について説明します。

ラベルパートナーでは、あらかじめ準備されている標準値下レイアウトを選択したり、ユーザが新規に定 義して作成できるユーザ定義の値下ラベルを作成したりすることができます。

15.1 標準の値下レイアウトを追加する

レイアウトタブに標準の値下ラベルを追加します。

- **1.** [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [値下レイアウト] を順に選択します。 [値下ラベル作成ウィザード] が表示されます。
 - » ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レ イアウトタブ)」)
 - » クイックアクセスツールバーでも同様の操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」の「値下レイアウト」)
- **2.** [よく使われる値下ラベル] ドロップダウンリストから追加したい標準値下レイアウトを選択します。

たとえば、よく使われる値下ラベルに[新盛値下 A-55X34]を選択します。

値下ラベル作成ウィザード 値下ラベルの選択 よく使われる値下ラベル 新盛値下A-55×34	-	
お買得		お買得 素示単格より レジにて よりの分引 よりのようちょうはよりののつかす
12345	67890123 <mark>4</mark> 5	<mark>6789</mark> 0
	反る	次へ キャンセル

[次へ]をクリックします。

3. 値下ラベル作成ウィザードが表示されます。

値	トラベル作成ウィザ	- K		×
	%引設定 最大値下げ幅(%)	50 		
	-UPCE(元バーコード))設定		
	◎ UPCA(:展開			
	 ● 先頭「0」埋めで(● 先頭「0」埋めで(DDなし DDあり		
	端数処理設定 			
	◙ 値下後価格		◎ 値下額	
	端数処理		処理桁数	
	◎ 切捨て		◎ 指定なし	
	◎ 切上げ		◎ 小数点後2桁	
	◎ 四捨五入		◎ 小数点後1桁	
			値下ボタン定義	
			戻る 終了 キャンt	216

ウィザード画面の項目:

%引設定

最大値下幅-----値下幅を設定します。

UPCE(元バーコード)設定

UPCA に展開 ------元バーコードを UPCA に展開します。

先頭「0」埋めで CD なし---先頭を「0」で埋めてチェックデジェットがありません。

先頭「0」埋めで CD あり---先頭を「0」で埋めてチェックデジェットがあります。

端数処理設定

処理対象

値下後価格-----値下後価格を処理対象とします。

値下額-----値下額を処理対象とします。

端数処理

切捨て-----端数処理を切り捨てします。

切上げ------端数処理を切上げします。

四捨五入-----端数処理を四捨五入します。

- 処理桁数
 - 指定なし-----通常の処理をします。

小数点後2桁------端数処理を行う桁数を選択します。

小数点後1桁------端数処理を行う桁数を選択します。

値下ボタン定義-------[値下ボタン定義]ダイアログが表示されます。値下方式のフラグに対応して値下幅を設定します。

		値下方式	1	2	3	4	5	6
1	►	※弓(1~50)	5	10	20	30	40	50
2		円引(1~99999)	10	50	100	200	300	500
3		新価格(1~99999)	10	50	100	200	300	500

値下ラベル作成ウィザード画面で「終了」をクリックすると、値下レイアウトタブが現在のレイアウ トタブの後ろに追加表示されます。

ファイル	ホーム	表示	レイアウト	プリセット	その他データ編集	通信	ツール		۵
クリップボード	в	T U	6 ¢	フォント幅 1 フォント長 1 豊 豊 雪	 ↓ ↓<th>- 三三三 - ④ 於 項[</th><th></th><th>▲ 1 日 計 単位:dot 座標</th><th>↓ ↓ ↓ ↓ mm 線</th>	- 三三三 - ④ 於 項[▲ 1 日 計 単位:dot 座標	↓ ↓ ↓ ↓ mm 線
T	レイアウト	1 [14]	ቦウト2 レイア	513 @T	レイアウト			▼ 項目 値下げ項目	構成
		はい ¹ 家10 20	€ 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	。 通信下 8				- 世行項目構成- - 共有項目 - %引行価格統 - %引行価格統 - 円引行価格統 - 円引行価格統 - 一円引行価格統 - 新価格行価格	り) し) り) し) 約 ())
	-							-値下げ表示用デー 元価格	2入力
3								%61	20 🗢
		490	123456	7894	1000209			F161	200 💠
	-							新価格	800 💠
4	3							元バーコード種類	JAN13 💌
	1							元バーコード	490123456789
Nº	-							社員番号	1234567
5								表示中値下(全値下げうべ	ガラベルを確認発行 ルを一括確認発行
レイアウ	ト情報:項	目:25個	プリセ	ット:0件(0B)	プリセッ	トサイズ:0B		â.:	表示拡大率:210%
ファイル	レ情報:レ	イアウト:5個	コー ブリセ	ット:4件(0.9KB)	テーブル	レ:3件(264日)	登録イン	メージ:5件(3.2KB)	フォント:0種類(0B)

ここで、「20%引」の値引率項目をダブルクリックまたは右クリックして、値引率の項目プロパティ を表示させて各種設定をします。

値引率項目					×
名称 桁数 EIP=該定 回転角度 項目内配置 データ位置 「%3」I関連該定 対価格フォントの高さの比(対価格フォントの位置関係	(値下げデ・ 5 ② 印字 中央 M(1~100)	-タ 75 下揃え		 マラントサイズ自動設定 フォント経算 フォント経算 フォント名 フォント気(単位: dot) フォント長(単位: dot) 文字間隔 	内蔵フォント ▼ 漢字ゴシック ▼ 英数Arial ▼ 英数Arial ▼ 英数Fotura ▼ 英数fotura ▼ 英数fotura ▼ 英数明朝 ▼ 英数のCR-B ▼ 数字202 下 数字203 下 数字205 下 数字205 下 数字205 下 数字205
 スリロドランスノトの(山)が高 アパート・スタントの(山)が高 アパート・スタントの(ス)まで、ショントの(ス)まて、ショントの(3)まで、ショントの(3)まて、ショントの(3) + (2)	□ 「50%	、	印字		● 価格11-0123456789 ■ 漢字ゴシック

フォントサイズ自動設定-------値下率項目を拡大・縮小させると、値引率項目の大きさに応じてフォントサイズが自動的に拡大・縮小します。

.

15.2 ユーザ定義の値下レイアウトを追加する

レイアウトタブにユーザ定義の値下ラベルを追加します。

- **1.** [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [値下レイアウト] を順に選択します。 [値下ラベル作成ウィザード] が表示されます。
 - » ショートカットメニューでも同様の操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」、「7.2.1.2 挿入(レ イアウトタブ)」)
 - » クイックアクセスツールバーでも同様の操作ができます。(⇒「9.2 新規作成」の「値下レイアウト」)
- **2.** [よく使われる値下ラベル] ドロップダウンリストから [ユーザ定義] の値下レイアウトを 選択しします。

値下ラベル作成ウィザード		×
○値下ラベルの選択 とく使われる値下ラベル		
ユーザ定義	-	
新盛値下A-55×34 新盛値下B-55×25		
新盛値下C-48×28 新盛値下D-48×25	買得	お買得
新盛値下E-48×25 新盛値下F-32×60		
新盛旭 FG-32×60 ユーザ定義		
49012345678943008005	49012345678943008005	49012345578943008005
12245	C700010045	67000
12345	0/89012345	6/890
L		
	戻る	次へ キャンセル

[次へ]をクリックします。

3. 値下ラベルの選択のダイアログが表示されます。

値下ラベル作成ウ 値下ラベルの選択 よく使われる値 ユーザ定義 ラベル(単位:m	ィザード ドラベル m)	•	X
ラベルリストから	選択	55×34mm	
ラベルタイプ 幅	ギャップ 55mm	ギャップ 長さ	1.5mm 34mm ラベル編集
		戻る	次へ キャンセル

値下ラベルの選択画面:

ラベル

ラベルリストから選択------ラベルサイズを選択します。

たとえば、ラベル新規追加から 55mmx34mm を選択します。

ラベル編集

» 詳細は、「8.6.7 ラベル編集(データグループ)」を参照してください。

[次へ]をクリックします。

4. 値下方式選択のダイアログが表示されます。

値下ラベル作成ウィザード		×
 値下げ方式選択 □ 元価格入力画面 		
□ 入力必須	🗌 新価格の場合、入力 ^ス	不要
※引(元(価格有り) 20%引 1584円 0816 111111 (2123461)803	 ア月引額(元価格有り) 89円引 9910円 9910円 9910円 9910円 	 新価格(元価格有り) 管下後低時 789円 1016 101133 (20254611905)
○ %引(元価格無し) たの時より 20%引 レジェビ レジュビ レジュレー 4502100.45533		▶ 前価格(元(価格無し)
	戻る	次へ キャンセル

値下方式選択:

元価格入力画面ボックスにチェックを外している場合

NONPLUバーコードを読み取った場合のみ元価格が表示されます(元価格を表示する に設定してある場合)。

元価格入力画面ボックスにチェックが付いている場合

・入力必須にチェックが付いている場合

「元価格有り」の値下フォーマットのみが選択有効となります。

・入力必須にチェックを外している場合

NONPLUバーコードを読み取った場合は、元価格が表示され、PLUバーコードを読み取った場合は、元価格が表示され、元価格を入力すると「元価格有り」の値下フォーマットで印字し、元価格の入力がない場合は、「元価格無し」の値下フォーマットで印字します(元価格を表示するに設定してある場合)。

5. 値下選択方式で「元価格入力画面」にチェックを入れ、「入力必須」にチェックを外してある場合について説明します。



[次へ]をクリックします。

6. 社員番号関連定義のダイアログが表示されます。

値下ラベル作成ウィザード
社員番号関連定義
□ 社員番号使用 社員番号桁数 7
□ 先頭に「0」で埋める
□ 責任者番号使用条件設定
□ 最大値下制限以上入力しよ沙する場合
□ 新価格を入力しようとする場合
展る 次へ キャンセル

[社員番号使用] ボックスにチェックを入れると社員番号桁数以下の項目が有効になります。 ここでは、社員番号使用ボックスにチェックを外して[次へ] をクリックします。 7. 出入力バーコード定義のダイアログが表示されますので、出力バーコードを指定します。 たとえば、CODE128- 新盛 - I を選択します。20 桁の構成が色別に表示されます。

値下ラベル作成ウィザード
出入力バーコード定義(Code128) 出力バーコード指定 CODE128-新盛20桁-I ▼
バーコード桁数: 20 🍦 範囲:13~60桁
値下データ桁数: 5 🚽 範囲:4~8桁(出力バーコードに値下データの桁数)
ブータ部最後の桁をC/D(モジュラス10)に指定
JAN2段バーコードのフラグ 1段目 フラグ 00 2段目 フラグ 00
出力バーコード構成。色で構成を表す、春色は未定義部分。
12345678901234567890
戻る 次へ キャンセル

[次へ] をクリックします。

8. 出力バーコード構成項目定義のダイアログが表示されます。

値下ラベル作成ウィザード
一出力バーコード構成項目定義
種類 元バーコード(13桁)
日付 固定データ 固定データ
値下げ方式(1桁) 日付形式 新価格
100001211 11200000000000000000000000000
10.52 第782 第782 第782 第782 第782 第782 第782 第78
未定義桁数: 維承項目
現項目以後の設定情報を廃棄する
12345678001234567800
12343070301234307030
戻る 次へ キャンセル

[現項目以後の設定情報を廃棄する]をクリックすると、出力バーコードの先頭より定義し直します。

ここでは、最初の 13 桁までを元バーコードに関連付けしますので、元バーコード (13 桁) のまま [次 へ] をクリックします。

最初の13桁までが元バーコードに関連付けられました。

	成ウィザード		×
- 出力バーコー	ド構成項目定義		
種類	値下げ方式(1桁)	値下げ方	式フラグ定義
固定データ		미리셔	1 💽 (0 - 0)
日付形式	yymmdd		2 - (0-09)
時刻形式		▼ 第71曲作合	3 🚔 (0~9)
桁数	1	<u>A</u>	
未定義桁数	:6	現項目以後の調	設定情報を廃棄する
出力バーコ	ード構成(青数字部分は未定	義):	
	1234567890	123 <mark>4</mark> 567	89 <mark>0</mark>

[現項目以後の設定情報を廃棄する]をクリックすると、出力バーコードの14桁目以降より定義し 直します。

ここでは、出力バーコードの14桁目を値下げ方式(1桁)に関連付けますので、値下げ方式(1桁)のまま [次へ]をクリックします。

14 桁目が値下げ方式のフラグ定義に関連付けられました。

値下ラベル作り	成ウィザード	×
ー出力バーコー	ド構成項目定義	
種類	値下げデータ	 プライスチェック(PC)
固定データ		
日付形式	yymmdd	T
時刻形式		*
桁数	5	÷
未定義桁数	:5	現項目以後の設定情報を廃棄する
出力バーコ	ード構成(書数字部分は未定義	義):
	1234567890	1234 <mark>567890</mark>
		戻る 次へ キャンセル

プライスチェックにチェックを入れる場合は、出力バーコード指定で新規を選択して設定を行って ください。

[現項目以後の設定情報を廃棄する]をクリックすると、出力バーコードの15桁目以降より定義し 直します。

ここでは、15桁~19桁目を値下データを値下げデータに関連付けますので、値下げデータのまま [次 へ] をクリックします。

9. 確認画面が表示されました。

15 桁~19 桁が値下げ後の価格データに関連付けられました。

値下ラベル作成ウィザード
出力バーコード確認
12345678901234567890
戻る 次へ キャンセル

確認後、〔次へ〕をクリックします。

10.%引き、UPCE(元バーコード)設定、端数処理の設定のダイアログが表示されました。

「≫671設定 最大値下げ幅(%) 50 🔶 (*	(~99)
-UPCE(元バーコード)設定	
◎ UPCA(2展開	
◎ 先頭「0」埋めでCDなし	
◎ 先頭「0」埋めでCDあり	
端数処理設定	
処理対象	
◎ 値下後価格	◎ 値下額
端数処理	処理桁数
◎ 切捨て	◎ 指定なし
◎ 切上げ	◎ 小数点後2桁
◎ 四捨五入	◎ 小数点後1桁
	値下ボタン定義

値下ボタン定義:値下ラベル作成ウィザードで14桁目を値下方式(1桁)に割り当て、下図のように 値下げ方式フラグを定義しています。

ここで、値引き幅を変更したい場合は、変更したいセルをダブルクリックします。

値下ボタン	定義						X
	値下方式	1	2	3	4	5	6
1 ▶	%弓 (1~50)	5	10	20	30	40	50
2	円引(1~99999)	10	50	100	200	300	500
3	新価格(1~99999)	10	50	100	200	300	500
						OK	キャンセル

値下げボタン定義が終了したら、「終了」をクリックします。

11.ユーザで定義された値下げラベルタブが現在のレイアウトタブの後ろに追加されました。



....

16. フリーサイズラベルの作成

本章では、ライナーレスラベルなど長さ方向に自由にカットすることができるフリーサ イズラベルを作成する手順について説明します。

ラベルパートナーでは、あらかじめ準備されている標準フリーサイズラベルから作成したり、ユーザが新 規に定義してフリーサイズラベルを作成することができます。

16.1 標準のフリーサイズラベルから作成する

- **1.** ラベルパートナーをデスクトップアイコンから起動します。
- **2.** [デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。 たとえば、ラベル選択ボックスから標準(フリーサイズ)60mmを選択し、[OK] をクリックします。



標準(フリーサイズ)60mm を選択した場合は、2インチまたは3インチの本体にも使用できますが、 マージン(印字がされない領域)が異なりますので、次のような確認メッセージが表示されます。



選択した標準のフリーサイズラベルがレイアウトエリアに表示されます。

	無頭 (交更) Jaholi	Partner for Neo7	- • ×
	トープリセット その他データ編集	通信 ツール	۵
י דע פור איז		= = ■ ■ 吨 メ: メ: メ: メ: 平位:	t t t
27		県目配置 塗	67. AX
T / 79-9-1x60mm##		- A E	
	1075 (1) (37) (88)		
778年1日 2 その他	*Tub#r5 1 ▶ 2		â
Nº	4		
レイアウト情報:項目:0個 プリ	セット:0件(0B) プリセットサイズ:	OB	大率:160%:

- » ラベルの各種設定は、[その他データ編集] メニューの [ラベル編集] (⇒「8.6.7 ラベル編集 (データグルー プ)」)、レイアウトプロパティの [ラベル編集] (⇒「7.2.1.7 レイアウトプロパティ (レイアウトタブ)」、「8.4.8.2 レアイウトプロパティ」) を使用して行います。
- 3. 「高さ可変項目」を選択して、入力されるデータ量に応じて項目の高さを自動で調整し、デー タが入力されないと選択された項目が削除されて表示されます。 サンプルラベルに基づいて説明します。
 - a. 最初に「商品名」と「原材料の内容」項目をレイアウトします。

次に、レイアウトエリアの「商品名」には、「ロースかつ弁当」と入力し、「原材料の内容」には、 1行分のデータを入力し、呼出番号に「1」を入力します。

» グレーゾーンにレイアウトした場合は、自動的にラベル長さが伸長されます。



b.「原材料の内容」項目上を右クリックして項目のショートカットメニューを表示させ、「高さ可変項目」 を選択します。



c.「高さ可変項目」に設定されると、「原材料の内容」と表示されて上辺が赤線表示されます。 »レイアウトされた項目に入力するデータ量によってラベル長さが変わる項目は、上辺が赤くなります。

次に、ラベル下辺(はさみマークのカットライン)にポインターを合わせてドラッグして、ラベル 長さを自由に調節します。

たとえば、ラベル下辺をドラッグしてスペースを 2mm にします。



/ フリー	サイズ 60mm		-
		1111121111111111111111111111111111111	······································
2 - 3			
4			
	呼出番号	商品名	原材料の内容
1 ▶	1	ロースかつ弁当	ご飯、揚げ物、キャベツ、付合せ、トマト
2			
3			

d. ポインターを入力エリアの呼出番号1の行のセルに移動させると、レイアウトエリアの「原材料の 内容」の1行分のデータが印字表示されます。

ר /	J−I	サイス <mark>60</mark> mm	ā 📃 👘		-
1		ייוייייייי מייייייייייייייייייייייייייי	uluu ¹ u かつ弁当	³	
1		Ζ	〔飯、揚 〔 物、キ・	ャベツ、付合せ、トマト	
2					
3					
4					
		呼出番号	商品名	原材料の内容	
1	•	1	ロースかつ弁当	ご飯、揚げ物、キャベツ、付合せ	、トマト
2					
3					

e. ここで、「原材料の内容」のデータを削除すると印字表示されずに自動的に上に詰められます。

/ フリーサイズ 60mm幅	-
ロースかつ弁当 コーム コーム	E
' <u>→</u> ×	
「山留ち」間回っ 「「小留ち」「同回っ 「「」「「「日日」」 「「」」 「 「 「」 「」 「」 「 「 「 「 「	
2	
3	

f.次に、レイアウトエリアの呼出番号2の「商品名」に「ロースかつ弁当」と入力し、「原材料の内容」 に3行分のデータを入力して印字表示させます。

すると、追加した「原材料の内容」のデータの2行分が自動的に下に伸張して印字表示されます。



- g. 続けて、バーコードをレイアウトして、ラベル下辺をドラッグしてスペースを 2mm に調整します。 次に、「バーコード項目」上を右クリックして、項目のショートカットメニューから「高さ可変項目」 を選択すると、バーコード項目の上辺が青線表示されます。
 - »レイアウトエリアに入力するデータ量によってもラベル長さが変わらない項目は、上辺が青線表示になります。



同様に、レイアウトエリアの「バーコード1」にデータが入力されていないと、印字表示させてもバー コードは表示されません。

- 4. 「分割線を追加」を選択して、ラベルを二枚以上に分割します。
 - a.呼出番号1の「バーコード1」にデータ「4901234567894」を入力して印字表示させます。 ここで、「原材料の内容」項目と「バーコード」項目との間を分割します。



b.「原材料の内容」項目と「バーコード」項目とのレイアウトエリアの間を右クリックして「分割線を追加」 を選択します。



c. 上下にラベルが2分割されました。

- »分割する場合は、上下のラベルの長さが10mm以上必要になります。
- » カットラインにポインターをおいてドラッグすることによりカットラインを移動させることができます。



- » 分割後のラベル長さがそれぞれ 10mm 以上あれば、2ヵ所以上にカットラインを入れることができます。
- » ラベル長さが 10mm 以上あれば、グレーゾーンにもカットラインを入れることができます。
- d. カットラインを削除する場合は、カットライン上にポインターをおいて右クリックして「分割線を 削除」を選択します。



- 5. レイアウトエリア上の項目同士が長さ方向にオーバーラップした状態で、「高さ可変項目」 が含まれている場合は、全体が自動的にグループ化されたように表示されます。
 - a.「原材料の内容」と「バーコード」項目が「高さ可変項目」に選択されています。



b. 次に、サンプルラベルに基づいて「価格」項目をレイアウトし「高さ可変項目」に選択します。 たとえば、呼出番号1の価格1項目に「1200」と入力します。 すると、「価格」」と「バーコード」項目の高さがオーバーラップしますので、グループ化されたように全体の上辺が赤線表示されます。



印字表示にします。



c. ここで、入力エリアの「バーコード1」項目のデータを削除すると印字表示されずに「価格」項目 の下辺が詰められて印字表示されます。



d.次に、「価格」項目が「バーコード」項目から下にずれた場合は、「価格」項目も「バーコード」項目も「高 さ可変項目」に選択されていますので、どちらの項目の上辺も青線表示されています。 ここでは、「価格」項目にも「バーコード項目にもデータが入力されています。



印字表示にします。



e. ここで、「バーコード」項目のデータを削除すると、バーコード項目が印字表示されずに価格項目が 上に詰められて印字表示されます。

/ フリー!	サイズ 60mm	15	• 項	8	
2		11111111111111111111111111111111111		文字 	
	呼出番号	料の内容	バーコー F1	価格1	Ê
1 +	1	取、場け初、キャヘウ、付合せ、トマト 毎、提ば物 キャベル は今年 トラト		1200	-
2	2	1歳、病け物、キャヘン、12台で、トマト その他卵、小麦、乳、大豆由来原料を含む) 乳化剤			

.

16.2 ユーザ定義のフリーサイズラベルを作成する

- **1.** ラベルパートナーをデスクトップアイコンから起動します。
- **2.** [デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。 ラベル新規追加を選択し、[OK] をクリックします。



ラベル編集画面が表示されます。

フリーサイズラベルを選択して、ラベル追加保存をクリックします。

ラベル福集	×
ラペリル構築 新行税16/01	ラベル部鉄道加 ● 新空標準ラベルから違訳 □ - ザ定葉 ② 注第5ペル ③ フリーサイズ5ペル うベルは加修存 うベルは加修存 ○ フリーサイズ5ペル
	名称 ブリーサイズ55mm ライナレスラベル設定値に
	ラベルサイズ設定(単位: mm)
	ラベルタイプ マークなし - ギャップ幅(0~10) 1.0 🔄
	ラベル幅(24~85)55.0 🚔 ラベル長(10~300)30.0 🔄
	ラクリ(位置(0~200) 0.0 ÷
	ÉT芋濃度 (1~16) 8 🚖 詳細設定
	ラベル背景 オープン クリア 24

» ラベルの各種設定は、[その他データ編集] メニューの [ラベル編集] (⇒「8.6.7 ラベル編集 (データグループ)」)、 レイアウトプロパティの [ラベル編集] (⇒「7.2.1.7 レイアウトプロパティ (レイアウトタブ)」、「8.4.8.2 1 レイアウトプロパティ」)を使用して行います。

	<u>e</u> e =	無證 - Label Partner for 1	Neo7	
ファイル ホーム 表	示 レイアウト プリセット	その位データ編集 道	1 9-10	۵
クリップポード フォント	 () () () () () () () () () () () () () (※ % %	* • mm	
	項目配置	座框 移	0	
7J-9-(255m	mfi		- 1 <u>1</u> 18	
		1]		
呼出番4 1 ▶ 2 3				•
レイアウト情報: 視目:00 ファイル情報: レイアウ	 プリセット:0件(08) ト:1個 プリセット:0件(08) 	プリセットサイズ:08 テーブル:0件(08)	豊厚イメージ:0件(0B)	:10% _/ フォント:_/

デフォルト値のフリーサイズ 55mm のフリーサイズラベルがレイアウトエリアに表示されます。

項目3以降は、「標準のフリーサイズラベルから作成する」の手順を参照してください。 (⇒「16.1 標準のフリーサイズラベルから作成する」)

.

17. トレーサビリティラベルの作成

本章では、トレーサビリティラベルを作成する手順について説明します。

17.1 トレーサビリティレイアウトの作成

- 1. [ファイル] メニュー⇒ [新規] ⇒ [トレーサビリティレイアウト] を順に選択します。
 - » ショートカットメニューでも同様な操作ができます。(⇒「7.2.1.1 新規(レイアウトタブ)」または「7.2.1.2 挿 入(レイアウトタブ)の「トレーサビリティレイアウト」)
 - » クイックアクセスツールバーでも同様な操作ができます。(「9.2 新規作成」の「トレーサビリティレイアウト」)



2. 出力形式画面が表示されます。

出力形式				×
◎ A タイプ				
一つの個体識別番号に対して、重量などを入力				
⑤ B タイプ				
最大3つまでの個体識別番号を入力				
💿 C タイプ				
最大3つまでの生産履歴確認番号を入力				
戻	3	次へ	OK	キャンセル

Aタイプ:一つの固体識別番号と重量などの選択したAIを入力します。

[Aタイプのレイアウト例]

A	<mark>หว</mark> ้
	1, 2, 3, 4, 5, 6
1	個体識別番号
2	
	www.shinseiind.co.jp
3	商品コート 上場番号 「」 「 一 一 「 一 」 し 場番号 「 」 」 し 場番号 「 」 」
	<u>15.06.30</u> カートンID 系種
4	
	カット規格番号 JIS区分
6	

枝肉番号・カット規格番号の詳細設定をした場合について、表示されています。

Bタイプ:複数の固体識別番号、その他の追加情報を入力します。

[Bタイプのレイアウト例]



固体識別番号を最大の3つ入力できるように設定した場合について、表示されています。

Cタイプ:生産履歴確認番号、その他の追加情報を入力します。

[Cタイプのレイアウト例]



生産履歴確認番号が最大の3つ入力できるように設定した場合について、表示されています。

3. Aタイプが選択された場合

3-1 一つの画面で必要なデータを入力が選択された場合

入力画面構成で一つの画面で必要なデータを入力が選択されたまま、「確認ボタン表示」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

入力画面構成				X
◎ 1つの画面で必要なデータを入力		☑ 確認ボタン表示)	
◎ 基本バーコード→補助バーコードの配	画面順で入力			
◎ 補助バーコード→基本バーコードの配	画面順で入力			
	同る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	OK	+++) /7/1.
	bea		UK.	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

確認ボタン表示ボタンーーーチェックを入れると、プリンター本体の入力項目に全てスキャニ ングまたは手入力された後に、次の印字枚数入力画面に進む前に 「次へ」ボタンが表示されます。 入力バーコード画面が表示されます。

ここでは、全ての項目にチェックを入れて必須項目を選択して、「次へ」をクリックします。

📝 商品コード(14桁, 4	I = 01)	🔽 🛛 ୬ト番号(最大20月	ĥī, AI = 10)
◉ 入力必須	◎ 入力しなくてもOK	◉ 入力必須	◎ 入力しなくてもOK
📝 重量(6桁, AI = 31	02 or AI = 3202 or AI = 3201)	☑ 枝肉番号(最大304	ή, AI = 7002)
◎ 入力必須	○ 入力しなくてもOK	◎ 入力必須	◎ 入力しなくてもOK
📝 製造年月日(6桁,	AI = 11)	☑個体識別番号(104	ήī, AI = 251)
◎ 入力必須	○ 入力しなくてもOK		
☑ カートンID(最大124	fī, AI = 21)	☑ 力ット規格番号(最)	大30桁, AI = 240)
◙ 入力必須	◎ 入力しなくてもOK	◉ 入力必須	◎ 入力しなくてもOK
	戻る		OK キャンセル

URL印字設定画面が表示されます。

ここでは、「する」が選択されたまま「次へ」をクリックします。

URL印字設定			X
URLEP字			
 () する 			
© Utati			
	」 戻る		UN キャンセル
		("")	

入力バーコード画面で「枝肉番号」にチェックを入れた場合、AI7002の詳細構成設定画面が表示されます。

AI 7002の詳細構成設定			X
◎ 工場3桁 + 枝肉4桁 + 左右1桁	テ + 畜種1桁 + 品種2桁 + 産地2桁 + JI	区分1桁	
◎ その他			
	原る 次へ	ОК	キャンセル
)	

工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分を表示させたい場合は、チェックが選択されたまま「次へ」をクリックします。

Al7002 の印字項目設定画面が表示されます。

ここでは、全てにチェックを入れて「OK」をクリックします。

☑ 工場番号	☑ 品種
🔽 枝肉番号	☑ 産地
📝 左右区分	✔ JIS区分
☑ 畜種	
	戻る 次へ QK キャンセル

「一つの画面で必要なデータを入力」を選択した場合のトレーサビリティレイアウトが作成され ました。

※トレーサビリティレイアウトは、作成手順は異なるものの「基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力」または「補助バーコード→基本バーコードの画面順に入力」を選択した場合でも同じになります。



AI7002の詳細構成設定画面で工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分 を表示をさせない場合は、その他にチェックを入れて「OK」をクリックします。

AI 7002の詳細構成設定	X
◎ 工場3桁 + 枝肉4桁 + 左右1桁 + 畜種1桁 + 品種2桁 + 産地2桁 + JIS区	分1桁
 その他 	
戻る 次へ	

その他を選択した場合のトレーサビリティレイアウトが作成されました。



3-2 基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力が選択された場合

入力画面構成で基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力を選択し、「基本バーコード画 面の確認ボタン表示」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

	入力画面構成	
	◎ 1つの画面で必要なデータを入力	
	◎ 基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力	
	◎ 補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力	
	<u>\</u>	
基本バーコー	ド画面の確認ボタン表示ーーーチェックを入れると、プリン	/ター本体の入力項目
	に全てスキャニングまたは手	入力された後に、次
	の印字枚数入力画面に進む前	「に「次へ」ボタンが
	表示されます。	

基本バーコード画面が表示されます。

ここでは、左側の列の項目にだけにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

「「」」	X
☑ 商品コード(14桁, AI=01)	🕅 ロット番号 (最大20桁, AI = 10)
☑重量(6桁, AI= 3102 or AI= 3202 or AI= 3201)	── 枝肉番号(最大30桁, AI = 7002)
☑ 製造年月日(6桁, AI = 11)	🔄 個体識別番号(10桁,AI = 251)
	🔄 力ット規格番号(最大30桁, AI = 240)
戻る	
	<u></u>

補助バーコード画面が表示されます。

ここでは、右側の列の項目だけにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

補助パーコード	
□ 商品コード(14桁, AI = 01)	☑ □ット番号〈最大20桁, AI = 10〉
□ 重量(6桁, AI = 3102 or AI = 3202 or AI = 3201)	☑ 枝肉番号〈最大30桁, AI = 7002〉
□ 製造年月日(6桁, AI=11)	☑ 個体識別番号(10桁, AI = 251)
□ カートンID(最大12桁, AI = 21)	☑ 力ット規格番号(最大30桁, AI= 240)
戻る	<u>次へ</u> OK キャンセル

URL印字設定画面が表示されます。

ここでは、「する」が選択されたまま「次へ」をクリックします。

URL印字設定				×
URL印字				
 する 				
◎ しない				
	雇る	*	OK +++/r	716

補助バーコード画面で「枝肉番号」にチェックを入れた場合、AI7002の詳細構成設定画面が表示されます。

◎ 工場3桁 + 枝肉4桁 + 左右1桁 + 畜種1桁 + 品種2桁 + 産地2桁 + JIS区分1桁	
◎ その他	
	_

工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分を表示させたい場合は、チェックが選択されたまま「次へ」をクリックします。

AI7002の印字項目設定画面が表示されます。 ここでは、全てにチェックを入れて、「OK」をクリックします。

AI 7002の印字項目設定		
☑ 工場番号	☑ 品種	
☑ 枝肉番号	☑ 産地	
☑ 左右区分	✓ JIS区分	
☑ 畜種		
	厚る	次へ OK キャンオフル

「基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力」を選択した場合のトレーサビリティレイア ウトが作成されました。

※トレーサビリティレイアウトは、手順は異なるものの「一つの画面で必要なデータを入力」 または「補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力」を選択した場合と同じになります。



AI7002の詳細構成設定画面で工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分 を表示させない場合は、その他にチェックを入れて「OK」をクリックします。

NI 7002の詳細構成設定	
◎ 工場3桁 + 枝肉4桁 + 左右1桁 + 畜種1桁 + 品種2桁 + 産地2桁 + JIS区分1桁	
戻る 次へ *ャンセル	
	_
X /	

その他を選択した場合のトレーサビリティレイアウトが作成されました。



3-3 補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力が選択された場合

入力画面構成で補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力を選択し、「補助バーコード画 面の確認ボタン表示」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

入力画面構成		×
◎ 1つの画面で必要なデータを入力		
◎ 基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力	── 基本バーコード画面の確認ポタン表示	
◎ 補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力	☑ 補助バーコード画面の確認ポタン表示	
戻る	<u>次へ</u> のK キャ	いセル

補助バーコード画面の確認ボタン表示---チェックを入れると、プリンター本体の入力項目 に全てスキャニングまたは手入力された後に、次 の印字枚数入力画面に進む前に「次へ」ボタンが 表示されます。

補助バーコード画面が表示されます。

ここでは、右側の列の項目だけにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

助バーコード	X
商品コード(14桁, AI = 01)	☑ □ット番号〈最大20桁;, AI = 10〉
■重量(6桁, AI = 3102 or AI = 3202 or AI = 3201)	☑ 枝肉番号〈最大30桁, AI = 7002〉
📄 製造年月日(6桁, AI = 11)	☑ 個体識別番号(10桁, AI = 251)
□ カートンID(最大12桁, AI = 21)	☑ 力ット規格番号(最大30桁, AI = 240)
戻る	
	d)

基本バーコード画面が表示されます。

ここでは、左側の列の項目だけにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

「「」」「	×
図商品コード(14桁, AI = 01)	□ □ット番号〈最大20桁, AI = 10〉
	□ 枝肉番号(最大30桁, AI = 7002)
▼ 製造年月日(6桁, AI = 11)	──個体識別番号(10桁, AI = 251)
▼ カートンID(最大12桁, AI = 21)	
戻る	○ 次へ ○ OK キャンセル

- URL印字設定画面が表示されます。
- ここでは、「する」が選択されたまま「次へ」をクリックします。

URL印字設定				×
URL印字				
 ම අති 				
© Utati				
	戻る		OK #4	いセル
		-d)		

補助バーコード画面で「枝肉番号」にチェックを入れた場合、AI7002の詳細構成設定画面が表示されます。

AI 7002の詳細構成設定			×
 工場3桁 + 枝肉4桁 + 左右1桁 + 畜種1桁 + 品 	重2桁 + 産地2桁 + JIS区分1株	īī	
◎ その他			
	·***	OK	111 Across 4711
		01	44200

工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分を表示させたい場合は、チェックが選択されたまま「次へ」をクリックします。

AI7002の印字項目設定画面が表示されます。 ここでは、全てにチェックを入れて「OK」をクリックします。

AI 7002の印字項目設定		
☑ 工場番号	☑ 品種	
☑ 枝肉番号	☑ 産地	
☑ 左右区分	▼ JIS区分	
☑ 畜種		
	戻る	次へ QK キャンセル

「補助バーコード→基本バーコードの画面順で入力」を選択した場合のトレーサビリティレイア ウトが作成されました。

※トレーサビリティレイアウトは、手順は異なるものの「一つの画面で必要なデータを入力」 または「基本バーコード→補助バーコードの画面順で入力」を選択した場合と同じになります。

01] • ≧ 774ル	日 49 (2) Q, Q, A) ホーム 表示 レイアウト プリセット その性が一分減量 通信 ジール	
通信ポート・設定		
T 🦯	317 -	瀬田 画面表示用データ
		議議構築:福祉今海本パーコードの頃で入力 構築コード(14年, A = 10 重量(6月: A+2100x A+21285x A+2001) 動造年月日(188, A = 10 カートンDC株大1285, A = 20 ロット美型C株大1285, A = 20
	C2513000000000 www.shiresiint.co.jp ロット番号 区(法長子) Dット小麦(法長子) Dット規格合考 左右(区分) 商品 G(二) F G(二) Eを見 IS C,011 医(1) Eを見 IS C,011 Eを見 IS C	日ット春香 (福田大田村), A(= 10 名の春香 (福大田村), A(= 210) 福谷道都等後令(1810, A(= 210) 力ット県地 番号(南大田村), A(= 240) 福谷道谷(香令(1810)
6_ レイアウト車 ファイル車		生&限研練的音号(最大2时6) 生&ののの 長さ: 60mm 表示広大率: 210% (06)

AI7002の詳細構成設定画面で工場番号、枝肉番号、左右区分、畜種、品種、産地、JIS区分 を表示させない場合は、その他にチェックを入れて「OK」をクリックします。

AI 7002の詳細構成	设定				×
◎ 工場3	íī + 枯肉4桁 + 左右1桁 +	蚉種1桁 + 品種2桁 + i	奎地2桁 + JIS区分1桁		
0 1					
 その他 					
		戻る	次へ	QK	キャンセル
-				("")	

その他を選択した場合のトレーサビリティレイアウトが作成されました。



4. Bタイプが選択された場合

固体識別番号を入力する数を設定画面で入力したい固体識別番号数を設定します。 ここでは、「3」が選択されたまま「次へ」をクリックします。

個体識別番号を入力	コする数を設定				— ×	
個体識別	番号数					
	3 🚔					
		戻る		ОК	キャンヤル	1
						J
			<u> </u>)		

URL印字設定画面が表示されます。

ここでは、「する」が選択されたまま「OK」をクリックします。

URL印字設定	
URLEPT	
 93 	
© Lta(1	
	C ₁₁
固体識別番号数「3」が選択された場合のトレーサビリティレイアウトが作成されました。 ここでは、入力エリアの固体識別番号フレームに三つの固体識別番号が入力された場合について表 示されています。



5. Cタイプが選択された場合

生産者履歴確認番号数と桁数を設定します。

ここでは、生産履歴確認番号数「3」と桁数「20」が選択されたまま「次へ」をクリックします。

生産者履歴確認番号を入力する数を設定		×
生產履歷確認番号数		
3 🚖		
桁接数(8 ~ 32)(8 ~ 32)		
	戻る 次へ	OK キャンセル

URL印字設定画面が表示されます。

ここでは、「する」が選択されたまま「OK」をクリックします。

URLEIF字 ④ する ④ しない 展る 次へ ① (本ャンセル)	URL印字設定		×
URLEIF手 ④ する ④ しない 戻る 次へ 代 本ャンセル			
ی بادی المیں <u>کر المیں</u> <u>کر المیں</u>	URL印字		
	 ම අත 		
	◎ しない		
		戻る	
<u>d</u>)			<u>(")</u>

生産履歴確認番号数「3」が選択され、桁数が「20」桁の場合のトレーサビリティレイアウトが作成されました。

ここでは、入力エリアの生産履歴確認番号フレームに三つの生産履歴確認番号が入力された場合に ついて、表示されています。



